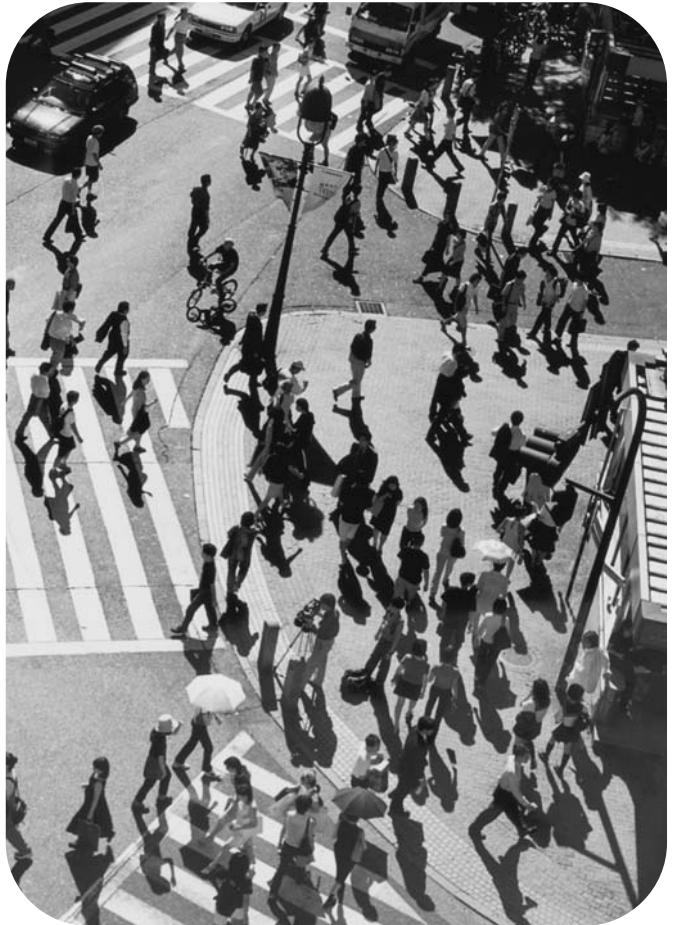


hp LaserJet 9040mfp
hp LaserJet 9050mfp



i n v e n t

使用方法



HP LaserJet 9040mfp/9050mfp

ユーザー ガイド

著作権およびライセンス

© 2006 Copyright Hewlett-Packard Development Company, L.P.

著作権法により認められている場合を除き、書面による事前の許可なく複製、改変、翻訳することは禁じられています。

ここに記載されている内容は予告なく変更されることがあります。

HP の製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに付随する、明示的に記載された保証事項に限定されます。本書に記載されていないいかなる保証も、追加の保証と解釈されるものではありません。HP は、技術上または編集上の誤り、あるいは当該事項に含まれる不作為について、一切の責任を負うものではありません。

発行番号 : Q3726-90960

Edition 1, 3/2006

商標について

Adobe、Acrobat、および PostScript は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

ENERGY STAR® は、米国の登録商標です。

Linux は、米国 Linus Torvalds の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT、および MS-DOS は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

UNIX は、The Open Group の登録商標です。

目次

1 基礎知識

概要	7
MFP の機能と特長	7
パーツとアクセサリ	11
MFP の外観	13
柔軟性を高めるために役立つソフトウェア	14
ソフトウェアの機能	14
ドライバ	15
Macintosh 対応ソフトウェア	19
印刷システム ソフトウェアのインストール	20
ソフトウェアのアンインストール	24
ネットワーク対応ソフトウェア	24
HP Web Jetadmin	24
HP Jetdirect 埋め込み型プリント サーバによる通信	26
HP Jetdirect プリント サーバによる通信	26
埋め込み型 Web サーバ	27
HP Toolbox	27
サポート対象のオペレーティング システム	28
HP Toolbox を表示するには	28
HP Toolbox のセクション	28
給紙トレイへの用紙のセット	31
トレイ 1への用紙のセット	31
トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4への用紙のセット	34
トレイの設定 [PAPER HANDLING] (用紙の取り扱い) メニューを使用	42

2 コントロール パネル

概要	43
コントロール パネルの配置	44
コントロール パネルの機能	45
ホーム画面の操作	46
ヘルプ システム	47
「What is this? (機能説明)」ヘルプ	47
「Show me how (操作のヒント)」ヘルプ	47

3 印刷

概要	49
用紙の向きの設定	50
基本的な印刷手順	55
排紙ビンの指定	56
排紙場所の指定	57
封筒の印刷	57
特殊な用紙への印刷	61
レターヘッド、穴あき用紙、印刷済み用紙 (片面) への印刷	61
ラベル紙への印刷	61
OHP フィルムへの印刷	61
カスタムサイズの用紙、カード ストック、厚紙に関するガイドライン	62
ノビ紙への印刷	62
用紙の両面への印刷 (両面印刷)	63
プリンタ ドライバ機能の使用	64
登録の設定	65
登録を設定するには	65

最初のページに別の用紙を使用.....	66
裏表紙(白紙)の追加	67
用紙1枚に複数ページを印刷	67
トレイ1のカスタマイズ	68
用紙セットのプロンプトが表示されている場合のトレイ1からの印刷.....	68
トレイ1からの手差し印刷.....	68
印刷する用紙の指定	69
タイプとサイズを指定した印刷の利点	69
ジョブ保存機能	70
プライベートジョブの印刷	70
プライベートジョブの解除	71
プライベートジョブの削除	71
プリントジョブの保存	71
保存ジョブの印刷	72
保存ジョブの削除	72
クイックコピージョブの作成.....	73
クイックコピージョブの追加部数の印刷.....	73
クイックコピージョブの削除.....	73
ジョブの試し刷りと保留	74
保留ジョブの残部数の印刷	74
保留ジョブの削除	74

4 コピー

概要	75
コピー画面の操作	76
[Cancel] (キャンセル) ボタン	76
[OK] ボタン	76
基本的なコピー手順	77
デフォルト設定を使用したコピーの実行	77
ユーザー定義設定を使用したコピーの実行	77
スキャナガラスを使用したコピーの実行	79
ADFを使用したコピーの実行	79
書籍のコピー	80
ジョブモードの使用	80
現在のジョブのコピー設定の修正	81
コピーのコントラストの調整	81
コピーの拡大 / 縮小	81
コピーの拡張機能の使用	81
複数のサイズの原稿のコピー	82
コピーの保存ジョブの作成	82
排紙ビンの指定	82

5 電子メール

概要	83
電子メール画面の操作	84
ヘルプボタン	84
[From:] (差出人) フィールド	84
[Clear All] (すべてクリア) ボタン	85
電子メールの基礎知識	86
電子メール機能の概要	86
原稿のセット	86
ドキュメントの送信	86
アドレス帳の使用	88
受信者リストの作成	88
ローカルアドレス帳	89
電子メールの本文テキストを入力する	90
その他の情報	90

6 FAX の送信

7 排紙デバイス

概要	93
3,000 枚収納スタッカ	94
用紙処理の機能	94
3,000 枚収納スタッカ / ステイプラ	94
用紙処理の機能	94
ステイプラの使用	94
マルチファンクション フィニッシャ	97
用紙処理の機能	97
ステイプラの使用	97
ブックレットの作成	101
8 ビン メールボックス	101
排紙機能	101

8 セキュリティ機能

概要	103
外部インターフェース ハーネス (FIH)	104
要件	104
FIH の使用	104
セキュア ディスク消去	105
影響を受けるデータ	105
セキュア ディスク消去の利用	106
その他の情報	106
セキュリティ ロック	107
ジョブ保存機能	107
DSS 認証	107

9 MFP の保守

概要	109
MFP のクリーニング	110
通常のクリーニング	110
ADF 出力システムのクリーニング	113
プリントカートリッジの管理	118
HP 製以外のプリントカートリッジ	118
プリントカートリッジの認証	118
プリントカートリッジの保管	118
トナー レベルの確認	119
プリントカートリッジの状態	120
カートリッジの注文	120
カートリッジの交換	120
プリンタ保守キット	122

10 トラブルシューティング

概要	123
紙詰まりの解決	124
給紙トレイでの紙詰まりの解決	125
両面印刷アクセサリ (両面印刷ユニット) での紙詰まりの解決	129
排紙部分での紙詰まりの解決	131
8 ビン メールボックスでの紙詰まりを解決するには	144
紙詰まりが繰り返し発生する場合の対処方法	145
MFP のメッセージの解釈	146
コントロールパネルに表示されるメッセージへの対処方法	147
出力品質のトラブルシューティング	166
封筒のしわ防止	169

MFP の問題の検出	170
MFP の問題の判別	170
ソフトウェア、コンピュータ、および製品インターフェースの問題	172
HP Jetdirect プリント サーバ(オプション)を使用した通信	180
HP Jetdirect 埋め込み型プリント サーバを使用した通信	180
MFP の設定の確認	181
メニュー マップ	181
設定ページ	182
Jetdirect ページ	183
サプライ品ステータス ページ	184
使用状況ページ	185
PCL または PS フォントリスト	185
イベント ログ ページ	186
用紙経路テストの印刷	187

Appendix A 仕様

概要	189
用紙の重量換算表	190
用紙の仕様	193
給紙および排紙に対応する用紙サイズ	194
対応する用紙のタイプ	197
ラベル紙	198
OHP フィルム	198
封筒	198
カード ストックおよび厚紙	199
環境仕様	200
消費電力	200
所要電力	200
騒音の仕様	201
動作環境	202

Appendix B コントロール パネルのメニュー

概要	203
[Retrieve Job] (ジョブ取得) メニュー	205
[Information] (情報) メニュー	205
[Paper Handling] (用紙の取り扱い) メニュー	206
[Configure Device] (デバイスの設定) メニュー	208
[Originals] (原稿) サブメニュー	208
[Copying] (コピー) サブメニュー	209
[Enhancement] (拡張機能) サブメニュー	209
[Sending] (送信) サブメニュー	210
[Printing] (印刷) サブメニュー	211
[Print quality] (印刷品質) サブメニュー	215
[System setup] (システム セットアップ) サブメニュー	217
[I/O] サブメニュー	220
[Resets] (リセット) サブメニュー	223
[FAX] メニュー	223
[Diagnostics] (診断) メニュー	224
[Service] (サービス) メニュー	225

Appendix C MFP のメモリとメモリ拡張

概要	227
メモリ要件の判定	227
メモリの取り付け	228
DDR DIMM メモリを取り付けるには	228
コンパクト フラッシュ メモリ カードを取り付けるには	231
メモリが取り付けられたことの確認	233

リソースの保存 (永久リソース)	233
Web アクセス機能	234
Web アクセス機能の使用	234

Appendix D 規制に関する情報

環境製品管理プログラム	235
環境保護	235
消費電力	235
トナー消費量	235
用紙の使用量	235
プラスチック	236
HP LaserJet のサプライ品	236
HP プリンタ サプライ品の回収およびリサイクル プログラムに関する情報	236
用紙	236
化学物質に関する制限	236
化学物質等安全性データ シート	237
保証延長サービス	237
その他の情報	237

Appendix E 管理タスク

概要	239
埋め込み型 Web サーバ	240
IP アドレスの設定と確認	241
TCP/IP の割り当て	241
自動検知機能	241
DHCP (ダイナミック ホスト コンフィグレーション プロトコル)	241
TCP/IP の設定の確認	241
IP アドレスの変更	241
埋め込み型 Web サーバ	242
デジタル送信設定アプレット	242
LDAP アドレスの割り当ての設定	243
[Preferences] (初期設定) の設定	243
SMTP および LDAP サーバの IP アドレスの検索	243
コントロール パネル メニューの使用	245
デバイス ストレージ マネージャ	245
ネットワーク対応ソフトウェア	246
HP Web Jetadmin ソフトウェア	246
HP Jetdirect Printer Installer for UNIX®	246
診断メニュー	247

Appendix F HTML ヘルプ ビューアの使い方

ヘルプの利用	249
ヘルプ トピックの検索	249
お気に入りのヘルプ トピックのリストの作成	250
ヘルプ トピックのコピー	250
現在のヘルプ トピックの印刷	250
ツールバー ボタンでのトピックの検索	251
ショートカット メニュー コマンドの使用	251

Appendix G ヘルプ ビューアでのショートカット キーの使い方

F6 キーの使用による [ナビゲーション] ウィンドウと [トピック] ウィンドウの切り替え	253
ヘルプ ビューアのショートカット キー	253
[目次] タブのショートカット キー	254
[キーワード] タブのショートカット キー	254
[検索] タブのショートカット キー	255
[お気に入り] タブのショートカット キー	255

1 基礎知識

HP LaserJet 9040mfp/9050mfp をお買い上げいただきありがとうございます。セットアップの手順については、MFP に付属の『HP LaserJet 9040mfp/9050mfp Start Guide (HP LaserJet 9040mfp/9050mfp スタート ガイド)』をご覧ください。

概要

セットアップが完了し、使用する準備が整ったら、MFP の基礎知識を確認してください。この章では、以下の項目について説明します。

- MFP の機能と特長
- 柔軟性を高めるために役立つソフトウェア
- 埋め込み型 Web サーバ
- HP Toolbox
- 紙トレイへの用紙のセット

MFP の機能と特長

HP LaserJet 9040mfp/9050mfp は、ワークグループで共有できるように設計されています。MFP を使用して、モノクロまたはカラーのドキュメントのデジタル送信、ドキュメントのコピー、およびドキュメントの印刷を行うことができます。MFP は、コンピュータに接続する必要のない単独のコピー機です。MFP のコントロールパネルから、ネットワーク印刷を除くすべての機能を選択できます。

機能

- 両面印刷
- イメージの修正
- カラー デジタル送信
- ワイドフォーマット印刷
- ドキュメントの仕上げ処理

印刷速度とスループット

- HP LaserJet 9050mfp でレターサイズまたは ISO (国際標準化機構) の A4 サイズの用紙にスキャンと印刷を行う場合、印刷速度は 50ppm (ページ / 分)
- HP LaserJet 9040mfp でレターサイズまたは ISO の A4 サイズの用紙にスキャンと印刷を行う場合、印刷速度は 40ppm
- 拡大 / 縮小率 25% ~ 400% (スキャナ ガラス使用時)
- 拡大 / 縮小率 25% ~ 200% (自動原稿送り装置 (ADF) 使用時)
- Transmit Once, Raster Image Processing (RIP) ONCE テクノロジ
- 8 秒でスタンバイを完了して最初のページを出力
- 負荷サイクルは最大 300,000 ページ / 月
- 533 MHz マイクロプロセッサ

解像度

- Resolution Enhancement technology (REt) により 600dpi を実現
- FastRes 1200 により、1200dpi の品質を最高速度で実現
- グレー階調は最大 220 レベル

メモリ

- 256MB RAM、業界標準の 100 ピン DDR DIMM により 512MB まで拡張可能
- データを自動的に圧縮する Memory Enhancement Technology (MET) により、RAM を効率的に使用

ユーザー インタフェース

- コントロール パネル上のグラフィック ディスプレイ
- 埋め込み型 Web サーバ - サプライ品やサポート情報へのアクセスに使用 (ネットワークに接続できる製品の場合)
- HP Toolbox ソフトウェア - MFP のステータスや警告情報の確認、情報ページの印刷などに使用

言語とフォント

- HP Printer Command Language (PCL) 6
- HP PCL 5e との互換性を確保
- Printer Management Language (プリンタ管理言語)
- 拡大 / 縮小に対応した 80 種類の TrueType 書体
- HP PostScript 3 エミュレーション (PS)

コピーと送信

- テキスト形式、グラフィックス形式、テキスト / グラフィックス混合形式にそれぞれ応じたモード
- ジョブ中断機能 (コピーの切れ目で中断)
- 1 枚に複数ページを印刷
- ユーザーの操作をサポートするアニメーション (紙詰まりの解決など)
- 書籍をコピー可能
- 電子メール互換性
- スリープ機能による省エネの実現
- 1 回通過させるだけで両面をスキャン

プリント カートリッジ

- 使用前に振る必要のないカートリッジ設計
- 純正の HP プリント カートリッジを検出
- 密閉シールの自動除去

用紙の取り扱い

● 紙給

- **トレイ1(多目的トレイ)**：用紙、OHP フィルム、ラベル紙、封筒に対応した多目的トレイ。用紙の場合は 100 枚まで、封筒の場合は 10 枚までセットできます。
- **トレイ2およびトレイ3**：2 個の 500 枚収納トレイ。このトレイには、標準の用紙サイズ（最大サイズは 11 x 17/A3）に対する自動用紙検出機能が備わっており、カスタムサイズの用紙にも対応しています。
- **トレイ4(2000 枚収納給紙トレイ)**：このトレイには、標準の用紙サイズ（最大サイズは 11 x 17/A3）に対する自動用紙検出機能が備わっており、カスタムサイズの用紙にも対応しています。
- **自動原稿送り装置 (ADF)**：レターサイズまたは A4 サイズの用紙は 100 枚まで、11 x 17 または A3 サイズの用紙は 50 枚までセット可能です。
- **両面印刷**：両面印刷（用紙の両面への印刷）機能が備わっています。

● 排紙

- **左側の標準排紙ビン**：プリンタの左側に配置されている排紙ビンです。用紙を 100 枚まで収納できます。

MFP には、以下の排紙デバイスのいずれかが備わっています。

- **3000 枚収納スタッカ (オプション)**：用紙を 3,000 枚まで収納できます。
 - **上部ビン**（上向きビン）：用紙を 100 枚まで収納できます。
 - **下部ビン**（下向きビン）：用紙を 3,000 枚まで収納できます。排紙ビンは、排紙デバイスの一部です。
- **3000 枚収納スタッカ / ステイプラ (オプション)**：1 つのジョブにつき用紙 50 枚まで（または最大 5mm (0.2 インチ) の厚さまで）、複数位置でのステイプル留めが可能です。
 - **上部ビン**（上向きビン）：用紙を 100 枚まで収納できます。
 - **下部ビン**（下向きビン）：用紙を 3,000 枚まで収納できます。排紙ビンは、排紙デバイスの一部です。
- **マルチファンクションフィニッシャ (オプション)**：用紙を 1,000 枚まで収納できる用紙スタッカ デバイスです。ドキュメント 1 つあたり 50 枚までステイプルで留めることができます。また、ブックレット（用紙 10 枚まで）の折り畳み / 中綴じも可能です。
 - **上部ビン**（上向きビンと下向きビン）：用紙を 1,000 枚まで収納できます。
 - **下部ブックレットビン**：ブックレットを 50 冊まで収納できます。
- **8 ビンメールボックス (オプション)**：スタッカ、丁合い、ジョブ仕分けの役割を果たすビンです。8 つのメールボックス ビンを備えており、各メールボックスをユーザーやワークグループごとに割り当てることができます。出力した印刷物を簡単に見分けることができます。8 ビンメールボックスでは、どのビンにも A4 またはレターサイズの用紙を 2,000 枚まで収納可能です。
 - **上部ビン**（上向きビン）：用紙を 125 枚まで収納できます。
 - **ビン1～ビン8**（下向きビン）：それぞれ、用紙を 250 枚まで収納できます。

接続

- パラレル 接続 (B)
- 外部インターフェース ハーネス (FIH) 接続 (AUX)
- LAN コネクタ (RJ-45)（埋め込み型プリント サーバ搭載の場合）
- アナログ FAX カード (オプション)
- HP Digital Sending Software (オプション)
- HP Jetdirect EIO プリント サーバ カード (オプション)
 - USB、シリアル、LocalTalk
 - Fast Ethernet 10/100TX
 - ワイヤレス 802.11b

環境を配慮した機能

- スリープ設定による省エネ機能 (ENERGY STAR® 1.0 ガイドラインに準拠、HP LaserJet 9050mfp のみ)

注記

詳細については、「[環境保護](#)」を参照してください。

ファームウェアの更新

ファームウェアを更新することにより、MFP ファームウェアをアップグレードできます。最新のファームウェアをダウンロードするには、www.hp.com/go/lj9040mfp_firmware または www.hp.com/go/lj9050mfp_firmware にアクセスして、画面に表示される指示に従ってください。HP Web Jetadmin ソフトウェア (www.hp.com/go/webjetadmin) を使用すると、複数の製品にファームウェア更新ファイルを簡単に送信できます。

内蔵ハードディスク

選択したプリントジョブは、内蔵ハードディスクに保存することができます。このハードディスクは RIP ONCE テクノロジに対応可能なため、ダウンロードしたフォントとフォームを MFP に保存することができます。標準的な製品のメモリとは異なり、このハードディスクに保存した情報は、MFP の電源を切っても維持されます。ハードディスクにダウンロードされたフォントは、同じ MFP に接続しているすべてのユーザーが利用できます。

HP EIO ハードディスク (オプション)

EIO ハードディスクアクセサリを MFP に追加すると、フォントとフォームを保存する機能を追加することができます。EIO ハードディスクアクセサリは、RIP ONCE や保存ジョブなどのタスクに対しては使用されません。これらのタスクに対しては、内蔵ハードディスクが使用されます。

どちらのディスクも、セキュリティソフトウェアを追加して書き込み禁止にすることができます。HP Web Jetadmin のデバイスストレージマネージャアプレットを使用すると、マスストレージデバイス上でのファイル削除やフォント管理を行うことができます。「[埋め込み型 Web サーバ](#)」を参照してください。詳細については、MFP ソフトウェアのヘルプを参照してください。

弊社では、MFP やアクセサリでご利用になれるソフトウェアツールを提供しています。最新のツールは、インターネット経由で入手することができます。詳細については、www.hp.com/go/lj9040mfp または www.hp.com/go/lj9050mfp_firmware をご覧ください。

Macintosh をお使いの場合

フォントやファイルをダウンロードする場合は、HP LaserJet Utility をご利用ください。詳細については、「[HP LaserJet Utility](#)」か、または HP LaserJet Utility ソフトウェアに組み込まれているオンラインヘルプを参照してください。

セキュリティ機能

- 外部インターフェース ハーネス
- セキュアディスク消去
- セキュリティロック
- ジョブ保留
- DSS 認証

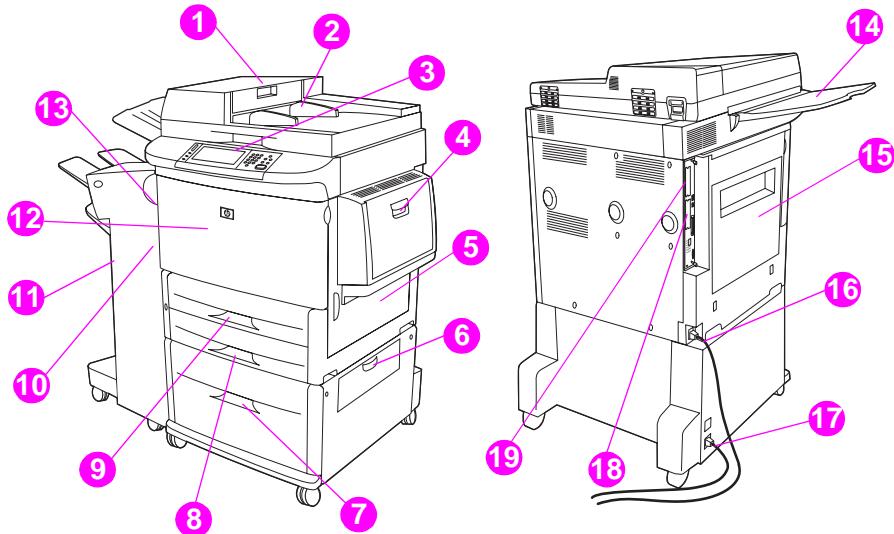
詳細については、「[セキュリティ機能](#)」を参照してください。

パートとアクセサリ

製品の種類	製品	説明または用途	注文番号
用紙取り扱い	3,000 枚収納 スタッカ	3,000 枚まで収納できる用紙スタック デバイスです。ジョブ オフセット機能 も使用できます。	C8084A
	3,000 枚収納 スタッカ / ステイプラ	3,000 枚まで収納できる用紙スタック デバイスです。ドキュメントを最大 50 枚までステイプルで留めることができます。ジョブ オフセット機能も使用 できます。	C8085A
	マルチファンク ション フィニッ シャ	用紙を 1,000 枚まで収納できるフィ ニッシャです。用紙を最大 50 枚まで ステイプルで留めることができます。 また、ブックレット (用紙 10 枚まで) の折り畳み / 中綴じも可能です。	C8088B
	8 ビン メール ボックス	1 つの上向きビン (上部ビン) と 8 つ の下向きビンが備わったデバイスで、 各ビンをユーザー やワークグループご とに割り当てるすることができます。ジョ ブ仕分け、スタッカ、並べ替え / 丁合 いの機能も果たします。	Q5693A
印刷サプライ品	プリント カートリッジ (用紙の約 5% 部分 に印刷した場合、 平均 30,000 ページ の印刷が可能)	最大容量の交換用高性能プリント カー トリッジです。	C8543X
	ステイプル カートリッジ	3,000 枚収納スタッカ / ステイプラに 対応した、交換用の HP 製 5,000 本ス テイプル カートリッジです。	C8091A
		マルチファンクション フィニッシャに 対応した、交換用の HP 製 5,000 本ス テイプル カートリッジです。	C8092A

製品の種類	製品	説明または用途	注文番号
メモリ、 フォント、 マススト レージ	DDR SDRAM DIMM (100 ピン)	MFP には、DIMM メモリ用スロットが 2つあります。片方のスロットには、 出荷時に標準設置されるメモリが装着 されています。 これで MFP の性能を向上させると、 大容量の保存ジョブが処理できるよう になります (HP 製 DDR DIMM を使つ て最大 512MB まで拡張可能)。	
	32MB 64MB 128MB 256MB 512MB		Q3982A Q2625A Q2626A C2627A C2628A
フラッシュメモリ カード (100 ピン)		永久記憶装置 (フォントおよびフォー ム用) この MFP は、タイプ 1 および タイプ 2 のコンパクト フラッシュメ モリ カードに対応しています。	
	16MB 32MB 64MB		Q2634A Q2635A Q2636A
EIO ハード ディスク		フォントおよびフォーム用の、20GB の永久記憶装置です。	J6073A
ケーブルおよび インターフェース アクセサリ	拡張 EIO カード	<ul style="list-style-type: none"> ● HP Jetdirect 接続カード (USB、シリ アル、LocalTalk 接続用) ● HP Jetdirect 615N プリント サーバ (Fast Ethernet (10/100Base-TX) ネットワーク用) (RJ-45 のみ) ● HP 680N ワイヤレス 802.11b 接続 ● HP Jetdirect 625N プリント サーバ (Fast Ethernet 用) (10/100/1000Base-TX ネットワーク) 	J4135A J6057A J6058A J7960A
アナログ FAX		<ul style="list-style-type: none"> ● MFP を単独のアナログ FAX 機と して機能させるためのアクセサリ (お客様の側で装着可能)。 	Q3701A
追加ソフトウェ アによる機能	HP Digital Sending Software (オプション)	拡張デジタル送信機能 (ネットワーク 認証など) を備えたソフトウェア アク セサリ。	T196AA
保守キット	プリンタ保守 キット	キットには、タイプ 1 のローラー (2 個)、タイプ 2 のローラー (7 個)、 トランスマッパー ローラー アセンブリ (1 個)、フューザ アセンブリ (1 個) が同梱されています。	C9152A (110V) C9153A (220V)

MFP の外観



1. ADF カバー
2. ADF
3. コントロールパネル (タッチスクリーン式グラフィックディスプレイ)
4. トレイ 1
5. 右扉
6. 上方用紙送り扉
7. トレイ 4
8. トレイ 3
9. トレイ 2
10. 左扉 (排紙デバイス背面)
11. 排紙デバイス
12. 正面扉
13. 両面印刷アクセサリ (MFP 内部)
14. ADF 排紙 bin
15. 左扉
16. プリンタの電源コード
17. トレイ 4 の電源コード
18. EIO スロット 1
19. EIO スロット 2

注記

各排紙デバイスに使用する排紙 bin の詳細については、「[排紙 bin の指定](#)」を参照してください。

柔軟性を高めるために役立つソフトウェア

本製品には、印刷システム ソフトウェアを収録した CD-ROM が同梱されています。CD-ROM のソフトウェア コンポーネントおよびプリンタ ドライバは、製品の機能を最大限にご利用いただけるように準備されたものです。インストール手順については、CD-ROM のインストール ノートを参照してください。

注記

印刷システム ソフトウェアのコンポーネントの最新情報については、弊社 Web サイト www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp に掲載されている Readme ファイルをご覧ください。印刷システム ソフトウェアのインストール方法については、本製品に付属の CD-ROM 内にあるインストール ノートをご覧ください。

ここでは、CD-ROM に収録されているソフトウェアの概要を説明します。印刷システム ソフトウェアが対応するオペレーティング システム環境は、次のとおりです。

- Microsoft® Windows 9X、Windows Millennium Edition (Me)
- Microsoft Windows NT® 4.0、Windows 2000、Windows XP
- IBM OS/2 Version 3.0 以降 (Web からの入手も可能)
- Apple Mac OS 7.5 以降
- Linux (Web からの入手も可能)

また、ネットワーク管理者向けに、以下のネットワーク オペレーティング システムに対応するソフトウェアも収録されています。

- Microsoft Windows 9X、Windows Me
- Microsoft Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP
- Microsoft Windows Server 2003
- Mac OS (EtherTalk)
- Linux (Web)
- UNIX® (Web)

UNIX やその他のネットワーク オペレーティング システムのためのネットワーク製品のソフトウェアは、Web または各地域の正規 HP 販売店から入手できます。

注記

プリンタ ドライバ、HP 印刷システム ソフトウェアのアップデート版、および製品サポート情報の詳細については、www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp をご覧ください。

ソフトウェアの機能

HP LaserJet 9040mfp/9050mfp では、ドライバの自動設定、今すぐ更新、事前設定などの機能をご利用いただけます。

ドライバの自動設定

HP LaserJet PCL 6 ドライバ、PCL 5e ドライバ (Windows 対応)、および PS ドライバ (Windows 2000、Windows XP 対応) には、ドライバのインストール時に自動検知機能が動作して、製品アクセサリに応じたドライバの設定が行われる機能が備わっています。

今すぐ更新

ソフトウェアをインストールした後に MFP の設定を変更した場合でも、双方向通信に対応した環境にあるなら、ドライバは自動的に新しい設定にアップデートされます。[今すぐ更新] ボタンをクリックすると、ドライバに新しい設定が自動的に反映されます。

注記

今すぐ更新機能は、ポイント アンド プリント環境にあるクライアント マシンではご利用いただけません。ローカルに設置された MFP の場合は、ポイント アンド プリント サーバ経由でこの機能をご利用いただけます。

HP ドライバ事前設定

HP ドライバ事前設定は、企業の管理された印刷環境向けに HP ソフトウェアをカスタマイズして配布するためのツール セットです。情報技術 (IT) 管理者は、このツールを使用して、ドライバをネットワーク環境にインストールする前に印刷やデバイスに関する HP プリンタ ドライバのデフォルト設定を事前に決めることができます。詳細については、『HP Driver Preconfiguration Support Guide (HP ドライバ事前設定サポートガイド)』を参照してください。このガイドは、www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp から入手可能です。

ドライバ

プリンタ ドライバによって、ユーザーは MFP の機能にアクセスできるようになり、コンピュータは MFP との間でプリンタ言語を使った通信を行えるようになります。追加のソフトウェアや言語については、CD-ROM に収録されているインストール ノート、Readme ファイル、および最新情報に関する Readme ファイルを参照してください。

以下の表は、MFP に同梱されているプリンタ ドライバの一覧を示したものです。最新のドライバは、www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp から入手できます (インターネットに接続できる環境ではない場合は、HP サポートの小冊子を参照してください)。最新ドライバを入手するためのインターネット アクセス環境が整っているかどうかは、ご使用の Windows ベース コンピュータの設定に応じて、印刷システム ソフトウェアのインストール プログラムにより自動的にチェックされます。

注記

CD-ROM には、PCL 5e プリンタ ドライバ (全 OS 対応)、および PCL 6 ドライバと PS プリンタ ドライバ (Windows NT 4.0 対応) が収録されています。ただし、これらのプリンタ ドライバは、標準インストールではインストールされません。いずれかのドライバをインストールする場合は、プリンタの追加 ウィザードを使用してください。

オペレーティング システム ^a	PCL 5e	PCL 6	PS ^b	PPD ^c
Windows 9X、 Windows Me	✓	✓	✓	
Windows NT 4.0	✓	✓	✓	
Windows 2000	✓	✓	✓	
Windows XP	✓	✓	✓	
Windows Server 2003	✓	✓	✓	
Macintosh OS				✓

a. ドライバまたはオペレーティング システムによっては、ご利用いただけない MFP 機能があります。使用できる機能については、ドライバの文脈依存ヘルプで確認してください。

b. PostScript (PS) 3 エミュレーションは、このガイドでは PS と表しています。

c. PPD (PostScript Printer Description) ファイルのみを実装しています (「PPD (PostScript Printer Description) ファイルと PDE (Printer Dialog Extension)」を参照)。Apple 社のプリンタ ドライバは、Macintosh OS に同梱されています。または、Apple 社から直接入手してください。

注記

ソフトウェアのインストール中、システムによってインターネット上の最新ドライバの確認が自動的に行われなかった場合は、www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp から最新ドライバをダウンロードしてください。Web サイトに接続して [ダウンロード & ドライバ] をクリックすると、目的のドライバを見つけることができます。

UNIX および Linux 対応のモデルスクリプトは、インターネットまたは正規 HP サービス会社 / サポート会社から入手できます。UNIX インストーラをダウンロードするには、www.hp.com/support/net_printing にアクセスしてください。

注記

CD-ROM 内またはここに記載した場所に目的のプリンタ ドライバが見つからない場合は、インストール ノート、Readme ファイル、および最新情報に関する Readme ファイルを調べて、そのプリンタ ドライバがサポートされているかどうかを確認してください。サポートされていない場合は、ご使用のプログラムの製造元または販売元に連絡して、MFP 用のドライバを入手してください。

その他のドライバ

以下のドライバは CD-ROM には収録されていませんが、インターネットや HP カスタマ ケアから入手できます。

- OS/2 PCL 5e/6 プリンタ ドライバ
- OS/2 PS プリンタ ドライバ
- UNIX モデルスクリプト
- Linux ドライバ
- HP OpenVMS ドライバ

注記

OS/2 ドライバは IBM 社から提供されており、OS/2 に組み込まれています。OS/2 ドライバの繁体中国語、簡体中国語、韓国語、日本語の各言語版はありませんので、注意してください。

注記

HP OpenVMS ドライバは、h71000.www7.hp.com から入手できます。

適切なプリンタ ドライバの選択

MFP の用途に応じて、プリンタ ドライバを選択します。PCL 6 ドライバでしかご利用いただけない MFP 機能がありますので、注意してください。使用できる機能については、プリンタ ドライバのヘルプを参照してください。

- MFP の全機能を利用するには、PCL 6 ドライバを選択してください。オフィスでの一般的な印刷には、PCL 6 ドライバをご使用になることをお勧めします。最適なパフォーマンスと印刷品質が提供されます。
- 旧版の PCL プリンタ ドライバまたは旧型の製品との下位互換性が必要な場合は、PCL 5e ドライバを選択してください。
- 主に Adobe や Corel などの PostScript 専用プログラムから印刷を行い、PostScript3 との互換性や PS フォント DIMM サポートが必要になる場合は、PS ドライバを選択してください。

注記

プリンタ言語である PS と PCL の切り替えは、MFP により自動的に行われます。

プリンタ ドライバのヘルプ

プリンタ ドライバには、それぞれヘルプ画面が用意されています。ヘルプ画面は、[ヘルプ] ボタンをクリックするか、F1 キーを押すか、またはプリンタ ドライバの右上隅にある疑問符をクリックするかのいずれかの操作で起動できます（操作方法は、ご使用の Windows オペレ

ティング システムによって異なります)。ヘルプ画面には、特定のドライバに関する詳細情報が表示されます。プリンタ ドライバのヘルプは、ソフトウェア プログラムのヘルプとは別のヘルプ システムとして実装されています。

プリンタ ドライバへのアクセス

コンピュータからプリンタ ドライバにアクセスする方法については、次の一覧表を参照してください。

オペレーティング システム	一時的な設定変更 (1 つのソフトウェア プログラム)	プリント ジョブのデフォルト設定の変更 (すべてのソフトウェア プログラム)	設定内容の変更 (給紙トレイの新規追加など)
Windows 9X、 Windows NT、 Windows Me	[ファイル] メニューで [印刷] をクリックします。MFP を選択し、[プロパティ] をクリックします(これは一般的な操作方法で、実際の手順は異なる場合があります)。	[スタート] をクリックして [設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。適切な MFP アイコンを右クリックし、[プロパティ] (Windows 98 および Windows Me の場合) または [ドキュメントの既定値] (Windows NT 4.0 の場合) を選択します。	[スタート] をクリックして [設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。適切な MFP アイコンを右クリックして、[プロパティ] を選択します。[詳細] タブをクリックします。
Windows 2000、 Windows XP	[ファイル] メニューで [印刷] をクリックします。MFP を選択し、[プロパティ] または [初期設定] をクリックします(これは一般的な操作方法で、実際の手順は異なる場合があります)。	[スタート] をクリックして [設定] をポイントし、[プリンタ] または [プリンタと Fax] をクリックします。適切な MFP アイコンを右クリックして、[印刷設定] を選択します。	[スタート] をクリックして [設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。適切な MFP アイコンを右クリックして、[プロパティ] を選択します。[デバイスの設定] タブをクリックします。
Macintosh OS 9.1	[ファイル] メニューで [印刷] をクリックします。ポップアップメニューを使用して、必要に応じて設定を変更します。	[ファイル] メニューで [印刷] をクリックします。ポップアップメニューで設定を変更したら、[設定を保存] をクリックします。	デスクトップにあるプリンタアイコンをクリックします。[プリント] メニューから [設定の変更] を選択します。

オペレーティングシステム	一時的な設定変更 (1つのソフトウェア プログラム)	プリント ジョブのデフォルト設定の変更 (すべてのソフトウェア プログラム)	設定内容の変更 (給紙トレイの新規追加など)
Macintosh OS X 10.1	[ファイル] メニューで [印刷] をクリックします。ポップアップメニューを使用して、必要に応じて設定を変更します。	[ファイル] メニューで [印刷] をクリックします。ポップアップメニューで設定を変更したら、[カスタム設定を保存] をクリックします。これらの設定内容は、カスタム オプションとして保存されます。保存した設定内容を使用するには、プログラムを起動して印刷を行うたびに カスタム オプションを選択する必要があります。	MFP を削除して再インストールします。ドライバは、再インストール時に、新しいオプションを使って自動的に設定されます (AppleTalk 接続の場合)。コンフィギュレーション設定は、Classic モードでは利用できない場合があります。
Macintosh OS X.2	[ファイル] メニューで [印刷] をクリックします。ポップアップメニューを使用して、必要に応じて設定を変更します。	[ファイル] メニューで [印刷] をクリックします。ポップアップメニューを使用して、設定を変更します。[プリセット] ポップアップメニューで [別名で保存] をクリックし、プリセットの名前を入力します。ここで設定した内容は、[プリセット] メニューに保存されます。保存した設定内容を使用するには、プログラムを起動して印刷を行うたびに [プリセット] オプションを選択する必要があります。	[プリント センター] を開きます (ハード ドライブを選択し、[アプリケーション]、[ユーティリティ] の順にクリックして、[プリントセンター] をダブルクリックします)。プリンタ キューをクリックします。[プリンタ] メニューで [情報を見る] をクリックします。[インストール可能なオプション] メニューを選択します。コンフィギュレーション設定は、Classic モードでは利用できない場合があります。

オペレーティング システム	一時的な設定変更 (1 つのソフトウェア プログラム)	プリント ジョブのデフォルト設定の変更 (すべてのソフトウェア プログラム)	設定内容の変更 (給紙トレイの新規 追加など)
Macintosh OS X.3	[ファイル] メニューで [印刷] をクリックします。ポップアップメニューを使用して、必要に応じて設定を変更します。	[ファイル] メニューで [印刷] をクリックします。ポップアップメニューを使用して、設定を変更します。 [プリセット] ポップアップメニューで [別名で保存] をクリックし、[プリセット] の名前を入力します。ここで設定した内容は、プリセットメニューに保存されます。保存した設定内容を使用するには、プログラムを起動して印刷を行うたびに [プリセット] オプションを選択する必要があります。	プリンタ設定ユーティティを開きます (ハード ドライブを選択し、[アプリケーション]、[ユーティリティ] の順にクリックして、[プリンタ設定ユーティリティ] をダブルクリックします)。プリンタ キューをクリックします。[プリンタ] メニューで [情報を見る] をクリックします。[インストール可能なオプション] メニューを選択します。

Macintosh 対応ソフトウェア

Macintosh コンピュータで本製品を利用できるようにするために、HP インストーラにより PPD (PostScript Printer Description) ファイル、PDE (Printer Dialog Extension)、および HP LaserJet Utility が実装されます。

MFP がネットワークに接続されている場合は、Macintosh コンピュータで埋め込み型 Web サーバを使用することができます。

PPD (PostScript Printer Description) ファイルと PDE (Printer Dialog Extension)

MFP の機能にアクセスできるようにし、コンピュータが MFP との通信を確立できるようにするためには、PostScript ドライバと PPD を組み合わせて使用します。PPD、PDE などのソフトウェアのインストール プログラムは、CD-ROM に収録されています。PS ドライバについては、オペレーティング システムに付属の適切なドライバを使用してください。

HP LaserJet Utility

HP LaserJet Utility は、プリンタ ドライバからアクセスできない機能の制御に使用します。表示される画面から、目的の MFP の機能を選択します。HP LaserJet Utility を使って実行できる操作は、次のとおりです。

- MFP の指定、MFP のネットワーク ゾーンへの割り当て、ファイルやフォントのダウンロード
- IP 印刷に対応した MFP の設定

注記

HP LaserJet Utility は、現在 Macintosh OS X ではサポートされていませんが、Classic モードではサポートされています。

印刷システム ソフトウェアのインストール

ここでは、印刷システム ソフトウェアのインストール手順について説明します。

MFP には、印刷システム ソフトウェアとプリンタ ドライバを収録した CD-ROM が付属しています。MFP のすべての機能を利用するには、CD-ROM に収録されている印刷システム ソフトウェアをインストールする必要があります。

CD-ROM ドライブを利用できない場合は、インターネット経由で www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp にアクセスし、そこから印刷システム ソフトウェアをダウンロードしてください。

注記

UNIX (HP-UX®、Sun Solaris) および Linux ネットワークに対応したモデル スクリプトのサンプルは、www.hp.com/support/net_printing からご利用いただけます。

Windows 印刷システム ソフトウェアのインストール (ローカル接続)

ここでは、Microsoft Windows 98、Windows Me、Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows Server 2003、および Windows XP に印刷システム ソフトウェアをインストールする手順について説明します。

注記

Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows Server 2003、または Windows XP にインストールする場合は、管理者権限が必要です。

印刷システム ソフトウェアをローカル接続環境にインストールするときは、必ず、パラレルケーブルを接続する前にソフトウェアをインストールしてください。ソフトウェアをインストールする前にパラレル ケーブルを接続した場合は、「[パラレル ケーブル接続後のソフトウェアインストール](#)」を参照してください。

印刷システム ソフトウェアをインストールするには

- 1 開いているソフトウェア プログラムまたは実行中のソフトウェア プログラムをすべて閉じます。
- 2 印刷ソフトウェアが収録されている CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。ようこそ画面が開かない場合は、以下の手順に従います。
 - a [スタート] メニューで [ファイル名を指定して実行] をクリックします。
 - b 「X:/setup」と入力します (X には CD-ROM ドライブ文字を指定します)。
 - c [OK] をクリックします。
- 3 プロンプトが表示されたら、[プリンタのインストール] をクリックして、画面に表示される指示に従って操作します。
- 4 [完了] をクリックしてインストールを完了します。コンピュータの再起動が必要になる場合があります。
- 5 テスト ページまたは任意のソフトウェア プログラムからページを印刷して、ソフトウェアが正常にインストールされていることを確認します。

インストールが正常に行われていない場合は、ソフトウェアを再インストールします。再インストールしても正常に動作しない場合は、CD-ROM に収録されているインストール ノートおよび Readme ファイル、または MFP に付属の HP サポートの小冊子を参照してください。あるいは、www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp にアクセスして、ヘルプまたは詳細情報を確認してください。

Windows 印刷システム ソフトウェアのインストール(ネットワーク接続)

CD-ROM に収録されているソフトウェアは、Microsoft ネットワークを使用したネットワーク インストールに対応しています。その他のオペレーティング システム上でネットワーク インストールを行う方法については、www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照するか、あるいは MFP に付属の『ネットワーク インストール ガイド』を参照してください。

HP Jetdirect プリント サーバには、10/100Base-TX ネットワーク ポートが備わっています。HP Jetdirect プリント サーバでその他のネットワーク ポートを使用する場合は、「[パートとアクセサリ](#)」か、あるいは www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照してください。

Novell サーバ上で MFP のインストールまたは MFP オブジェクトの作成はサポートされていません。Windows コンピュータと MFP の間のダイレクトモードによるネットワーク インストールのみサポートされています。Novell サーバ上で MFP のインストールやオブジェクトの作成を行う場合は、HP ユーティリティ (HP Web Jetadmin や HP Install Network Printer ウィザードなど) または Novell ユーティリティ (NWadmin など) を使用してください。

印刷システム ソフトウェアをインストールするには

- 1 設定ページを印刷して、HP Jetdirect プリント サーバがネットワーク上で正しく設定されていることを確認します(「[情報ページを印刷するには](#)」を参照)。印刷された 2 番目のページを参照して、MFP の IP アドレスを確認します。ネットワーク インストールの完了時に、このアドレスが必要になることがあります。DHCP IP 設定を使用している MFP では、この 2 番目のページに記載されている名前を使用します。この名前を使用しないと、タイム オーバーが原因で MFP がシャットダウンしたときに、DHCP が同じ IP アドレスを発行できないことがあります。
- 2 開いているソフトウェア プログラムまたは実行中のソフトウェア プログラムをすべて閉じます。
- 3 印刷ソフトウェアが収録されている CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。ようこそ画面が開かない場合は、以下の手順に従います。
 - a [スタート] メニューで [ファイル名を指定して実行] をクリックします。
 - b 「x:/setup」と入力します(X には CD-ROM ドライブ文字を指定します)。
 - c [OK] をクリックします。
- 4 プロンプトが表示されたら、[プリントのインストール] をクリックして、画面に表示される指示に従って操作します。
- 5 [完了] をクリックしてインストールを完了します。コンピュータの再起動が必要になる場合があります。
- 6 テスト ページまたは任意のソフトウェア プログラムからページを印刷して、ソフトウェアが正常にインストールされていることを確認します。

注記

インストールが正常に行われていない場合は、ソフトウェアを再インストールします。再インストールしても正常に動作しない場合は、CD-ROM に収録されているインストール ノートおよび Readme ファイル、または MFP に付属の HP サポートの小冊子を参照してください。あるいは、www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp にアクセスして、ヘルプまたは詳細情報を確認してください。

ネットワーク MFP を使用するための Windows コンピュータの設定 (Windows 共有を使用)

パラレル ケーブルで MFP を直接コンピュータに接続している場合 (ローカル接続)、ネットワーク上で MFP を共有して、他のネットワーク ユーザーも同じ MFP を使えるようにすることができます。

Windows 共有の設定方法については、Windows のマニュアルを参照してください。MFP の共有設定が完了したら、MFP を共有するすべてのコンピュータに、印刷システム ソフトウェアをインストールします。

Macintosh 印刷システム ソフトウェアのインストール (ネットワーク接続)

ここでは、Macintosh 対応印刷システム ソフトウェアのインストール手順について説明します。印刷システム ソフトウェアは、Mac OS 8.6 ~ 9.2.x および Mac OS 10.1 以降のバージョンをサポートしています。

印刷システム ソフトウェアには、次のコンポーネントが含まれています。

- **PPD (PostScript Printer Description) ファイル**

PPD と PostScript プリンタ ドライバによって、MFP の機能を使用できるようになります。PPD やその他のソフトウェアのインストール プログラムは、MFP に付属の CD-ROM に収録されています。プリンタ ドライバは、コンピュータに付属の Apple 8 プリンタ ドライバを使用します。

- **HP LaserJet Utility**

HP LaserJet Utility は、プリンタ ドライバからアクセスできない機能の制御に使用します。表示される画面から目的の MFP の機能を選択し、次の操作を行ってください。

- MFP を指定する
- ネットワーク ゾーンに MFP を割り当てる
- MFP に IP アドレスを割り当てる
- ファイルとフォントをダウンロードする
- IP または AppleTalk 印刷用に MFP を設定する

注記

HP LaserJet Utility は、現在 Macintosh OS X ではサポートされていませんが、Classic モードではサポートされています。

プリンタ ドライバをインストールするには (Mac OS 8.6 ~ 9.2)

- 1 HP Jetdirect プリント サーバとネットワーク ポートをネットワーク ケーブルで接続します。
- 2 印刷ソフトウェアが収録されている CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。自動的に、CD-ROM メニューが起動します。CD-ROM メニューが自動的に起動しない場合は、デスクトップの CD-ROM アイコンをダブルクリックし、続いて [インストーラ] アイコンをダブルクリックします。このアイコンは、スタート CD-ROM の Installer/<language> フォルダにあります (ここで、<language> は言語設定内容を示します。たとえば、Installer/English フォルダには英語版ソフトウェアの [インストーラ] アイコンが配置されています)。
- 3 画面に表示される指示に従います。
- 4 {起動ディスク}: アプリケーション : ユーティリティ フォルダにある Apple Desktop Printer Utility を開きます。
- 5 [プリンタ (AppleTalk)] をダブルクリックします。
- 6 [AppleTalk プリンタの選択] の隣にある [変更] をクリックします。
- 7 MFP を選択し、[自動設定]、[作成] の順にクリックします。
- 8 [印刷] メニューから [デフォルトのプリンタ設定] を選択します。

注記

アイコンは、一般にデスクトップに表示されます。プリント パネルの中には、プログラムの印刷関連のダイアログ ボックスに表示されるものもあります。

プリンタ ドライバをインストールするには (Mac OS 10.1 以降)

- 1 HP Jetdirect プリント サーバとネットワーク ポートをネットワーク ケーブルで接続します。
- 2 印刷ソフトウェアが収録されている CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。自動的に、CD-ROM メニューが起動します。CD-ROM メニューが自動的に起動しない場合は、デスクトップの CD-ROM アイコンをダブルクリックし、続いて [インストーラ] アイコンをダブルクリックします。このアイコンは、スタータ CD-ROM の Installer/<language> フォルダにあります (ここで、<language> は言語設定内容を示します。たとえば、Installer/English フォルダには英語版ソフトウェアの [インストーラ] アイコンが配置されています)。
- 3 HP LaserJet Installers フォルダをダブルクリックします。
- 4 画面に表示される指示に従います。
- 5 使用する言語の [インストーラ] アイコンをダブルクリックします。
- 6 ハード ドライブで、[アプリケーション]、[ユーティリティ]、[プリント センター] の順にダブルクリックします。
- 7 [プリンタを追加] をクリックします。
- 8 接続タイプ AppleTalk (OS X 10.1 の場合) または Rendezvous (OS X 10.2 の場合) を選択します。
- 9 MFP 名を指定します。
- 10 [プリンタを追加] をクリックします。
- 11 ウィンドウの左上隅にある閉じるボタンをクリックして、プリント センターを閉じます。

注記

Macintosh コンピュータは、パラレル ポートで直接 MFP に接続することはできません。

パラレル ケーブル接続後のソフトウェア インストール

Windows コンピュータにパラレル ケーブルを接続していると、コンピュータを起動したときに、新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されます。

CD 検索と印刷システム ソフトウェアのインストールを自動的に実行するには

- 1 [新しいハードウェアの追加ウィザード] ダイアログ ボックスで、画面の指示に従って操作し、CD-ROM ドライブを検索するように指定します。
- 2 [次へ] をクリックします。
- 3 画面に表示される指示に従います。
- 4 テスト ページまたは任意のソフトウェア プログラムからページを印刷して、ソフトウェアが正常にインストールされていることを確認します。

インストールが正常に行われていない場合は、ソフトウェアを再インストールします。再インストールしても正常に動作しない場合は、CD-ROM に収録されているインストール ノートおよび Readme ファイル、または MFP に付属の HP サポートの小冊子を参照してください。あるいは、www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp にアクセスして、ヘルプまたは詳細情報を確認してください。

ソフトウェアのアンインストール

ここでは、印刷システム ソフトウェアのアンインストール手順について説明します。

ソフトウェアを削除するには (Windows オペレーティング システム)

HP LaserJet 9040mfp/ ツール プログラム グループまたは HP LaserJet 9050mfp/ ツール プログラム グループの [アンインストーラ] を使用し、Windows HP 印刷システム ソフトウェア コンポーネントの一部またはすべてを選択して削除します。

- 1 [スタート] をクリックして [プログラム] をポイントします。
- 2 MFP 名をクリックし、[ツール] をクリックします。
- 3 [アンインストーラ] をクリックします。
- 4 [次へ] をクリックします。
- 5 アンインストールする HP 印刷システム ソフトウェアのコンポーネントを選択します。
- 6 [OK] をクリックします。
- 7 画面に表示される手順に従って、アンインストールを実行します。

ソフトウェアを削除するには (Macintosh オペレーティング システム)

HP LaserJet フォルダと PPD を、ゴミ箱にドラッグします。

ネットワーク対応ソフトウェア

ご利用いただける HP ネットワーク インストール / 設定ソフトウェア ソリューションの概要については、『HP Jetdirect プリント サーバ管理者用ガイド』を参照してください。このガイドは、MFP に付属の CD-ROM に収録されています。

HP Web Jetadmin

HP Web Jetadmin を使用すると、イントラネット内部で HP Jetdirect に接続されている製品を、ブラウザ経由で管理できます。HP Web Jetadmin はブラウザベースの管理ツールであり、1つのネットワーク管理サーバ上にインストールして使います。Red Hat Linux、Suse Linux、Windows NT 4.0 Server、Windows NT 4.0 Workstation、Windows 2000 Professional、Windows 2000 Server、Windows 2000 Advanced Server、および Windows XP (SP1) 上にインストールして実行できます。

HP Web Jetadmin の最新バージョンやサポート対象ホスト システムの最新情報は、HP カスタマ ケア オンライン (www.hp.com/go/webjetadmin) に掲載されています。

ホスト サーバ上にインストールされている HP Web Jetadmin には、Microsoft Internet Explorer 5.5/6.0、Netscape Navigator 7.0 などのサポートされている Web ブラウザを使用して、どのクライアントからでもアクセスできます。

HP Web Jetadmin には、次のような特長があります。

- タスク重視のユーザー インタフェースを実装した設定可能なビューが提供されるため、ネットワーク管理者は大幅に時間を節約できる。
- カスタマイズ可能なユーザー プロファイルにより、ネットワーク管理者は、各ユーザーが表示 / 使用する機能のみを管理することが可能になる。
- ハードウェア障害、サプライ品の残量低下、MFP の問題などが生じた場合、適切な担当者宛てに電子メールで即時に通知する。
- 標準的な Web ブラウザを使って、任意の場所から、リモート インストールやリモート 管理を実行できる。
- 高度な自動検知機能によりネットワーク上の周辺機器が検知されるため、MFP 情報を個別にデータベースに入力する必要がない。

- エンタープライズの管理パッケージを、シンプルな統合パッケージにすることができます。
- IP アドレス、カラー機能、モデル名などのパラメータを使用して、ユーザーは、すばやく周辺機器を探すことができる。
- 操作が容易な仮想オフィス マップを使用して、簡単に周辺機器を論理グループに構成できる。
- 一度に複数の製品を対象とした設定と管理を行える。

HP Web Jetadmin の最新情報については、www.hp.com/go/webjetadmin を参照してください。

UNIX

HP Jetdirect Printer Installer for UNIX は、HP-UX および Solaris ネットワーク向けの簡単なインストール ユーティリティです。このユーティリティは、HP カスタマ ケア オンライン www.hp.com/support/net_printing からダウンロードいただけます。

ユーティリティ

ネットワーク上の MFP の監視や管理を簡単に行えるようにするために、MFP には、いくつかのユーティリティが用意されています。

埋め込み型 Web サーバ

この MFP には、埋め込み型 Web サーバが搭載されています。このサーバを使用すると、MFP やネットワークの使用状況を確認できます。Windows などのオペレーティング システムによってコンピュータ上でプログラムを実行できる環境が提供されるのと同様に、埋め込み型 Web サーバによって Web プログラムを実行できる環境が提供されます。これらのプログラムが出力する情報は、Microsoft Internet Explorer や Netscape Navigator などの Web ブラウザで表示できます。

Web サーバが「埋め込み型」であるということは、これがネットワーク サーバにロードされるソフトウェアではなく、(MFP などの) ハードウェア デバイスやファームウェアに常駐していることを意味します。

埋め込み型 Web サーバを使用することの利点は、ネットワークに接続されているコンピュータや標準的な Web ブラウザを使用するすべてのユーザーに対して、MFP へのインターフェースを提供できることです。特定のソフトウェアのインストールや設定を行う必要はありません。HP 埋め込み型 Web サーバの詳細については、『HP Embedded Web Server User Guide (埋め込み型 Web サーバ ユーザー ガイド)』を参照してください。このガイドは、MFP に付属の CD-ROM に収録されています。

埋め込み型 Web サーバの特長や機能の詳細については、「埋め込み型 Web サーバ」を参照してください。

HP Toolbox

HP Toolbox は Web 専用のソフトウェア プログラムです。これを使用すると以下のような作業を実行できます。

- MFP のステータスの確認
- MFP の情報ページの印刷

HP Toolbox は、MFP をネットワークに接続した時点で利用可能になります。HP Toolbox を使用するには、ソフトウェアを完全にインストールする必要があります。

HP Toolbox の詳細については、「HP Toolbox」を参照してください。

その他のコンポーネントとユーティリティ

ソフトウェア プログラムには、Windows ユーザーや Macintosh OS ユーザーが使用できるものと、ネットワーク管理者が使用できるものがあります。これらのプログラムの概要を、以下の一覧表に示します。

Windows	Macintosh OS	ネットワーク管理者
<ul style="list-style-type: none">● ソフトウェア インストーラー—印刷システム ソフトウェア インストールを自動実行● オンライン登録● HP Toolbox	<ul style="list-style-type: none">● PPD (PostScript Printer Description) ファイル—Mac OS に付属の PostScript ドライバとともに使用● LaserJet Utility (インターネット経由で入手可能)—Mac OS ユーザー向けの製品管理ユーティリティ● HP Toolbox (Mac OS X v10.2 以降)	<ul style="list-style-type: none">● HP Web Jetadmin—ブラウザベースの管理ツール (最新の HP Web Jetadmin ソフトウェアについては www.hp.com/go/webjetadmin を参照)● HP Jetdirect Printer Installer for UNIX—www.hp.com/support/net_printing から入手可能

HP Jetdirect 埋め込み型プリント サーバによる通信

MFP には、埋め込み型プリント サーバが搭載されています。ネットワークで MFP との通信を確立できない場合は、埋め込み型プリント サーバの動作を確認してください。埋め込み型 Jetdirect の設定ページで、「I/O CARD READY (I/O カードの準備ができました)」というメッセージが表示されていることと、ネットワークが正しく設定されていることを確認します。手順の詳細については、「[設定ページの印刷](#)」を確認してください。

プリント サーバがネットワークに自動的にリンクされたかどうかは、次の手順で確認します。

- MFP の LAN (RJ-45) コネクタ上のリンク LED ランプが点灯しているかどうかを確認します。点灯していれば、リンクが確立しています。リンクが確立していないときは、LED ランプは 2 つともオフになっています。
- 埋め込み型 Jetdirect 設定ページに、エラー メッセージがあるかどうかを確認します。「LOSS OF CARRIER ERROR (キャリアの消失エラー)」というメッセージが表示されているときは、リンクは確立していません。

リンクが確立されていないときは、すべてのネットワーク ケーブルの接続を調べてください。また、MFP のコントロール パネル メニューを使って ([メニュー] ボタンを押して [CONFIGURE DEVICE] (デバイスの設定)、[I/O]、[EMBEDDED JETDIRECT MENU] (埋め込み型 Jetdirect メニュー)、[LINK SPEED] (リンク速度) の順に選択)、埋め込み型プリント サーバのリンク設定を手動で行う方法もあります。

注記

HP Jetdirect プリント サーバは、802.11 ネットワークなど、さまざまなネットワーク接続に対応しています。

HP Jetdirect プリント サーバによる通信

ネットワークで MFP との通信を確立できない場合は、プリント サーバの動作を確認してください。Jetdirect の設定ページで、「I/O CARD READY (I/O カードの準備ができました)」というメッセージが表示されていることを確認します。

設定ページの印刷

- 1 タッチスクリーン式グラフィックディスプレイで、[Menu]（メニュー）を押します。
 - 2 [Information]（情報）を押します。
 - 3 [Print Configuration]（設定の印刷）を押します。
- トラブルシューティングに関する詳細については、プリントサーバに付属のマニュアルを参照してください。

埋め込み型 Web サーバ

HP LaserJet 9040mfp/9050mfp には、埋め込み型 Web サーバが搭載されています。HP 埋め込み型 Web サーバを使用すると、ご使用のコンピュータで MFP やネットワークカードのステータス情報を表示したり、印刷機能を管理することができます。HP 埋め込み型 Web サーバを使用して実行できる操作は、次のとおりです。

- MFP のステータス情報の表示
- サプライ品の残量確認、新しいサプライ品の注文
- トレイ設定の表示および変更
- MFP のコントロールパネルメニュー構成の表示および変更
- プリンタ情報ページの表示および印刷
- MFP やサプライ品のイベントログ通知の確認
- 他の Web サイトへのリンクの追加やカスタマイズ
- 埋め込み型 Web サーバページに表示される言語の選択
- ネットワーク設定の表示および変更

通常は MFP のコントロールパネルで行うようなプリントジョブ管理機能を、埋め込み型 Web サーバを使用して実行することもできます。たとえば次のような操作を行うことができます。

- MFP の設定の変更
- MFP の構成の変更
- プリントジョブのキャンセル

埋め込み型 Web サーバへのアクセス

注記

埋め込み型 Web サーバを使用するには、IP ベースネットワークと Web ブラウザが必要です。

ご使用の Web ブラウザで、MFP に割り当てられている IP アドレスを入力します。たとえば、MFP の IP アドレスが 169.1.2.3 である場合は、次のように入力します。http://169.1.2.3

詳細については、『HP Embedded Web Server User Guide (埋め込み型 Web サーバユーザーガイド)』を参照してください。このガイドは、www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp から入手可能です。

HP Toolbox

HP Toolbox は、次のような操作を実行できる Web アプリケーションです。

- MFP のステータスの確認
- MFP の情報ページの印刷

HP Toolbox は、MFP をネットワークに接続した時点で利用可能になります。HP Toolbox ソフトウェアは、プリンタソフトウェアの標準インストールの一環として、自動的にインストールされます。

注記

HP Toolbox を使用するためにはインターネットにアクセスする必要があります。ただし、[その他のリンク] にあるリンクをクリックすると、その関連サイトにアクセスするためにインターネット接続が必要になります。詳細については、「[その他のリンク](#)」を参照してください。

サポート対象のオペレーティング システム

HP Toolbox は、次のオペレーティング システムでサポートされています。

- Windows 98、Windows 2000、Windows Me、Windows Server 2003、Windows XP
- Macintosh OS 10.2 以降

サポート対象のブラウザ

HP Toolbox を使用するには、以下のいずれかのブラウザが必要です。

- Microsoft Internet Explorer 5.5 以降 (Macintosh の場合は Internet Explorer 5.2 以降)
- Netscape Navigator 7.0 以降 (Macintosh の場合は Netscape Navigator 7.0 以降)
- Opera Software ASA Opera 7.0 for Windows
- Safari 1.0 for Macintosh

HP Toolbox ページはすべて、ブラウザから印刷できます。

HP Toolbox を表示するには

[スタート] メニューから [プログラム] をポイントし、[HP LaserJet 9040mfp/9050mfp]、[HP LaserJet Toolbox] の順にクリックします。

注記

システムトレイアイコンまたはデスクトップアイコンをクリックして、HP Toolbox を表示することもできます。

Web ブラウザに HP Toolbox が開きます。

注記

HP Toolbox を開いたら、後ですぐに戻ってこられるように、ブラウザ内にブックマークを付けることができます。

HP Toolbox のセクション

HP Toolbox ソフトウェアには、次のようなセクションとオプションがあります。

- [ステータス] タブ
- [警報] タブ
- [デバイスの設定] ボタン
- HP Toolbox リンク
- その他のリンク

[ステータス]タブ

[ステータス]タブには、次のメインページへのリンクがあります。

- **デバイスのステータス**：MFPのステータス情報が表示されます。このページには、紙詰まりやトレイが空になっているなど、MFPの状態が表示されます。このページに表示される仮想コントロールパネルボタンを使用して、MFPの設定を変更します。MFPの問題を解決したら、[更新]ボタンをクリックしてデバイスステータスを更新します。
- **サプライ品のステータス**：プリントカートリッジのトナーの残量レベルや現在のプリントカートリッジで印刷されたページ数など、サプライ品に関する詳細なステータス情報が表示されます。このページには、サプライ品の注文やリサイクル情報の検索を行うページへのリンクも掲載されています。
- **情報ページの印刷**：設定ページのほか、サプライ品のステータスページ、デモページ、メニュー マップなど、MFPに関する情報ページが印刷されます。

[警報]タブ

[警報]タブでは、MFPに関する警告を自動的に通知するように、MFPを設定できます。

[警報]タブには、次のメインページへのリンクがあります。

- Set up status alerts (ステータス警報のセットアップ)
- Administrative settings (管理設定)

Set up status alerts (ステータス警報のセットアップ)ページ

Set up status alerts (ステータス警報のセットアップ)ページでは、警報のオン/オフ切り替え、警報送信のタイミング指定、警報タイプの選択を行うことができます。警報タイプは、次のいずれかから選択します。

- ポップアップメッセージ
- タスクバー アイコン

設定内容を有効にするには、[Apply]をクリックします。

Administrative settings (管理設定)ページでは、HP ToolboxがMFP警報を確認する頻度を指定します。次の選択肢があります。

- Less often: 15,000ミリ秒ごと
- Normal: 8,000ミリ秒ごと
- More often: 4,000ミリ秒ごと

MFPが警報をチェックする頻度を低くすると、ネットワークのI/Oトラフィックを軽減することができます。

[デバイスの設定]ボタン

[デバイスの設定]ボタンをクリックすると、MFPの埋め込み型Webサーバに接続できます。

詳細については、「埋め込み型Webサーバ」を参照してください。

HP Toolboxリンク

画面左側に表示されるHP Toolboxリンクは、次のオプションへのリンクを示します。

- **Select a device**: HP Toolboxを使用できるデバイス一覧の中から、デバイスを選択します。
- **View current alerts**: インストールされているすべての製品に関する現在の警報を表示します(印刷して確認する必要があります)。
- **Text only page**: HP Toolboxを、テキストのみを表示するページにリンクするサイトマップとして表示します。

その他のリンク

HP Toolbox の各ページには、以下の情報を掲載した HP Web サイトへのリンクが示されています。

- 製品登録
- 製品サポート
- サプライ品の注文
- HP Instant SupportTM

これらのリンクには、インターネット経由でアクセスする必要があります。ダイアルアップ接続を使用している場合で、HP Toolbox を直接開こうとしてインターネットに接続できないときは、まずインターネットに接続してから、これらの Web サイトにアクセスしてみてください。

給紙トレイへの用紙のセット

ここでは、標準サイズとカスタムサイズの用紙を4つの給紙トレイにセットする方法について説明します。

注意

紙詰まりを防ぐため、印刷中にトレイ1で用紙の追加や取り出しを行ったり、トレイ2、トレイ3、トレイ4を開けたりすることは絶対にしないでください。

プリンタの損傷を防ぐため、ラベル紙、封筒、OHPフィルムを印刷する際はトレイ1のみを使用し、上部ビンに排紙するようにしてください。ラベル紙、封筒、OHPフィルムでは両面印刷は行わないでください。

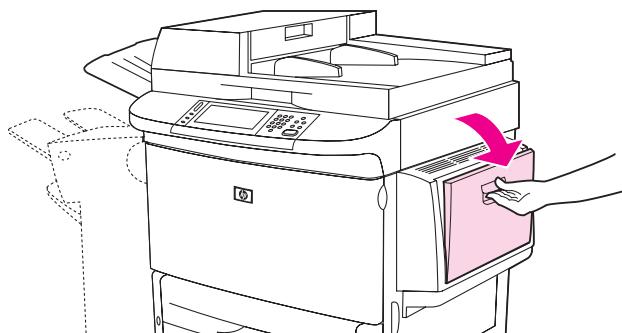
トレイ1への用紙のセット

トレイ1には、用紙は100枚まで、封筒は10枚までセットできます。サポートされている用紙の詳細については、「[用紙の仕様](#)」を参照してください。

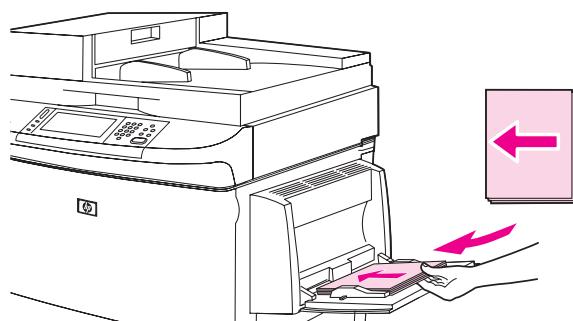
トレイ1に用紙をセットするには(1回限りの使用)

ここで説明する手順は、トレイ1を通常は空のままにしており、さまざまなサイズの用紙に印刷することが多い場合に参考にしてください。

- トレイ1を開きます。



- サイズと仕上げオプションに合わせて、用紙をセットします。印刷済み用紙、レターヘッド用紙、穴あき用紙をセットする手順については、「[用紙の向きの設定](#)」を参照してください。



注意

紙詰まりを防ぐため、ラベル紙は1枚ずつ印刷してください。

- 3 用紙ガイドを調整し、用紙の束に軽く触れるようにします。そのときに用紙がたわまないようにしてください。



- 4 用紙は、ガイドのタブの下に収まるようにします。用紙の束の高さが、用紙レベル インジケータを超えることのないようにしてください。

注記

A3、11 x 17 などのサイズの大きい用紙に印刷する場合は、トレイの延長部分を止まるところまで引き出してください。

- 5 用紙をセットして数秒以内に、コントロールパネルディスプレイを確認します（数秒以上経過した場合は、トレイを開けてまた閉めます）。
- 6 コントロールパネル上に「TRAY 1 < タイプ > < サイズ >」というメッセージが表示されていない場合、トレイの使用準備が整ったことを示しています。
- 7 「TRAY 1 < タイプ > < サイズ >」というメッセージが表示されている場合は、[OK] を押して、用紙のサイズとタイプの設定を変更します。サイズのメニューが表示されます。
- 8 [ANY SIZE]（任意のサイズ）を押します。コントロールパネルに、「SETTING SAVED（設定が保存されました）」と表示されます。
- 9 [ANY TYPE]（任意のタイプ）を押します。コントロールパネルに、「SETTING SAVED（設定が保存されました）」と表示されます。
- 10 コントロールパネルに、「TRAY 1 ANY SIZE ANY TYPE（トレイ 1: 任意のサイズ、任意のタイプ）」と表示されます。これで、1回限りでさまざまな用紙を使用することができます。
- 11 [EXIT]（終了）を押して、サイズとタイプの設定を確定します。

トレイ 1 に用紙をセットするには（複数のプリントジョブで使用）

ここで説明する手順は、トレイ 1 に常に同じタイプの用紙をセットし、別のプリントジョブを実行中のときもトレイ 1 を取り外すことのない場合に使用してください。この手順を使用すると、トレイ 1 から印刷する場合の MFP のパフォーマンスを向上させることができます。

注意

紙詰まりを防ぐため、印刷中に、トレイでの用紙の追加や取り出しあは行わないでください。

- 1 [メニュー] ボタンを押します。
- 2 [PAPER HANDLING]（用紙の取り扱い）を押します。
- 3 [TRAY 1 SIZE] を押します。
- 4 適切な用紙サイズを押します。コントロールパネルに、「SETTING SAVED（設定が保存されました）」と表示されます。

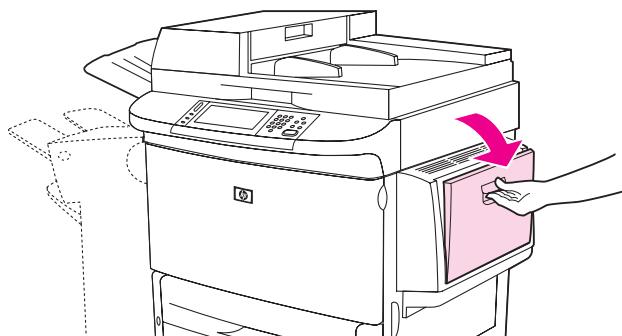
注記

用紙サイズに [CUSTOM]（カスタム）を指定する場合は、計測単位および X と Y の寸法も指定します。

- 5 [TRAY 1 TYPE] を押します。
- 6 適切な用紙タイプを押します。コントロールパネルに、「SETTING SAVED（設定が保存されました）」と表示されます。

7 [EXIT] (終了)を押して、メニューを終了します。

8 トレイ1を開きます。



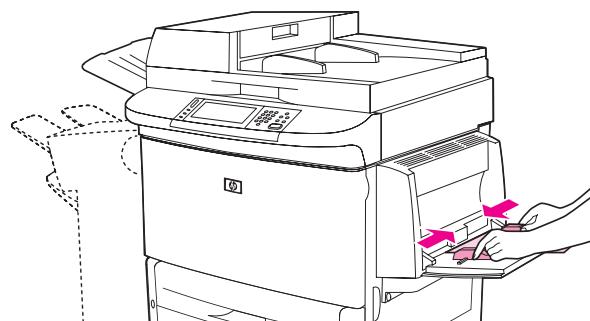
9 サイズと仕上げオプションに合わせて、用紙をセットします。印刷済み用紙、レターヘッド用紙、穴あき用紙をセットする手順については、「[用紙の向きの設定](#)」を参照してください。



注意

紙詰まりを防ぐため、ラベル紙は1枚ずつ印刷してください。

10 用紙ガイドを調整し、用紙の束に軽く触れるようにします。そのときに用紙がたわまないようにしてください。



11 用紙は、ガイドのタブの下に収まるようにします。用紙の束の高さが、用紙レベルインジケータを超えることのないようにしてください。

注記

A3、11 x 17 などのサイズの大きい用紙に印刷する場合は、トレイの延長部分を止まるところまで引き出してください。

12 用紙をセットして数秒以内に、コントロールパネルディスプレイを確認します。トレイの設定内容が表示されます(数秒以上経過した場合は、トレイを開けてまた閉めます)。

13 [EXIT] (終了)を押して、メニューを終了します。これで、トレイの使用準備が整いました。

トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4への用紙のセット

トレイ 2 とトレイ 3 には、標準用紙を 500 枚までセットできます。トレイ 4 には、標準用紙を 2,000 枚までセットできます。用紙の仕様については、「[用紙の仕様](#)」を参照してください。

トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 に用紙をセットするには（自動認識が可能な標準サイズの用紙）

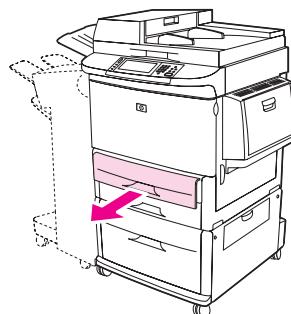
ここで説明する手順は、トレイに自動認識が可能な標準サイズの用紙をセットするときの参考にしてください。トレイにマークのある自動認識が可能なサイズの用紙は、次のとおりです。

- A4
- レター
- A3
- リーガル
- エグゼクティブ
- 11 x 17
- B4 (JIS)
- B5 (JIS)
- A4 (回転)
- レター (回転)

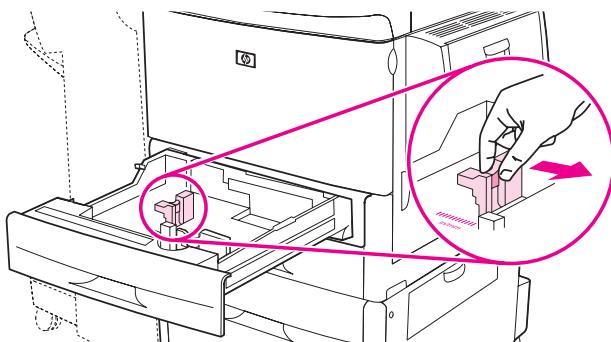
注意

紙詰まりを防ぐため、印刷中に、トレイでの用紙の追加や取り出しあは行わないでください。

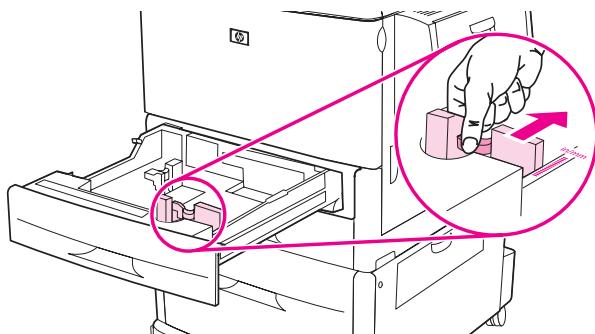
- 1 トレイを完全に開きます（止まるまで引き出します）。



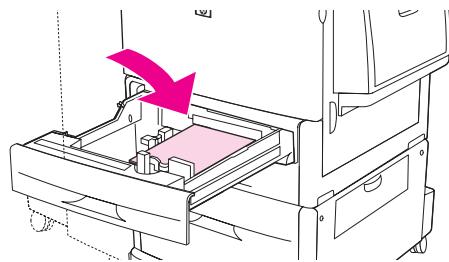
- 2 左側 (Y) 用紙ガイドのタブを押し、用紙の束の端までスライドさせて調節します。



3 前面(X)用紙ガイドのタブを押し、用紙の束の端までスライドさせて調節します。



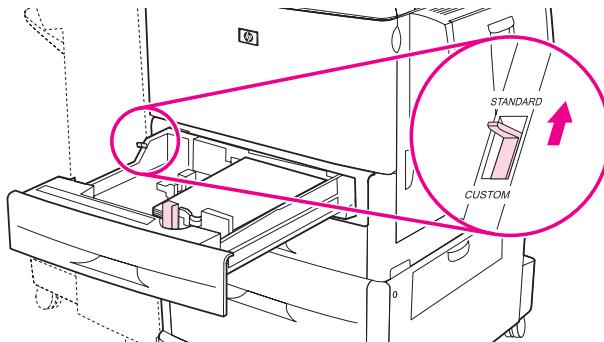
4 サイズに合わせて用紙をセットします(用紙の向きを確認してください)。



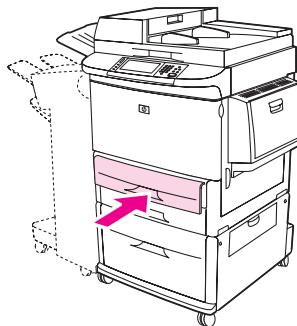
注記

印刷済み用紙、レターHEAD用紙、穴あき用紙をセットする手順については、「用紙の向きの設定」を参照してください。

5 CUSTOM/STANDARDスイッチを「STANDARD」にセットします。



6 トレイを閉じます。



- 7 トレイを閉じて数秒以内に、コントロールパネルディスプレイを確認します（数秒以上経過した場合は、トレイを開けてまた閉めます）。コントロールパネルに、トレイの設定内容（用紙のサイズとタイプ）が表示されます。次のいずれかの操作を行います。
 - サイズとタイプの設定が正しい場合は、[EXIT]（終了）を押して設定を確定します。
 - サイズとタイプの設定が正しくない場合は、[OK]を押します。[TRAY N SIZE=<SIZE>]メニューが表示されます。
- 8 サイズの設定を変更する場合は、適切な用紙サイズを押します。数秒の間、「SETTING SAVED（設定が保存されました）」というメッセージが表示され、その後にトレイのタイプを選択するメニューが表示されます。

注記

選択した用紙のサイズによって、トレイのCUSTOM/STANDARDスイッチを別の位置にセットするようにプロンプトが表示されることがあります。また、用紙ガイドの位置を調整するようにプロンプトが表示されることがあります。コントロールパネルに表示される手順に従って操作し、トレイを閉じます。そして、上記手順7からもう一度操作してください。

- 9 タイプの設定を変更する場合は、適切な用紙タイプを押します。数秒の間、「SETTING SAVED（設定が保存されました）」というメッセージが表示され、その後にサイズとタイプの設定が表示されます。
- 10 サイズとタイプの設定が正しい場合は、[EXIT]（終了）を押して設定を確定します。これで、トレイの使用準備が整いました。

トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 に用紙をセットするには（自動認識が不可能な用紙）

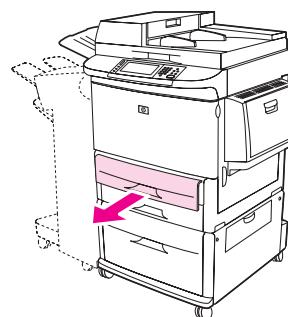
ここで説明する手順は、トレイに自動認識が不可能な標準サイズの用紙をセットするときの参考にしてください。自動認識が不可能なサイズの用紙は、次のとおりです。

- 8K
- 16K
- A5
- ステートメント
- JIS エグゼクティブ
- 8.5 x 13 (216 x 330mm)

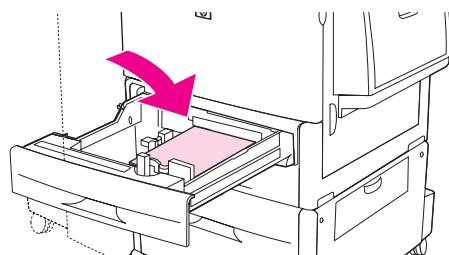
注意

紙詰まりを防ぐため、印刷中に、トレイでの用紙の追加や取り出しあは行わないでください。

- 1 トレイを完全に開きます（止まるまで引き出します）。



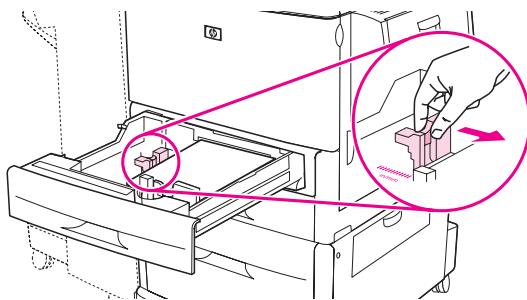
- 2 前面用紙ガイドのタブを押し、外側に止まるまでスライドさせます。
- 3 左側用紙ガイドのタブを押し、外側に止まるまでスライドさせます。
- 4 サイズに合わせて用紙をセットします（用紙の向きを確認してください）。



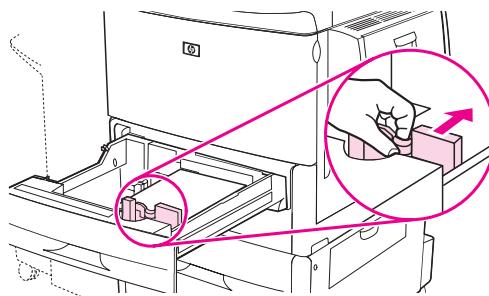
注記

印刷済み用紙、レターヘッド用紙、穴あき用紙をセットする手順については、「[用紙の向きの設定](#)」を参照してください。

- 5 左側用紙ガイドのタブを押して用紙ガイドをスライドさせ、用紙の束に軽く触れるようにします。



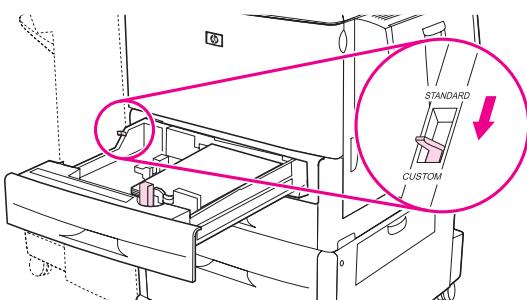
- 6 前面用紙ガイドのタブを押して用紙ガイドをスライドさせ、用紙の束に軽く触れるようにします。



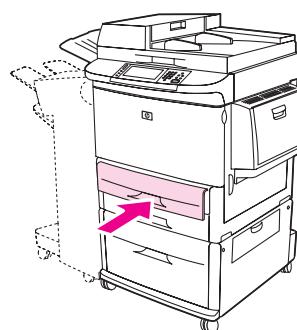
注記

トレイ 4 の場合は、用紙ガイドを上側のロック位置にセットしてください。

- 7 CUSTOM/STANDARD スイッチを「CUSTOM」にセットします。



- 8 トレイを閉じます。



- 9 トレイを閉じて数秒以内に、コントロールパネルディスプレイを確認します（数秒以上経過した場合は、トレイを開けてまた閉めます）。コントロールパネルに、トレイの設定内容（用紙のサイズとタイプ）が表示されます。次のいずれかの操作を行います。
 - ・ サイズとタイプの設定が正しい場合は、[EXIT]（終了）を押して設定を確定します。
 - ・ サイズとタイプの設定が正しくない場合は、[OK]を押します。[TRAY N SIZE=<SIZE>]メニューが表示されます。
- 10 サイズの設定を変更する場合は、適切な用紙サイズを押します。数秒の間、「SETTING SAVED（設定が保存されました）」というメッセージが表示され、その後にトレイのタイプを選択するメニューが表示されます。

注記

選択した用紙のサイズによって、トレイのCUSTOM/STANDARDスイッチを別の位置にセットするようにプロンプトが表示されることがあります。また、用紙ガイドの位置を調整するようにプロンプトが表示されることもあります。コントロールパネルに表示される手順に従って操作し、トレイを閉じます。その後、上記手順9からもう一度操作してください。

- 11 タイプの設定を変更する場合は、適切な用紙タイプを押します。数秒の間、「SETTING SAVED（設定が保存されました）」というメッセージが表示され、その後にサイズとタイプの設定が表示されます。
- 12 サイズとタイプの設定が正しい場合は、[EXIT]（終了）を押して設定を確定します。これで、トレイの使用準備が整いました。

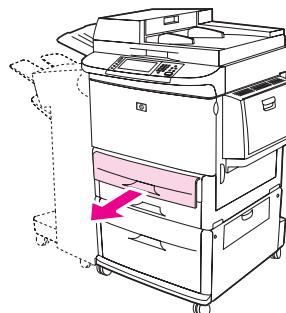
トレイ2、トレイ3、トレイ4に用紙をセットするには（カスタム用紙）

ここで説明する手順は、トレイにカスタムサイズの用紙をセットするときの参考にしてください。

注意

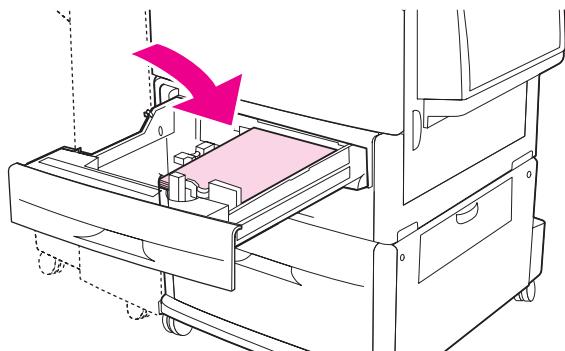
紙詰まりを防ぐため、印刷中に、トレイでの用紙の追加や取り出しあは行わないでください。

- 1 トレイを完全に開きます（止まるまで引き出します）。



- 2 前面(X)用紙ガイドのタブを押し、外側に止まるまでスライドさせます。
- 3 左側(Y)用紙ガイドのタブを押し、外側に止まるまでスライドさせます。

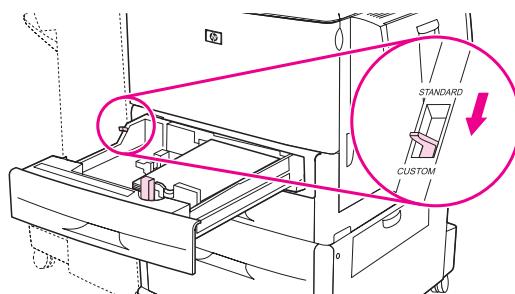
4 サイズに合わせて用紙をセットします（用紙の向きを確認してください）。



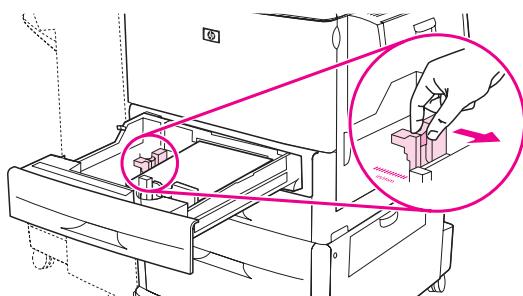
注記

印刷済み用紙、レター／ヘッド用紙、穴あき用紙をセットする手順については、「用紙の向きの設定」を参照してください。

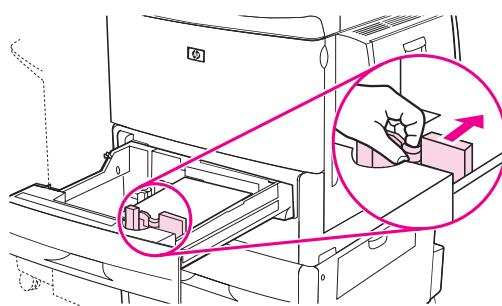
5 CUSTOM/STANDARD スイッチを「CUSTOM」にセットします。



6 左側 (Y) 用紙ガイドのタブを押して用紙ガイドをスライドさせ、用紙の束に軽く触れるようになります。



7 前面 (X) 用紙ガイドのタブを押して用紙ガイドをスライドさせ、用紙の束に軽く触れるようになります。

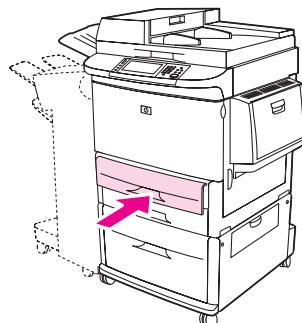


- 8 用紙の向きと、XとYの寸法値をメモに残してください。XとYの寸法値は、トレイにマークされています。この情報は、後の手順で必要になります。

注記

トレイ4の場合は、用紙ガイドを上側のロック位置にセットしてください。

- 9 トレイを閉じます。



- 10 トレイを閉じて数秒以内に、コントロールパネルディスプレイを確認します（数秒以上経過した場合は、トレイを開けてまた閉めます）。コントロールパネルに、トレイの設定内容（用紙のサイズとタイプ）が表示されます。

- サイズとタイプの設定が正しい場合は、[EXIT]（終了）を押して設定を確定します。これで、トレイの使用準備が整いました（カスタム寸法を正確に設定しなくてもいい場合は、以降の手順を実行する必要はありません。詳細については、下記の「注記」を参照してください）。
- サイズの設定を変更する場合は、[OK]を押します。[TRAY N SIZE==<SIZE>]メニューが表示されます。

注記

コントロールパネルに表示されるサイズが[CUSTOM]（カスタム）である場合、トレイサイズは[ANY CUSTOM]（任意カスタム）に設定されています。このように設定しておくと、プリントジョブの寸法とトレイにセットされている用紙の寸法が異なる場合でも、すべてのカスタムサイズのプリントジョブに対して、トレイに設定されている用紙が使用されます。必要であれば、トレイにセットしているカスタムサイズの用紙の正確な寸法を指定することができます。正確な寸法を指定すると、コントロールパネルには[CUSTOM]（カスタム）ではなく、その寸法値のサイズが表示されます。

- 11 [CUSTOM]（カスタム）を押します。[UNIT OF MEASURE]（計測単位）メニューが表示されます。

注記

トレイのCUSTOM/STANDARDスイッチを別の位置にセットするように指示するプロンプトが表示されることがあります。また、用紙ガイドの位置を調整するようにプロンプトが表示されることもあります。コントロールパネルに表示される手順に従って操作し、トレイを閉じます。そして、上記手順10からもう一度操作してください。

- 12 計測単位([MILLIMETERS]（ミリメートル）または[INCHES]（インチ）)を押します（トレイガイド上の寸法を使用する場合は、[MILLIMETERS]（ミリメートル）を選択してください）。
- 13 数字キーパッドを使用して、X寸法（用紙の縦の寸法）を指定します。
- 14 [OK]を押します。
- 15 数字キーパッドを使用して、Y寸法（用紙の横の寸法）を指定します。
- 16 [OK]を押します。数秒の間、コントロールパネルに「SETTING SAVED（設定が保存されました）」というメッセージが表示されます。次に、トレイサイズの寸法値が表示されます。
- 17 [EXIT]（終了）を押して、設定内容を確定します。これで、トレイの使用準備が整いました。

トレイの設定 [PAPER HANDLING] (用紙の取り扱い) メニューを使用)

コントロールパネルディスプレイに表示されるプロンプトを使用しなくても、給紙トレイにセットする用紙のタイプとサイズを指定できます。ここで説明する手順は、[PAPER HANDLING] (用紙の取り扱い) メニューを使用してトレイを設定するときの参考にしてください。

トレイの用紙サイズを設定するには

- 1 [メニュー] ボタンを押します。
- 2 [PAPER HANDLING] (用紙の取り扱い) を押します。
- 3 [TRAY N SIZE] を押します。
- 4 セットした用紙のサイズを押します。
- 5 [EXIT] (終了) を押して、メニューを終了します。

注記

選択した用紙のサイズによって、トレイの CUSTOM/STANDARD スイッチを別の位置にセットするようにプロンプトが表示されることがあります。また、用紙ガイドの位置を調整するようにプロンプトが表示されることもあります。コントロールパネルに表示される手順に従つて操作し、トレイを閉じます。

トレイの用紙タイプを設定するには

- 1 [メニュー] ボタンを押します。
- 2 [PAPER HANDLING] (用紙の取り扱い) を押します。
- 3 [TRAY N TYPE] を押します。
- 4 セットした用紙のタイプを押します。
- 5 [EXIT] (終了) を押して、メニューを終了します。

2 コントロール パネル

概要

MFP のコントロール パネルには、コピー、電子メール、印刷を統合的に操作できるタッチスクリーン式のグラフィック ディスプレイがあります。

コントロール パネルから、標準的なコピー機にあるあらゆる機能に加えて、印刷機能や電子メール機能を操作できます。コントロール パネルを使用して、原稿の指定、スキャンしたイメージの変更、コピーの設定を行うことができます。たとえば、原稿を A4 サイズ、両面印刷、テキストなどと指定し、コピーの拡大縮小やコントラストの変更を適用できます。次に、トレイや用紙サイズなどのコピー オプションを選択します。グラフィック ディスプレイには、元の原稿とコピーの両方の見本イメージ(ページアイコン)が表示されます。

これ以外にも、システムのデフォルト設定の指定、特定のジョブの設定のカスタマイズ、印刷したジョブやスキャンしたジョブの保存と取得を実行できるメニューがあります。

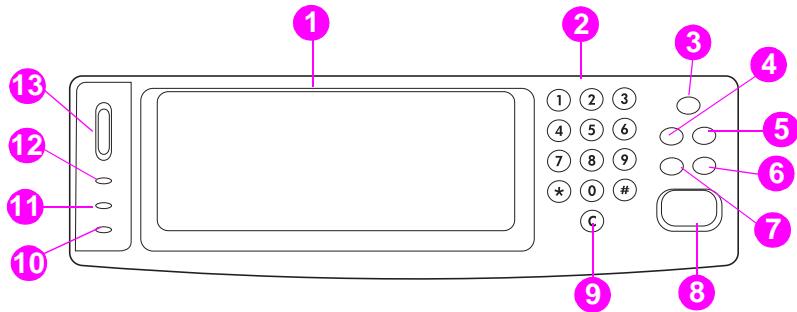
この章では、コントロール パネルの以下の項目について説明します。

- コントロール パネルの配置
- ホーム画面の操作
- ヘルプ システム

送信、コピー、および印刷作業に関する具体的な内容については、この後の章で説明します。

コントロール パネルの配置

コントロール パネルには、タッチスクリーン式のグラフィック ディスプレイ、ジョブをコントロールするためのボタン、数字キーパッド、および 3 つの LED インジケータ ランプがあります。



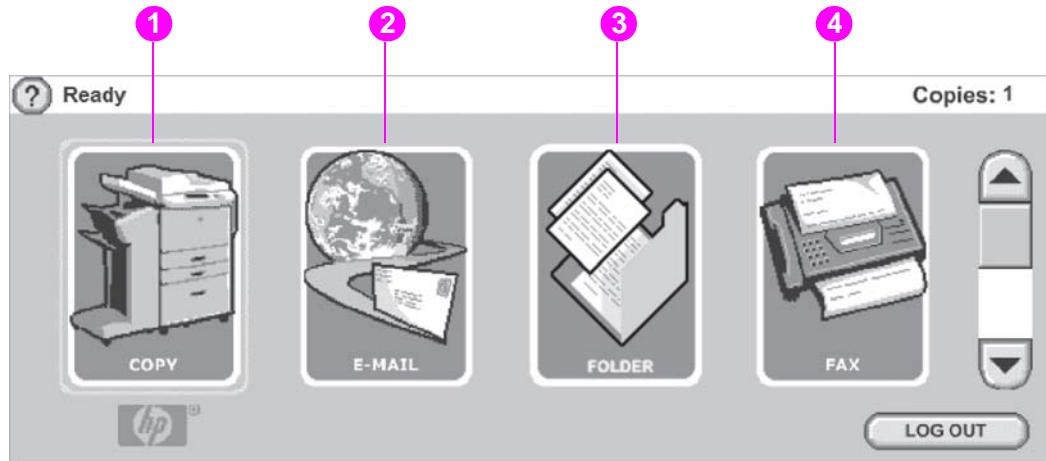
1. タッチスクリーン式グラフィック ディスプレイ
2. 数字キーパッド
3. [スリープ] ボタン
4. [メニュー] ボタン
5. [ステータス] ボタン
6. [ストップ] ボタン
7. [リセット] ボタン
8. [スタート] ボタン
9. [クリア] ボタン
10. 注意ランプ
11. データ ランプ
12. 印刷可能ランプ
13. ディスプレイのコントラスト調整つまみ

コントロール パネルの機能

機能 / キー	機能の説明
?	「What is this? (機能説明)」ヘルプを表示します。この機能は、タッチスクリーンメニューに組み込まれています。
リセット	ジョブの設定を出荷時またはユーザー定義のデフォルト値にリセットします。
ストップ	実行中のジョブをキャンセルします。
スタート	コピー ジョブまたはデジタル送信を開始します。あるいは、中断していたジョブを再開します。
数字キー パッド	必要なコピー枚数など、数値の入力に使用します。

ホーム画面の操作

コントロール パネルの、グラフィック ディスプレイ内にある以下の項目を使用して MFP の機能にアクセスします。



1. コピー画面を使用する場合はここを押します。詳細については、「コピー画面の操作」を参照してください。
2. 電子メール画面を使用する場合はここを押します。詳細については、「電子メールの基礎知識」を参照してください。
3. フォルダ画面を使用する場合はここを押します。詳細については、「ドキュメントの送信」を参照してください。
4. FAX 画面を使用する場合はここを押します。詳細については、『ファックス ガイド』を参照してください。

ヘルプ システム

タッチスクリーン式グラフィック ディスプレイのヘルプ システムには、いつでもアクセスできます。

「What is this? (機能説明)」ヘルプ

MFP では、タッチスクリーン式グラフィック ディスプレイ上でさまざまなトピックに関する情報を確認できます。トップ レベルの画面で、?を押し、次に [What is this?] を押します。項目に触れると、ポップアップ ダイアログ ボックスが開いてその項目に関する情報が表示されます。情報を読んだら、画面上のクリア スペースを押して [What is this?] ポップアップ ダイアログ ボックスを閉じます。

これ以外の画面では、各画面の左上隅にある?を押すと、ヘルプ システムにアクセスできます。

「Show me how (操作のヒント)」ヘルプ

「Show me how (操作のヒント)」ヘルプでは、MFP の機能の使い方に関する情報が表示されます。

- 1 コントロール パネルのタッチスクリーン式グラフィック ディスプレイ上で、ヘルプ ボタンを押します。
- 2 [Show me how] (操作のヒント) を押します。[Show Me How Index] (操作のヒントの索引) 画面からトピックを選択するには、スクロール バーを使用してトピックをハイライト表示します。
- 3 [OK] を押します。

[What is this?] (機能説明) ポップアップ ダイアログにも、選択した項目に手順説明が含まれる場合には [Show me how] (操作のヒント) が表示されます。たとえば、[What is this?] (機能説明) を押して次に [Enhance] (拡張機能) を押すと、ポップアップ ダイアログ ボックスに [Show me how] (操作のヒント) ボタンが表示されます。[Show me how] (操作のヒント) ボタンを押すと、コピーの拡張機能を使用する方法が表示されます。

トピックの印刷

[Show me how] (操作のヒント) で表示される手順を印刷するには、次の手順に従います。

- 1 ?を押します。
- 2 [Show me how] (操作のヒント) を押します。
- 3 目的のトピックを押します。

3 印刷

概要

この章では、以下の項目について説明します。

- 用紙の向きの設定
- 基本的な印刷手順
- 排紙ビンの指定
- 封筒の印刷
- 特殊な用紙への印刷
- 用紙の両面への印刷（両面印刷）
- プリンタ ドライバ機能の使用
- 登録の設定
- 最初のページに別の用紙を使用
- 裏表紙（白紙）の追加
- 用紙 1 枚に複数ページを印刷
- トレイ 1 のカスタマイズ
- 印刷する用紙の指定
- ジョブ保存機能
 - プライベート ジョブの印刷
 - プリント ジョブの保存
 - クイックコピー ジョブの作成
 - ジョブの試し刷りと保留

用紙の向きの設定

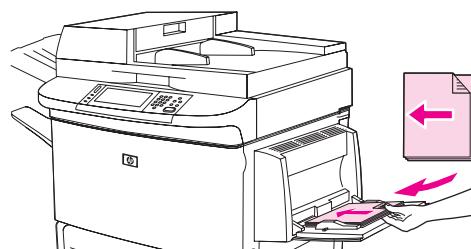
印刷に使用するトレイと、両面印刷を行うかどうか（用紙の両面に印刷するかどうか）によって、用紙の向きを設定します。

下の表を参照して、トレイ内の用紙およびその他のメディアの向きを決めてください。

用紙のタイプ	トレイ	用紙の両面 (両面印刷)	用紙の向き
レターまたはA4 (レター ヘッドを含む) (最大重量 216g/m ²) (58lb のボンド紙)	1	しない *	長辺を給紙方向に合わせ、印刷面を上向きにします。
レターまたはA4 (レター ヘッドを含む) (最大重量 216g/m ²) (58lb のボンド紙)	1	する	長辺を給紙方向に合わせ、最初に印刷する面を下向きにします。

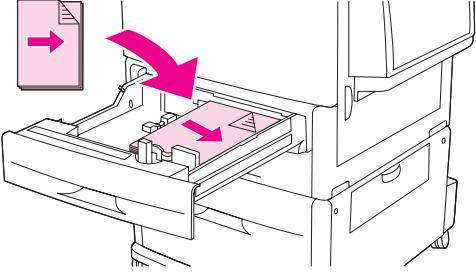
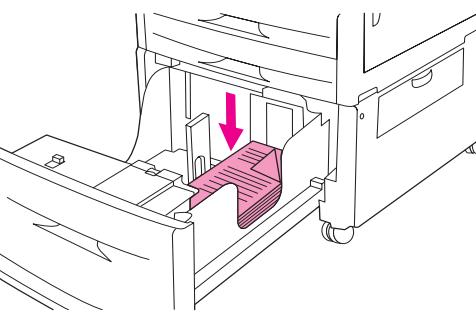
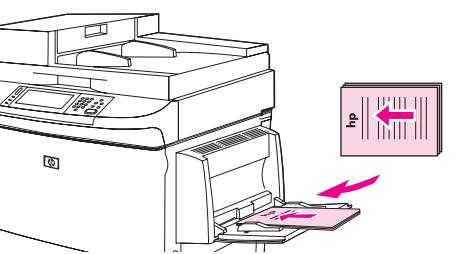
注記

トレイ 1 に適した用紙のサイズとタイプを使用すると、両面印刷のパフォーマンスが向上します。

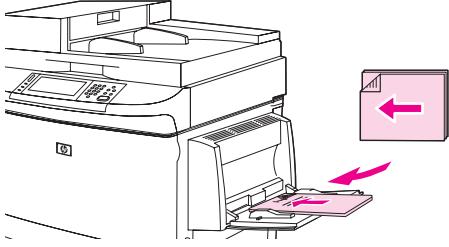
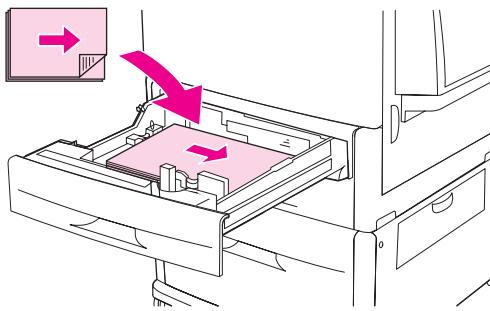
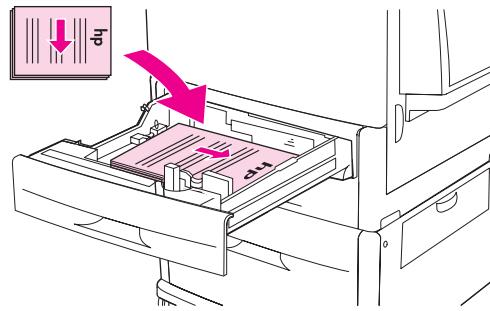


注記：穴あき用紙と印刷済み用紙 / レターヘッド用紙の両方に印刷する場合は、印刷済み用紙 / レターヘッド用紙に合わせて用紙の向きをセットします。

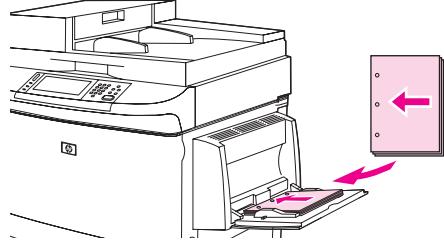
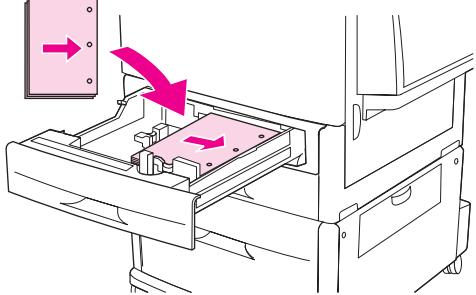
* 代替レターヘッド モードで用紙タイプにレターヘッド用紙または印刷済み用紙を使用する場合は、両面印刷用の向きで用紙をセットする必要があります。詳細については、「[代替レターヘッド モード](#)」を参照してください。

用紙のタイプ	トレイ	用紙の両面 (両面印刷)	用紙の向き
レターまたは A4 (レターヘッドを含む) (最大重量 199g/m ²) (53lb のボンド紙)	2、3、 または 4	しない *	<p>長辺を給紙方向に合わせ、印刷面を下向きにします。</p> 
レターまたは A4 (レターヘッドを含む) (最大重量 199g/m ²) (53lb のボンド紙)	2、3、 または 4	する	<p>長辺を給紙方向に合わせ、最初に印刷する面を上向きにします。</p> 
その他の標準サイズ とカスタム サイズ (最大重量 216g/m ²) (58lb のボンド紙)	1	しない *	<p>短辺を給紙方向に合わせ、印刷面を上向きにします。</p> 

* 代替レターヘッド モードで用紙タイプにレターヘッド用紙または印刷済み用紙を使用する場合は、両面印刷用の向きで用紙をセットする必要があります。詳細については、「[代替レターヘッド モード](#)」を参照してください。

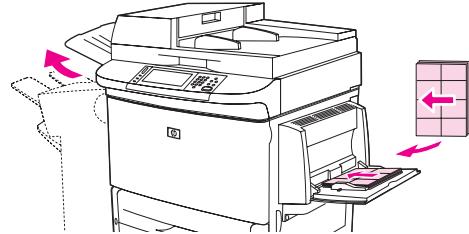
用紙のタイプ	トレイ	用紙の両面 (両面印刷)	用紙の向き
その他の標準サイズ とカスタム サイズ (最大重量 216g/m ²) (58lb のボンド紙)	1	する	短辺を給紙方向に合わせ、最初に印刷する面を下向きにします。
注記 トレイ 1 に適した用紙のサイズとタイプを使用すると、両面印刷のパフォーマンスが向上します。			
その他の標準サイズ とカスタム サイズ (最大重量 199g/m ²) (53lb のボンド紙)	2、3、 または 4	しない *	短辺を給紙方向に合わせ、印刷面を下向きにします。
			
その他の標準サイズ とカスタム サイズ (最大重量 199g/m ²) (53lb のボンド紙)	2、3、 または 4	する	短辺を給紙方向に合わせ、最初に印刷する面を上向きにします。
			

* 代替レターヘッド モードで用紙タイプにレターヘッド用紙または印刷済み用紙を使用する場合は、両面印刷用の向きで用紙をセットする必要があります。詳細については、「[代替レターヘッド モード](#)」を参照してください。

用紙のタイプ	トレイ	用紙の両面 (両面印刷)	用紙の向き
穴あき用紙、レター または A4 (最大重量 216g/m ²) (58lb のボンド紙)	1	する / しない	穴のある長辺を給紙方向に合わせ、印刷面 (最初に印刷する面) を上向きにします。
注記 トレイ 1 に適した用 紙のサイズとタイプ を使用すると、両面 印刷のパフォーマン スが向上します。			
注記： 穴あき用紙と印刷済み用紙 / レター ヘッド用紙の両方に印刷する場合は、印刷 済み用紙 / レターヘッド用紙に合わせて用 紙の向きをセットします。			
穴あき用紙、レター または A4 (最大重量 199g/m ²) (53lb のボンド紙)	2, 3、 または 4	する / しない	穴のある長辺を給紙方向に合わせ、印刷面 (最初に印刷する面) を下向きにします。
			
注記： 穴あき用紙と印刷済み用紙 / レター ヘッド用紙の両方に印刷する場合は、印刷 済み用紙 / レターヘッド用紙に合わせて用 紙の向きをセットします。			

* 代替レターヘッド モードで用紙タイプにレターヘッド用紙または印刷済み用紙を使用する
場合は、両面印刷用の向きで用紙をセットする必要があります。詳細については、「**代替
レターヘッド モード**」を参照してください。

用紙のタイプ	トレイ	用紙の両面 (両面印刷)	用紙の向き
ラベル紙 (レター、A4)、OHP フィルム	トレイ 1 のみ	しない (両面印刷不可)	長辺を給紙方向に合わせ、印刷面を上向きにします。
封筒	トレイ 1 のみ	しない (両面印刷不可)	短辺を給紙方向に合わせ、印刷面を上向きにします。切手を貼るところに近い辺を MFP 側に向けます。封筒の高さが 190mm (7.5 インチ) 以上の場合、折り返し片を給紙方向に合わせます。それ以外の場合、折り返し片を給紙方向の逆向きに合わせます。



* 代替レターへッド モードで用紙タイプにレターへッド用紙または印刷済み用紙を使用する場合は、両面印刷用の向きで用紙をセットする必要があります。詳細については、「[代替レターへッド モード](#)」を参照してください。

代替レターへッド モード

Windows プリンタ ドライバには、代替レターへッド モードが実装されています。このモードは、(Windows の [コントロールパネル] から) MFP のプロパティを開いて、[デバイスの設定] タブで設定します。このモードに設定すると、レターへッド用紙と印刷済み用紙への印刷はすべて両面印刷として扱われます。つまり、片面印刷のときも両面印刷のときも、同じ要領で用紙をセットできます。印刷速度は両面印刷と同じになるため、片面印刷の場合は約半分の速度でジョブが完了します。

基本的な印刷手順

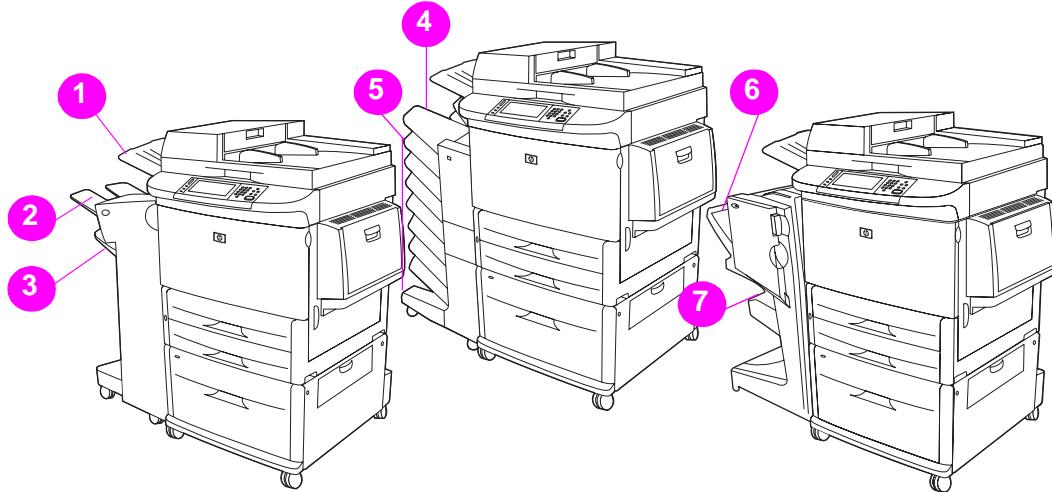
ここでは、MFP のオプションを Microsoft Windows または Macintosh オペレーティングシステムで設定して印刷する場合の手順を説明します。可能な場合は、MFP のオプションはソフトウェア プログラムまたは [印刷] ダイアログ ボックスで設定してください。ほとんどの Windows および Macintosh プログラムで、MFP のオプションを設定できます。プログラムやプリンタ ドライバから設定できない場合に、MFP のコントロール パネルを使用して設定してください。

印刷するには

- 1 MFP に用紙がセットされていることを確認します。手順の詳細については、「[給紙トレイへの用紙のセット](#)」または「[用紙の向きの設定](#)」を参照してください。
- 2 トレイ 2、トレイ 3、またはトレイ 4 にカスタムサイズの用紙をセットしている場合や、トレイ 1 に任意のサイズの用紙をセットしている場合は、その用紙サイズに合わせてトレイを設定します。手順の詳細については、「[給紙トレイへの用紙のセット](#)」を参照してください。
- 3 用紙サイズを設定します。
 - Windows の場合、[ファイル] メニューの [ページ設定] または [印刷] をクリックします。[印刷] を選択したら、この MFP が選択されていることを確認して、[プロパティ] をクリックします。
 - Macintosh の場合、[ファイル] メニューの [用紙設定] をクリックします。この MFP が選択されていることを確認します。
- 4 用紙サイズを指定するボックスで、以下のいずれかを選択します。
 - 使用している用紙のサイズ
 - カスタム
- 5 [縦] または [横] などのように、印刷の向きを指定します。
- 6 プリンタ ドライバが開いていない場合は、[ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。Windows プログラムの場合は、[プロパティ] もクリックします。
- 7 給紙トレイを指定するボックスで、用紙のタイプとサイズを選択するか、または使用するトレイを指定します。「[印刷する用紙の指定](#)」を参照してください。
- 8 両面印刷、透かし、最初のページに別の用紙を使用するなど、その他の必要な設定を選択します。これらの設定の詳細については、このセクションを参照してください。
- 9 [印刷] をクリックして、ジョブを印刷します。

排紙ビンの指定

MFP には、最低 2 つの排紙ビン (ADF 排紙ビン (1) と排紙デバイスの排紙ビン (2)) が備わっています。



排紙場所の選択は、ソフトウェア プログラムまたはプリンタ ドライバで行うことをお勧めします。詳細については、「[排紙場所の指定](#)」を参照してください。

MFP には、排紙デバイス上の排紙場所のほかに ADF 排紙ビン (1) が備わっています。

スタッカまたはスタッカ / ステイプラ排紙ビン

3,000 枚収納スタッカまたは3,000 枚収納スタッカ / ステイプラを選択する場合、使用される排紙ビンは上部ビン (2) (上向きビン) と下部ビン (3) (下向きビン) になります。

上部ビン (上向きビン) (2) は、スタッカまたはスタッカ / ステイプラの最上部にあるビンです。このビンでは用紙を 100 枚まで収納でき、MFP から排出された順番で上向きに収納されます。排紙ビンがいっぱいになると、センサによって処理が停止します。用紙を取り出して排紙ビンを空にするか、用紙の枚数を減らすと、印刷処理が継続されます。

下部ビン (下向きビン) (3) は、スタッカまたはスタッカ / ステイプラの下部にあるビンです。このビンでは用紙を 3,000 枚まで収納でき、ユーザーはスタッカまたはステイプルジョブを実行できます。このビンは、デフォルトの排紙ビンです。

8 ビン メールボックス排紙ビン

8 ビン メールボックスを選択すると、上部ビンと 8 つの下向きビンが排紙ビンになります。

上部ビン (4) では、用紙を 125 枚まで収納できます。

ネットワーク管理者は、8 つのビン (5) をユーザーやワークグループに割り当てることができます。それぞれのビンに用紙を 250 枚まで収納できます。

マルチファンクション フィニッシャ排紙ビン

マルチファンクション フィニッシャを選択すると、上部ビン (6) と下部ブックレット ビン (7) が排紙ビンになります。

上部ビン (6) は、マルチファンクション フィニッシャの最上部にあるビンです。このビンでは用紙を 1,000 枚まで収納できます。また、ジョブ オフセット機能も備えているため、ステイプルが不要なジョブを上向きまたは下向きに出力することができます。また、ドキュメントを 50 枚までステイプルで留める機能も備えています。マルチファンクション フィニッシャを装着しているときは、上部ビンがデフォルトの排紙ビンになります。

下部ブックレット ビン (7) は、マルチファンクション フィニッシャの下部にあるビンです。このビンでは、ブックレット (10 枚まで) の折り畳み / 中綴じを行うことができます。

排紙場所の指定

排紙場所（ビン）の選択は、ご使用的プログラムまたはドライバで行うことをお勧めします（オプションを選択する画面と方法は、ご使用的プログラムやプリンタ ドライバによって異なります）。プログラムやプリンタ ドライバから選択できない場合は、MFP のコントロールパネルを使用してデフォルトの排紙場所を設定してください。

コントロール パネルから排紙場所を選択するには

- 1 [Menu]（メニュー）を押します。
- 2 スクロールして、[Configure Device]（デバイスの設定）を押します。
- 3 スクロールして、[Printing]（印刷）を押します。
- 4 スクロールして [Paper Destination]（排紙先）を押し、排紙ビンのオプションを表示します。
- 5 目的の排紙ビンまたは排紙デバイスまでスクロールして、[OK] を押します。コントロールパネルに「SETTING SAVED（設定が保存されました）」というメッセージが表示され、数秒後に元の画面に戻ります。

封筒の印刷

封筒に印刷する場合は、トレイ 1 のみを使用します。トレイ 1 には封筒を 10 枚までセットできます。トレイ 1 は、さまざまなタイプの封筒に対応しています。

封筒印刷のパフォーマンスは、封筒の構造によって異なります。封筒を大量に購入する前に、何枚かのサンプルを使ってテストするようにしてください。封筒の仕様については、「用紙の仕様」か、あるいは www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照してください。

注意

留め金、スナップ、窓（透かし）などが付いていたり、ライニング コーティングや粘着シール（そのまま使えるタイプ）などの合成素材が使用されている封筒は、MFP に損傷を与える可能性があります。粘着剤の付いた封筒は、印刷に使用しないでください。

封筒に印刷するには、以下の基本的な手順に従います。

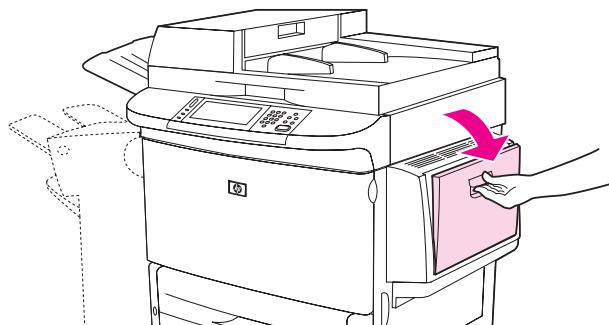
- 1 封筒をトレイ 1 にセットします。「トレイ 1 に封筒をセットするには」を参照してください。
- 2 フューザ レバーの位置を変更します。「フューザ レバーのセット位置を変更するには」を参照してください。
- 3 プリント ジョブを開始します。「プログラムを使って封筒に印刷するには」を参照してください。

注記

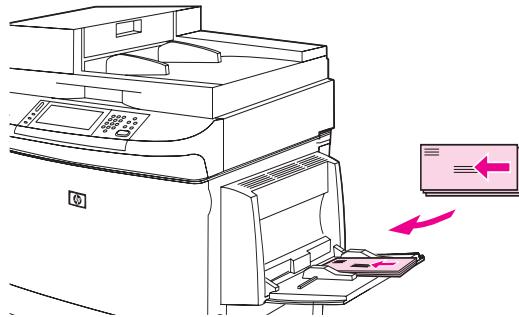
MFP から排出されるときに封筒にしわが寄っている場合は、「封筒のしわ防止」を参照してください。

トレイ 1 に封筒をセットするには

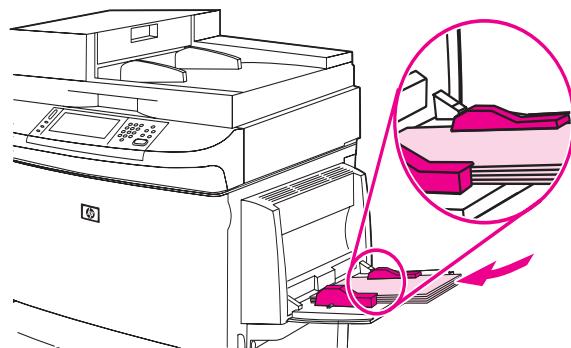
- 1 トレイ 1を開きます。ただし、延長部分は引き出さないでください（ほとんどの封筒は延長部分がなくても正しく給紙されますが、大型の封筒では延長部分が必要な場合があります）。



- 2 トレイ 1 の中央に、印刷面を上向きにして切手を貼るところに近い辺を MFP 側に向け、封筒をセットします（封筒は 10 枚までセットできます）。封筒を MFP に挿入します（力を加えなくても差し込むところまで挿入してください）。



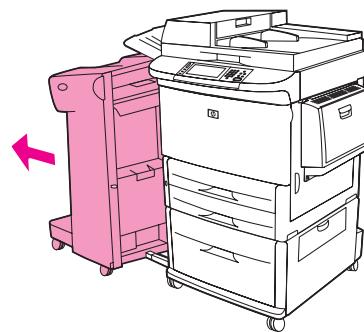
- 3 用紙ガイドを調整し、封筒の束に軽く触れるようにします。そのときに封筒がたわまないようにしてください。封筒がガイドのタブの下に収まっていることを確認します。



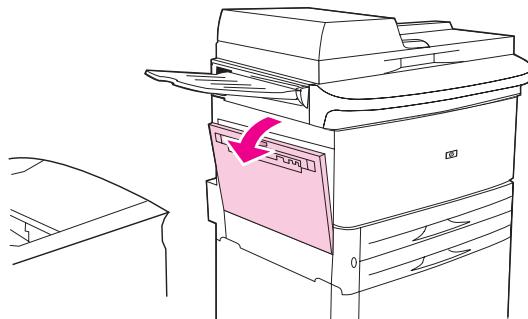
- 4 フューザ レバーのセット位置を変更します（「[フューザ レバーのセット位置を変更するには](#)」を参照）。

フューザ レバーのセット位置を変更するには

1 排紙デバイスを MFP から切り離して、左扉を開けるようにします。



2 左扉を開きます。



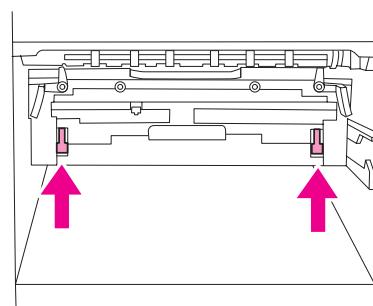
警告

すぐ横にあるフューズ領域には触れないようにしてください。高温になっている場合があります。

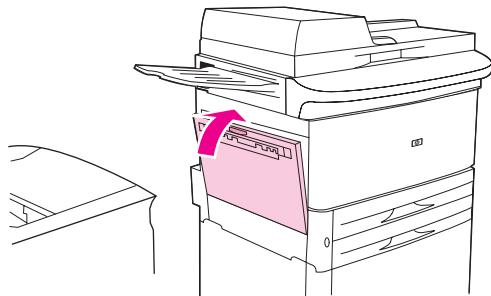
3 両側にある 2 つの青色レバーを引き起こします。

注記

封筒への印刷が終わったら、これらのフューザ レバーは下側の位置に戻してください。



4 左扉を閉じます。



5 排紙デバイスを元の位置に取り付けます。

プログラムを使って封筒に印刷するには

- 1 トレイ 1 に封筒をセットします。
- 2 ご使用のプログラムまたはプリンタ ドライバで、給紙トレイにトレイ 1 を指定します。
- 3 封筒のサイズとタイプを適切に設定します。封筒の仕様については、「用紙の仕様」を参照してください。
- 4 封筒のフォーマットが自動的に設定されない場合は、印刷の向きを「縦」に指定します。

注意

印刷を開始した後に、封筒を追加したり取り出したりしないようにしてください。紙詰まりの原因になります。

- 5 マージンは、封筒の端から 15mm (0.6 インチ) 以内に設定します。最良の印刷品質を実現するには、宛先の住所と差出人の住所の位置に適したマージンを設定します (一般的には、住所のマージンは商用 10 号 または DL 封筒用に設定されています)。封筒の背面にある 3 つの折り返し片が重なるところには、印刷しないようにしてください。
- 6 用紙のタイプとサイズを指定して印刷するには、「[印刷する用紙の指定](#)」を参照してください。
- 7 左側の上部ピンを排紙ピンとして選択します。
- 8 封筒への印刷が完了したら、フューザ レバーを下側の位置に戻します。

注意

フューザ レバーを下側の位置に戻さないままだと、標準的なタイプの用紙に印刷するときの印刷品質が低下します。

特殊な用紙への印刷

ここでは、特殊な用紙（レターヘッド用紙、ラベル紙、OHP フィルム、カスタムサイズの用紙、厚紙など）およびノビ紙に印刷する場合のガイドラインについて説明します。

レターヘッド、穴あき用紙、印刷済み用紙（片面）への印刷

- レターヘッド、穴あき用紙、印刷済み用紙への印刷では、用紙の向きを正しく設定してください。手順の詳細については、「用紙の向きの設定」を参照してください。
- 重量が 199g/m^2 (53lb のボンド紙) ~ 216g/m^2 (58lb のボンド紙) の用紙を使用する場合は、必ずトレイ 1 に用紙をセットしてください。「用紙の仕様」を参照してください。

レターヘッド、穴あき用紙、印刷済み用紙（両面）への印刷

- レターヘッド、穴あき用紙、印刷済み用紙への印刷では、用紙の向きを正しく設定してください。手順の詳細については、「用紙の向きの設定」を参照してください。
- 穴あき用紙で両面印刷を行う場合は、用紙のタイプとして穴あき用紙を選択する必要があります。コントロールパネルの [Paper Handling] (用紙の取り扱い) メニューかプリンタドライバの画面で設定してください。

ラベル紙への印刷

- ラベル紙に印刷する場合は、「用紙の向きの設定」のガイドラインに従って向きを設定してください。
- トレイ 1 には、ラベル紙を 50 枚までセットできます。
- レーザー プリンタ用として推奨されているラベル紙のみを使用し、ラベル紙が正しい仕様に適合していることを確認してください（詳細については、「用紙の仕様」および「ラベル紙」を参照してください）。

注意

MFP の損傷を防ぐため、以下のガイドラインは必ず守ってください。

特に次のような事項に注意してください。

- トレイ 1 に最大収納量いっぱいの枚数のラベル紙をセットしないようにしてください。ラベル紙は通常の用紙より厚みがある（重量がある）ためです。
- 台紙から外したラベル紙、しわの寄ったラベル紙など、正常でない状態のラベル紙は使用しないでください。
- 台紙が一部露出しているようなラベル紙も使用しないでください（台紙の露出がなく、完全に台紙に密着しているラベルを使用してください）。
- 同じラベル紙を何回も MFP に給紙するのはやめてください。粘着タイプの台紙を MFP 内部に通過させるのは 1 回にとどめてください。
- ラベル紙の両面印刷は行わないようにしてください。

OHP フィルムへの印刷

- OHP フィルムは、MFP の最大温度である 200°C (392°F) に耐えるものを使用する必要があります。
- レーザー プリンタ用として推奨されている OHP フィルムを使用してください。その他の OHP フィルムを使用すると、MFP に損傷を与える可能性があります。
- OHP フィルムの場合、上部ビンを排紙場所として選択します。

注意

OHP フィルムの両面印刷は行わないようにしてください。MFP に損傷を与えたたり、紙詰まりが発生することがあります。

カスタムサイズの用紙、カード ストック、厚紙に関するガイドライン

- カスタムサイズの用紙に印刷する場合は、トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 を使用できます。
- 199g/m² (53lb) を超える重量のある用紙に印刷する場合は、必ずトレイ 1 のみを使用してください。詳細については、「[用紙の仕様](#)」を参照してください。
- トレイ 1 から印刷する場合、給紙方向に合わせる辺の長さ（用紙の幅）は、98mm (3.9 インチ) 以上である必要があります。これは、MFP 内部のローラーが取り込むことのできる用紙の幅を示します。用紙の先端の幅は、312mm (12.3 インチ) を超えてはなりません。用紙の先端から終端までの長さは、191mm (7.5 インチ) ~ 470mm (18.5 インチ) である必要があります。
- トレイ 2 またはトレイ 3 から印刷する場合、給紙方向に合わせる辺の長さ（用紙の幅）は、148mm (5.8 インチ) 以上である必要があります。これは、MFP 内部のローラーが取り込むことのできる用紙の幅を示します。先端の幅は、297mm (11.7 インチ) を超えてはなりません。用紙の先端から終端までの長さは、210mm (8.3 インチ) ~ 432mm (17.0 インチ) である必要があります。
- トレイ 4 から印刷する場合、給紙方向に合わせる辺の長さ（用紙の幅）は、182mm (7.2 インチ) 以上である必要があります。これは、MFP 内部のローラーが取り込むことのできる用紙の幅を示します。先端の幅は、297mm (11.7 インチ) を超えてはなりません。用紙の先端から終端までの長さは、210mm (8.3 インチ) ~ 432mm (17.0 インチ) である必要があります。

ノビ紙への印刷

MFP では、最大 312 x 470mm (12.3 x 18.5 インチ) のカット紙に対応しているため、トリミングマークを使用して最大 297 x 450mm (11.7 x 17.7 インチ) のはみ出したイメージを印刷することができます。はみ出したイメージを印刷する場合は、トレイ 1 を使用してください。デフォルトでは、全幅印刷とはみ出したイメージの印刷の機能は「オフ」になっています。詳細については、ご使用のプログラムのヘルプを参照してください。

用紙の両面への印刷（両面印刷）

MFP では、自動的に用紙の両面に印刷されるように設定することができます。

注意

ラベル紙、封筒、OHP フィルム、199g/m² (53 ポンド) を超える重量の用紙では、両面印刷を行わないでください。MFP に損傷を与えたり、紙詰まりが発生することがあります。

用紙の両面への印刷

- 1 両面印刷に合わせて用紙をセットします（用紙の向きを確認してください）。手順の詳細については、「用紙の向きの設定」を参照してください。

注記

トレイ 1 に適した用紙のサイズとタイプを使用すると、両面印刷のパフォーマンスが向上します。

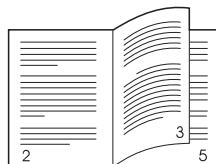
- 2 プログラムやプリンタ ドライバで【両面印刷】オプションを選択します。プログラムやプリンタ ドライバでこのオプションを選択できない場合は、MFP のコントロールパネルで設定します（[Configure Device]（デバイスの設定）メニューで [Printing]（印刷）メニューを選択し、[Duplex]（両面印刷）を押して [ON] を選択します）。
- 3 可能であれば、[印刷] ダイアログ ボックスで【綴じ方】と【印刷の向き】オプションを設定します。可能でない場合は、MFP のコントロールパネルから設定します。詳細については、「用紙の両面に印刷する場合のレイアウトオプション」を参照してください。

用紙の両面に印刷する場合のレイアウトオプション

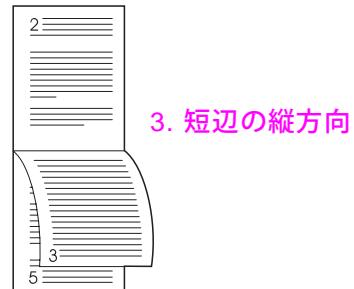
レイアウトオプションには、次の図に示すような 4 つのオプションがあります。可能であれば、[印刷] ダイアログ ボックスで MFP の【綴じ方】と【印刷の向き】のオプションを選択します。[印刷] ダイアログ ボックスに表示される綴じ方に関する用語は、ここで使用している用語と異なる場合がありますので注意してください。

[印刷] ダイアログ ボックスでオプションを設定できない場合は、コントロールパネルを使って設定します。[Configure Device]（デバイスの設定）メニューで [Printing]（印刷）メニューを選択し、[Duplex Binding]（両面綴じ込み）を押して目的のレイアウトオプションを指定します。

1. 長辺の縦方向 (デフォルト)



2. 長辺の横方向



3. 短辺の縦方向



4. 短辺の横方向

プリンタ ドライバ機能の使用

ソフトウェア プログラムから印刷する場合、プリンタ ドライバから MFP のさまざまな機能を使用することができます。Windows ドライバの詳細については、「[プリンタ ドライバへのアクセス](#)」を参照してください。

注記

コントロール パネルで設定した内容よりも、プリンタ ドライバやソフトウェアで設定した内容が優先されますので、注意してください（プリンタ ドライバとソフトウェアでは、ソフトウェアの設定が優先されます）。

MFP での丁合い

MFP の丁合い機能により、Mopy (multiple original prints) を使用できます。丁合い機能の特長は次のとおりです。

- ネットワーク トラフィック量の軽減
- アプリケーションへの復帰の高速化
- すべてオリジナル ドキュメント

MFP セットアップ情報の保存

プリンタ ドライバで、最も頻繁に使用する MFP の設定を保存し、これらの設定をデフォルト設定にすることができます。たとえば、利用するほとんどのプリント ジョブが両面印刷である場合、プリンタ ドライバで両面印刷をデフォルト設定として保存できます。

Windows 2000、Windows XP 対応のプリンタ ドライバと、Windows 9X、Windows Me、Windows NT 4.0 対応の PCL 6 および PCL 5e プリンタ ドライバでは、2 つ以上のプリント ジョブについて MFP 印刷設定を保存できます。このように保存された設定のことを、クイック セットと言います。たとえば、封筒への印刷用にクイック セットを 1 つ作成し、ドキュメントの最初のページをレターヘッドに印刷するときのために別のクイック セットをもう 1 つ作成しておくことができます。

プリンタ ドライバの新機能

詳細については、[クイック セット]、[用紙に合わせて調節]（任意のページ サイズ間で調節）、[ブックレット印刷] オプションを確認するか、ドライバのヘルプを参照してください。

透かしの印刷

透かしは「極秘」などと表示される模様です。ドキュメントの各ページに背景として印刷されます。詳細については、ドライバのオプションを確認するか、ドライバのオンライン ヘルプを参照してください。

Macintosh の場合は、プリンタ ドライバのバージョンによって「カスタム」を選択し、印刷するテキストを指定できます。

登録の設定

登録の設定機能を使用して、両面印刷するページの表と裏のイメージを中央に合わせます。この機能を使用すると、全幅印刷（ページのすべてのマージンが約2mm以内の印刷）を設定できます。イメージの配置は、給紙トレイによって多少異なります。トレイごとに、位置合わせ手順を実行する必要があります。システム管理者は、トレイ登録用ページを使って各トレイの位置合わせを行うことができます。

登録を設定するには

- 1 [Menu]（メニュー）を押します。
 - 2 [Configure Device]（デバイスの設定）を押します。
 - 3 [Print Quality]（印刷品質）を押します。
 - 4 [Set Registration]（登録の設定）を押します。
- トレイを選択するには、[Source]（給紙元）を指定します。デフォルトでは、[Source]（給紙元）はトレイ2です。トレイ2の登録を設定する場合は、手順7に進みます。それ以外の場合は、次の手順に進みます。
- 5 [Source]（給紙元）を押します。
 - 6 トレイのいずれかを押します。トレイを押すと、コントロールパネルディスプレイは [Set Registration]（登録の設定）メニューに戻ります。
 - 7 [Print Test Page]（テストページの印刷）を押します。
 - 8 印刷されるページの指示に従います。

最初のページに別の用紙を使用

最初のページを別の用紙で印刷するには

1 つのプリント ジョブで、最初のページのみを他のページとは異なる用紙を使って印刷するには、以下の手順に従います。ここではトレイ 1 を使って説明しますが、他のトレイでも同様の操作を行うことができます。

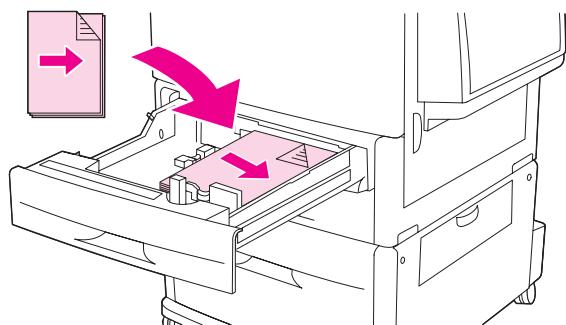
- 1 Windows では、プリンタ ドライバの [別の用紙を使用] - [最初のページ] を選択します。最初のページに使用するトレイを選択し、残りのページに使用する別のトレイを選択します。選択した 1 つ目のトレイに、最初のページに使う用紙をセットします (手差しの場合は、MFP にジョブを送信して給紙するようにプロンプトが表示された後に、トレイ 1 に用紙をセットします)。トレイ 1 を使用する場合は、用紙の印刷面を上向きにして、ページ上部が MFP の背面側を向くように用紙をセットします。
Macintosh では、[印刷] ダイアログ ボックスで [先頭ページのみ] と [残りのページ] を選択します。



注記

オプションを選択する画面内の場所と方法は、使用しているソフトウェア プログラムやプリンタ ドライバによって異なります (プリンタ ドライバでしか利用できないオプションもあります)。

- 2 ドキュメントの残りのページの印刷に使う用紙を、別のトレイにセットします。用紙タイプを指定して、最初のページとそれ以外のページの印刷に使う用紙を選択できます。詳細については、「[印刷する用紙の指定](#)」を参照してください。



裏表紙 (白紙) の追加

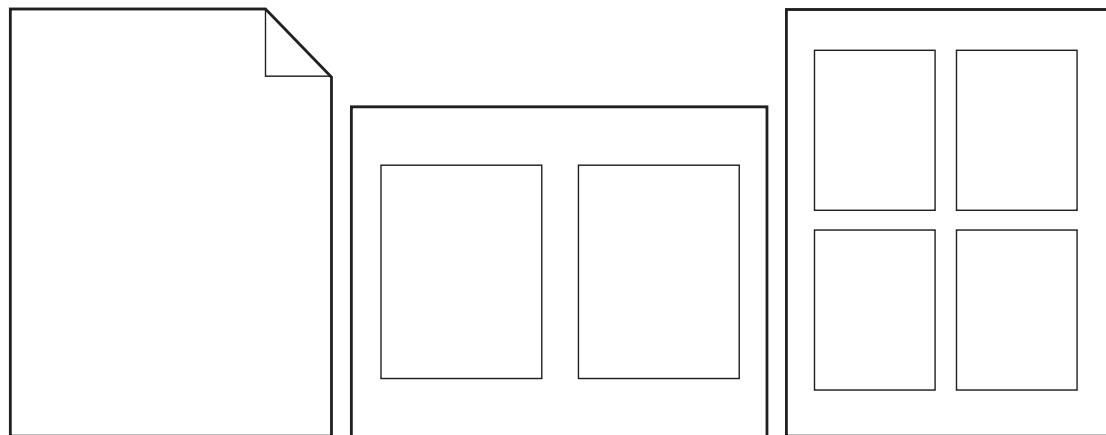
このオプションを使用すると、プリント ジョブの最後に白紙を追加できます。

Windows では、プリンタ ドライバの [用紙] タブで [別の用紙を使用] - [最初のページ] を選択し、[裏表紙] を指定します。このとき、裏表紙に使う給紙トレイも選択できます。この機能を使用しない場合は、[裏表紙なし] を選択します。

用紙 1 枚に複数ページを印刷

用紙 1 枚に、2 ページ以上を印刷することができます。この機能は、一部のドライバのみでご利用いただけます。この機能を使用すると、ドラフト ページの印刷費用を抑えることができます。

用紙 1 枚に複数のページを印刷するには、ドライバの [レイアウト] オプションまたは [1 枚あたりのページ] オプションを確認してください (この機能は、2 アップ、4 アップ、または n アップ印刷と呼ばれることもあります)。



トレイ 1 のカスタマイズ

トレイ 1 を、必要に応じてカスタマイズします。

MFP では、次のような場合にトレイ 1 から印刷するように設定することができます。

- トレイ 1 が装着されていて、[TRAY 1 SIZE=ANY SIZE] と [TRAY 1 TYPE=ANY TYPE] が表示されている場合 (以前の機種での最初モード)。印刷速度が通常より遅くなる場合があります。
- セットした用紙タイプのプロンプトが表示され、[TRAY 1 SIZE=] と [TRAY 1 TYPE=] に特定のサイズとタイプが表示されている場合 (以前の機種でのカセットモード)。

用紙セットのプロンプトが表示されている場合のトレイ 1 からの印刷

[TRAY 1 SIZE=] と [TRAY 1 TYPE=] にそれぞれ特定のサイズとタイプが設定されている場合 (以前の機種でのカセットモード)、トレイ 1 は内部トレイのように扱われます。この場合、最初にトレイ 1 から給紙されるのではなく、一番下のトレイから上に向かって順にトレイが使用されるか、印刷プログラムで指定したタイプやサイズに一致するトレイから給紙されます。

可能な場合は、ソフトウェア プログラムまたは [印刷] ダイアログ ボックスで、トレイのタイプとサイズを指定してください。それが可能でない場合に、MFP のコントロール パネルでタイプとサイズを設定します (「[印刷する用紙の指定](#)」を参照してください)。

MFP のコントロール パネルで [TRAY 1 SIZE=] と [TRAY 1 TYPE=] に特定のサイズとタイプが設定されていると、[PAPER HANDLING] (用紙の取り扱い) メニューにオプションが表示されます。このオプションで、トレイ 1 のタイプとサイズを設定できます。

トレイ 1 からの手差し印刷

手差し機能を使用すると、トレイ 1 から、封筒やレターヘッドなどの特殊な用紙に印刷できます。

印刷する用紙の指定

MFP では、給紙元（用紙トレイ）とは異なるタイプ（普通紙、レターヘッドなど）やサイズ（レター、A4 など）を指定して用紙を選択するように設定できます。

タイプとサイズを指定して印刷を実行すると、選択したタイプまたはサイズの用紙がセットされているトレイから給紙されることになります。給紙トレイでなく用紙タイプを指定して印刷する操作は、トレイのロック アウト機能に似ています。これによって、特殊な用紙を誤って使用してしまうのを防ぐことができます（ただし、[ANY SIZE]、[ANY TYPE]、[PLAIN] のいずれかが設定されている場合、トレイのロック アウト機能は有効になりません）。

たとえば、トレイ 2 をレターヘッド用に設定した場合、プリンタ ドライバで普通紙に印刷するように指定しても、トレイ 2 のレターヘッドは給紙されません。この場合は、普通紙がセットされ、なおかつ MFP のコントロール パネルで普通紙の設定がされたトレイから給紙が行われます。

タイプとサイズを指定して印刷すると、厚紙、光沢紙、OHP フィルムでの印刷品質が大幅に向上します。ただし、設定内容が適切でないと、印刷品質は低くなります。ラベル紙や OHP フィルムなど、特殊な印刷用紙を使うときは、必ずタイプを指定して印刷してください。また、封筒を使うときは、必ずサイズを指定して印刷してください。

タイプとサイズを指定した印刷の利点

使用頻度の高いタイプの用紙がある場合、一度トレイを適切に設定すれば、毎回、印刷前にトレイにセットされている用紙を確認する必要はありません。そのため、MFP が共同で使用されていて、複数のユーザーが用紙のセットや取り外しを行う状況にある場合に便利です。用紙のタイプとサイズを指定して印刷すると、プリント ジョブは常に適切な用紙で印刷されるようになります。

用紙のタイプが不明なときは、用紙の梱包に記載されている表示を確認してください。対応している用紙タイプの詳細については、「[対応する用紙のタイプ](#)」を参照してください。

注記

タイプとサイズの設定は、埋め込み型 Web サーバまたはネットワーク製品対応の HP Web Jetadmin ソフトウェアで行うこともできます。詳細については、プリンタ ドライバのオンライン ヘルプを参照してください。

用紙のタイプとサイズを指定して印刷するには

注記

コントロール パネルで設定した内容よりも、プリンタ ドライバやソフトウェアで設定した内容が優先されますので、注意してください（プリンタ ドライバとソフトウェアでは、ソフトウェアの設定が優先されます）。

- トレイを装着して、調整します（詳細については「[給紙トレイへの用紙のセット](#)」を参照してください）。
- タッチスクリーン式グラフィック ディスプレイ上で [メニュー] ボタンを押し、次に [PAPER HANDLING]（用紙の取り扱い）を押します。
- 次のいずれかの操作を行います。
 - トレイ 1 にセットされているタイプとサイズの用紙が自動的に給紙されるようにするには、[TRAY 1 SIZE=ANY SIZE] と [TRAY 1 TYPE=ANY TYPE] に設定します。
 - タイプとサイズを指定してトレイ 1 から印刷するには、[TRAY 1 SIZE] をセットした用紙のサイズに指定し、[TRAY 1 TYPE] をセットした用紙のタイプに指定します。
 - トレイ 2、トレイ 3、またはトレイ 4 からタイプとサイズを指定して印刷する場合で、そのトレイに標準サイズの用紙がセットされているときは、タイプを設定します。自動認識が可能な標準サイズの用紙は、自動的に検出されます。自動認識が不可能な標準サイズの場合は、サイズを設定します。

- トレイ 2、トレイ 3、またはトレイ 4 からタイプとサイズを指定して印刷する場合で、そのトレイにカスタムサイズの用紙がセットされているときは、サイズとタイプを設定します。サイズには [Custom] (カスタム) を指定し、トレイの用紙ガイドに記されている寸法を参照して値を設定します。
- プログラムまたはドライバから、用紙のタイプとサイズを指定します。
 - ジョブを印刷します。

ジョブ保存機能

この MFP には、ジョブの保存に関する 4 つの特殊な機能が備わっています。

- プライベート ジョブ：MFP にジョブを送信しても、ユーザーがコントロール パネルで PIN を入力するまでジョブは印刷されません。
- ジョブの保存：人事関連フォーム、タイム シート、カレンダーなどのジョブを MFP にダウンロードできます。他のユーザーはそのジョブをいつでも使用できます。保存ジョブはハード ディスクにコピーされ、MFP の空き容量が少なくなっても削除されません。
- クイックコピー ジョブ：ジョブの部数を指定して印刷し、そのジョブのコピーを MFP のハード ディスクに保存できます。保存しておいたジョブを使って、後で追加コピーを印刷できます。
- 試し刷り後に保留ジョブ：ジョブを 1 部試し刷りして、それからその他の部数を印刷する、という操作を手早く簡単に行うことができます。

次に、コンピュータでジョブ保存機能を使用する方法について説明します。必要なジョブに関する説明を参照してください。

注意

クイックコピー ジョブ、試し刷り後に保留ジョブ、およびプライベート ジョブは、MFP の電源を切るとすべて消去されます。

ジョブ保存機能を利用するには

Windows の場合

- [ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。
- [プロパティ] をクリックして、[ジョブ保存] タブをクリックします。
- 使用する [ジョブ保存モード] を選択します。

Macintosh の場合

最新のプリンタ ドライバの場合は、[プリント] ダイアログ ボックスのプルダウン メニューから、[ジョブ保存] を選択します。古いバージョンのプリンタ ドライバの場合は、[プリンタ 固有オプション] を選択します。

プライベート ジョブの印刷

プライベート印刷機能では、ユーザーがジョブを解除するまでジョブが印刷されないように指定できます。最初に、MFP のコントロール パネルで 4 行の個人識別番号 (PIN) を入力して設定します。次に、プリンタ ドライバで PIN を入力します。PIN がプリント ジョブの一部として MFP に送信されます。

プライベート ジョブを作成するには

プリンタ ドライバでプライベート ジョブを指定するには、[プライベート ジョブ] オプションを選択して、[ユーザー名] と [ジョブ名] を入力し、4 行の PIN を入力します。このジョブは、コントロール パネルで PIN を入力するまで印刷されません。

プライベート ジョブの解除

ジョブが MFP に送信されたら、コントロール パネルでプライベート ジョブを印刷できます。

プライベート ジョブを解除するには

- 1 [Menu] (メニュー) を押します。
- 2 [Retrieve Job] (ジョブ取得) を押します。
- 3 スクロールして、自分の名前を押します。
- 4 スクロールして、ジョブを押します。
- 5 [Print] (印刷) を押します ([Print] (印刷) アイコンの横に  が表示されます)。
- 6 数字キーパッドを使用して PIN を入力し、[OK] を押します。

プライベート ジョブの削除

プライベート ジョブを解除して印刷すると、そのジョブは MFP のハード ディスクから自動的に削除されます。印刷せずにジョブを削除する手順については、以下で説明します。

プライベート ジョブを削除するには

- 1 [Menu] (メニュー) を押します。
- 2 [Retrieve Job] (ジョブ取得) を押します。
- 3 スクロールして、自分の名前を押します。
- 4 スクロールして、ジョブを押します。
- 5 [Delete] (削除) までスクロールします ([Delete] (削除) の横に  が表示されます)。
- 6 数字キーパッドを使用して PIN を入力し、[OK] を押します。

プリント ジョブの保存

プリント ジョブを印刷せずに、MFP のハード ディスクにダウンロードすることができます。ダウンロードしたジョブは、MFP のコントロール パネルからいつでも印刷できます。たとえば、人事 / 経理関連フォーム、カレンダー、タイム シートをダウンロードしておくと、必要なときに他のユーザーが印刷できるようになります。

プリント ジョブをハード ディスクに保存するには、MFP から印刷するときに、プリンタ ドライバの [ジョブ保存] オプションを選択します。

保存ジョブを作成するには

ドライバで [ジョブ保存] オプションを選択して、ユーザー名とジョブ名を入力します。保存ジョブは、ユーザーが MFP のコントロール パネルで印刷を指示するまで印刷されません。「[保存ジョブの印刷](#)」を参照してください。

保存ジョブの印刷

コントロールパネルで、MFPのハードディスクに保存されたジョブを印刷できます。

保存ジョブを印刷するには

- 1 [Menu] (メニュー) を押します。
 - 2 スクロールして、[Retrieve Job] (ジョブ取得) を押します。
 - 3 [User Name] (ユーザー名) を押し、名前のリストを表示します。
 - 4 スクロールして自分の名前を押し、ジョブのリストを表示します。
 - 5 スクロールして、ジョブを押します。
 - 6 [Print] (印刷) を押します
 - 7 デフォルトの部数で印刷するときは、[OK] を押します。画面が [Copies=n] (部数 =n) に切り替わります。部数を変更するには、数字キーパッドを使用するか、スクロールして新しい数字を選択し、[OK] を押します。
- [Print] (印刷) の横に  が表示される場合、そのジョブはプライベートジョブです。印刷するには PIN が必要です。「[プライベートジョブの印刷](#)」を参照してください。

保存ジョブの削除

MFPのハードディスクに保存されているジョブは、コントロールパネルから削除できます。

保存ジョブを削除するには

- 1 [Menu] (メニュー) を押します。
 - 2 スクロールして、[Retrieve Job] (ジョブ取得) を押します。
 - 3 スクロールして、自分の名前を押します。
 - 4 スクロールして、ジョブを押します。
 - 5 スクロールして、[Delete] (削除) を押します。
 - 6 [Yes] (はい) を押します。
- [Delete] (削除) の横に  が表示される場合、ジョブを削除するには PIN が必要です。「[プライベートジョブの印刷](#)」を参照してください。

クイックコピー ジョブの作成

クイックコピー機能を使用すると、ジョブを必要な部数だけ印刷し、そのコピーを MFP のハードディスクに保存できます。後から、ジョブの追加部数を印刷することができます。この機能を無効にするには、プリンタ ドライバを使用します。

MFP に保存できるクイックコピー ジョブの数は、デフォルトで 32 に設定されています。このデフォルト値は、コントロール パネルで変更できます。「[JOB STORAGE LIMIT=32 \(ジョブ保存限度数 = 32\)](#)」を参照してください。

クイックコピー ジョブを作成するには

注意

新しいクイックコピー ジョブを保存するための空き容量が足りない場合、既存のクイックコピー ジョブが古い順に削除されます。ジョブを永続的に保存して、容量不足になっても削除されないようにするには、[クイックコピー] オプションではなく、[ジョブ保存] オプションを使用します。

ドライバで [クイックコピー] オプションを選択して、ユーザー名とジョブ名を入力します。

印刷するジョブをプリンタに送信すると、ドライバで設定した部数が印刷されます。MFP のコントロール パネルでクイックコピーをさらに印刷する手順については、「[クイックコピー ジョブの追加部数の印刷](#)」を参照してください。

クイックコピー ジョブの追加部数の印刷

ここでは、コントロール パネルを使用して、MFP のハードディスクに保存されているジョブの追加部数を印刷する方法について説明します。

クイックコピー ジョブの追加部数を印刷するには

- 1 [Menu] (メニュー) を押します。
- 2 [Retrieve Job] (ジョブ取得) を押します。
- 3 [User Name] (ユーザー名) を押し、名前のリストを表示します。
- 4 目的のジョブまでスクロールして、[OK] を押します。
- 5 デフォルトの部数で印刷するときは、[Print] (印刷) を押します。画面が [Copies=n] (部数 =n) に切り替わります。部数を変更するには、数字キーパッドを使用するか、スクロールして新しい数字を選択し、[OK] を押します。

クイックコピー ジョブの削除

MFP のコントロール パネルで、不要になったクイックコピー ジョブを削除します。新しいクイックコピー ジョブを保存するための空き容量が足りない場合、既存のクイックコピー ジョブが古い順に自動的に削除されます。

注記

保存されているクイックコピー ジョブは、コントロール パネルまたは HP Web Jetadmin を使って削除できます。

クイックコピー ジョブを削除するには

- 1 [Menu] (メニュー) を押します。
- 2 [Retrieve Job] (ジョブ取得) を押します。
- 3 自分の名前を押します。
- 4 スクロールして、ジョブを押します。
- 5 [Delete] (削除) を押します。
- 6 [Yes] (はい) を押します。

ジョブの試し刷りと保留

試し刷り後に保留ジョブ機能では、ジョブを1部試し刷りしてから追加部数を印刷する、という操作を手早く簡単に行うことができます。

ジョブを永続的に保存して、容量不足になっても削除されないようにするには、プリンタ ドライバで [ジョブ保存] オプションを選択します。

試し刷り後に保留ジョブを作成するには

注意

新しい試し刷り後に保留ジョブを保存する空き容量が足りない場合、既存の試し刷り後に保留ジョブが古い順に削除されます。ジョブを永続的に保存して、容量不足になつても削除されないようにするには、[試し刷り後に保留] オプションではなく [ジョブ保存] オプションを使用します。

ドライバで [試し刷り後に保留] オプションを選択して、ユーザー名とジョブ名を入力します。校正用に、ジョブが1部印刷されます。以降の操作手順については、「[保留ジョブの残部数の印刷](#)」を参照してください。

保留ジョブの残部数の印刷

MFP のコントロールパネルで、以下の手順に従ってハードディスクに保留されているジョブの残部数を印刷します。

試し刷り後に保留ジョブを印刷するには

- 1 [Menu] (メニュー) を押します。
- 2 [Retrieve Job] (ジョブ取得) を押します。
- 3 [User Name] (ユーザー名) までスクロールします。
- 4 自分のユーザー名を押します。
- 5 自分のジョブまでスクロールして、ジョブを押します。
- 6 [Print] (印刷) を押します。画面が [Copies=n] (部数 =n) に切り替わります。部数を変更するには、数字キーパッドを使用するか、スクロールして新しい数字を選択し、[OK] を押します。

保留ジョブの削除

試し刷り後に保留ジョブを送信すると、そのユーザーが作成した直前の「試し刷り後に保留ジョブ」が自動的に削除されます。指定したジョブ名に関連する試し刷り後に保留ジョブが存在しない場合は、空き容量が不足するとその他の既存の試し刷り後に保留ジョブが古い順に削除されることがあります。

試し刷り後に保留ジョブを削除するには

- 1 [Menu] (メニュー) を押します。
- 2 [Retrieve Job] (ジョブ取得) を押します。
- 3 スクロールして、自分の名前を押します。
- 4 スクロールして、ジョブを押します。
- 5 [Delete] (削除) を押します。
- 6 [Yes] (はい) を押します。

4 コピー

概要

この MFP は、単独でコピー機としても使用できます。コピーを取るために、コンピュータに印刷システム ソフトウェアをインストールする必要もなければ、コンピュータの電源を入れる必要もありません。コピー設定は、コントロール パネルで調節できます。ADF またはスキャナ ガラスのいずれかを使用して、オリジナル原稿をコピーすることもできます。MFP では、コピー、印刷、およびジョブのデジタル送信を同時に処理できます。

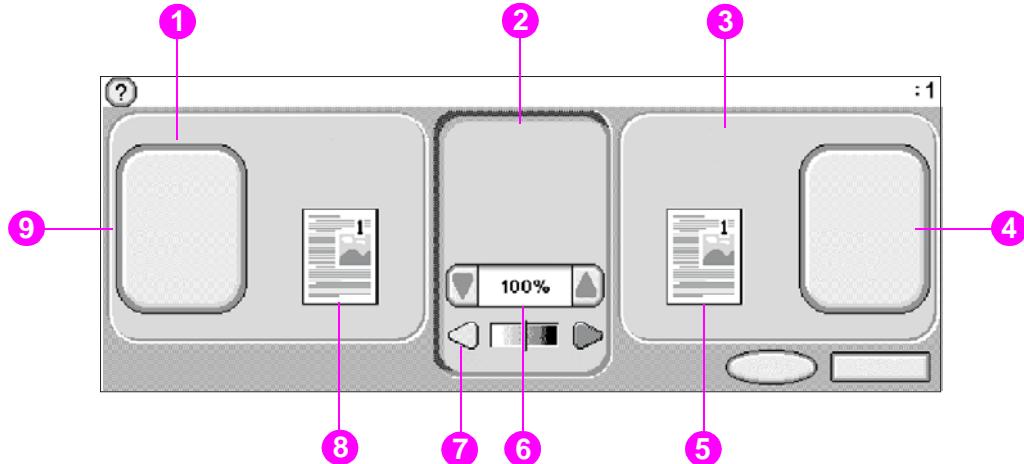
この章では、コピーの実行方法およびコピー設定の変更方法について説明します。説明する項目は以下のとおりです。

- 基本的なコピー手順
- 現在のジョブのコピー設定の修正
- 複数のサイズの原稿のコピー
- コピーの保存ジョブの作成
- 排紙ビンの指定

MFP のコピー機能を使用する前に、コントロール パネルの基本情報をお読みになることをお勧めします。詳細については、「[コントロール パネル](#)」を参照してください。

コピー画面の操作

タッチスクリーン式のグラフィックディスプレイを使用して、コントロールパネル上の機能およびオプションを操作します。



1. 原稿セクション
2. イメージ修正セクション
3. コピー セクション
4. [Copy Settings] (Copy 設定) ボタン
5. コピー ページ アイコン
6. 拡大 / 縮小
7. コントラスト調整
8. 原稿ページ アイコン
9. [Describe Original] (原稿の指定) ボタン

- メニュー : [Information] (情報) や [Paper Handling] (用紙の取り扱い) など、メニュー リストからメニューを選択します。
- ヘルプ : [What is this?] (機能説明) または [Show me how] (操作のヒント) を選択します (「ヘルプ システム」を参照)。
- ステータス メッセージ : MFP の現在のステータス (「Ready (印刷可能)」、「Scanning Page 1 (1 ページ目をスキャン中)」など) が表示されます。
- 部数 : 現在選択されている部数が表示されます。出荷時の設定では、デフォルトの部数は 1 です。

ユーザーに注意を促すエラー メッセージがポップアップ ダイアログ ボックスに表示された場合、このメッセージが消えるまで通常の画面操作はできなくなります。

[Cancel] (キャンセル) ボタン

下位の画面 (ホーム画面の後のすべての画面) にはそれぞれ、[Cancel] (キャンセル) ボタンが表示されます。[Cancel] (キャンセル) ボタンを押すと、変更した内容が取り消されて、前の画面に戻ります。

[OK] ボタン

タッチスクリーンの下位の画面のそれぞれに、[OK] ボタンが表示されます。[OK] ボタンを押すと、変更した内容が確定して、次の画面に進みます。

基本的なコピー手順

ここでは、コピー操作の基本的な手順について説明します。原稿をスキャナ ガラスの上に置くか、ADF にセットすると、標準用紙サイズが自動的に検出されます。自動検出機能を無効にするには、コントロール パネルで必要な入力 ([Describe Original] (原稿の指定)) と出力 ([Copy Settings] (コピー設定)) を指定します。

デフォルト設定を使用したコピーの実行

コピーのデフォルト設定は、次のようにになっています。

- 部数：1
- サイズ：レター /A4 サイズの原稿をレター /A4 サイズでコピー

注記

原稿のサイズが標準の場合、自動的に用紙サイズが検出されて同じサイズでコピーが実行されます。出荷時の用紙サイズのデフォルト設定はレター /A4 になっており、用紙が検出されない場合に限りこれが使用されます。

- ページの向き：縦
- 片面コピー / 両面コピー：片面コピー
- ページの内容：混合 (テキストとグラフィックスの混合)
- ジョブ モード：オフ
- 厚紙：オフ

デフォルト設定を使用してコピーを実行するには

- 1 コピーする面を下向きにして、原稿をスキャナ ガラスの上かまたは ADF にセットします。
- 2 [Copy] (コピー) を押します。
- 3 [スタート] ボタンを押します。

ユーザー定義設定を使用したコピーの実行

以下の手順に従うと、コピーの設定を変更できます。

デフォルト設定以外の設定を使用してコピーを実行するには

- 1 コピーする面を下向きにして、原稿をスキャナ ガラスの上かまたは ADF にセットします。タッチスクリーン式グラフィック ディスプレイ上で、以下の手順に従います。
- 2 [Copy] (コピー) を押します。
- 3 [Original] (原稿) を押して、オプションを表示します。[Basic] (基本) オプションまたは [Advanced] (詳細) オプションを選択できます。
- 4 [Basic] (基本) を押すと、原稿を指定する項目が表示されます。次の項目を選択できます。
 - [Paper Size] (用紙サイズ)：原稿の用紙サイズを選択します。
 - [Orientation] (印刷の向き)：[Portrait] (縦) または [Landscape] (横) を選択します。
 - [Number of Sides] (片面コピー / 両面コピー)：[1] (片面) または [2] (両面) を選択します。
 - [Content] (内容)：[Text] (テキスト)、[Photo] (写真)、または [Mixed] (混合) を選択します。

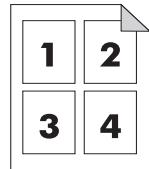
- 5 [Advanced] (詳細) タブを押すと、[Advanced] (詳細) 画面にオプションが表示されます。次の項目を選択できます。
 - [Heavy Paper] (厚紙): 原稿が厚紙の場合、[On] (オン) を選択します。
 - [Job Mode] (ジョブ モード): 複数のスキャン原稿を 1 回のジョブでまとめて処理する場合に、[On] (オン) を選択します (「ジョブ モードの使用」を参照)。
- 6 選択が完了したら、[OK] を押します。

注記

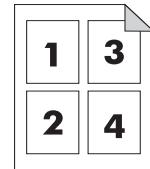
グラフィック ディスプレイの [Original] (原稿) セクションにあるページ アイコンは、原稿のイメージを表しています。

- 7 グラフィック ディスプレイのイメージ修正セクションにあるコントラスト調整バーと拡大 / 縮小ボタンを使用して、必要に応じてコントラストの調整と拡大 / 縮小を行います。
- 8 [Copy] (コピー) を押して、オプションを表示します。[Basic] (基本) オプションまたは [Advanced] (詳細) オプションを選択できます。
- 9 [Basic] (基本) を押すと、作成するコピーの特性を指定する項目が表示されます。次の項目を選択できます。
 - [Size and Type] (サイズとタイプ): [Auto] (自動) (用紙サイズは原稿のサイズと同じになります) を押すか、または希望のコピー サイズを選択します。トレイに該当するサイズの用紙がセットされていることを確認してください。
 - [Number of Sides] (片面コピー / 両面コピー): [1-sided] (片面) または [2-sided] (両面) を選択します。
 - [Back Side Orientation] (裏面の印刷の向き): [Normal] (通常) または [Flip] (反転) を選択します ([2-sided] (両面) が選択されている場合に適用されます)。
 - [Pages per sheet] (1 枚あたりのページ数): [1]、[2]、[4]、または [Booklet] (ブックレット) を選択します。

1 枚あたり 4 ページを選択すると、印刷方向 (「Z (上から下)」または「N (左から右)」) がページの向きに合わせて調整されます。また、縮小された各ページの周囲に枠線を付けるオプションも表示されます。



「Z (上から下)」の順序



「N (左から右)」の順序

- [Borders] (枠線): [Border] (枠線あり) または [No Border] (枠線なし) を選択します。
- [Staple] (ステイプル): ステイプル オプションは、選択した排紙デバイスおよび用紙サイズによって異なります。

10 必要に応じて、[Advanced]（詳細）オプションを押します。オプションによって、次の項目が表示されます。

- [Collation]（丁合い）:[Collated]（丁合いあり）または [Uncollated]（丁合いなし）を選択します。
- [Output Bin]（排紙 bin）: 適切な排紙 bin を指定します。
- [Job Storage]（ジョブ保存）:[On]（オン）を選択すると、コピー ジョブは印刷されずに MFP に保存されます。[Off]（オフ）を選択すると、コピー ジョブは通常どおりに実行されます。詳細については、「[コピーの保存ジョブの作成](#)」を参照してください。
- [Enhance]（拡張機能）:[Sharpness]（鮮明度）または [Background Removal]（バックグラウンドの削除）を選択します。

注記

グラフィック ディスプレイの [Copy]（コピー）セクションにあるページ アイコンは、コピーのイメージを表しています。

11 数字キーパッドを使用してコピー部数を入力し、[スタート] ボタンを押します。

スキャナ ガラスを使用したコピーの実行

小さくて軽い原稿 (46g/m² または 12 ポンド未満) や、レシート、新聞の切り抜き、写真、古いかまたは擦り切れたドキュメントなどの定形外の原稿をコピーする場合は、スキャナ ガラスを使用します。スキャナ ガラスは、書籍、雑誌、マニュアルなどのコピーにも使用できます。

- 1 コピーする面を下向きにして、原稿をスキャナ ガラスの上にセットします。
- 2 必要に応じてイメージを修正し、コピーの設定を選択します。
- 3 1 枚だけコピーする場合は、[スタート] ボタンを押します。複数枚のコピーを取る場合は、数字キーパッドを使用してコピー部数（最大 999）を入力してから、[スタート] ボタンを押してコピーを開始します。
スキャナ ガラスから 2 ページ以上のコピーを取る場合は、「[ジョブ モードの使用](#)」を参照して、複数ページのコピー ジョブを作成してください。

ADF を使用したコピーの実行

ADF を使用すると、最大 100 ページ（ページの厚みによって異なります）のドキュメントを 999 部までコピーできます。

- 1 コピーする面を下向きにして、原稿を ADF にセットします。自動的に用紙サイズが検出されます。
- 2 イメージを修正し、コピーの設定を選択します。
- 3 1 枚だけコピーする場合は、[スタート] ボタンを押します。複数枚のコピーを取る場合は、数字キーパッドを使用して必要なコピー部数（最大 999）を入力してから、[スタート] ボタンを押します。

書籍のコピー

書籍をコピーするには、スキャナ ガラスを使用します。

- 1 コピーする面を下向きにして、スキャナ ガラスの上に書籍を置きます。
- 2 書籍の綴じの部分を、書籍の位置に合わせます。スキャナ ガラスの上端にある書籍の図を見て、位置が合っていることを確認します。
- 3 [Copy] (コピー) を押します。
- 4 [Original] (原稿) を押します。
- 5 サイズとして [Book] (書籍) を選択します。
- 6 [OK] を押します。

注記

ページアイコンの上の [Skip Page] (ページのスキップ) ボタンを押すと、ページをスキップできます。1回押すと左ページがスキップされ、2回押すと右ページがスキップされ、3回押すとページのスキップがキャンセルされます。

- 7 [Copy Settings] (コピー設定) を押します。
- 8 必要なコピー出力設定を選択します。コピーする書籍の実際のサイズに最も近い用紙サイズを選択します。
- 9 [OK] を押します。
- 10 数字キーパッドを使用して、必要なコピー部数を入力します。
- 11 [スタート] ボタンを押します。

注記

書籍を 2 ページ以上コピーする場合は、「[ジョブ モードの使用](#)」を参照して、複数ページのコピー ジョブを作成してください。

ジョブ モードの使用

複数のスキャンから 1 つのプリントジョブを作成するには、ジョブ モード機能を使用します。ADF、スキャナ ガラスのどちらでも使用できます。最初のスキャンに使用した設定が、残りのスキャンにも使用されます。

- 1 [Copy] (コピー) を押します。
- 2 [Describe Original] (原稿の指定) を押します。
- 3 [Advanced] (詳細) を押します。
- 4 [Job Mode] (ジョブ モード) チェック ボックスで、[On] (オン) を選択します。
- 5 必要に応じて、コピー出力設定を選択します。
- 6 ページのスキャンが完了するたびに、次のページをスキャンするかどうかを確認するプロンプトがコントロール パネルに表示されます。
- 7 次のいずれかの操作を行います。
 - 他のページをジョブに含める場合は、次のページをセットして [スタート] ボタンを押します。
 - ジョブに含めるページがもうない場合は、[Finished] (完了) を押してコピーを終了します。

注記

ジョブ モードで ADF を使用して最初のページをスキャンした場合、ドキュメントの全ページを ADF を使用してスキャンする必要があります。スキャナを使用して最初のページをスキャンした場合は、ドキュメントの全ページをスキャナを使用してスキャンする必要があります。

現在のジョブのコピー設定の修正

コントラストの調整、サイズの拡大 / 縮小、画質の向上などの機能により、コピーを修正することができます。

コピーのコントラストの調整

コントラスト調整バーの矢印を押すと、コントラストを調整することができます。コントラスト調整バーのスライダを、明るい方が暗い方に移動させます。

コピーの拡大 / 縮小

MFP には自動倍率設定機能が備わっています。原稿の用紙サイズがコピー用紙のサイズと異なる場合、原稿のページ サイズとコピーのページ サイズの不一致が自動的に検出されます。元のページのスキャンイメージが、コピー用紙のサイズに合うように自動的に拡大 / 縮小されます。拡大 / 縮小機能を使用すると、自動倍率設定の値を変更できます。

MFP では、原稿のサイズを 25% まで縮小し、400% (ADF を使用する場合は 200%) まで拡大することができます。

コピーを拡大または縮小するには、拡大 / 縮小ボタンの矢印を希望のサイズになるまで押します。拡大 / 縮小ボタンの中央にある倍率ボックスに、拡大 / 縮小の倍率が表示されます。「100%」と表示されている個所を押すとキーパッドが表示されるので、そこに希望の数字を入力することもできます。[OK] を押して変更内容を保存します。

コピーの拡張機能の使用

[Enhance] (拡張機能) を押して拡張機能画面を利用すると、ドキュメントの画質を向上させることができます。

バックグラウンドの削除

カラー用紙に印刷されたドキュメントをコピーする場合や両面コピーを使用する場合に、コピーに線が入ったりぼやけたりする原因となる背景を消去して、コピーの画質を向上させることができます。[Enhance] (拡張機能) ボタンを押して、[Background Removal] (バックグラウンドの削除) 画面を表示します。バックグラウンドの削除をコントロールする矢印を押して、削除の程度を調整します。バックグラウンドの削除コントロールバーのスライダを、明るい方が暗い方に移動させます。

鮮明度

画質の鮮明度をコントロールする機能を使用して、原稿のスキャンに使用されるスキャナの鮮明度の設定を指定します。画質を鮮明にすると、原稿のエッジが強調されて、薄かったり細かったりするテキストやグラフィックスをより鮮明に再現できます。画質の鮮明度をコントロールするバーの矢印を押して、鮮明度を調整します。

コントラスト

コントラスト調整機能を使用すると、コピーのコントラストと明るさを決めることができます。コントラストを調整する矢印を押し、スライダをコントラスト調整バーの明るい方または暗い方に動かします。

複数のサイズの原稿のコピー

元のドキュメントに複数のサイズの原稿が含まれている場合は(レター サイズのドキュメントに複数のリーガル サイズの図表が含まれている場合など)、「[ジョブ モードの使用](#)」を参照して詳細を確認してください。

コピーの保存ジョブの作成

ジョブ保存設定をオンにすると、コピー ジョブをハード ディスクに保存し、後で印刷することができます。保存ジョブを作成するには、以下の手順に従います。

- 1 [\[Copy\] \(コピー\)](#) を押します。
- 2 コピーの基本設定を選択します(「[ユーザー定義設定を使用したコピーの実行](#)」を参照)。
- 3 [\[Advanced\] \(詳細\)](#) タブを押します。
- 4 [\[Job Storage\] \(ジョブ保存\)](#) ボックスで、[\[On\] \(オン\)](#) を選択します。
[User Name] (ユーザー名) と [Job Name] (ジョブ名) の入力を求めるポップアップ ダイアログ ボックスが表示されます。[Authentication Required] (認証を必要とする) が選択されている場合、プロンプトが表示されたら PIN (個人識別番号) を入力します。PIN を入力するには、[Authentication Required] (認証を必要とする) の横の小さなボックスを押します。[User Name] (ユーザー名) と [Job Name] (ジョブ名) を選択すると、キーボードが表示されます。PIN は、数字キーパッドで入力できる 4 衍の数字です。
- 5 [\[User Name\] \(ユーザー名\)](#) にユーザー名を入力します。
- 6 [\[Job Name\] \(ジョブ名\)](#) にジョブ名を入力します。
- 7 必要に応じて、PIN を入力します。
- 8 [\[OK\]](#) を押します。
- 9 [\[スタート\]](#) ボタンを押します。

保存ジョブを印刷する方法の詳細については、「[保存ジョブの印刷](#)」を参照してください。

排紙 bin の指定

MFP のコントロール パネルを使用して、コピー ジョブの排紙 bin を選択できます。排紙 bin を選択する方法の詳細については、「[排紙 bin の指定](#)」を参照してください。

5 電子メール

概要

MFP では、カラー スキャン機能とデジタル送信機能を使用できます。コントロール パネルを使用して、モノクロまたはカラーのドキュメントをスキャンし、電子メールの添付ファイルとして送信することができます。デジタル送信を使用するには、MFP をローカル エリア ネットワーク (LAN) に接続する必要があります。MFP は、直接 LAN に接続できます (LAN に接続する方法については、『HP LaserJet 9040mfp/9050mfp セットアップ ガイド』を参照)。

注記

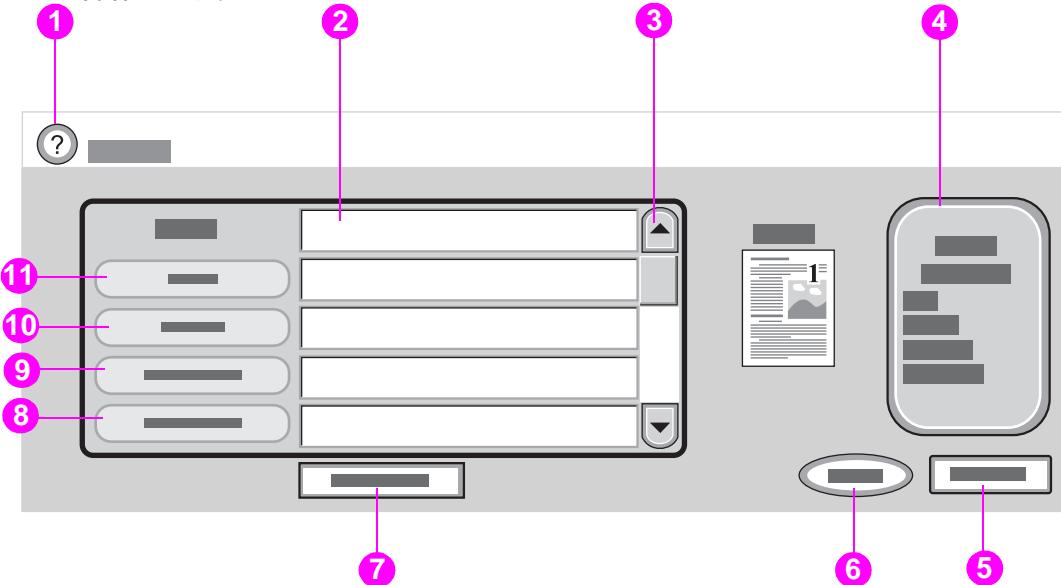
MFP では、カラー コピーやカラー印刷を行うことはできませんが、カラー イメージをスキャンして送信することはできます。

この章では、スキャンと送信の両方について説明します (スキャンと送信が完全に統合された機能であるため)。この章で説明する項目は、次のとおりです。

- 電子メール画面の操作
- 電子メールの基礎知識
- アドレス帳の使用
- その他の情報

電子メール画面の操作

タッチスクリーン式のグラフィック ディスプレイを使用して、コントロール パネルのオプションを操作します。



1. ヘルプ ボタン
2. [From:] (差出人) フィールド - 管理者が設定したデフォルト名を表示させることができます。差出人アドレスをユーザーが変更できないように設定することもできます。
3. スクロール ボタン
4. [E-Mail Settings] (電子メール設定) ボタン
5. [Back] (戻る) ボタン
6. [Start] (スタート) ボタン
7. [Clear All] (すべてクリア) ボタン - すべてのテキストをクリアします (管理者による差出人アドレス設定が行われている場合は、差出人アドレスはクリアされません)。
8. [Subject:] (件名) ボタン
9. [CC:] ボタン
10. [To:] (宛先) ボタン
11. [From:] (差出人) ボタン
ここに表示されていないボタンとして、[BCC:] ボタンがあります (このボタンを表示するには、下へスクロールします)。

ヘルプ ボタン

ヘルプを表示するには、? ボタンを押して、[What is this?] (機能説明) ヘルプまたは [Show me how] (操作のヒント) ヘルプを選択します (「ヘルプ システム」を参照)。

[From:] (差出人) フィールド

[From:] (差出人) を押して、自分の電子メール アドレスを入力します。管理者は、[From:] (差出人) フィールドにユーザーが変更できない電子メール アドレスが表示されるように設定することができます。

[To:] (宛先)、[CC:]、および [BCC:] ボタン

これらのボタンを押して、電子メールの受信者を設定します。電子メールの受信者を設定する際には、タッチスクリーンを使用してもアドレス帳を使用しても電子メール アドレスを入力できます。詳細については、「アドレス帳の使用」を参照してください。

[Clear All] (すべてクリア) ボタン

[Clear All] (すべてクリア) ボタンを押すと、入力したすべてのテキストとフィールドがクリアされます。

ユーザーに注意を促すエラー メッセージがポップアップ ダイアログ ボックスに表示された場合、このメッセージが消えるまで通常の画面操作はできなくなります。

電子メールの基礎知識

電子メール機能の概要

MFP の電子メール機能の長所は次のとおりです。

- ドキュメントを複数の電子メール アドレスに送信できるので、時間と配信コストを節約できます。
- ファイルをモノクロまたはカラーで配信できます。受信者側で操作できるさまざまなファイル形式でファイルを送信できます。
- 電子メールが確かに配信されたことを確認できます。

電子メール機能を使用すると、ドキュメントを MFP のメモリにスキャンし、電子メールの添付ファイルとして 1 つまたは複数のアドレスに送信できます。デジタル ドキュメントを .TFF や .JPG などさまざまなグラフィックス形式で送信できるため（「[デジタル送信設定アプレット](#)」を参照）、受信者は、特定のニーズに応じたさまざまなプログラムでそのドキュメント ファイルを操作できます。ドキュメントは元のものに近い品質で届き、その後で印刷、保存、または転送できます。

HP Digital Sending ソフトウェア（別売）を使用すると、FAX 機への送信、セキュリティのためのユーザー認証、スキャンしてフォルダに保存するなど、便利な追加機能を利用できます。

電子メール機能を使用するには、インターネットにもつながっている有効な SMTP ローカル エリア ネットワークに MFP を接続する必要があります。または、LDAP サーバ（バージョン 2 またはバージョン 3）を使用することもできます。

原稿のセット

ドキュメントのスキャンは、ガラスまたは ADF のいずれかを使用して行います。スキャナ ガラスおよび ADF には、レジャーサイズ/A3 サイズまでの原稿をセットできます。比較的小さいドキュメント、書籍、マニュアル、レシート、定形外の擦り切れたドキュメント、ホッチキスで留められたドキュメント、事前に折り畳まれたドキュメント、および写真の場合は、ガラスを使用してスキャンしてください。複数ページのドキュメントの場合は、ADF を使用すると簡単にスキャンできます。

ドキュメントの送信

MFP では、モノクロ原稿とカラー原稿の両方をスキャンできます。原稿は、スキャナ ガラスまたは ADF のどちらにでもセットできます。スキャナ ガラスは、定形外サイズのドキュメント、書籍、ホッチキスで留められたドキュメント、事前に折り畳まれたドキュメント、写真など、ほとんどのサイズのメディアに対応しています。

そのままデフォルト設定を使用することも、スキャンの初期設定やファイル形式を変更することもできます。デフォルト設定は以下のようになっています。

- カラー
- PDF（受信者が電子メールの添付ファイルを表示するためには、Adobe® Acrobat® ビューアが必要）

ドキュメントを送信するには

- 1 ドキュメントをスキャナ ガラスの上または ADF にセットします。
- 2 送信先のタイプを選択します。
 - E-mail（電子メール）
 - Fax
 - Folder（フォルダ）
 - Secondary e-mail（2 番目の電子メール）
 - Workflow（ワークフロー）

3 プロンプトが表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。詳細については、「[DSS 認証](#)」を参照してください。

4 指定した送信先にファイルを送信するために必要な情報を入力します。

E-mail (電子メール) [From:] (差出人)、[To:] (宛先)、[BCC:]、および [Subject:] (件名) フィールドに必要事項を入力します。

ユーザー名やその他のデフォルト情報が [From:] (差出人) フィールドに表示される場合があります。その場合、それらの情報は変更できない場合があります。

Fax [Fax Numbers:] (Fax 番号) フィールドに必要な数字を入力します。

Folder (フォルダ) 送信先フォルダをリストから選択するか、認証ユーザーの場合は、フォルダのパスを入力します。

Secondary e-mail (2 番目の 電子メール) [From:] (差出人)、[To:] (宛先)、[BCC:]、および [Subject:] (件名) フィールドに必要事項を入力します。

ユーザー名やその他のデフォルト情報が [From:] (差出人) フィールドに表示される場合があります。その場合、それらの情報は変更できない場合があります。

Workflow (ワークフロー) 送信先にするワークフローを選択します。
ドキュメントに必要な情報を入力します。

5 (オプション) [Settings] (設定) ボタンを使用して、作成中のスキャンドキュメントのデフォルト設定を変更します(たとえば、必要なファイル形式のタイプを変更します)。詳細については、「[デジタル送信設定アプレット](#)」を参照してください。

6 (オプション) [Describe Original] (原稿の指定) を使用して、送信するドキュメントのデフォルト設定(ドキュメントのサイズなど)を変更します。
両面のドキュメントを送信する場合は、原稿を両面ドキュメントに指定する必要があります。詳細については、「[デジタル送信設定アプレット](#)」を参照してください。

7 [スタート] ボタンを押して、送信を開始します。

8 完了したら、ドキュメントをスキャナガラスまたは ADF から取り除きます。

オートコンプリート機能の使用

[Send to E-mail] (電子メールに送信) 画面の [To] (宛先)、[CC]、または [From] (差出人) 画面に進むと、オートコンプリート機能が有効になります。キーボード画面を使用して必要なアドレスや名前を入力していくと、アドレス帳リストが自動的に検索されて、最初に一致するアドレスが表示されます。そこで [Enter] を押してその名前を選択するか、オートコンプリート機能によって正しいエントリが見つかるまで、そのまま入力を続けます。リストのどのエントリにも一致しない文字を入力するとオートコンプリート テキストが表示から削除されるため、アドレス帳にないアドレスを入力していることがわかります。

アドレス帳の使用

MFP のアドレス帳機能を使用して、受信者のリストに電子メールを送信できます。アドレスリストの設定の詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

受信者リストの作成

タッチスクリーン式グラフィックディスプレイ上で、以下の手順に従います。

- 1 [E-mail] (電子メール) を押します。
- 2 [To:] (宛先) を押して、キーボード画面を表示します。
- 3 受信者名の最初の文字を入力します。
- 4 [■] を押して、アドレス帳を表示します。
- 5 スクロールバーを使用してアドレス帳のエントリを検索します。リスト全体をすばやくスクロールするには、矢印を押したままにします。
- 6 名前をハイライト表示させて受信者を選択し、[Add] (追加) を押します。

[All] (すべて) を押すと配信リスト全体を選択できます。また、[Local] (ローカル) ボタンを押すと、ローカルリストから受信者を追加できます。適切な名前をハイライト表示させ、[Add] (追加) を押して名前を受信者のリストに追加します。

受信者をリストから削除するには、リストをスクロールして受信者をハイライト表示させ、[Remove] (削除) を押します。

- 7 受信者リストの名前は、キーボード画面のテキスト行に表示されます。必要であれば、キーボードで電子メールアドレスを入力して、アドレス帳にない受信者をアドレス帳に追加できます。受信者リストの内容をそれ以上変更する必要がなければ、[OK] を押します。
- 8 キーボード画面で [OK] を押します。
- 9 必要に応じて、[Send to E-mail] (電子メールに送信) 画面の [CC:] および [Subject:] (件名) フィールドに情報を入力します。[To:] (宛先) のテキスト行にある下矢印を押すと、受信者のリストを確認できます。
- 10 [スタート] ボタンを押します。

ローカル アドレス帳

頻繁に使用する電子メールアドレスを保存するには、ローカルアドレス帳を使用します。ローカルアドレス帳は、同じサーバを使用して HP Digital Sending ソフトウェアにアクセスしている MFP の間で共有できます。

【From】（差出人）、【To】（宛先）、【CC】、または【BCC】フィールドに電子メールアドレスを入力するときに、このアドレス帳を使用できます。このアドレス帳でアドレスを追加または削除することもできます。

アドレス帳を開くには、キーボード画面のアドレス帳ボタンを押します。【Local】（ローカル）を押すと、【Edit】（編集）ボタンが表示されます。このボタンを押して、アドレス帳に項目を追加または削除します。

ローカルアドレス帳に電子メールアドレスを追加するには

- 1 【Local】（ローカル）を押します。
- 2 【Edit】（編集）を押します。
- 3 【Add】（追加）を押します。
- 4 【Address】（アドレス）フィールドに、新しいエントリの電子メールアドレスを入力します（必須）。
- 5 【Name】（名前）フィールドに、新しいエントリの名前を入力します（オプション）。
【Name】（名前）に入力する名前は、電子メールアドレスを示す通称名です。通称名を入力しない場合、電子メールアドレス自体が通称名になります。
- 6 次のいずれかの操作を行います。
 - 電子メールアドレスをローカルアドレス帳に追加し、【Add】（追加）画面が表示されたままの状態でいるには、【Save】（保存）を押します。
 - 電子メールアドレスを保存せずに【Edit】（編集）画面に戻るには、【Cancel】（キャンセル）を押します。
 - 電子メールアドレスを保存して【Edit】（編集）画面に戻るには、【OK】を押します。

アドレスを追加すると、以下のような確認メッセージが表示されます。

Address was stored successfully. (アドレスは正常に保存されました)

この電子メールアドレスは、公開アドレス帳に追加されます。すべてのユーザーがこのアドレスを利用できるようになります。

ローカルアドレス帳から電子メールアドレスを削除するには

使用しなくなった電子メールアドレスは削除することができます。

注記

電子メールアドレスを変更するには、そのアドレスを削除し、新しいアドレスとしてローカルアドレス帳に追加する必要があります。

- 1 【Local】（ローカル）を押します。
- 2 【Edit】（編集）を押します。
- 3 【Delete】（削除）を押すと、ローカルアドレス帳から削除できる電子メールアドレスのリストが表示されます。削除するアドレスがない場合、リストはブランクで表示されます。
- 4 削除する電子メールアドレスのチェックボックスを押して、【OK】を押します。

次のような確認メッセージが表示されます。

Do you want to delete the selected address(es)? (選択したアドレスを削除してよろしいですか?)

[Yes] [No]

- 5 [Yes] (はい) を押して電子メール アドレスを削除するか、[No] (いいえ) を押して [Delete] (削除) 画面に戻ります。
- 6 [Edit] (編集) 画面に戻るには、[OK] を押します。

電子メールの本文テキストを入力する

本文テキスト機能を使用して、電子メールを送信するときに送るメッセージを入力します。メッセージを入力した場合、送信する電子メールには、メッセージ、改行ライン、およびシステム管理者が設定したデフォルト テキストが含まれます。メッセージ テキストには、最大 200 文字まで含めることができます。

電子メールの本文テキストのうち、1 行分がキーボード画面に表示されます。[View] (表示) を押すと、もっと大きなテキスト ボックスが開いてさらに多くのメッセージが表示されます。

その他の情報

SMTP および LDAP サーバの IP アドレスの確認方法と、MFP をデジタル送信用に設定する方法については、「デジタル送信設定アプレット」を参照してください。

6 FAX の送信

MFP では、アナログ FAX 機能がサポートされています。アナログ FAX は、別途購入いただけます。注文方法については、「[パーツとアクセサリ](#)」を参照してください。

その他の詳細については、『[ファックス ガイド](#)』を参照してください。

7 排紙デバイス

概要

この章では、以下の排紙デバイスについて説明します。

- 3,000 枚収納スタッカ
- 3,000 枚収納スタッカ / ステイプラ
- マルチファンクション フィニッシャ
- 8 ビンメールボックス

3,000 枚収納スタッカ

用紙処理の機能

- A4 またはレターサイズの用紙を 3,000 枚まで収納
- A3 またはレジャーサイズの用紙を 1,500 枚まで収納
- 必要に応じて、ジョブのオフセット、またはジョブの最初のページのオフセットが可能 下部ビン（下向きビン）が、すべての出力ジョブのデフォルト ビンになります。

3,000 枚収納スタッカ / ステイプラ

用紙処理の機能

- A4 またはレターサイズの用紙を 3,000 枚まで収納
- A3 またはレジャーサイズの用紙を 1,500 枚まで収納
- 必要に応じて、ジョブのオフセット、またはジョブの最初のページのオフセットが可能 上部ビン（上向きビン）が、すべての出力ジョブのデフォルト ビンになります。

ステイプラの使用

3,000 枚収納スタッカ / ステイプラでは、75g/m² (20 ポンド) の用紙で 2 ~ 50 枚までのドキュメントをステイプルで留めることができます。用紙の厚みに換算すると、5mm (0.2 インチ) の高さまで対応可能です。対応する用紙は、MFP で使用できるサイズの 64 ~ 199g/m² (17 ~ 53 ポンド) の用紙です。

また、次の点にも注意してください。

- スタッカ ビンにセットできる用紙は 3,000 枚までです。
- 厚紙を使用すると、枚数の制限が 50 枚未満になる場合があります。
- ステイプル留めの対象となるジョブの枚数が 1 枚のみか、または 50 枚を超える場合、ジョブはコピーまたは印刷されますが、ステイプル留めは行われません。

ステイプル オプションは通常、ソフトウェアやプリンタ ドライバから選択できますが、プリンタ ドライバからしか選択できないオプションもあります。オプションを選択する画面と方法は、使用しているプログラムやプリンタ ドライバによって異なります。

コピー時にステイプル オプションを選択するには

- 1 [Copy]（コピー）を押します。
- 2 [Side]（横）または [Top]（上）を押して、ドキュメントを留める位置を選択したら [OK] を押します。

注記

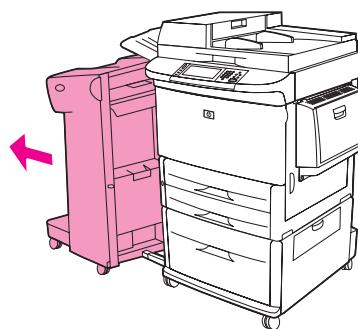
コントロール パネルの右側のページ アイコンに、ステイプル留めの位置が表示されます。

コントロール パネルからステイプルをデフォルト設定として選択するには

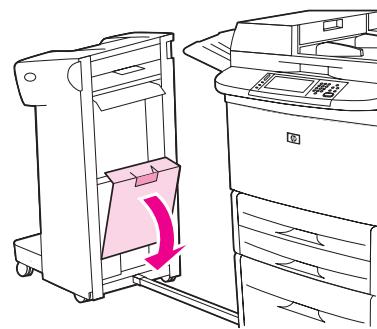
- 1 [Menu]（メニュー）を押します。
- 2 スクロールして、[Configure Device]（デバイスの設定）を押します。
- 3 スクロールして、[Copying]（コピー）を押します。
- 4 スクロールして、[Staple]（ステイプル）を押します。
- 5 スクロールして、ステイプル留めする個所に該当する数を押します。

ステイプルのセット

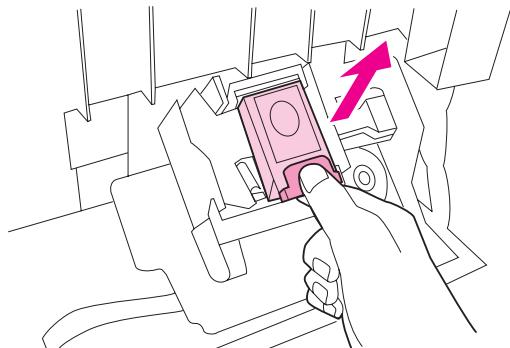
1 スタッカ / ステイプラを MFP から取り外します。



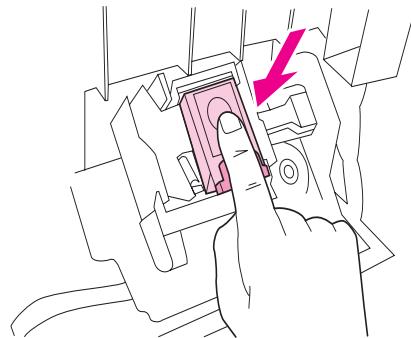
2 ステイプラ ユニットの扉を開きます。



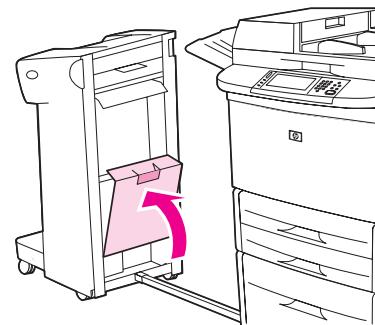
3 空のステイプル カートリッジの緑色のタブを上方に起こして、空のカートリッジを引き出します。



- 4 新しいステイプル カートリッジを挿入し、カートリッジが所定の位置に収まるまで緑色のタブを押し下げます。



- 5 ステイプラー ユニットの扉を閉じ、スタッカ / ステイプラーをプリンタの元の位置に取り付けます。



マルチファンクション フィニッシャ

用紙処理の機能

- A4 またはレターサイズの用紙の場合は 1,000 枚まで、A3 または 11 x 17 サイズの用紙の場合は 500 枚まで収納
- A3 またはレジャーサイズのブックレット (5 ページ分) を 40 冊分まで収納
- ジョブのオフセットが可能
- A4 またはレターサイズの用紙のステイプル留め (50 枚まで)
- A3 またはレジャーサイズの用紙のステイプル留め (25 枚まで)
- 折り畳み (1 枚ずつ)
- 5 ページのブックレットの場合は 40 冊分まで、10 ページのブックレットの場合は 20 冊分まで、折り畳み / 中綴じして収納

ステイプラの使用

このフィニッシャでは、A4 またはレターサイズ用紙で 2 ~ 50 枚のドキュメント (75g/m²、20 ポンド)、A3 または 11 x 17 サイズ用紙で 25 枚までのドキュメントをステイプルで留めることができます。用紙の厚みに換算すると、5.5mm (0.22 インチ) の厚さまで対応可能です。対応する用紙は、MFP で使用できるサイズの 64 ~ 199g/m² (17 ~ 53 ポンド) の用紙です。

次の点にも注意してください。

- 上部 bin (スタッカ bin) に収納できる用紙は 1,000 枚までです (ステイプル留めをしない場合)。マルチファンクション フィニッシャでは、ジョブを上部 bin に出力するときに、上向きで出力することも下向きで出力することもできます。
- 厚紙を使用すると、枚数の制限が 50 枚未満になる場合があります。

ステイプル留めの対象となるジョブの枚数が 1 枚のみか、または 50 枚を超える場合、ジョブは出力されますがステイプル留めは行われません。

ステイプル オプションは通常、ソフトウェアやプリンタ ドライバから選択できますが、プリンタ ドライバからしか選択できないオプションもあります。詳細については、「[プリンタ ドライバへのアクセス](#)」を参照してください。オプションを選択する画面と方法は、使用しているプログラムやプリンタ ドライバによって異なります。

コピー時にステイプル オプションを選択するには

- 1 [Copy] (コピー) を押します。
- 2 [Copy Settings] (コピー設定) を押します。
- 3 [Staple] (ステイプル) メニューで、[Side] (横) または [Top] (上) を押してドキュメントを留める位置を選択し、[OK] を押します。

注記

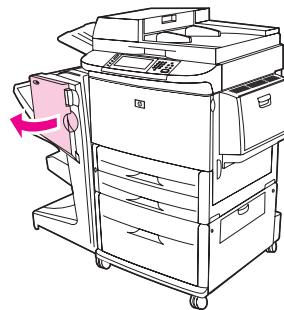
タッチスクリーンの右側のページ アイコンに、ステイプル留めの位置が表示されます。

コントロール パネルからステイプルをデフォルト設定として選択するには

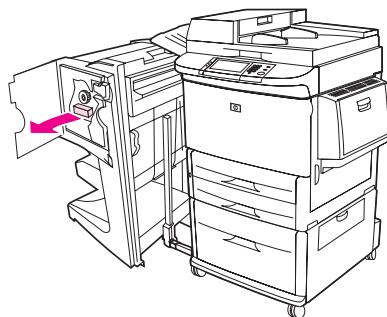
- 1 [Menu] (メニュー) を押します。
- 2 スクロールして、[Configure Device] (デバイスの設定) を押します。
- 3 スクロールして、[Staples] (ステイプル) を押します。
- 4 スクロールして、ステイプル留めする個所に該当する数を押します。

ステイプルのセット

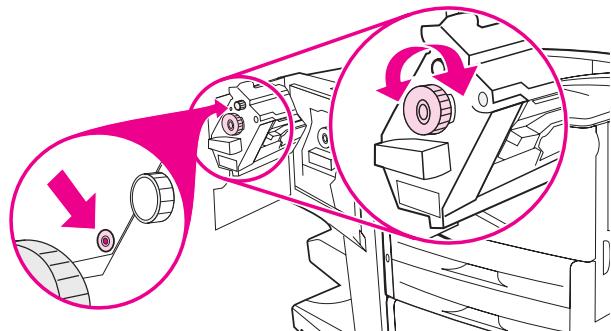
1 ステイプラ ユニットの扉を開きます。



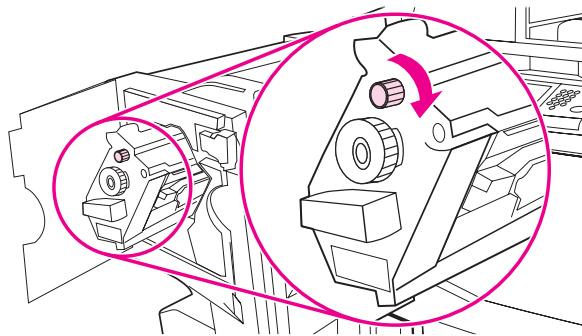
2 ステイプラ ユニットを手前にスライドさせます。



3 ステイプラ ユニットの窓型部分に青色のドットが見えるまで、大きい方の緑色のつまみを回します。



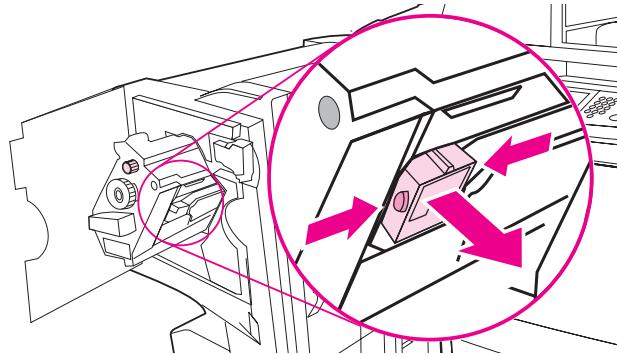
- 4 ステイプルカートリッジがステイプラー ユニットの左側に移動するまで、ステイプラー上部にある小さい方の緑色のつまみを時計回りに回します。



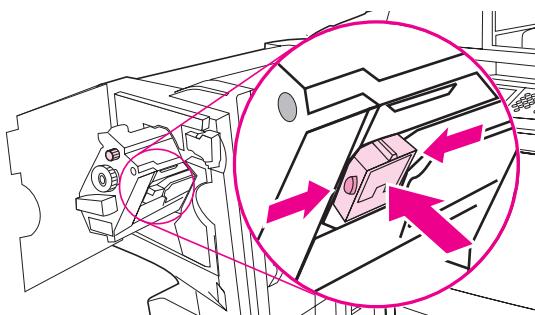
注意

ステイプルカートリッジを取り外す前に、ステイプラー ユニットの窓型部分に青色のドットが見えていることを確認してください。窓型部分に青色のドットが見えていない状態でステイプルカートリッジを取り外そうとすると、フィニッシャに損傷を与えることがあります。

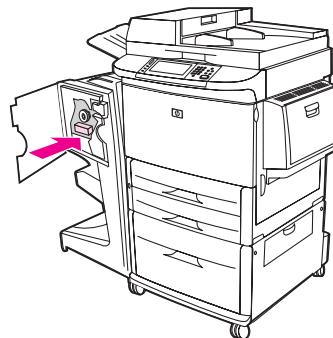
- 5 空のステイプルカートリッジのタブを一緒につまんで、カートリッジを引き出します。



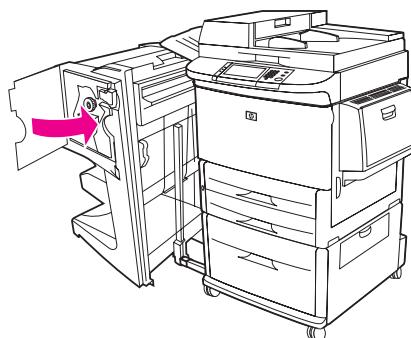
- 6 新しいステイプルカートリッジを挿入し、カチッとはめ込みます。



7 ステイプラ ユニットをスライドさせて、フィニッシャ内部に戻します。



8 ステイプラ ユニットの扉を閉じ、マルチファンクション フィニッシャを元の位置に戻します。



ブックレットの作成

ブックレット機能は、デスクトップパブリッシングソフトウェア(DTPソフトウェア)などから使用できます。ブックレットの作成方法の詳細については、ご使用のプログラムに付属のユーザー ガイドを参照してください。

ご使用のプログラムでブックレットの作成がサポートされていない場合は、HP プリンタ ドライバを使用してブックレットを作成することができます。

注記

HP プリンタ ドライバを使用してブックレットを作成する場合は、まずご使用のプログラムで印刷用のドキュメントを準備し、プレビュー機能で確認してから、ブックレットの印刷と折り畳み / 中綴じ処理を行うことをお勧めします。

プリンタ ドライバを使用してブックレットを作成するには、次の手順に従います。

- ブックレットの準備：ブックレット作成用に、用紙を調整（組付け）します。ブックレットの組付けは、ご使用のソフトウェアで行うか、またはプリンタ ドライバのブックレット印刷機能を使用して行います（詳細については「[プリンタ ドライバへのアクセス](#)」を参照してください）。
- 表紙の作成：最初のページには異なるタイプの用紙を指定して、ブックレットの表紙を作成します。同じタイプの用紙を使って、ブックレットの表紙とすることもできます。ブックレットの表紙は、他の部分とサイズは同じにする必要がありますが、用紙の重量は異なっていても構いません。
- 折り畳み / 中綴じの使用：用紙は、短辺を給紙方向に合わせます。用紙を回転させるかどうかを確認するプロンプトが表示されます。マルチファンクション フィニッシャでは、ブックレットの中央がステイブル留めされます（中綴じ）。1枚の用紙のみで構成されるブックレットの場合、ステイブル留めされずに折り畳まれます。複数枚の用紙で構成されるブックレットの場合、ステイブル留めを行った後で折り畳まれます。ブックレット 1 冊につき、用紙は 10 枚までです。

マルチファンクション フィニッシャのブックレット印刷機能で、「中綴じ」や「折り畳み」ができる用紙サイズは次のとおりです。

- A3
- A4 (回転) (A4-R)*
- レター (回転) (Letter-R)*
- リーガル
- レジャー

ブックレットの作成方法の詳細については、『[HP マルチファンクション フィニッシャ ユーザーズ ガイド](#)』を参照してください。このガイドは、www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp から入手できます。

* A4-R および Letter-R は、それぞれ A4 サイズとレターサイズの用紙を給紙トレイの中で 90° 回転させたものをいいます。

8 ビン メールボックス

排紙機能

- MFP の排紙量を標準用紙 2,000 枚まで増やすことが可能
- 用紙を 125 枚まで収納（上向き）可能な上部ビンを使用
- プリント ジョブを 8 つの下向きビンに出力（下向きに収納）、各ビンは用紙 250 枚まで収納可能
- 各種操作モード（メールボックス、スタッカ、ジョブ仕分け、並べ替え / 丁合い）での収納オプションを選択可能

8 ビン メールボックスの詳細については、8 ビン メールボックスに付属のユーザー ガイドを参照してください。

8 セキュリティ機能

概要

ここでは、MFP で使用できる重要なセキュリティ機能について説明します。

- 外部インターフェース ハーネス (FIH)
- セキュア ディスク消去
- セキュリティ ロック
- ジョブ保存機能
- DSS 認証

外部インターフェース ハーネス (FIH)

外部インターフェース ハーネス (FIH) を使用すると、MFP にポータルを設定できます。FIH と他の装置を使用すれば、MFP で実行されるコピー処理情報を追跡することができます。

要件

- Windows 9X、Windows Me、Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP
- 他社の課金ハードウェア ソリューション (Equitrac または Copitrak デバイスなど) が設置されていること

FIH の使用

FIH を使用するには、FIH ソフトウェアをダウンロードしてインストールする必要があります。ソフトウェアは、www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp から入手できます。このソフトウェアを使用して、FIH ポータルの有効 / 無効を切り替えます。また、管理者の PIN (個人識別番号) を設定したり変更することもできます。

PIN オプションを使用すると、管理者は FIH に不正な変更が加えられることを防止できます。PIN が正しく認証されない限り、変更は許可されません。

注記

FIH 管理ソフトウェアに割り当てた PIN は、必ず覚えておいてください。FIH に変更を加える際に PIN が必要になります。

FIH ポータルを有効にするには

- 1 FIH.EXE ファイルをダブルクリックします。[Foreign Interface Harness] (外部インターフェース ハーネス) ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2 [OK] をクリックします。
- 3 [Enable] (有効) をクリックします。
- 4 まだ PIN を入力していない場合は、[No] (いいえ) をクリックします。すでに PIN を入力している場合は、[Yes] (はい) をクリックします。
[No] (いいえ) をクリックした場合は、PIN の入力と確認入力をやって、[OK] をクリックします。
[Yes] (はい) をクリックした場合は、PIN を入力して [OK] をクリックします。

注記

PIN は数字のみで指定します。

- 5 適切なボタンをクリックして接続のタイプを選択します ([Direct] (直接) または [Network] (ネットワーク))。
[Direct] (直接) を選択した場合は、MFP ポートを入力します。[Network] (ネットワーク) を選択した場合は、MFP の IP アドレスとポートを入力します。

注記

MFP の IP アドレスは、設定ページで確認できます。設定ページを印刷するには、コントロールパネルで、[MENU] (メニュー)、[CONFIGURATION MENU] (設定メニュー)、[PRINT CONFIGURATION PAGE] (設定ページの印刷) の順に選択します。

入力した IP アドレスが正しくない場合、エラー メッセージが表示されます。エラー メッセージが表示されなければ、ポータルは有効になっています。

FIH ポータルを無効にするには

- 1 FIH.EXE ファイルをダブルクリックします。[Foreign Interface Harness] (外部インターフェース ハーネス) ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2 [OK] をクリックします。
- 3 [Disable] (無効) をクリックします。
- 4 PIN を入力して [OK] をクリックします。
- 5 適切なボタンをクリックして接続のタイプを選択します ([Direct] (直接) または [Network] (ネットワーク))。
[Direct] (直接) を選択した場合は、MFP ポートを入力して [OK] をクリックします。
[Network] (ネットワーク) を選択した場合は、MFP の IP アドレスとポートを入力して、[OK] をクリックします。これで、ポータルが無効になります。

注記

ポートを無効にする必要があるときに PIN 番号がわからない場合は、リスト表示されているデフォルトの PIN を使用して試してください。

セキュア ディスク消去

MFP のハード ドライブ上にある削除済みデータを、不正にアクセスされないように保護することが必要になる場合があります。セキュア ディスク消去は、ハード ドライブ上のプリントジョブとコピー ジョブを安全に消去するためのセキュリティ機能です。

セキュア ディスク消去では、以下のレベルのディスク セキュリティを使用できます。

● 保護なし高速消去

単純なファイル テーブル消去機能です。ファイルへのアクセス権は削除されますが、実際のデータは、別のデータ保存オプションで上書きされるまでディスクに保存されます。これは最も高速に処理を行えるモードで、デフォルトの消去モードとして設定されています。

● 保護付き高速消去

ファイルへのアクセス権が削除され、データは固定の同一文字パターンで上書きされます。保護なし高速消去よりも処理速度は遅くなりますが、すべてのデータが上書きされます。保護付き高速消去は、ディスク メディアの消去に関する米国国防総省 5220-22.M に準拠しています。

● 保護付き完全消去

これは保護付き高速消去モードと似ていますが、データが一切残らないようにするアルゴリズムを使用してデータを数回上書きする機能が付加されています。このモードを使用すると、パフォーマンスにかなりの影響があります。保護付き完全消去は、ディスク メディアの完全消去に関する米国国防総省 5220-22.M に準拠しています。

影響を受けるデータ

セキュア ディスク消去機能の影響を受ける (対象となる) データとして、印刷 / コピー処理中に作成される一時ファイル、保存ジョブ、試し刷り後に保留ジョブ、ディスクベースのフォントやマクロ (フォーム) が挙げられます。

注記

保存ジョブを安全に上書きされるようにするには、適切な消去モードを選択した後に、コントロールパネルの [Retrieve Job] (ジョブ取得) メニューを使って削除を行う必要があります (「[保存ジョブの削除](#)」を参照)。

この機能は、フラッシュベース製品の不揮発性 RAM (NVRAM) に保存されているデータ (デフォルト設定やページ数などのデータ) には影響を及ぼしません。また、この機能は、システムの RAM ディスク (使用している場合) やフラッシュベースのシステム ブート RAM に保存されているデータにも影響を及ぼしません。

セキュア ディスク消去モードを変更しても、ディスク上の古いデータは上書きされません。また、変更直後にディスク全体の完全消去は実行されません。セキュア ディスク消去モードを変更すると、それ以降のジョブについて、一時データの消去方法が変更されます。

セキュア ディスク消去の利用

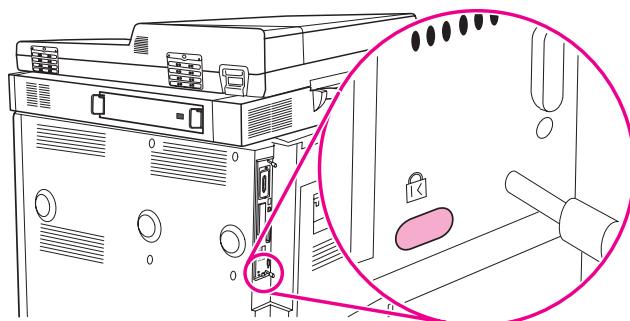
セキュア ディスク消去機能の設定を行うには、HP Web Jetadmin を使用します。

その他の情報

HP セキュア ディスク消去機能に関するその他の詳細については、HP サポートの小冊子か、または www.hp.com/go/webjetadmin をご覧ください。

セキュリティ ロック

セキュリティ ロックは、内部のコンピュータ コンポーネントが取り外されるのを防ぐための機械的なロック機能です。ただし、オプションの EIO アクセサリは保護されていませんので注意してください。ロック用のパーツは、別途ご購入の上、MFP に装着してください。



ジョブ保存機能

この MFP には、ジョブ保存に関するいくつかの機能が備わっています。たとえば、プライベート ジョブの印刷、プリント ジョブの保存、ジョブのクイックコピー、試し刷り後に保留ジョブなどがあります。

ジョブ保存機能の詳細については、「[ジョブ保存機能](#)」を参照してください。

DSS 認証

MFP 用の Digital Sending Software (DSS) は、オプションとして別途ご購入いただけます。このソフトウェアによって、認証プロセスが組み込まれた高度な送信プログラムを利用できるようになります。この認証プロセスでは、認証が必要な DSS 機能にアクセスする前に、ユーザー ID とパスワードを入力する必要があります。

注文方法については、「[パーツとアクセサリ](#)」を参照してください。

9 MFP の保守

概要

ここでは、MFP の基本的な保守作業について説明します。

- MFP のクリーニング
- プリント カートリッジの管理
- プリント カートリッジの状態
- プリンタ保守キット

MFP のクリーニング

通常のクリーニング

印刷品質を維持するため、次のような場合には MFP を十分に清掃してください。

- プリント カートリッジを交換したとき
- 印刷品質に関する問題が発生したとき

MFP の外側は、少し湿らせた布で拭きます。内部は、糸くずの出ない乾いた布で清掃します。クリーニング作業に関する警告事項や注意事項に気をつけ、どれも守るようにしてください。

警告

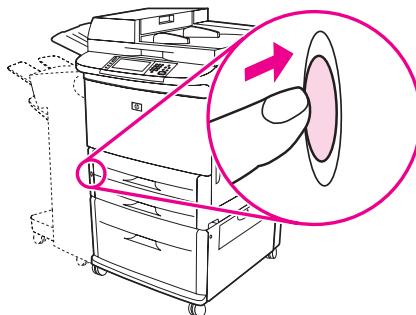
MFP のクリーニング時には、フューズ領域に触れないようにしてください。高温になっている場合があります。

注意

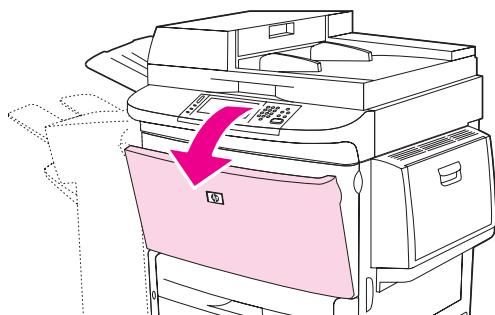
プリント カートリッジの損傷を防ぐため、特に指示のない限り、MFP 本体や MFP の周辺でアンモニア系のクリーナーは使用しないでください。

用紙経路をクリーニングするには

- 1 以下の手順を開始する前に、MFP の電源を切り（電源ボタンを出た状態にする）、電源コードを含むすべてのケーブルを取り外してください。



- 2 MFP の正面カバーを開き、緑色のレバーをロック解除位置に来るまで下方向に回して、プリント カートリッジを取り外します。



注意

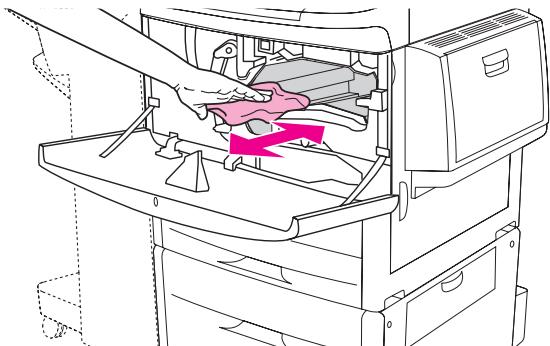
プリント カートリッジの損傷を防ぐため、MFP からカートリッジを取り外すときは両手を使ってください。

プリント カートリッジに、数分以上にわたって光が当たることのないようにしてください。MFP の外部に置くときは、プリント カートリッジにカバーをかけてください。

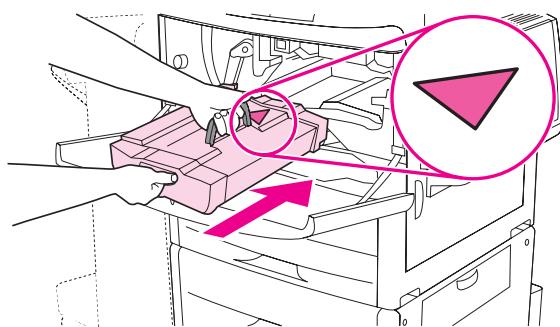
注記

衣服にトナーが付着した場合は、乾いた布でトナーを拭き取ってから、冷水で衣服を洗ってください。温水を使うと、トナーが繊維の中に固着してしまいます。

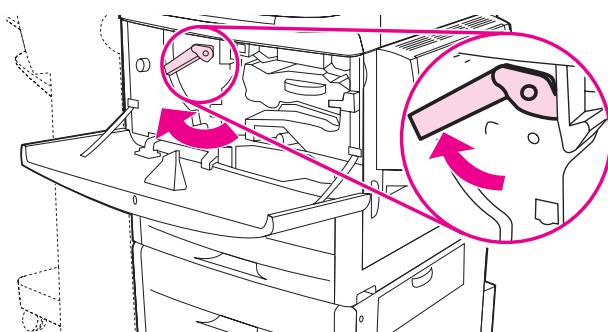
- 3 糸くずの出ない乾いた布で、用紙経路、レジストレーションローラー、プリントカートリッジ設置部に付着したトナーを拭き取ります。



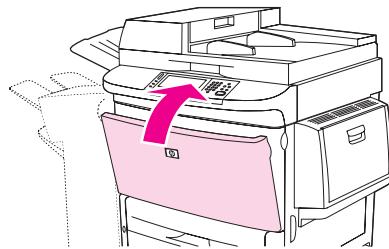
- 4 プリントカートリッジを取り付け直します。



- 5 緑色のレバーをロック位置まで回します。



- 6 正面カバーを閉じ、すべてのケーブルを接続して、MFP の電源を入れます（ボタンを中に押し込む）。



MFP の外側をクリーニングするには

- MFP の外側に汚れが目立つ場合は、外側を清掃します。
- 糸くずの出ない布をただの水か中性洗剤を薄めた水で湿らせたもので拭きます。

タッチスクリーンをクリーニングするには

- 必要に応じて、タッチスクリーンをクリーニングします（指紋が付いている場合や、ほこりが積もっている場合など）。
- 糸くずの出ない清潔な布を水で湿らせて、あまり力を入れずにタッチスクリーンを拭きます。

注意

水以外は使用しないでください。溶剤やクリーナーを使用すると、タッチスクリーンが損傷する場合があります。タッチスクリーンに水を直接かけたり吹きかけたりしないでください。

ガラスをクリーニングするには

- ガラスのクリーニングは、汚れが目立つ場合や、コピー品質が低下した場合（筋が入るなど）にのみ行います。
- 糸くずの出ない清潔な布を軽く湿らせて、あまり力を入れずにガラス面を拭きます。布はアンモニア系のクリーナーで湿らせます。

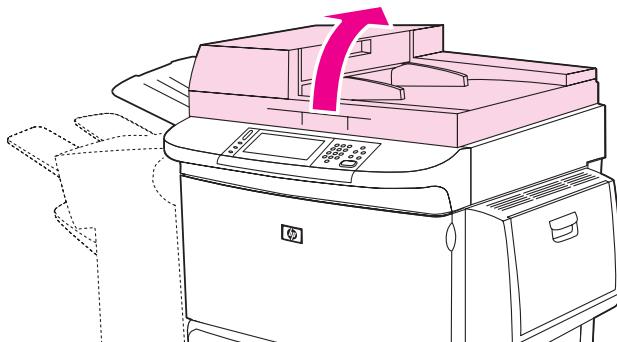
注意

ガラスに液体を直接かけたり吹きかけたりしないでください。
ガラス面にはあまり力を加えないでください（破損することがあります）。

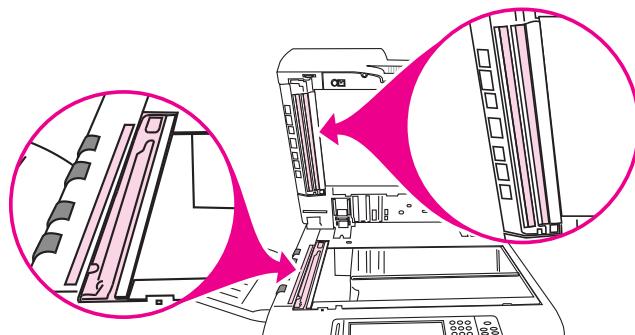
ADF 出力システムのクリーニング

ADF のクリーニングは、汚れが目立つ場合や、コピー品質が低下した場合（筋が入るなど）にのみ行います。

- 1 上部カバーを上げます。

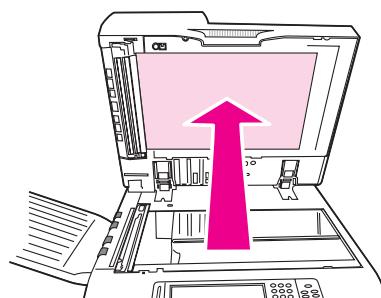


- 2 上部と下部にある ADF のガラス ストリップを見つけます。

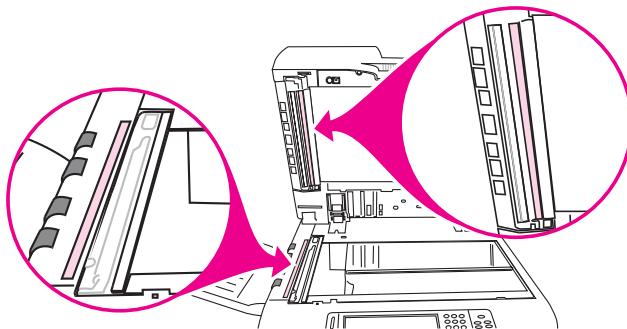


- 3 糸くずの出ない清潔な布を湿らせて、あまり力を入れずにこれらのガラス パーツを拭きます。布はアンモニア系のクリーナーで湿らせます。

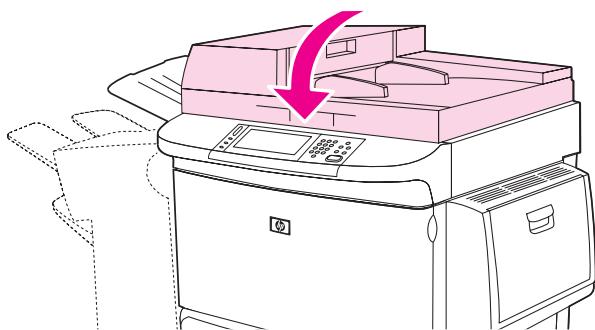
- 4 ビニール製の白い裏張り部分を見つけます。



5 ビニール製の白い裏張り部分のところにある補正ストリップを見つけます。



- 6 糸くずの出ない清潔な布を湿らせて、ADF の裏張り部分と補正ストリップを拭きます。布はアンモニア系のクリーナーで湿らせます。
- 7 上部カバーを閉じます。



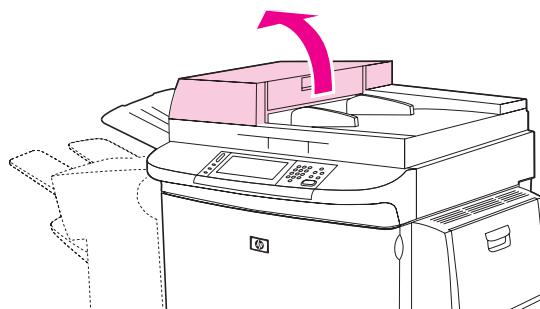
上部の ADF のガラスストリップをクリーニングするには

依然としてコピー品質が低下したままの状態にある場合は、上部の ADF のガラスストリップをクリーニングする必要があります。

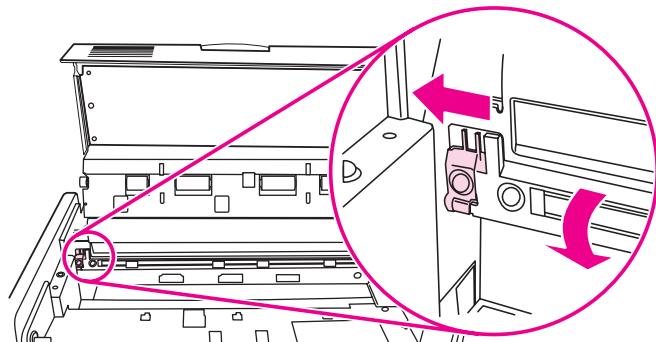
注意

この部分のクリーニングは、コピーに不具合（筋など）がある場合や、ガラスストリップの内部にほこりが入りこんでいる場合にのみ行ってください。頻繁にクリーニングを行うと、MFP の内部にほこりが入る原因となります。

- 1 ADF のカバーを開きます。



- 2 上部の ADF のガラス ストリップを緩めるラッチを見つけます。ラッチを左へ押して引き下げるとき、ガラス ストリップの内部が現れます。

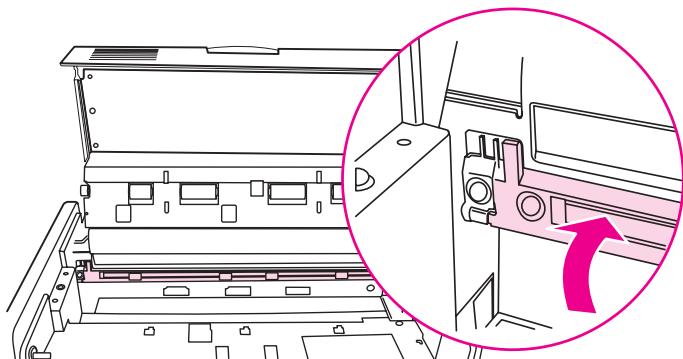


- 3 糸くずの出ない乾いた布で、あまり力を入れずにガラスを拭きます。

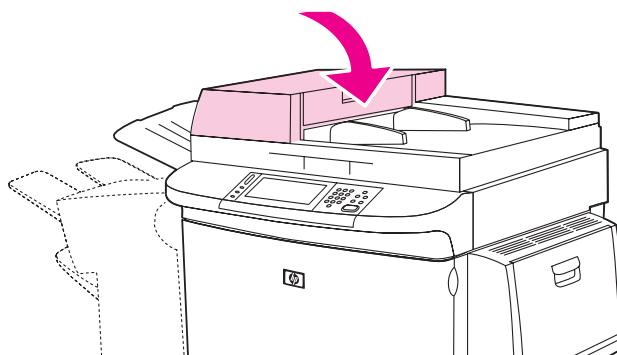
注意

この部分には、乾いた布以外使用しないでください。溶剤、クリーナー、水、圧縮空気などを使用すると、MFP に重大な損傷を与える可能性があります。

- 4 ラッチを左へ押して、ガラス ストリップを元の位置に戻します。



- 5 ADF のカバーを閉じます。



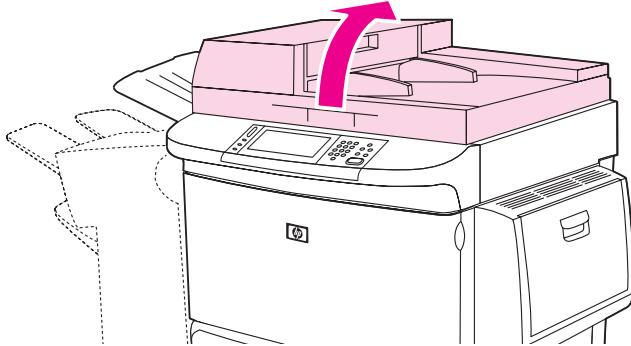
ADF のローラーをクリーニングするには

給紙ミスが発生するとか、ADF から排出された原稿に汚れが付いている場合には、ローラーをクリーニングします。

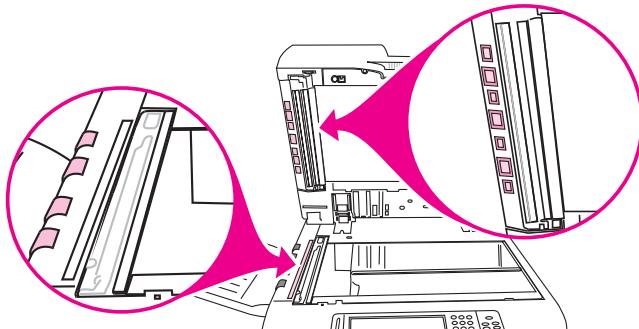
- 1 上部カバーを開きます。

注意

ローラーのクリーニングは、給紙ミスが発生したり原稿に汚れが付く場合や、ローラーにほこりが付着している場合にのみ行ってください。ローラーを頻繁にクリーニングすると、MFP の内部にほこりが入る原因となります。



- 2 ガラスストリップの近くにあるローラーを見つけます。

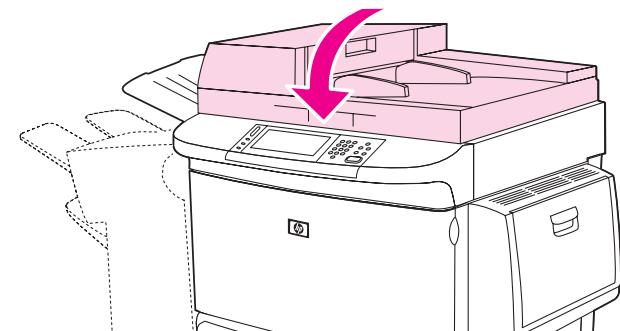


- 3 糸くずの出ない清潔な布を水で湿らせて、あまり力を入れずにローラーを拭きます。

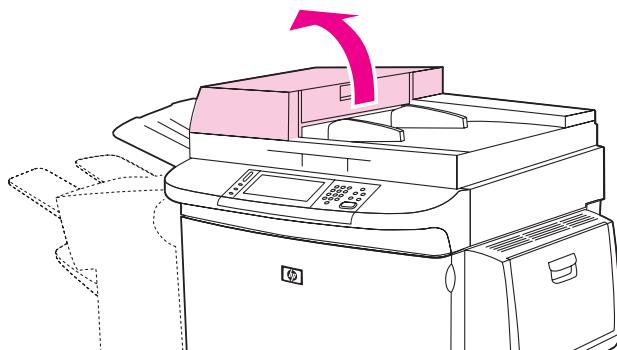
注意

ローラーに直接水をかけないでください。水をかけると、MFP に損傷を与える可能性があります。

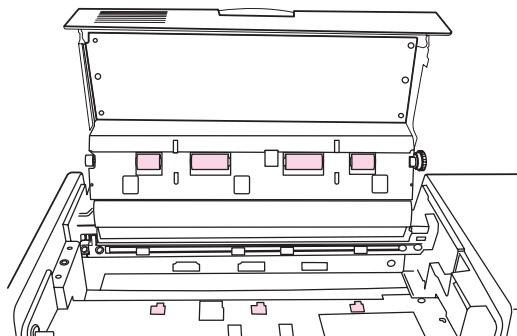
- 4 上部カバーを閉じます。



5 ADF のカバーを開きます。



6 ローラーを見つけます。

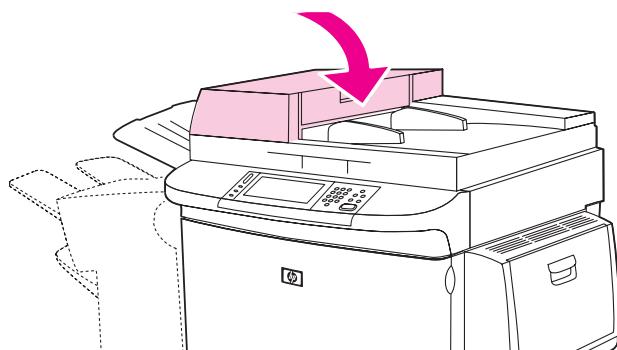


7 糸くずの出ない清潔な布を水で湿らせて、ローラーを拭きます。

注意

ローラーに直接水をかけないでください。水をかけると、MFP に損傷を与える可能性があります。

8 ADF のカバーを閉じます。



9 紙送りガイドを閉じて、外面を布で拭きます。

プリント カートリッジの管理

新しい純正 HP プリント カートリッジ (C8543X) を使用すると、以下の製品情報を確認できます。

- カートリッジの寿命
- 残りの印刷可能ページ数 (概算)
- 印刷済みのページ数
- その他の製品情報

HP 製以外のプリント カートリッジ

弊社では、新品または再生品に関わらず、HP 製以外のプリント カートリッジの使用は推奨しません。HP の製品ではないので、弊社がそのデザインや品質を管理できないためです。Hewlett-Packard 製以外のプリント カートリッジを使用したためにサービスや修理が必要になった場合は、製品の保証の対象にはなりません。

プリント カートリッジの認証

HP 製以外のプリント カートリッジを MFP に装着すると、カートリッジが純正品ではないことが MFP に表示されます。別の HP 製品で使用していた HP カートリッジを装着した場合は、20 枚ほど印刷した後で、カートリッジが HP 純正品であることを認証するメッセージが表示されます。

HP 製カートリッジを購入しているのに純正の HP プリント カートリッジではないと MFP のコントロール パネルに表示される場合は、HP の Web サイト (www.hp.com/go/anticounterfeit) をご覧ください。

プリント カートリッジの保管

プリント カートリッジは、使用するまではパッケージから取り出さないでください。

注意

損傷を防ぐため、プリント カートリッジに、数分以上にわたって光が当たることのないようにしてください。

トナー レベルの確認

トナー レベルを確認するには、MFP のコントロール パネル、HP Toolbox、埋め込み型 Web サーバ、または HP Web Jetadmin を使用します。

MFP のコントロール パネルを使用する場合

- 1 「Menu (メニュー)」を押します。
- 2 「Information (情報)」を押します。
- 3 「PRINT SUPPLIES STATUS PAGE (サプライ品のステータス ページの印刷)」を押します。
サプライ品のステータス ページの詳細については、「[サプライ品ステータス ページ](#)」を参照してください。

HP Toolbox を使用する場合

この機能を使用するには、以下の条件を満たしている必要があります。

- HP Toolbox ソフトウェアがコンピュータにインストールされている (HP Toolbox は、ソフトウェアの標準インストールの一環として自動的にインストールされます)
- MFP がネットワークに接続されている
- インターネットにアクセスしてサプライ品を注文できる

HP Toolbox を使用するには

- 1 [スタート] メニューから、[プログラム]、[HP Toolbox] の順にクリックします。
Web ブラウザに HP Toolbox が開きます。
- 2 ウィンドウの左側にある [ステータス] タブをクリックし、[サプライ品のステータス] をクリックします。

注記

サプライ品を注文する場合は、[サプライ品の注文] をクリックします。クリックすると、ブラウザに URL が入力され、サプライ品を購入するページが表示されます。注文するサプライ品を選択し、注文処理を終了します。

埋め込み型 Web サーバを使用する場合

- 1 Web ブラウザで、MFP の IP アドレスを入力して MFP のホーム ページにアクセスします。MFP のステータス ページが表示されます。
- 2 画面の左側にある [サプライ品のステータス] をクリックします。サプライ品のステータス ページが表示されます。このページに、トナー レベルの情報があります。サプライ品のステータス ページの詳細については、「[サプライ品ステータス ページ](#)」を参照してください。

HP Web Jetadmin を使用する場合

HP Web Jetadmin で、MFP を選択します。デバイス ステータス ページにトナー レベル情報が表示されます。

プリント カートリッジの状態

プリント カートリッジ関連のメッセージが表示されるか、プリント カートリッジを交換する場合は、以下の手順に従います。

カートリッジの注文

プリント カートリッジの残量が少なくなると、「ORDER CARTRIDGE (カートリッジを発注してください)」というメッセージが MFP のコントロール パネルに表示されます。

「ORDER CARTRIDGE (カートリッジを発注してください)」というメッセージが表示されても印刷処理が継続される場合は、「CARTRIDGE LOW (カートリッジ残量少)」の設定が「CONTINUE (繼続)」(デフォルト設定) に設定されています。

トナーの残量が少なくなったときに MFP の印刷処理が中断される場合は、「CARTRIDGE LOW (カートリッジ残量少)」の設定が「STOP (停止)」に設定されています。印刷を再開するには、[スタート] ボタンを押します。

プリント カートリッジを交換するまで、MFP には「CARTRIDGE LOW (カートリッジ残量少)」と引き続き表示されます。

コントロール パネルの設定メニューから、「CARTRIDGE LOW=CONTINUE (カートリッジ残量少 = 繼続)」または「CARTRIDGE LOW=STOP (カートリッジ残量少 = 停止)」を選択します (「[System setup (システム セットアップ)] サブメニュー」を参照)。

「ORDER CARTRIDGE (カートリッジを発注してください)」というメッセージが表示された最初の時点で、交換用のプリント カートリッジを注文することをお勧めします。プリント カートリッジは、インターネットによるサプライ品の注文機能を使用して注文できます。この機能を使用するには、画面の右下にあるプリンタのアイコンをクリックし、使用している MFP のアイコンをクリックして、ステータス ページの [サプライ品の注文] リンクをクリックします。ネットワーク環境では、埋め込み型 Web サーバを使用してサプライ品を注文できます。

カートリッジの交換

プリント カートリッジが空になると、「REPLACE CARTRIDGE (カートリッジを交換してください)」というメッセージがコントロール パネル ディスプレイに表示されます。ドラムのトナーが空になるまで引き続き印刷することはできますが、このメッセージが表示された後の印刷品質は保証できません。ただし、ドラムの使用期限が切れたことが原因で「REPLACE CARTRIDGE (カートリッジを交換してください)」というメッセージが表示された場合は、カートリッジをすぐに交換する必要があるため、このメッセージを無視することはできません。このメッセージは、MFP とプリント カートリッジの損傷を防ぐために表示されます。

MFP のクリーニング ページの使用

注記

特定のタイプの用紙で良好な印刷品質を確保するには、プリント カートリッジを交換するたびにクリーニング ページを使用します。クリーニング ページを頻繁に使用する必要がある場合は、用紙のタイプを変更してください。

印刷した用紙の表面または裏面にトナーの斑点が見られる場合は、以下の手順に従います。

MFP のコントロール パネルで以下の操作を行います。

- 1 「Menu (メニュー)」を押します。
- 2 「Configure Device (デバイスの設定)」を押します。
- 3 「Print Quality (印刷品質)」を押します。
- 4 スクロールして、「Create Cleaning Page (クリーニング ページの作成)」を押します。ページが自動的に印刷されます。
- 5 クリーニング ページに印刷されている手順に従って、クリーニングを実行します。

- 6 MFP 内部でトナーのクリーニングが行われると、ページの黒色の帯状の部分に光沢のある黒色の点を確認できます。黒色の帯状の部分に白色の点がある場合は、クリーニングページを再度印刷する必要があります。

注記

クリーニングページ機能を正常に動作させるために、ボンド紙や粗めの用紙ではなくコピー用紙にクリーニングページを印刷してください。

プリントカートリッジのトナーの均一化

プリントカートリッジを最初に取り付けるときには、カートリッジを前後に軽く揺らして、カートリッジ内部のトナーが均一になるようにします。カートリッジ設計が新しくなったため、カートリッジを揺らす必要があるのは、この時点だけです。

警報の設定

MFP で HP Web Jetadmin または埋め込み型 Web サーバを使用すると、MFP で問題が発生したとき、警報が通知されるように設定することができます。警報は電子メールメッセージ形式で、指定した電子メールアカウントに送信されます。

以下の項目を設定できます。

- 監視する製品
- 受信する警報（紙詰まり、用紙切れ、カートリッジの注文、カートリッジの交換、カバーが開いているなど）
- 警報の転送先の電子メールアカウント

ソフトウェア	参照先
HP Web Jetadmin	警報とその設定方法の詳細については、HP Web Jetadmin のヘルプを参照してください。
埋め込み型 Web サーバ	埋め込み型 Web サーバの一般的な情報については、「 埋め込み型 Web サーバ 」を参照してください。 警報とその設定方法の詳細については、埋め込み型 Web サーバのヘルプを参照してください。

また、HP Toolbox ソフトウェアから警報を受信することも可能です。これらの警報は、ポップアップウィンドウまたはタスクバーのアニメーションアイコンで通知されます。HP Toolbox ソフトウェアは、電子メールメッセージ形式の警報は送信しません。HP Toolbox ソフトウェアでは、受信したい警報だけを通知するように設定したり、プリンタのステータスをチェックする頻度を指定したりすることができます。詳細については、「[HP Toolbox](#)」を参照してください。

プリンタ保守キット

注記

プリンタ保守キットは消耗品であり、保証の対象ではありません。

最良の印刷品質を確保するため、約 350,000 ページごとに新しいプリンタ保守キットを取り付けることをお勧めします。MFP の使用状況によっては、この枚数に達していないなくてもキットの交換が必要になる場合があります。プリンタ保守キットの交換頻度について不明な点がある場合は、サポート センタ (www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp) にお問い合わせください。

コントロール パネルに「PERFORM PRINTER MAINTENANCE (プリンタの保守を行ってください)」というメッセージが表示されたら、プリンタ保守キットを購入して新しいパーツを取り付ける必要があります。110-V キットの製品番号は C9152A、220-V キットの製品番号は C9153A です (注文方法については、「[パーツとアクセサリ](#)」を参照してください)。プリンタ保守キットには、タイプ 1 のローラー (2 個)、タイプ 2 のローラー (7 個)、トランスマルチローラー アセンブリ (1 個)、フューザ アセンブリ (1 個) が同梱されています。キットのコンポーネントを取り付ける手順については、プリンタ保守キットに付属の説明書を参照してください。

10 トラブルシューティング

概要

ここでは、MFP の問題を確認して解決する方法について説明します。

紙詰まりの解決

印刷中に紙詰まりが生じることがあります。ここでは、紙詰まりの場所を確認し、詰まった用紙を MFP から正しく取り除き、紙詰まりが再発しないようする方法について説明します。

MFP のメッセージの解釈

コントロールパネル ディスプレイには、さまざまなメッセージが表示されます。「INITIALIZING (初期化中)」など、現在の MFP のステータスを表すメッセージもあります。「CLOSE RIGHT DOOR (右扉を閉じてください)」など、操作を指示するメッセージもあります。ほとんどのメッセージは、わかりやすい表現で示されています。ただし、MFP に関する問題を表示するメッセージや、表示された操作や説明の後に、さらに操作や説明の確認が必要になるメッセージもあります。ここでは、そのようなメッセージを列挙して、メッセージが消えない場合の対処方法について説明します。

出力品質のトラブルシューティング

MFP では通常の場合、最高品質のプリント ジョブが実行されます。イメージがくつきりときれいに印刷されない場合、ページに線、斑点、にじみなどの問題がある場合、または用紙がしわになったり曲がったりする場合は、ここでの説明を参考にしてプリンタ品質の問題について確認し、解決してください。

MFP の問題の検出

MFP の問題を解消する前に、問題の発生場所を特定する必要があります。このセクションの一覧表を参照して MFP の問題を確認し、対応する解決策に従ってください。

ソフトウェア、コンピュータ、および製品インターフェースの問題

このセクションの表を参照して、ソフトウェアの問題かコンピュータの問題かを判断し、ジョブの印刷に影響するおそれのあるインターフェースの問題を診断してください。

MFP の設定の確認

MFP からは、情報ページを印刷することができます。情報ページには、MFP と MFP の設定に関する詳細が記載されています。

紙詰まりの解決

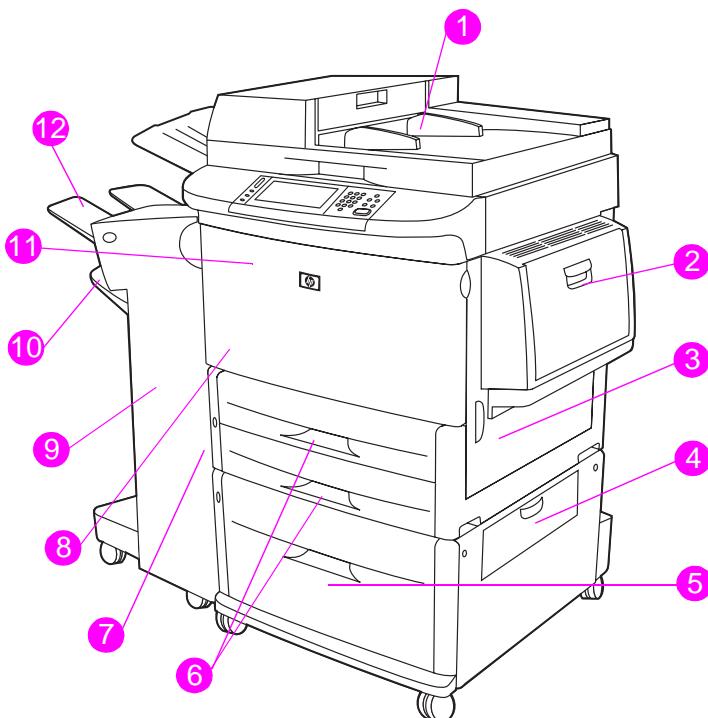
コントロールパネルに紙詰まりを示すメッセージが表示されたときは、下の図を参考に、紙詰まりの場所を確認してください。紙詰まりメッセージで示された場所とは別の場所についても確認が必要になることがあります。紙詰まりの場所がよくわからないときは、まず、正面扉のあたりを確認してください。

場所を特定したら、紙詰まりを解決します。詰まった用紙を取り除くときは、破れないように十分注意してください。用紙の切れ端がMFPに残ると、後で紙詰まりの原因になります。紙詰まりが繰り返し生じる場合は、「紙詰まりが繰り返し発生する場合の対処方法」を参照してください。

注記

紙詰まりの後には、こぼれたトナーがMFPに残って出力品質が低下する場合があります。数ページを印刷すると、トナーの汚れはなくなります。

紙詰まりの場所



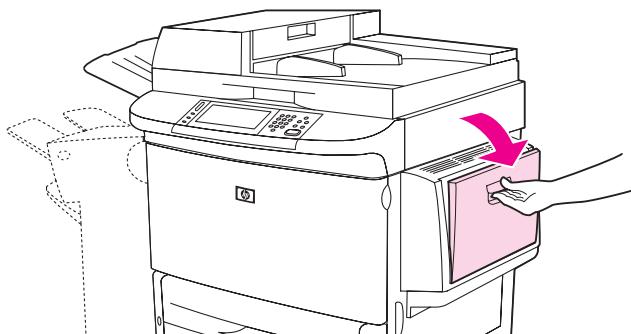
HP LaserJet 9040mfp または HP LaserJet 9050mfp (3000枚収納スタッカ / ステイプラ装備)

1. ADF
2. レイ 1
3. 右扉
4. 上方用紙送り扉
5. レイ 4
6. レイ 2 と レイ 3
7. 左扉 (排紙デバイス背面)
8. 両面印刷ユニット (MFP 内部)
9. 排紙デバイス
10. 下部ビン
11. 正面扉とプリント カートリッジ部分
12. 上部ビン

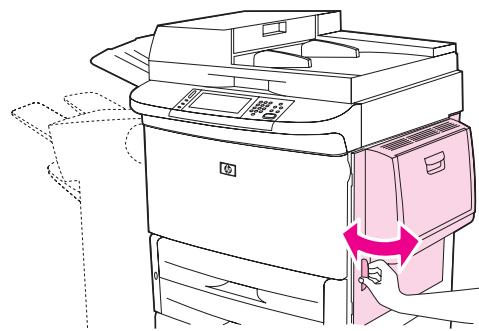
給紙トレイでの紙詰まりの解決

トレイ 1 の紙詰まりを解決するには

- トレイ 1 の用紙の状態を確認して、用紙を取り除きます。用紙の切れ端が残っていないことを十分に確認します。



- 右扉を一度開き、また閉じて、MFP をリセットします。



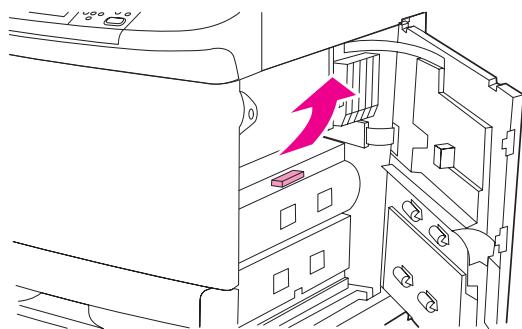
右扉内側の紙詰まりを解決するには

- 右側の扉を開きます。



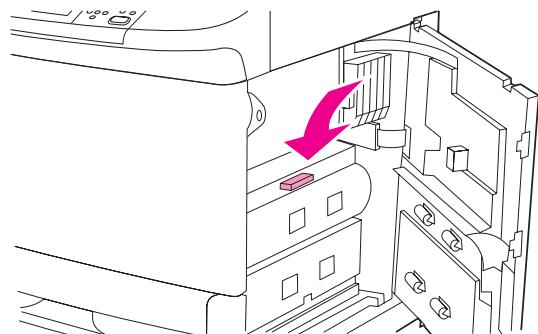
- 右扉部分の用紙の状態を確認して、用紙を取り除きます。用紙の切れ端が残っていないことを十分に確認します。

3 ジャムアクセスカバーを開きます。それには、緑色のタブを引き出して起こします。



4 この部分にある用紙を MFP から引き出して取り除きます。

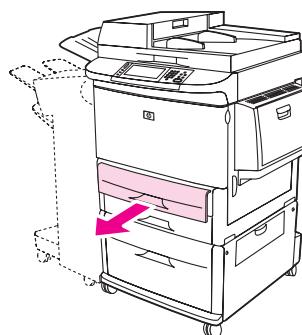
5 緑色のレバーを元の位置に押し下げます。



6 右側の扉を閉じます。

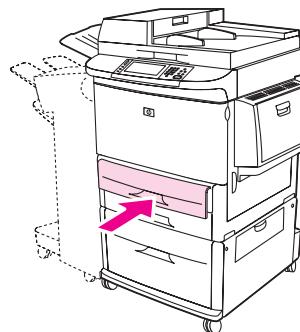
トレイ 2 とトレイ 3 の紙詰まりを解決するには

1 トレイを完全に開きます(止まるまで引き出します)。

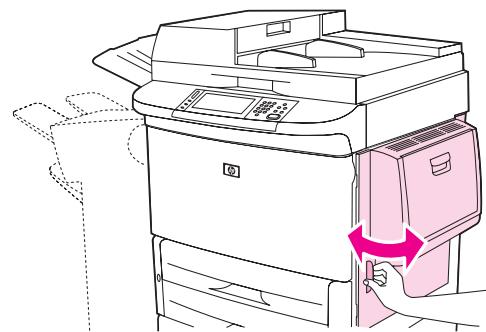


2 トレイの用紙の状態を確認して、用紙を取り除きます。用紙の切れ端が残っていないことを十分に確認します。

3 トレイを閉じます。

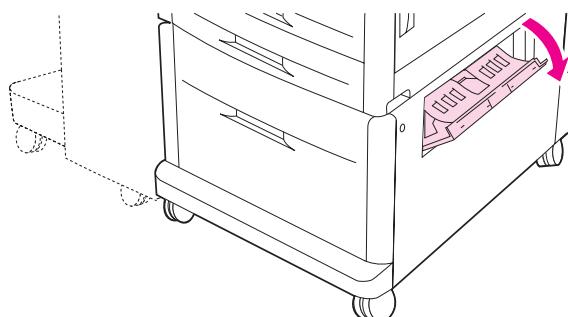


4 右扉を一度開き、また閉じて、MFP をリセットします。



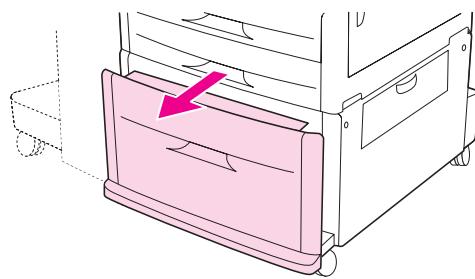
トレイ 4 の紙詰まりを解決するには

1 トレイ 4 にある上方用紙送り扉を開きます。



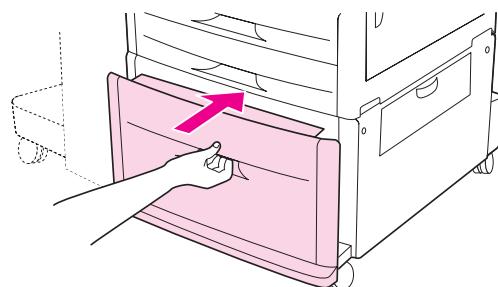
2 この部分の用紙の状態を確認して、用紙を取り除きます。用紙の切れ端が残っていないことを十分に確認します。

3 上方用紙送り扉の中に用紙が見当たらない場合は、トレイ 4 を開きます。

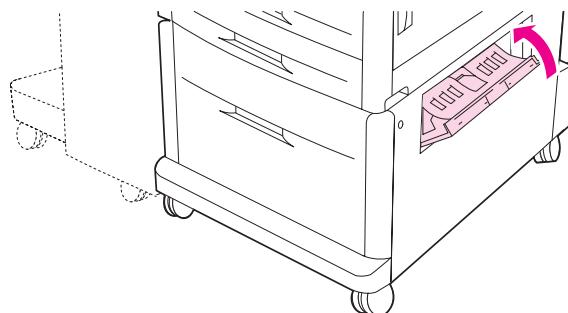


4 トレイの用紙の状態を確認して、用紙を取り除きます。用紙の切れ端が残っていないことを十分に確認します。

5 トレイ 4 を閉じます。



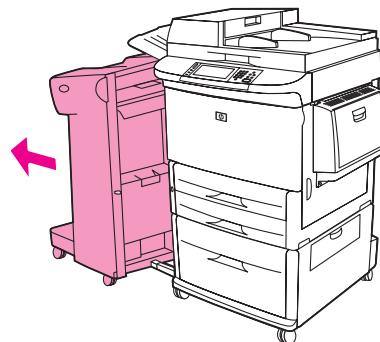
6 上方用紙送り扉を閉じます。



両面印刷アクセサリ（両面印刷ユニット）での紙詰まりの解決

両面印刷アクセサリの紙詰まりを解決するには

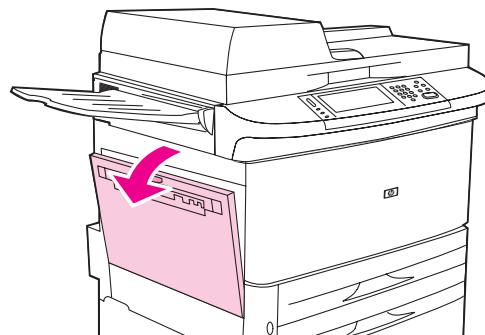
- 1 排紙デバイスを MFP から切り離して、左扉を開くことができるようになります。



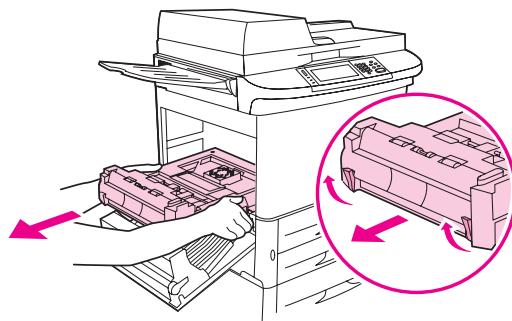
- 2 左扉を開き、この部分にある用紙を引き出して取り除きます。

警告

すぐ横にあるフューズ領域には触れないようにしてください。高温になっている場合があります。

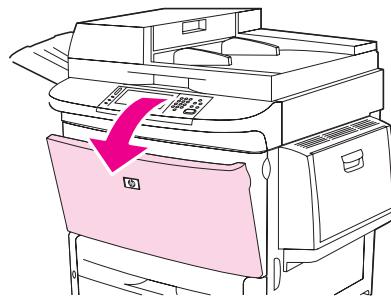


- 3 緑色のレバーを押して、ユニットが止まるところまで引き出して、両面印刷アクセサリを取り外します。

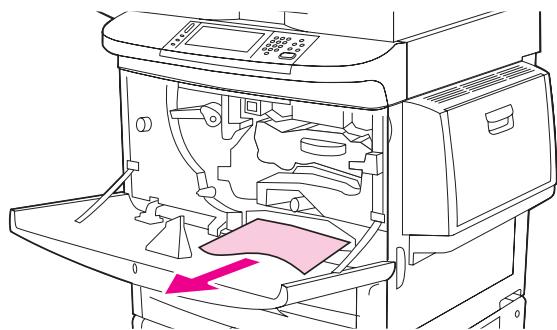


- 4 両面印刷アクセサリの 2 つの緑色のレバーを上方に起こして、用紙を取り除きます。

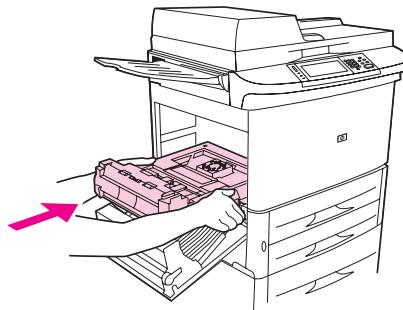
5 正面扉を開きます。



6 両面印刷アクセサリ内の用紙の状態を確認し、MFP から用紙を引き出して取り除きます。
用紙が破れないように注意してください。



7 両面印刷アクセサリをスライドさせてスロットに挿入し、カチッとはめ込みます
(元の状態に戻します)。

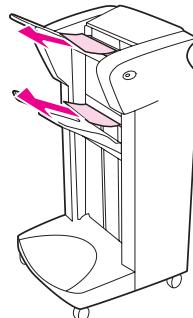


8 開いている扉をすべて閉じます。排紙デバイスを押して、元の位置に戻します。

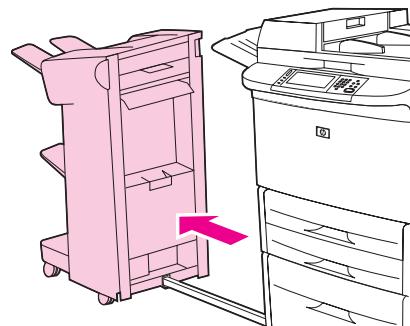
排紙部分での紙詰まりの解決

スタッカ / ステイプラでの紙詰まりを解決するには

- 1 排紙ビンに紙詰まりがあるときは、破れないように注意しながら、ゆっくりとまっすぐに、MFP から用紙を引き出します。



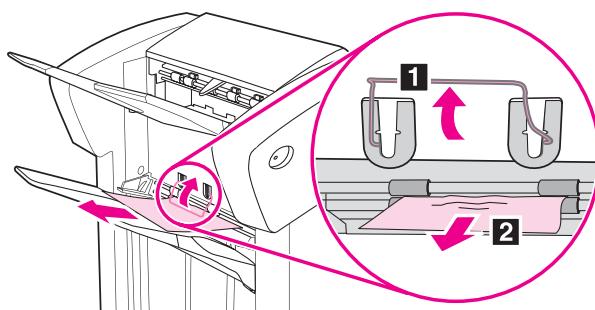
- 2 出力デバイスを MFP から取り外します。



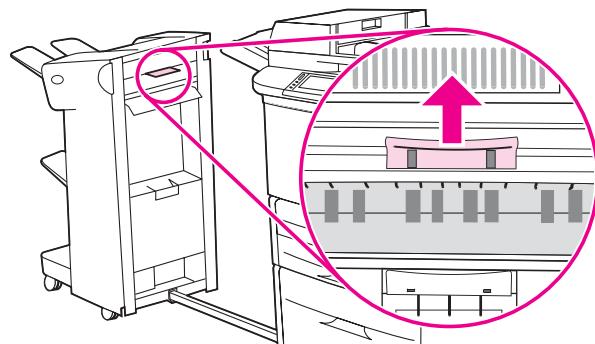
- 3 スタッカの場合、デバイスの下部ビンのワイヤを持ち上げ、この部分に用紙があれば、慎重に取り除きます。スタッカ / ステイプラの場合、アキュムレータ部分から用紙が突き出ている場合は、それを慎重に取り除きます。

注記

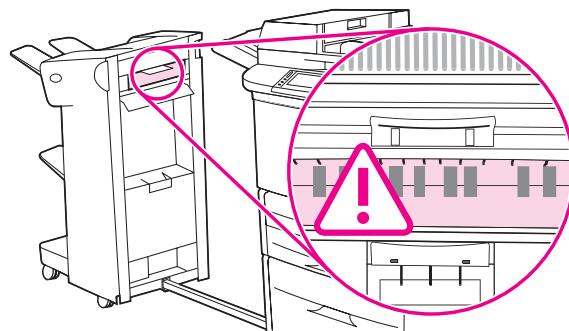
下部ビンにワイヤがあるのはスタッカだけです。



4 フリッパのあたりにあるハンドルを探して、ハンドルを引き上げます。



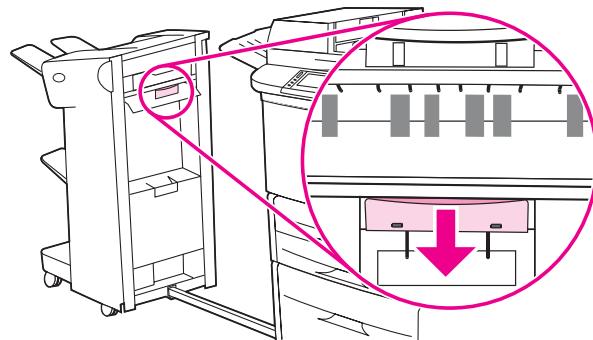
5 フリッパの部分から用紙を取り除きます。



警告

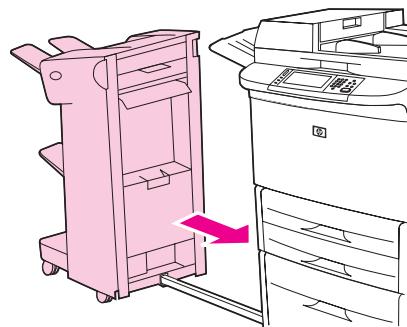
フリッパのあたりには触れないようにしてください。高温になっている場合があります。

6 用紙経路モジュール内にある緑のハンドルを探して、このハンドルを引き下げます。



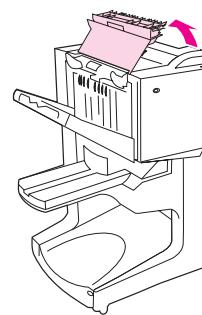
7 用紙経路モジュールから用紙を取り除きます。

8 開いている扉をすべて閉じます。排紙デバイスを押して、元の位置に戻します。

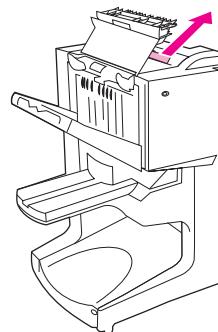


マルチファンクション フィニッシャでの紙詰まりを解決するには

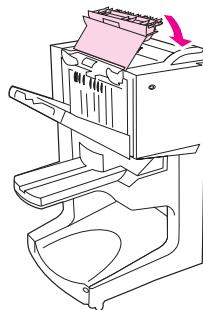
1 フィニッシャのカバーを開きます。



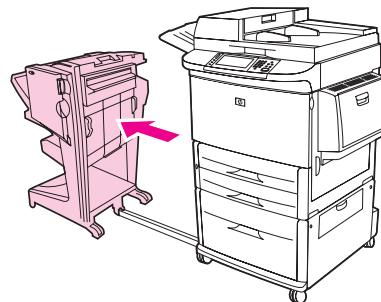
2 用紙が破れないように注意しながら、ゆっくりとまっすぐに、フィニッシャから用紙を引き出します。



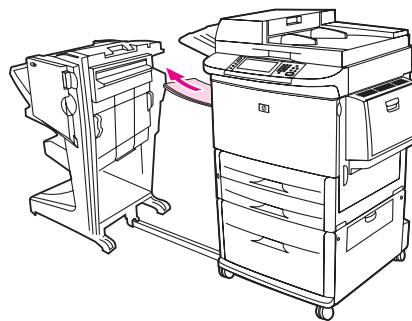
3 フィニッシャのカバーを閉じます。



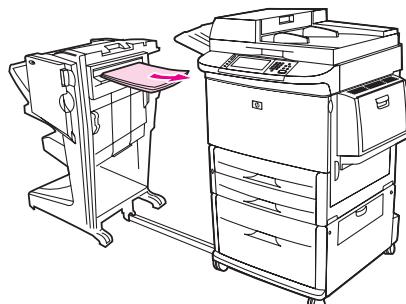
4 フィニッシャを MFP から取り外します。



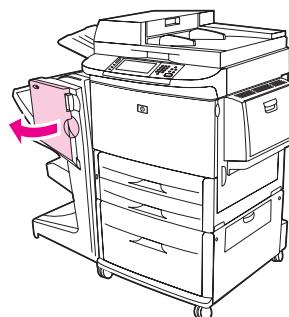
5 MFP の排紙部分を確認して、用紙を取り除きます。



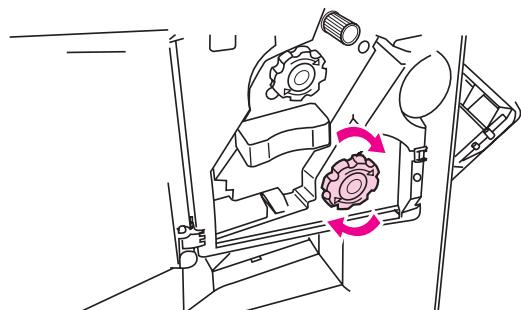
6 フィニッシャの給紙部分を確認して、用紙を取り除きます。



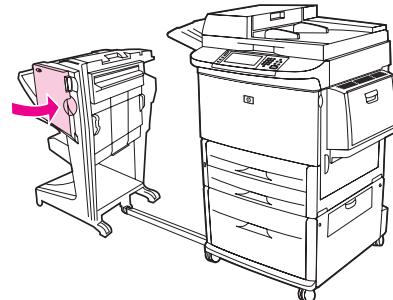
7 ステイプラ ユニットの扉を開きます。



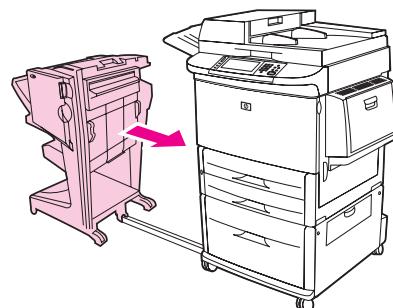
8 ブックレット部分の詰まりを解決するには、下部にある緑色のつまみを時計回りに回して、ブックレットを取り除きます。



9 ステイpla ユニットの扉を閉じます。

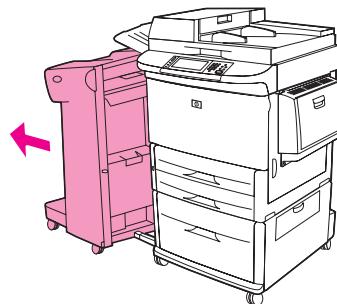


10 マルチファンクション フィニッシャを押して、元の位置に戻します。



左扉の中の紙詰まりを解決するには (フューザ領域)

- 1 排紙デバイスを MFP から切り離して、左扉を開くことができるようになります。



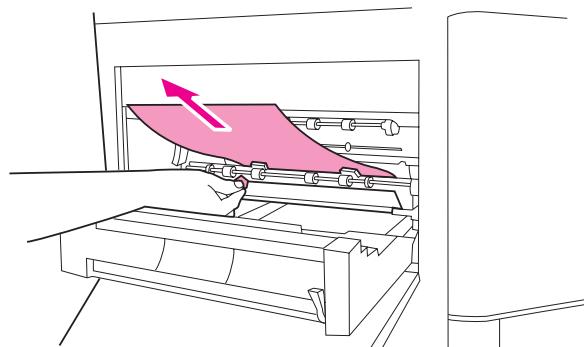
- 2 左扉を開きます。

警告

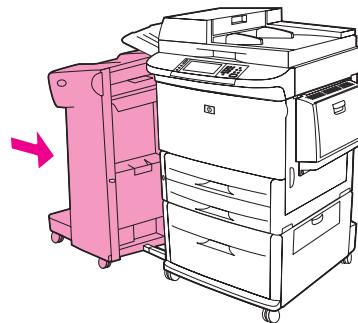
すぐ横にあるフューズ領域には触れないようにしてください。高温になっている場合があります。



- 3 この部分にある詰まった用紙や使えなくなった用紙を、MFP から引き出して取り除きます。
- 4 緑色のタブを押し下げる、用紙の状態を十分に確認します。用紙の切れ端が残っていないことを確認してください。

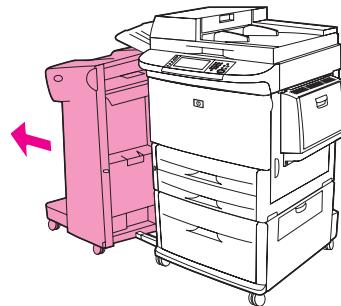


5 左扉を閉じます。排紙デバイスを押して、元の位置に戻します。

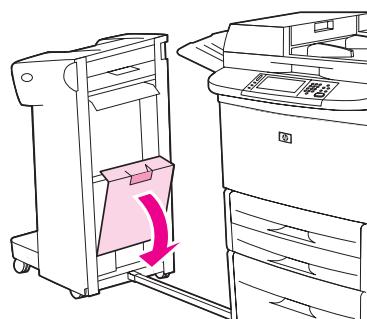


スタッカ / ステイプラの針詰まりを解決するには

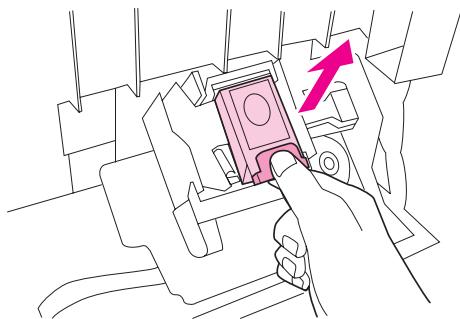
1 スタッカ / ステイプラを MFP から取り外します。



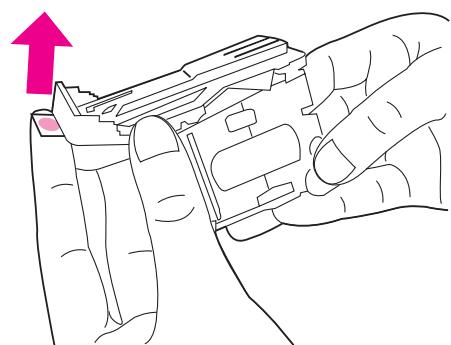
2 ステイプラ ユニットの扉を開きます。



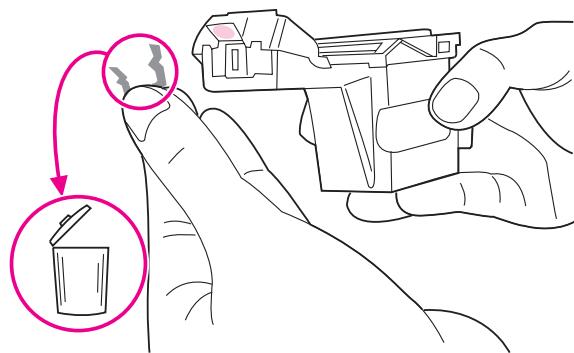
3 カートリッジを引き出します。



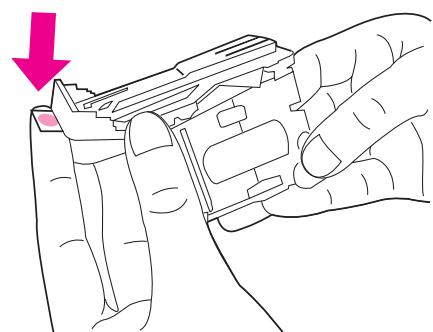
4 緑色のドットが付いたレバーを引き起こします。



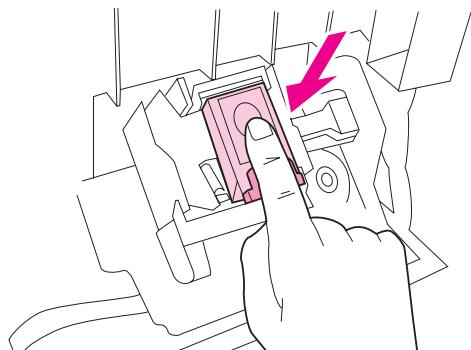
5 使えなくなった針を取り除きます。



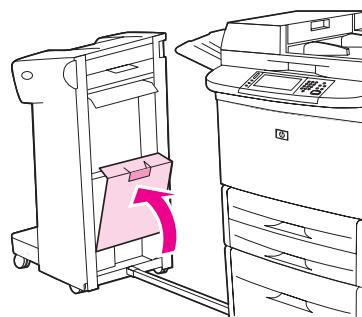
6 緑色のドットが付いたレバーを押し下げます。



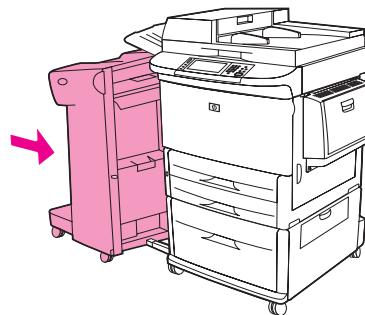
7 ステイプルカートリッジを取り付け直します。



8 ステイプラ ユニットの扉を閉じます。



9 スタッカ / ステイプラを押して、元の位置に戻します。

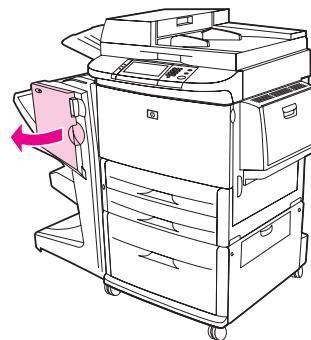


注記

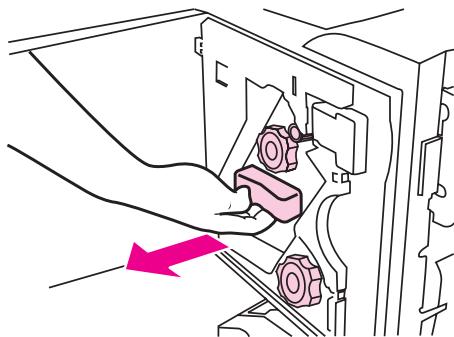
針詰まりを解決したら、ステイプラを再セットする必要があります。再セット後、何部かのドキュメント(4部程度)は、ステイプル留めされない場合があります。プリントジョブを送信した後に、ステイプラに針詰まりが生じたり、ステイプラの針がなくなったりしても、排紙ビンに障害がなければ、プリントジョブはそのまま続行されます。

マルチファンクション フィニッシャの針詰まりを解決するには

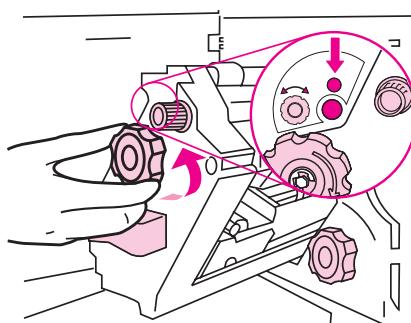
- 1 ステイプラ ユニットの扉を開きます。



- 2 ステイプラ ユニットを手前にスライドさせます。



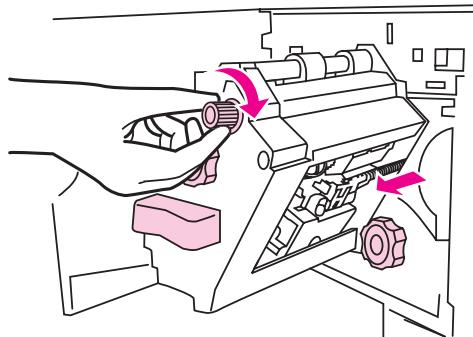
- 3 ステイプラ ユニットの窓型部分に青色のドットが見えるまで、大きい方の緑色のつまみを回します。



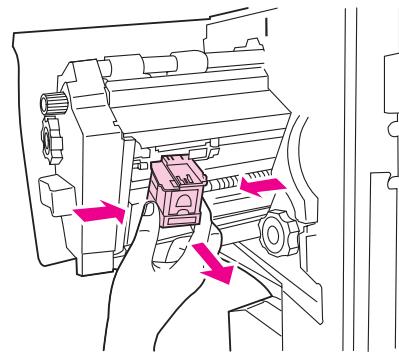
- 4 ステイプルカートリッジがステイプラー ユニットの左側に移動するまで、ステイプラー上部にある小さい方の緑色のつまみを時計回りに回します。

注意

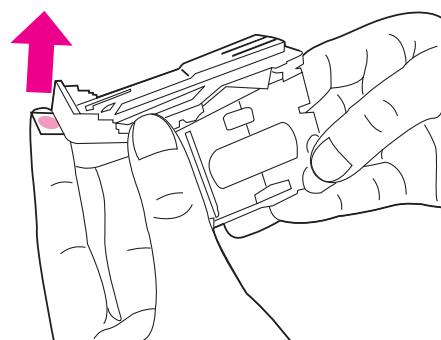
ステイプルカートリッジを取り外す前に、ステイプラー ユニットの窓型部分に青色のドットが見えていることを確認してください。窓型部分に青色のドットが見えていない状態でステイプルカートリッジを取り外すと、フィニッシャに損傷を与えることがあります。



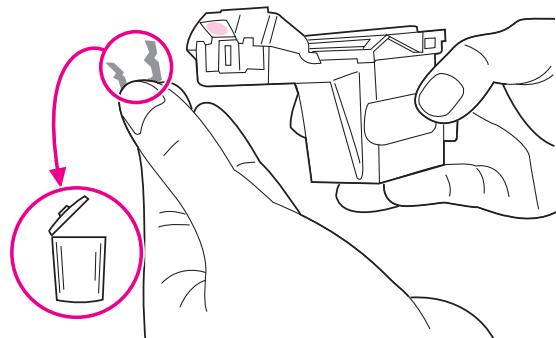
- 5 青色のタブをゆすって、ステイプルカートリッジを取り外します。



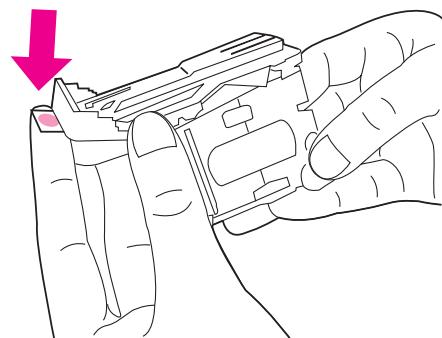
- 6 緑色のドットが付いたレバーを引き起こします。



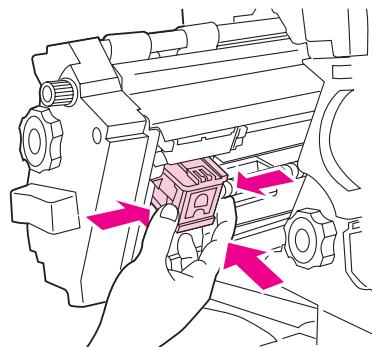
7 使えなくなった針を取り除きます。



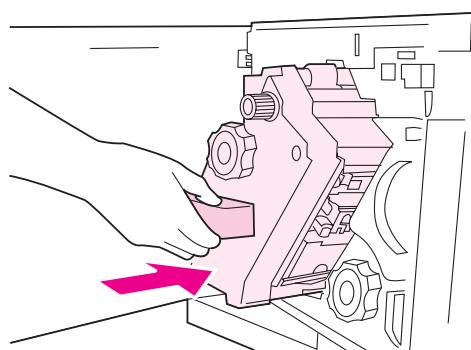
8 緑色のドットが付いたレバーを押し下げます。



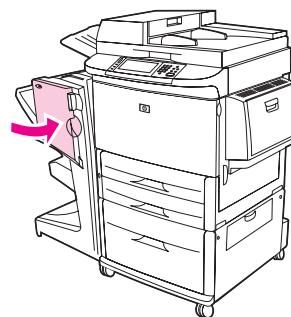
9 カチッと音がしてはまるところまで、ステイプル カートリッジをはめ込みます。



10 ステイプラ ユニットをスライドさせて、フィニッシャ内部に戻します。

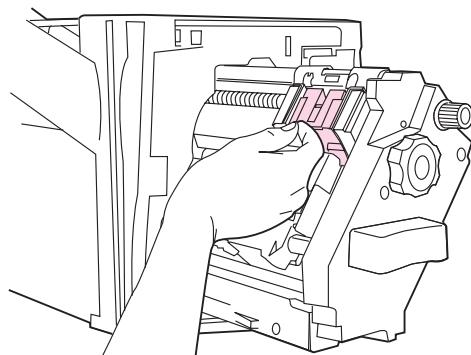


11 ステイプラ ユニットの扉を閉じます。



まれに、ステイプラ先端の上半分で針詰まりが生じることがあります。

- 1 マルチファンクション フィニッシャの針詰まりを解決する手順の 1 から 4 に従って対処します (「マルチファンクション フィニッシャの針詰まりを解決するには」を参照)。
- 2 ステイプラ ユニットの背面で、使えなくなった針の場所を確認し、針を取り除きます。



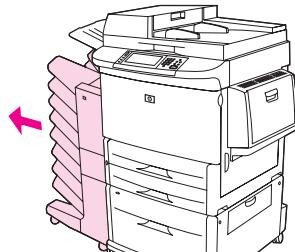
- 3 マルチファンクション フィニッシャの針詰まりを解決する手順の 10 から 11 に従って対処します (「マルチファンクション フィニッシャの針詰まりを解決するには」を参照)。

8 ビン メールボックスでの紙詰まりを解決するには

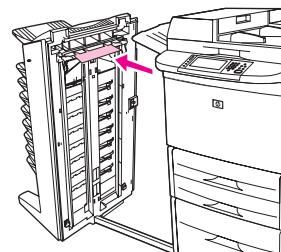
注記

用紙の厚さが、8 ビン メールボックスの対応範囲内であることを確認します。「用紙の仕様」を参照してください。

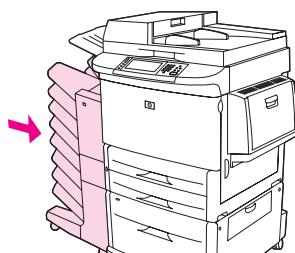
- 1 8 ビン メールボックスを MFP から取り外します。MFP の左側に立ち、8 ビン メールボックスを手前にまっすぐ引き出します。



- 2 上部ビン（上向きビン）を、注意しながら取り外します。
- 3 排紙モジュールのハンドルを引き下げ、この部分にある詰まった用紙を取り除きます。



- 4 8 ビン メールボックスを所定の位置に押し込み、上部ビンを取り付け直します。



紙詰まりが繰り返し発生する場合の対処方法

状況	解決法
紙詰まりが繰り返し発生する	<ol style="list-style-type: none">用紙がトレイに正しくセットされ、用紙ガイドも適切に調節されていることを確認します（「印刷」を参照）。用紙サイズに合わせて用紙トレイが設定されていることと、トレイにセットされている用紙が多すぎないことを確認します。トレイにセットされている用紙の束を裏返してみます。穴あき用紙またはレターヘッド用紙を使用している場合は、トレイ 1 から印刷します。印刷済みの用紙、破れた用紙、使い古しの用紙、不揃いの用紙は使用しないでください。MFP での使用に推奨する用紙については、「対応する用紙のタイプ」を参照してください。用紙の仕様を確認します（「用紙の仕様」を参照）。推奨サイズ外の用紙を使用すると、問題が生じことがあります。MFP が汚れている可能性があります。「MFP のクリーニング」の説明に従って、MFP をクリーニングします。使えなくなった用紙や、紙詰まりを起こした用紙が MFP に残っていないことを確認します。
ADF で紙詰まりが繰り返し発生する	<ol style="list-style-type: none">ADF が汚れている可能性があります。「ADF 出力システムのクリーニング」の説明に従って、ADF をクリーニングします。

注記

紙詰まりが続く場合は、正規 HP サービス会社までご連絡ください (HP サポートの小冊子、あるいは www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照)。

MFP のメッセージの解釈

MFP のメッセージは、MFP のコントロール パネル ディスプレイに表示され、MFP の通常のステータス（「Processing Job (ジョブの処理中)」など）や、注意が必要なエラー状態（「Close Right Door (右扉を閉じてください)」など）を示します。「コントロール パネルに表示されるメッセージへの対処方法」では、注意や問い合わせが必要になるメッセージを挙げています。メッセージはアルファベット順に記載し、数字で示されるメッセージは最後に列挙しています。一部のメッセージは、見ればわかるためここには挙げていません（「Ready (印刷可能)」など）。

注記

MFP の一部のメッセージは、コントロール パネルの [CONFIGURE DEVICE] (デバイスの設定) メニューの [System Setup] (システム セットアップ) サブメニューにある [AUTO CONTINUE] (自動継続) および [CLEARABLE WARNINGS] (解除可能な警告) 設定の影響を受けますので注意してください（「[System setup] (システム セットアップ) サブメニュー」を参照）。

MFP のヘルプ システムの使用

MFP にはオンライン ヘルプ システムが備わっており、MFP のほとんどのエラーに関して対処方法を参照できます。コントロール パネルに表示されるメッセージの中には、オンライン ヘルプ システムの説明を参照するように指示するメッセージと代わるがわる表示されるものもあります。

エラー メッセージ内に「?」が表示されている場合、またはエラー メッセージと「FOR HELP TOUCH ? (ヘルプを表示するには?を押す)」メッセージが代わるがわる表示される場合は、? キーを押してヘルプを表示します。

ヘルプ システムを終了するには、? を押します。

メッセージが消えない場合

- トレイのセットを求めるプロンプトや、前のプリント ジョブが MFP のメモリに残っていることを知らせるメッセージなどの場合は、[Continue] (継続) を押して印刷を実行するか、[Stop] ボタンを押してジョブをクリアすれば、メッセージは消去されます。
- このような操作を行ってもメッセージが消えない場合は、正規 HP サービス会社 / サポート会社までご連絡ください (HP サポートの小冊子か、あるいは www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照)。

コントロール パネルに表示されるメッセージへの対処方法

メッセージ	説明 / 対処方法
Access denied MENUS LOCKED (アクセスが拒 否されました メニューが ロックされて います)	コントロール パネルのセキュリティが有効になっているため、メニューを開 くことができません。
ACTION NOT CURRENTLY AVAILABLE FOR TRAY X TRAY SIZE CANNOT BE ANY SIZE/ANY CUSTOM (トレイ X で現在 実行できない操作 ですトレイ サイズ が任意のサイズ / 任意カスタムでは 実行できません)	[Any Size] (任意のサイズ) または [Any Custom] (任意カスタム) に設定 されているトレイから、ドキュメントの両面印刷を行う要求が出されました。 [Any Size] (任意のサイズ) または [Any Custom] (任意カスタム) に設定 されているトレイから、両面印刷を行うことはできません。別のトレイを選 択するか、トレイを再設定してください。
ADF Cover Open (ADF カバーが開 いています)	ADF のカバーを閉じ、画面のダイアログ ボックスに表示される指示に従い ます。
ADF PAPER JAM (ADF で紙詰まりが 発生しました)	ADF で紙詰まりが発生しています。 画面のダイアログ ボックスに表示される指示に従います。
ADF PICK ERROR Open the ADF cover (ADF ピック エ ラー ADF のカバー を開いてください)	原稿が 30 ページを超えていないことを確認します。 画面のダイアログ ボックスに表示される指示に従います。
ADF SKEW ERROR (ADF 歪みエラー)	原稿の両側で用紙ガイドの位置が揃っていない、原稿がすべて同じサイズであ ることを確認します。 画面のダイアログ ボックスに表示される指示に従います。
Authentication information is incorrect. Please re-enter information. (認証情報に誤り があります。情報 を入力し直してく ださい。)	ユーザー名かパスワードが間違っています。情報をもう一度入力し直してく ださい。

メッセージ	説明 / 対処方法
Authentication Required (認証が必要です)	この機能または宛先では、認証が有効になっています。ユーザー名およびパスワードが必要です。ネットワーク管理者に問い合わせてください。
Authentication required to use this feature (この機能を使用するには認証が必要です)	ユーザー名およびパスワードが必要です。ネットワーク管理者に問い合わせてください。
BAD DUPLEXER CONNECTION (両面印刷ユニットの接続不良です)	両面印刷アクセサリが MFP に正しく接続されていません。 画面のダイアログ ボックスに表示される指示に従います。
BAD OPTIONAL TRAY CONNECTION (オプション トレイの接続不良です)	オプションのトレイが、MFP に正しく接続されていません。 画面のダイアログ ボックスに表示される指示に従います。
BAD TRAY 1 CONNECTION (トレイ 1 の接続不良です)	トレイ 1 が MFP に正しく接続されていません。 画面のダイアログ ボックスに表示される指示に従います。
<BINNAME> FULL (< ビン名 > が一杯です)	指定の排紙ビンが一杯です。 排紙ビンを空にして、印刷を続けます。
Canceling... <JOBNAME> (< ジョブ名 > をキャンセル中...)	ジョブのキャンセル中です。ジョブの中止、用紙経路からの用紙の排出、アクティブなデータ チャネルにある残りのジョブ データの受信と破棄が完了するまで、メッセージは表示されます。
CARD SLOT X NOT FUNCTIONAL (カード スロット X が機能していません)	指定のスロットに挿入されているコンパクト フラッシュ カードが正常に機能していません。
CARTRIDGE FAILURE Return for Replacement (カートリッジに障害があります 交換のため返品してください)	カートリッジはセットされていますが、出荷保護用の帯を完全に取り除くことができません。 新しいカートリッジと交換するためにカートリッジを返品してください (「 パートとアクセサリ 」か、あるいは www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照)。

メッセージ	説明 / 対処方法
CARTRIDGE OUT REPLACE CARTRIDGE (カートリッジが なくなりました カートリッジを交 換してください)	カートリッジのトナーがなくなりました。MFP が損傷するおそれがあるため、印刷を継続することはできません。プリントカートリッジを交換してください。
CHECK CABLES Then turn off then on (ケーブルを確認 して電源を入れ直 してください)	スキャナと MFP の間のケーブルが接続されていることを確認します。エラーメッセージが消えない場合は、ケーブルを交換してください。
CHECK CABLES CHECK SCANNER LOCK To continue turn off then on (ケーブルとス キャナのロックを 確認して続行する 場合は電源を入れ 直してください)	スキャナのロックが解除され、インターフェースケーブルが正しく取り付けられていることを確認します。
CHECK COPY CONNECT CARD (コピー接続カーダ ドを確認してくだ さい)	フォーマッタのコピー接続ボードがしっかりと取り付けられていることを確認します。コピー接続ボードの LED ランプの動作を確認します。問題が続く場合は、コピー接続ボードを交換します。
Check the glass and remove any paper, then press START (ガラスを確認して 用紙があれば取り 除いてから、[ス タート] ボタンを 押してください)	デジタル送信またはコピー ジョブがスキャナガラスから実行されていますが、原稿を取り除く必要があります。
Checking paper path (用紙経路を 確認中)	MFP のローラーが回転して、紙詰まりがないかを確認しているところです。
CHOSEN PERSONALITY NOT AVAILABLE To continue touch OK (選択したパーソ ナリティは使用で きません続行する 場合は [OK] を押 してください)	この MFP で使用できない MFP 言語 (パーソナリティ) のプリントジョブが要求されました。このジョブは印刷されません。また、メモリからクリアされます。このジョブを印刷するためには、別のプリンタ言語対応のドライバを使用してください。または、可能な場合は、必要な言語を MFP に追加してください。

メッセージ	説明 / 対処方法
CLEANING DISK <XX>% Complete Do not Power off. (ディスクの クリーニング <XX>% 完了電源を切らな いでください)	ハードディスクまたはコンパクトフラッシュディスクのクリーニング中 です。ネットワーク管理者に問い合わせてください。
CLOSE FLATBED COVER DURING INITIALIZATION (初期化中は平面 カバーを閉じてく ださい)	MFPの電源を入れる前に上部カバーを閉じます。
CLOSE FRONT OR LEFT DOOR To continue turn off then on (正面扉または左 扉を閉じてく ださい続行する場合は 電源を入れ直して ください)	これらの扉の1つが開いたままの状態でMFPの電源を入れました。 扉を閉め、MFPの電源を切って入れ直します。
CLOSE RIGHT DOOR (右扉を閉じてく ださい)	上方用紙送り扉を閉じます。
CLOSE RIGHT DOOR To continue turn off then on (右扉を閉じてく ださい続行する場 合は電源を入れ直 してください)	右扉が開いたままMFPの電源を入れました。
CLOSE STAPLE DOOR (ステイプルの扉を 閉じてください)	排紙処理デバイスのステイプラにアクセスする扉を閉じます。
Creating... CLEANING PAGE (クリーニング ページの作成中)	クリーニングページを作成中です。
DATA RECEIVED (データ受信済み です)	MFPはデータを受信していますが、給紙が始まるまで待機中か、一時停止 状態です。

メッセージ	説明 / 対処方法
DIFFERENT PAPER SIZES IN JOB (ジョブに複数のページ サイズがあります)	マルチファンクション フィニッシャで、1 つのジョブに対して複数の用紙サイズが使用されています。 ジョブのすべてのページが同じサイズに設定されていることを確認してください。
Deleting... (削除中 ...)	保存ジョブの削除中です。
Digital Send server is not responding Contact administrator (デジタル送信サーバが応答していませんシステム管理者に連絡してください)	サーバと通信できません。ネットワーク接続を確認してください。
DUPLEXER ERROR REMOVE DUPLEXER Install duplexer with power off (両面印刷エラー：両面印刷ユニットの外れ／電源を切ってユニットを取り付けてください)	両面印刷ユニットが外れています。両面印刷ユニットを取り付け直してください。
EIO X DISK NOT FUNCTIONAL (EIO X ディスクが機能していません)	EIO ハード ディスクが正常に動作していません。 画面のダイアログ ボックスに表示される指示に従います。
E-mail Gateway did not accept the job because the attachment was too large (添付ファイルが大きすぎるため電子メール ゲートウェイがジョブを受け付けませんでした)	スキャンしたドキュメントが、電子メール サーバのサイズ制限を超えています。解像度を下げるか、ファイル サイズの設定を小さくするか、またはページを少なくして、ジョブを送信し直します。スキャンしたドキュメントを複数の電子メールで送信できるようにするには、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
E-mail Gateway did not respond (電子メールのゲートウェイが応答しませんでした)	電子メールのゲートウェイがタイムアウト値を超えました。電子メール アドレスを確認してください。

メッセージ	説明 / 対処方法
E-mail Gateway rejected the job because of the addressing information. Job failed (アドレス情報が理由で電子メールのゲートウェイがジョブを拒絶しましたジョブは失敗しました)	1つまたは複数の電子メールアドレスが間違っています。正しいアドレスでジョブをもう一度送信してください。
Event log empty (イベント ログなし)	コントロール パネルの [SHOW EVENT LOG] (イベント ログの表示) を選択しましたが、表示できるイベント ログはありません。
FINISHING PROCESS NOT FUNCTIONAL For help touch OK (フィニッシャが機能していませんヘルプを表示するには [OK] を押してください)	外部デバイスであるフィニッシャに処理を渡せない状態で、給紙されている可能性があります。プリント ジョブの仕上げ処理は行われません。
FLATBED COVER OPEN (平面カバーが開いています)	ADF カバーが開いています。カバーを閉じてください。
Folder list is full. To add a folder, you must first delete a folder. (フォルダ リストが一杯です。フォルダを追加するにはまずフォルダを削除する必要があります。)	MFP では、確立できるフォルダ数が制限されています。新しいフォルダを追加するには、使用していないフォルダを削除してください。
Found LDAP Gateway: <IP Address> (LDAP ゲートウェイ: <IP アドレス> が見つかりました)	ネットワーク上で、リストアップされた LDAP ゲートウェイが見つかりました。アドレスを有効にするには、そのアドレスを受け入れてください。

メッセージ	説明 / 対処方法
Found SMTP Gateway: <IP Address> (SMTP ゲートウェイ： <IP アドレス> が 見つかりました)	ネットワーク上で、リストアップされた SMTP ゲートウェイが見つかりました。アドレスを有効にするには、そのアドレスを受け入れてください。
Front Side Optical System Error (正面側の光学シ ステム エラー)	スキャナにエラーが発生しました。MFP の電源をいったん切り、入れ直してください。
[FS] DEVICE FAILURE ([FS] デバイス障害)	表示されたメモリ デバイスで障害が発生しました。MFP の電源をいったん切り、入れ直してください。 メッセージが消えない場合は、メモリ デバイスを交換してください。
[FS] FILE OPERATION FAILED ([FS] ファイル操 作が失敗しました)	MFP は PJL ファイルシステム コマンドを受け取りましたが、そのコマンドは非論理的です (存在しないディレクトリにファイルをダウンロードするコマンドなど)。
[FS] FILE SYSTEM IS FULL ([FS] ファイル シ ステムが一杯です)	MFP はファイルシステムに何かを保存するという PJL ファイルシステム コマンドを受け取りましたが、ファイルシステムが一杯です。
[FS] IS WRITE PROTECTED ([FS] は書き込み 禁止です)	ファイルシステム デバイスが保護されています。新しいファイルを書き込むことができません。
[FS] NOT INITIALIZED ([FS] が初期化さ れていません)	ファイルシステムが初期化されていません。
Gateways failed (ゲートウェイ 障害)	MFP が SMTP または LDAP サーバを検出できませんでした。ゲートウェイ アドレスを確認してください。
HP Digital Sending: Delivery Error (HP デジタル送 信：配信エラー)	デジタル送信ジョブが失敗したため、配信できません。もう一度ジョブを送信してみてください。
INCORRECT (正しくありま せん)	入力した PIN が正しくありません。 前の画面に戻り、PIN を入力し直してください。
Initializing... (初期化中 ...)	MFP を起動中です。

メッセージ	説明 / 対処方法
INSERT OR CLOSE TRAY <i>xx</i> <トレイ <i>xx</i> を セットするか 閉じてください>	印刷を続行するには、指定のトレイをセットするか、閉じる必要があります。
INSTALL CARTRIDGE <カー トリッジを取り付 けてください>	プリントカートリッジが取り外されているか、正しく取り付けられていま せん。印刷を続行するには、プリントカートリッジを交換するか、正しく 取り付ける必要があります。
INSUFFICIENT MEMORY TO LOAD FONTS/DATA <DEVICE> To continue touch OK <フォン ト／データ <デバ イス>をロードす るためのメモリが 足りません続行す る場合は [OK] を 押してください>	指定の場所からデータ（フォントやマクロなど）をロードするための十分な メモリが、MFP にありません。このメッセージを表示せずに印刷を続行す るには、[OK] を押します。 このメッセージが消えない場合は、メモリを増設してください。
INTERNAL DISK NOT FUNCTIONAL <内蔵ディスクが機 能していません>	内蔵ハードディスクに障害が発生しました。MFP の電源をいったん切り、 入れ直してください。 メッセージが消えない場合は、HP サポートの小冊子か、あるいは www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照 してください。
LDAP Gateway Not Responding <LDAP ゲートウェイが応答していま せん>	LDAP サーバと MFP の間で通信が確立しません。LDAP サーバのアドレスを 確認します。ネットワーク管理者に問い合わせてください。
LDAP Gateway OK <LDAP ゲート ウェイ OK>	アドレス要求のタイムアウト値を超えた後に LDAP サーバが応答しました。
LDAP Server is not responding Contact administrator <LDAP サーバが応 答していませんシ ステム管理者に連 絡してください>	LDAP サーバがアドレス要求のタイムアウト値を超えた。LDAP サーバの アドレスを確認します。

メッセージ	説明 / 対処方法
LOAD TRAY xx To use another tray touch OK. (トレイ xx をセッ トしてください別 のトレイを使用す る場合は [OK] を 押してください)	現在使用できない用紙タイプと用紙サイズがジョブに必要です。 トレイ 1 に必要な用紙をセットしてください。 別のトレイで使用できる用紙のタイプとサイズを使用する場合は [OK] を押します。または、画面の指示に従ってください。
LOAD TRAY 1 [TYPE][SIZE] (トレイ 1 に [タ イプ] [サイズ] をセットしてくだ さい)	トレイが空か、要求されているサイズとは異なる用紙サイズが設定されています。画面のダイアログ ボックスに表示される指示に従います。
MANUALLY FEED [TYPE][SIZE] (手差しで [タ イプ] [サイズ] をセットしてくだ さい)	トレイ 1 に必要な用紙をセットします。 要求されている用紙が別のトレイにある場合は、[OK] を押してメッセージを 消去します。 別のトレイで使用できるタイプとサイズを選択する場合は、[OK] を押します。
Multiple page scan mode (複数 ページ スキャン モード)	このメッセージは、ジョブ モードを電子メールに使用するときに表示され ます。
Network connection required For Digital Sending Contact administrator (ネットワーク接続 が必要ですデジタ ル送信の場合はシ ステム管理者に連 絡してください)	デジタル送信機能が設定されていますが、ネットワーク接続が検出されませ ん。ネットワーク接続を確認します。ネットワーク管理者に問い合わせてく ださい。
No job to cancel (キャンセルす るジョブがあ りません)	[ストップ] ボタンが押されましたか、アクティブなジョブまたはバッファ データがありません。 このメッセージは約 2 秒表示され、その後「READY (印刷可能)」に戻り ます。
Novell Login Required (Novell ログイン が必要です)	この宛先では、Novell 認証が有効になっています。Novell ネットワーク資格 情報を入力してデジタル送信機能にアクセスしてください。
OUTPUT PAPER PATH OPEN (排紙経路が開 いています)	MFP と外部のフィニッシャとの間の用紙経路が開いています。印刷を続ける には、用紙経路を閉じてください。

メッセージ	説明 / 対処方法
Password or name is incorrect. Please enter correct login. (パスワードまたは名前が間違っています。正しいログイン情報を入力してください)	ユーザー名かパスワードが間違っているか、入力にミスがあります。 ユーザー名とパスワードを入力し直してください。
PERFORM PRINTER MAINTENANCE (プリンタの保守を行ってください)	保守作業が必要になる、所定の印刷ページの上限に達しました。 最良の印刷品質を確保するため、約 350,000 ページごとに、定期的な保守作業を指示するメッセージが表示されます。プリンタ保守キットを注文するには、「 パートとアクセサリ 」を参照するか、 www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp をご覧ください。
Performing upgrade (アップグレードの実行中)	MFP ファームウェアのアップグレードを実行中です。
Processing Cleaning Page (クリーニング ページの処理中)	クリーニング ページの作成中です。
Receiving Upgrade (アップグレード の受信中)	MFP ファームウェアのアップグレード データを受信中です。
REINSERT DUPLEXER (両面印刷ユニットを取り付け直してください)	両面印刷ユニットが外れているため、取り付け直す必要があります。
REPLACE CARTRIDGE (カートリッジを交換してください)	プリントカートリッジのトナーがなくなり、[System Setup] (システム セットアップ) サブメニューに「Cartridge Low=CONTINUE (カートリッジ残量少=継続)」というメッセージが表示されています。[OK] を押すと、トナーがなくなるまで印刷が継続されます。
REPLACE STAPLER CARTRIDGE To continue touch OK (ステイプラー カートリッジを交換してください続行する場合は [OK] を押してください)	外部用紙処理デバイスの針がなくなりました。

メッセージ	説明 / 対処方法
REPLACE STAPLES To continue touch OK < ステイ プラの針がなくな りました続行する 場合は [OK] を押 してください >	外部ステイプル デバイスの針がなくなりました。針を補充してください。
Request accepted Please wait (要求が受け入れら れましたしばらく お待ちください)	ユーザーが内部ページを要求しました。現在のジョブが完了すると、 内部ページが印刷されます。
RESEND UPGRADE (アップグレード を再送信してくだ さい)	MFP のファームウェア フラッシュに問題があります。有効なファームウェア イメージを再送信してください。
SANITIZING DISK <XX>% COMPLETE Do not power off (ディスクの フォーマット <XX>% 完了電源を切らな いでください)	ハード ディスクまたはコンパクト フラッシュ ディスクのクリーニング中 です。ネットワーク管理者に問い合わせてください。
SCAN CARRIAGE LOCKED Check lock switch: cycle Power < スキャン キャリッジがロッ クされています ロック スイッチを 確認して電源を入 れ直してください >	スキャナのキャリッジが、搬送用にロックされています。MFP の電源を 切り、スキャナのキャリッジのロックを外してから MFP の電源を入れて ください。
SIZE MISMATCH IN TRAY XX < トレイ xx のサイズが一致 しません >	指定したトレイの用紙が、給紙方向でそのトレイに設定されたサイズよりも 短いか、長いかのいずれかになっています。
SMTP failed (SMTP 障害)	SMTP サーバがジョブを送信できませんでした。電子メール サーバのアドレ スを確認してください。ネットワーク管理者に問い合わせてください。
SMTP Gateway Not Responding (SMTP ゲートウ エイが応答してい ない)	SMTP ゲートウェイがタイムアウト値を超ました。電子メール サーバのア ドレスを確認してください。ネットワーク管理者に問い合わせてください。

メッセージ	説明 / 対処方法
Staple Option Not Longer Available (ステイプル オプションを使用できません)	ステイプラがステイプル留めの要求に対応していません。
STAPLER ALIGN ERROR (ステイプラの位置合わせエラー)	ステイプラ内の用紙の位置が合っていません。MFP の電源をいったん切り、入れ直してください。
STAPLER LOW ON STAPLES (ステイプラの針が残りわずかです)	ステイプラ デバイスの針が残りわずかです。新しいステイプル カートリッジを取り付けてください。
STAPLER INTERRUPTION (ステイプル留めが中断されました)	詰まった針を取り除きます。
TOO MANY PAGES IN JOB TO FINISH For help touch OK (ページ数が多いためフィニッシュで処理できませんヘルプを表示するには [OK] を押してください)	受信したページ数が多すぎるため、外部デバイスが要求された仕上げ処理を実行できません。
TOO MANY PAGES IN JOB TO STAPLE For help touch OK (ページ数が多いためステイプラが使えませんヘルプを表示するには [OK] を押してください)	プリントジョブのページ数が多いため、ステイプル留めを実行できません。このジョブは印刷されますが、ステイプル留めはされません。
TOO MANY PAGES TO MAKE BOOKLET (ページが多すぎるためブックレット作成不能)	ページ数が多いため、中綴じを実行できません。 ジョブが中綴じの仕様の範囲内であることを確認してください。詳細については、排紙デバイスに付属のユーザーズ ガイドを参照してください。
UNABLE TO STORE JOB (ジョブを保存できません)	メモリ、ディスク、または設定に問題があるため、MFP にジョブを保存できません。

メッセージ	説明 / 対処方法
UNSUPPORTED DATA ON [FS] DIMM IN SLOT X To continue touch OK < スロッ ト X の [FS] DIMM にサポートされて いないデータがあ りますクリアする 場合は [OK] を押 してください。)	指定されたスロットの DIMM にサポートされていないデータが含まれてい ます。 (スロット X の [FS] DIMM にサポートされていないデータがあります。 それをクリアする場合は [OK] を押してください。)
Username or password is incorrect. Please re-enter. (ユーザー名または パスワードが 間違っています。 入力し直してく ださい。)	ユーザー名かパスワードが間違っているか、入力にミスがあります。 ユーザー名とパスワードを入力し直してください。 (ユーザー名または パスワードが間違っています。 入力し直してください。)
Waiting for tray xx to lift (トレイ xx の用紙 リフト待ちです)	給紙のためにトレイの上部まで用紙を持ち上げる処理を実行中です。 (トレイ xx の用紙リフト待ちです)
Windows Login Required to use this feature: <feature> (この機能を使用 するには Windows ログインが必要で す：<機能 >)	Windows ネットワーク資格情報を入力してデジタル送信機能にアクセスして ください。 (この機能を使用するには Windows ログインが必要です：<機能 >)
10.xx.yy SUPPLY MEMORY ERROR (10.xx.yy サプラ イ品のメモリ エ ラー)	少なくとも 1 つのサプライ品について、電子ラベルの読み取りまたは書き 込みができません。または、サプライ品の電子ラベルがなくなっています。 サプライ品を取り付け直すか、新品に取り替えてください。
11.xx Internal clock error To continue touch OK (11.xx 内部クロッ ク エラー 続行する場合は [OK] を押してく ださい。)	MFP のリアルタイム クロックに問題があります。MFP の電源を切って入れ るたびに、日時設定のプロンプトが表示されます。 エラー メッセージが消えない場合は、フォーマッタを交換してください。

メッセージ	説明 / 対処方法
13.**.yz JAM IN [LOCATION] (13.**.yz [場所] で紙詰まりです)	<p>指定された場所から詰まった用紙を取り除きます (「紙詰まりの解決」を参照)。</p> <p>正面扉を一度開いて閉じると、メッセージは消えます。</p> <p>すべての紙詰まりを解決してもメッセージが消えない場合は、センサがふさがっているか故障している可能性があります。正規 HP サービス会社 / サポート会社までご連絡ください (HP サポートの小冊子、あるいは www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照)。</p>
20 INSUFFICIENT MEMORY To continue touch OK (20 メモリ不足で す続行する場合は [OK] を押してください)	<p>MFP が、使用可能なメモリを超えるデータ量を受信しました。送信したジョブに、マクロ、ソフトフォント、複雑なグラフィックが多く含まれている可能性があります。</p> <p>[OK] を押すと、送信データは印刷されます (一部のデータが失われる可能性があります)。印刷し直す場合は、プリントジョブを単純にするか、メモリを増設します (「MFP のメモリとメモリ拡張」を参照)。</p>
21 PAGE TOO COMPLEX To continue touch OK (21 ページが複雑 すぎます続行する 場合は [OK] を押 してください)	<p>ページのフォーマット処理速度が十分ではありませんでした。</p> <p>[OK] を押すと送信データが印刷されます (一部のデータが失われる可能性があります)。</p> <p>このメッセージがたびたび表示される場合は、プリントジョブを単純にしてください。</p>
22 EIO x BUFFER OVERFLOW To continue touch OK (22 EIO xバッファ オーバーフロー 続行する場合は [OK] を押してください)	<p>指定のスロット ([x]) にある EIO カードに送信されたデータが大きすぎます。不適切な通信プロトコルが使用されている可能性があります。</p> <p>[OK] を押すと送信データが印刷されます (一部のデータが失われる可能性があります)。</p> <p>ホスト構成を確認してください。このメッセージが消えない場合は、正規 HP サービス会社 / サポート会社までご連絡ください (HP サポートの小冊子か、www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照)。</p>
22 Embedded I/O Buffer Overflow To continue touch OK (22 内蔵 I/O バッファ オーバーフロー 続行する場合は [OK] を押してください)	<p>埋め込み型 HP Jetdirect に送信されたデータが大きすぎます。</p>

メッセージ	説明 / 対処方法
22 PARALLEL I/O BUFFER OVERFLOW To continue touch OK (22 パラレル I/O バッファ オーバーフロー 続行する場合は [DOK] を押してください)	パラレル ポートに送信されたデータが大きすぎます。 [DOK] を押すとエラー メッセージは消えます (データは失われます)。 ケーブルの接続がゆるんでいないか、また高品質のケーブルを使用しているかを確認してください。HP 製以外のパラレル ケーブルでは、ピンの接続部がない場合や、IEEE 1284 の仕様に準拠していない場合があります (「パートとアクセサリ」を参照するか、 www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp をご覧ください)。 このメッセージが消えない場合は、正規 HP サービス会社 / サポート会社までご連絡ください (HP サポートの小冊子か、 www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照)。
30.00.44 SCANNER FAILURE (30.00.44 スキャナ エラー)	スキャナのロックが解除されていることを確認します。 ケーブルを確認します。 MFP の電源をいったん切り、入れ直してください。 このメッセージが消えない場合は、正規 HP サービス会社 / サポート会社までご連絡ください (HP サポートの小冊子か、 www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照)。
30.00.01 SCANNER I/O FAILURE CHECK CABLES THEN TURN OFF THEN ON (30.00.01 スキャナ I/O エラー ケーブルを確認し て電源を入れ直し てください)	MFP とコピー プロセッサの間の通信が確立していません。ケーブルが外れていないか確認してください。 MFP の電源をいったん切り、入れ直してください。 このメッセージが消えない場合は、正規 HP サービス会社 / サポート会社までご連絡ください (HP サポートの小冊子か、 www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照)。
30.00.02 SCANNER I/O FAILURE CHECK COPY CONNECT CARD (30.00.02 スキャナ I/O エラー コピー接続カード を確認してくだ さい)	スキャナのロックが解除されていることを確認します。 ケーブルを確認します。 MFP の電源をいったん切り、入れ直してください。 このメッセージが消えない場合は、正規 HP サービス会社 / サポート会社までご連絡ください (HP サポートの小冊子か、 www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照)。
40 EIO × BAD TRANSMISSION To continue touch OK (40 EIO × 伝送不良 続行する場合は [DOK] を押してください)	MFP と指定されたスロットにある EIO カードが正常に接続されていません。 [DOK] を押すとエラー メッセージは消え、印刷が継続されます。

メッセージ	説明 / 対処方法
40 EMBEDDED I/O BAD TRANSMISSION To continue touch OK (40 内蔵 I/O 伝送不良 続行する場合は [OK] を押してください)	埋め込み型 HP Jetdirect プリント サーバとの接続が確立しません。 MFP の電源をいったん切り、入れ直してください。
41.x ERROR To continue touch OK (41.x エラー 続行する場合は [OK] を押してください)	一時的な印刷エラーが発生しました。 MFP の電源をいったん切り、入れ直してください。 このメッセージが消えない場合は、正規 HP サービス会社 / サポート会社までご連絡ください (HP サポートの小冊子か、 www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照)。
41.3 UNEXPECTED SIZE IN TRAY xx To use another tray touch OK. (41.3 トレイ xx の用紙は未設定の サイズです別のト レイを使用する場 合は [OK] を押し てください)	トレイ xx に、(給紙方向を基準として) このトレイに設定されているサイズより長い (または短い) 用紙がセットされています。 [OK] を押すと、[TRAY xx SIZE=] (トレイ xx サイズ =) が表示されます。 実行するプリントジョブに必要なサイズの用紙がトレイから給紙されるよう に、トレイのサイズ設定を修正します。 エラーが消えない場合は、MFP の電源をいったん切って入れ直します。 このメッセージが消えない場合は、正規 HP サービス会社 / サポート会社までご連絡ください (HP サポートの小冊子か、 www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照)。
49.***** ERROR To continue turn off then on (49.***** エラー 続行する場合は電 源を入れ直してく ださい)	重大なファームウェア エラーが発生しました。 このメッセージが消えない場合は、正規 HP サービス会社 / サポート会社までご連絡ください (HP サポートの小冊子か、 www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照)。
50.x FUSER ERROR (50.x フューザ エラー)	フューザ エラーが発生しました。 このメッセージが消えない場合は、正規 HP サービス会社 / サポート会社までご連絡ください (HP サポートの小冊子か、 www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照)。
51.xy ERROR To continue turn off then on (51.xy エラー 続行する場合は電 源を入れ直してく ださい)	一時的な印刷エラーが発生しました。 MFP の電源をいったん切り、入れ直してください。 このメッセージが消えない場合は、正規 HP サービス会社 / サポート会社までご連絡ください (HP サポートの小冊子か、 www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照)。

メッセージ	説明 / 対処方法
52. ERROR To continue turn off then on (52. エラー 続行する場合は 電源を入れ直して ください)	一時的な印刷エラーが発生しました。 MFP の電源をいったん切り、入れ直してください。 このメッセージが消えない場合は、正規 HP サービス会社 / サポート会社までご連絡ください (HP サポートの小冊子か、 www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照)。
53.xy.zz CHECK RAM DIMM SLOT X To continue touch OK (53.xy.zz RAM DIMM スロット [X] を確認してください 続行する場合は [OK] を押してください)	MFP のメモリに問題があります。エラーが発生した DIMM は使用されません。[x] には、次の値が設定されます。 [X] = デバイスの位置 [0] = オンボードメモリ [1] = スロット 1 [2] = スロット 2 メッセージで指定された DIMM をリセットするか、交換が必要な可能性があります。 MFP の電源を切り、エラーが発生した DIMM を交換します。 このメッセージが消えない場合は、正規 HP サービス会社 / サポート会社までご連絡ください (HP サポートの小冊子か、 www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照)。
55.xy.yz DC CONTROLLER ERROR To continue turn off then on (55.xy.yz DC コントローラー エラー 続行する場合は 電源を入れ直して ください)	フォーマッタと DC コントローラの通信リンクが失われました。MFP の電源をいったん切り、入れ直してください。
56.xy ERROR To continue turn off then on (56.xy エラー 続行する場合は 電源を入れ直して ください)	一時的な印刷エラーが発生しました。 MFP の電源をいったん切り、入れ直してください。 このメッセージが消えない場合は、正規 HP サービス会社 / サポート会社までご連絡ください (HP サポートの小冊子か、 www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照)。
57.xy ERROR To continue turn off then on (57.xy エラー 続行する場合は 電源を入れ直して ください)	一時的な印刷エラーが発生しました。 MFP の電源をいったん切り、入れ直してください。 このメッセージが消えない場合は、正規 HP サービス会社 / サポート会社までご連絡ください (HP サポートの小冊子か、 www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照)。

メッセージ	説明 / 対処方法
58.xy ERROR To continue turn off then on (58.xy エラー 続行する場合は 電源を入れ直して ください)	一時的な印刷エラーが発生しました。 MFP の電源をいったん切り、入れ直してください。 このメッセージが消えない場合は、正規 HP サービス会社 / サポート会社ま でご連絡ください (HP サポートの小冊子か、 www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照)。
59.xy ERROR To continue turn off then on (59.xy エラー 続行する場合は 電源を入れ直して ください)	一時的な印刷エラーが発生しました。 MFP の電源をいったん切り、入れ直してください。 このメッセージが消えない場合は、正規 HP サービス会社 / サポート会社ま でご連絡ください (HP サポートの小冊子か、 www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照)。
62 NO SYSTEM To continue turn off then on (62 システムなし 続行する場合は電 源を入れ直してく ださい)	MFP のファームウェアに問題があります。 続行するには、MFP の電源をいったん切って入れ直してください。 このメッセージが消えない場合は、正規 HP サービス会社 / サポート会社ま でご連絡ください (HP サポートの小冊子か、 www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照)。
64 ERROR To continue turn off then on (64 エラー 続行する場合は 電源を入れ直して ください)	スキャンバッファ エラーが発生しました。 MFP の電源をいったん切り、入れ直してください。 このメッセージが消えない場合は、正規 HP サービス会社 / サポート会社ま でご連絡ください (HP サポートの小冊子か、 www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照)。
68.x PERMANENT STORAGE FULL To continue touch OK (68.x 永久記憶装 置が一杯です続行 する場合は [OK] を押してください)	MFP の NVRAM に空きがありません。NVRAM に保存されている一部の設 定が、工場出荷時のデフォルト設定にリセットされた可能性があります。 印刷は続行できますが、永久記憶装置でエラーが発生した場合、予想外の印 刷結果になる可能性があります。 [OK] を押すとメッセージは消えます。 このメッセージが消えない場合は、正規 HP サービス会社 / サポート会社ま でご連絡ください (HP サポートの小冊子か、 www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照)。
68.x PERMANENT STORAGE WRITE FAIL To continue touch OK (68.x 永久記憶装 置の書き込みに失 敗しました続行す る場合は [OK] を押してください)	MFP の NVRAM への書き込みに失敗しました。 印刷は続行できますが、永久記憶装置でエラーが発生した場合、予想外の印 刷結果になる可能性があります。 [OK] を押すとメッセージは消えます。 このメッセージが消えない場合は、正規 HP サービス会社 / サポート会社ま でご連絡ください (HP サポートの小冊子か、 www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照)。

メッセージ	説明 / 対処方法
69.xy ERROR To continue turn off then on (69.xy エラー 続行する場合は 電源を入れ直し てください)	一時的な印刷エラーが発生しました。 MFP の電源を切り、両面印刷アクセサリを取り付け直してから、MFP の電源を入れます。 メッセージが消えない場合は、両面印刷ユニットを取り外して片面印刷に戻します。このメッセージがそれでも消えない場合は、正規 HP サービス会社 / サポート会社までご連絡ください (HP サポートの小冊子か、 www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照)。
79 ERROR To continue turn off then on (79 エラー 続行する場合は 電源を入れ直し てください)	重大なハードウェア エラーが発生しました。 MFP の電源をいったん切り、入れ直してください。 メッセージが消えない場合は、正規 HP サービス会社 / サポート会社までご連絡ください (HP サポートの小冊子か、 www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照)。
8x.yyyy EIO ERROR (8x.yyyy EIO エラー)	スロット [x] にある EIO アクセサリ カードに、[yyyy] で指定された重大なエラーが発生しました。
8x.yyyy EMBEDDED JETDIRECT ERROR (8x.yyyy 埋め込 み型 JETDIRECT エラー)	埋め込み型 HP Jetdirect プリント サーバに、[yyyy] で指定された重大なエラーが発生しました。

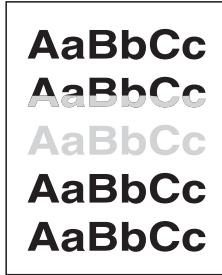
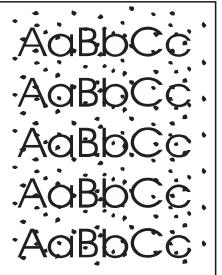
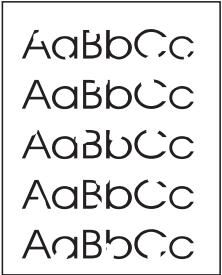
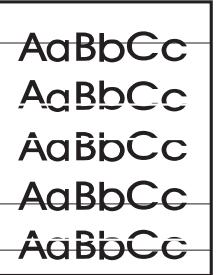
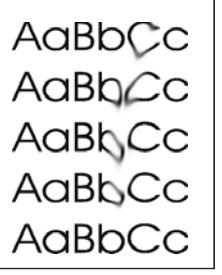
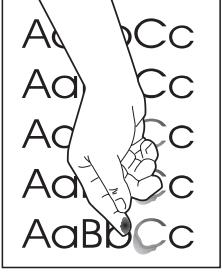
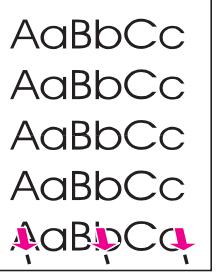
出力品質のトラブルシューティング

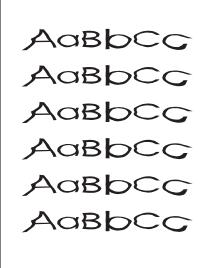
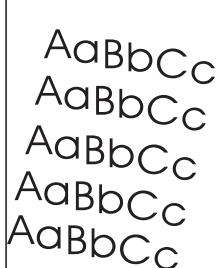
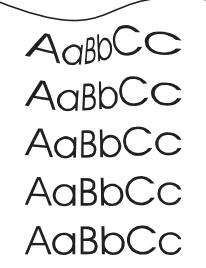
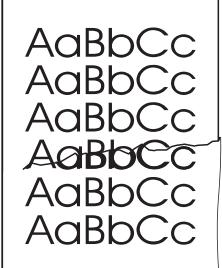
出力品質の問題を修正する場合には、最初の手順として、コピーおよび印刷を実行するとき、またはコピーのみを実行するときにイメージの品質不良があるかどうかを確認します。コピーするときにのみイメージの品質不良がある場合は、「ADF 出力システムのクリーニング」を参照してください。

印刷を実行するときにイメージの品質不良がある場合は、以下のイメージの品質不良の例を参考にして印刷品質の問題を特定し、参照先のページに記載されている説明を読んで、問題を解決してください。

注記

以下の例では、長辺を給紙方向に合わせて印刷したレター サイズの用紙を取り上げて説明しています（短辺を給紙方向に合わせて印刷すると、線や繰り返しの問題は、水平方向ではなく垂直方向に現れます）。

 「薄い印刷または かすみ」を参照	 「斑点」を参照	 「欠落」を参照	 「線」を参照
 「背景がグレーに なる」を参照	 「トナーのにじみ」 を参照	 「こぼれたト ナー」を参照	 「繰り返しの問題」 を参照

			
<p>「文字の変形」 を参照</p>	<p>「ページの歪み」 を参照</p>	<p>「カールまたは 波打ち」を参照</p>	<p>「しわまたは折 れ目」を参照</p>

薄い印刷またはかすみ

- プリント カートリッジの残量が少ない可能性があります。プリント カートリッジを交換してください。
- 保守作業が必要な時期となっている可能性があります。サプライ品ステータス ページを印刷して確認します（「サプライ品ステータス ページ」を参照）。保守作業が必要な時期が来ている場合は、プリンタ保守キットを注文して取り付けます（「パートとアクセサリ」を参照するか、あるいは www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照）。

斑点

紙詰まりを解決した後に、用紙に斑点が印刷されることがあります。

- ページを何枚か印刷して、問題が解決するかどうかを確認します。
- たびたび斑点が発生する場合は、自動的にクリーニング ページ機能が実行されるように MFP を設定します（「MFP のクリーニング ページの使用」を参照）。
- MFP の内部をクリーニングします。また、手動でクリーニング ページを実行して、フューザをクリーニングします（「MFP のクリーニング」および「MFP のクリーニング ページの使用」を参照）。
- 異なるタイプの用紙を使って、印刷を試します。
- プリント カートリッジからトナーの漏れがないか確認します。プリント カートリッジからトナーが漏れている場合は、カートリッジを交換します。

欠落

- MFP の環境仕様を満たしていることを確認します（「環境仕様」を参照）。
- 用紙が粗いためにトナーがはがれ落ちやすい場合は、フューザ モードを [HIGH 1] (高 1) または [HIGH 2] (高 2) に変更するか、なめらかな用紙を使って試します。
- 異なるタイプの用紙を使って、印刷を試します。

線

- ページを何枚か印刷して、問題が解決するかどうかを確認します。
- MFP の内部をクリーニングします。また、手動でクリーニング ページを実行して、フューザをクリーニングします（「MFP のクリーニング」および「MFP のクリーニング ページの使用」を参照）。
- プリント カートリッジを交換します。
- 保守作業が必要な時期となっている可能性があります。サプライ品ステータス ページを印刷して確認します（「サプライ品ステータス ページ」を参照）。保守作業が必要な時期が来ている場合は、プリンタ保守キットを注文して取り付けます（「パートとアクセサリ」を参照するか、あるいは www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照）。

背景がグレーになる

- MFP で一度印刷に使用した用紙は、使わないようにしてください。
- ページを何枚か印刷して、問題が解決するかどうかを確認します。
- トレイにセットされている用紙の束を裏返します。または、用紙を 180° 回転させます。
- MFP のコントロール パネルの [PRINT QUALITY] (印刷品質) メニューを使用して、トナー濃度の設定を薄くします (「[Print quality] (印刷品質) サブメニュー」 を参照)。
- MFP の環境仕様を満たしていることを確認します (「環境仕様」 を参照)。
- プリント カートリッジを交換します。

トナーのにじみ

以下の説明のほかに、「こぼれたトナー」も参照してください。

- ページを何枚か印刷して、問題が解決するかどうかを確認します。
- 異なるタイプの用紙を使って、印刷を試します。
- MFP の環境仕様を満たしていることを確認します。
- MFP の内部をクリーニングします。また、手動でクリーニング ページを実行して、フューザをクリーニングします (「MFP のクリーニング」 および 「MFP のクリーニング ページの使用」 を参照)。
- 保守作業が必要な時期となっている可能性があります。サプライ品ステータス ページを印刷して確認します (「サプライ品ステータス ページ」 を参照)。保守作業が必要な時期が来ている場合は、プリンタ保守キットを注文して取り付けます (「パーツとアクセサリ」 を参照するか、あるいは www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照)。
- プリント カートリッジを交換します。

こぼれたトナー

ここで、「こぼれたトナー」とは、用紙からはがれ落ちる可能性のあるトナーを指します。

- フューザ レバーが下りていることを確認します。
- 厚紙または粗めの紙である場合、トナーが用紙に完全に溶融定着するように、フューザ モードを高いレベルに設定して試します。コントロール パネルの [PRINT QUALITY] (印刷品質) サブメニューから、[FUSER MODES] (フューザ モード) メニューを選択します (「[Print quality] (印刷品質) サブメニュー」 を参照)。
- 用紙の片面が粗めであるときは、なめらかな方の面で印刷を試します。
- MFP の環境仕様を満たしていることを確認します (「環境仕様」 を参照)。
- 用紙のタイプと品質が HP 仕様に準拠していることを確認します (「仕様」 を参照)。
- 保守作業が必要な時期となっている可能性があります。サプライ品ステータス ページを印刷して確認します (「サプライ品ステータス ページ」 を参照)。保守作業が必要な時期が来ている場合は、プリンタ保守キットを注文して取り付けます (「パーツとアクセサリ」 を参照するか、あるいは www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照)。

繰り返しの問題

- ページを何枚か印刷して、問題が解決するかどうかを確認します。
- 繰り返しの間隔が 38mm (1.5 インチ) または 94mm (3.8 インチ) の場合、プリント カートリッジの交換が必要な可能性があります。
- MFP の内部をクリーニングします。また、手動でクリーニング ページを実行して、フューザをクリーニングします (「MFP のクリーニング」 および 「MFP のクリーニング ページの使用」 を参照)。
- 保守作業が必要な時期となっている可能性があります。サプライ品ステータス ページを印刷して確認します (「サプライ品ステータス ページ」 を参照)。保守作業が必要な時期が来ている場合は、プリンタ保守キットを注文して取り付けます (「パーツとアクセサリ」 を参照するか、あるいは www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照)。

文字の変形

- ページを何枚か印刷して、問題が解決するかどうかを確認します。
- MFP の環境仕様を満たしていることを確認します (「環境仕様」を参照)。
- 保守作業が必要な時期となっている可能性があります。サプライ品ステータス ページを印刷して確認します (「サプライ品ステータス ページ」を参照)。保守作業が必要な時期が来ている場合は、プリンタ保守キットを注文して取り付けます (「パーツとアクセサリ」を参照するか、あるいは www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照)。

ページの歪み

- ページを何枚か印刷して、問題が解決するかどうかを確認します。
- MFP の内部に用紙の切れ端が残っていないことを確認します。
- 用紙がトレイに正しくセットされていること、すべての調整が終わっていること、用紙が角のタブより下に収まっていることを確認します (「用紙の向きの設定」を参照)。
- トレイにセットされている用紙の束を裏返します。または、用紙を 180° 回転させます。
- 用紙のタイプと品質が HP 仕様に準拠していることを確認します (「仕様」を参照)。
- MFP の環境仕様を満たしていることを確認します (「環境仕様」を参照)。

カールまたは波打ち

- トレイにセットされている用紙の束を裏返します。または、用紙を 180° 回転させます。
- 用紙のタイプと品質が HP 仕様に準拠していることを確認します (「仕様」を参照)。
- MFP の環境仕様を満たしていることを確認します (「環境仕様」を参照)。
- 別の排紙ピンを使って印刷を試します。
- 薄くてなめらかな用紙を使う場合は、フューザ モードを低いレベルに設定し、フューザ 処理の熱を下げるようにして試します。コントロール パネルの [PRINT QUALITY] (印刷品質) サブメニューから、[FUSER MODES] (フューザ モード) メニューを選択します (「[Print quality] (印刷品質) サブメニュー」を参照)。

しわまたは折れ目

- ページを何枚か印刷して、問題が解決するかどうかを確認します。
- MFP の環境仕様を満たしていることを確認します (「環境仕様」を参照)。
- トレイにセットされている用紙の束を裏返します。または、用紙を 180° 回転させます。
- 用紙がトレイに正しくセットされていること、すべての調整が終わっていること、用紙が角のタブより下に収まっていることを確認します (「用紙の向きの設定」を参照)。
- 用紙のタイプと品質が HP 仕様に準拠していることを確認します (「仕様」を参照)。
- 封筒が折れる場合は、封筒が平らになるようにセットします。

封筒のしわ防止

印刷時、封筒にしわが寄る場合は、まず、仕様に合った封筒用紙を使っていることを確認します。そして、次に説明する手順のとおり、封筒を印刷するときにフューザ レバーを高い位置に移動します。

封筒のしわを防ぐには

詳細については、「封筒の印刷」を参照してください。

MFP の問題の検出

トラブルシューティング チェックリスト

- ADF にセットされたドキュメントのすべてのシートが同じサイズで、ドキュメントの量が ADF の最大収容量の高さを超えていないことを確認します。
- トレイにセットされている用紙は新しく開封したもので問題がなく、また正しくセットされていることを確認します。用紙ガイドが正しく調整されていることを確認します。
- MFP は他の機器とコンセントを共有していないこと、および壁のコンセントに直接接続していること（延長コードは使用しないこと）を確認します。

注記

HP 製排紙デバイスの詳細については、デバイスに付属するユーザーズ ガイドを参照してください。

MFP の問題の判別

状況 / メッセージ	解決法
コントロール パネルディスプレイが表示されません。また内部のファンが回っていません。	MFP の電源が入っていることを確認します。キーをすべて押して、動かないキーがないか確認します。上記の手順で問題が解決しない場合は、正規 HP サービス会社 / サポート会社までご連絡ください。
メッセージがディスプレイに表示されます。	「MFP のメッセージの解釈」を参照してください。
MFP 内部で紙が詰まりました。	紙詰まりを確認します（「紙詰まりの解決」を参照）。
MFP のディスプレイに違う言語や知らない文字が表示されます。	コントロール パネルの表示言語を再設定します。[Menu]（メニュー）を押して、[Configure Device]（デバイスの設定）を押し、[System Setup]（システム セットアップ）を押し、[Language]（言語）を押します。使用する言語を押して、[OK] を押します。
MFP がまったく動作しません。	AC 電源コードを、アース付き電源コンセントと MFP にしっかりと接続します（電源に電気が供給されていることを確認します）。
MFP の電源は入りますが、内部のファンが回っていません。	電源電圧が、MFP の電源設定に適していることを確認します（MFP 背面の電源コンセントの横にある製品ラベルに、電圧の要件が記載されています）。延長コードを使用していて、そのコードの電圧が MFP の仕様範囲内でない場合は、プリンタを電源コンセントに直接接続します。
MFP の電圧が適切ではありません。	電源電圧が適切な範囲内にあることを確認します（MFP 背面の電源コンセントの横にある MFP ラベルに、電圧の要件が記載されています）。
デジタル送信ジョブの最中にエラーが発生します。ジョブが失敗しました。	デジタル送信ジョブの実行中に、MFP でエラーが発生しました。システム管理者は、SMTP サーバのステータスを確認する必要があります。

状況 / メッセージ**解決法**

添付ファイルが大きすぎるため、電子メール ゲートウェイがジョブを受け付けませんでした。

別のファイル形式を使用するか、一度に送信するドキュメントのページ数を減らして送信してみてください。

デジタル送信にネットワーク接続が必要です。

MFP がネットワーク接続を検出できませんでした。システム管理者は、MFP がネットワークに接続されていることを確認する必要があります。

ソフトウェア、コンピュータ、および製品インターフェースの問題

状況	解決法
用紙に印刷できません。	[PRINT PS ERRORS=ON] (PS エラーの印刷 = オン) に設定してから、ジョブをもう一度送信して PS エラー ページを印刷します。PS エラー ページで問題が特定できない場合は、[Resource Saving] (リソース保存) と [I/O Buffering] (I/O バッファ) を無効にするか、メモリを増設します ('PCL または PS フォントリスト' を参照)。
マージンなしで印刷されます。	用紙のマージンが切れてしまう場合は、ページを 300dpi の解像度で印刷するか、メモリを増設します。また、[Resource Saving] (リソース保存) と [I/O Buffering] (I/O バッファ) を無効にすることも試してください。
PS エラー ページが印刷されます。	<ul style="list-style-type: none">プリント ジョブが PS ジョブであることを確認します。使用しているプログラムで、セットアップまたは PS ヘッダー ファイルを MFP に送信する必要があるかどうかを確認します。使用しているソフトウェア アプリケーションで、MFP のセット アップを確認して、MFP が選択されていることを確認します。ケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。画像が複雑であれば、単純にします。[Resource Saving] (リソース保存) を有効にして、メモリを増設します。
PS プリント ジョブではなく、PS コマンドの一覧 テキストが印刷されます。	基準外の PS コードのため、コントロール パネルの [PERSONALITY=AUTO] (パーソナリティ = 自動) 設定で判断できなかった可能性があります。[PERSONALITY] (パーソナリティ) の設定をチェックして、[PS] または [PCL] に設定されているかどうかを確認します。[PCL] に設定されている場合は、[PERSONALITY=AUTO] (パーソナリティ = 自動) に設定します。[AUTO] (自動) に設定されている場合は、このプリント ジョブのみ、[PS] に設定します。ジョブが印刷されたら、設定を [AUTO] (自動) に戻します。
ディスクの常駐フォントを使用しようとしましたが、別のフォントで印刷されました。	PCL を使用している場合、PCL フォント ページを印刷して、フォントがディスクにあることを確認します。PS を使用している場合、PS フォント ページを印刷して、フォントがディスクにあることを確認します。フォントがディスクにない場合、デバイス ストレージ メージャまたは Macintosh ベースの HP LaserJet Utility を使用して、フォントをダウンロードします。
自動セットアップを実行しても、MFP が自動的にセットアップされません。	<ul style="list-style-type: none">[Configure] (設定) を選択して、MFP を手動で設定します。代替 PPD を選択します ('HP Jetdirect プリント サーバ(オプション) を使用した通信' を参照)。PPD の名前が変更されている可能性があります。その場合は、名前を変更された PPD を選択します ('HP Jetdirect プリント サーバ(オプション) を使用した通信' を参照)。ネットワーク キューが存在する可能性があります。
白紙が印刷されます。	<ul style="list-style-type: none">MFP の電源をいったん切り、入れ直します。プリント カートリッジが正しく取り付けられていることを確認します。

状況	解決法
トレイ 2、トレイ 3、またはトレイ 4 を使用できません。	トレイ ガイドが、使用する用紙サイズに合わせて正しく調整されていることを確認します (「 給紙トレイへの用紙のセット 」を参照)。
コンピュータ ソフトウェアに問題があります。	正常に動作している他のプログラムから印刷するか、プレーン テキスト ファイルを印刷して、コンピュータが正常に動作しているかどうかを確認します。これで、使用しているプログラムに問題があるのか、ドライバに問題があるのかがわかります。たとえば、「 <code>C:\dir>LPTn (ここで n は MFP に接続するコンピュータのポート番号 (LPT1 など))</code> 」コマンドを実行します。ページを印刷するときに、コンピュータから用紙送りコマンドを送信することが必要になる場合もあります。
<code>[RESOLUTION] (解像度)</code> や <code>[ORIENTATION] (印刷の向き)</code> などのコントロール パネルの設定が機能しないか、無視されます。	コントロール パネルで設定した内容よりも、ソフトウェアのコマンドの方が優先されます (プログラムとコントロール パネル設定との連携については、「 コントロール パネル メニューの使用 」を参照)。
前のプリント ジョブのデータが、MFP のバッファに残っています。	<ul style="list-style-type: none"> 適切なドライバを使用していることを確認します。 プリント ジョブが複雑なためにまだ処理中である可能性があります。 MFP が一時停止していないことを確認します。コントロール パネルに、「PROCESSING JOB (ジョブの処理中)」というメッセージが表示されていないか確認します。MFP が一時停止中の場合は、[スタート] ボタンを押して印刷を再開します。 プリント カートリッジを引き出し、紙詰まりがないか確認します。プリント カートリッジを取り付け直します。 トレイ 2 および 3 を開き、適切な用紙がセットされていることを確認します (「用紙の仕様」を参照)。トレイを閉じます。
データが失われますが、MFP にメッセージが表示されません。	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェア アプリケーションで、印刷するファイルにエラーが含まれていないことを確認します。 MFP 側とコンピュータ側の双方で、ケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。 パラレル ケーブルに問題がある可能性があります。高品質のケーブルを使用してください (HP 製ケーブルの製品番号については、「パートとアクセサリ」を参照するか、www.hp.com/support/ij9040mfp または www.hp.com/support/ij9050mfp をご覧ください)。 ネットワーク接続を確認します。
データ ランプが点滅していますが、何も印刷されません。	<ul style="list-style-type: none"> 適切なドライバを使用していることを確認します。 プリント ジョブが複雑なためにまだ処理中である可能性があります。 MFP が一時停止していないことを確認します。コントロール パネルに、「PROCESSING JOB (ジョブの処理中)」というメッセージが表示されていないか確認します。 プリント カートリッジを引き出し、紙詰まりがないか確認します。プリント カートリッジを取り付け直します。 トレイ 2 および 3 を開き、適切な用紙がセットされていることを確認します (「用紙の仕様」を参照)。トレイを閉じます。

状況	解決法
用紙の両面に印刷するようにドライバが設定されていない可能性があります。	用紙の両面に印刷するオプションが、ドライバで正しく設定されていることを確認します。
両面印刷アクセサリに紙が詰まりました。	サポートされている厚さとサイズの用紙を使用していることを確認します（「用紙の仕様」を参照）。
1ページ目の印刷が、他のページの印刷よりも、かなり時間がかかります。	<ul style="list-style-type: none"> MFP のコントロールパネルに「READY (印刷可能)」と表示されていることを確認します。 【Sleep】(スリープ)機能の間隔を長めに設定します（「設定ページ」を参照）。複雑なフォーマットを印刷しているためにページの印刷に時間がかかる場合は、【Sleep】(スリープ)機能の設定を変えても、印刷速度が変わらないことがあります。ページを単純にすると、印刷速度が向上する可能性があります。
文字化けのページが印刷されたり、部数が多く印刷されたり、ページの一部しか印刷されません。	<ul style="list-style-type: none"> プログラムで MFP を適切に設定していることを確認します。 インターフェース (I/O) ケーブルを、正常に機能する別のケーブルに交換して、ケーブルに問題があるかどうか確認します。 パラレル ケーブルに問題がある可能性があります。高品質のケーブルを使用してください (HP 製ケーブルの製品番号については、「パーツとアクセサリ」を参照するか、www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp をご覧ください)。 【Configuration】(設定) メニューの【PERSONALITY】(パーソナリティ) の項目を【AUTO】(自動) に設定します（「PERSONALITY= AUTO (パーソナリティ = 自動)」を参照）。MFP は PCL に設定されているのに PS ジョブを送信したか、またはその逆を実行した可能性があります。 MFP に送信したデータが破損している可能性があります。別のファイルを印刷して、正常に印刷されるかどうか確認します。
ステイプラの針詰まりが繰り返し発生します。	<ul style="list-style-type: none"> ステイプル留めを行うジョブの厚さが、5mm (0.1 インチ) 未満であることを確認します。 ステイプラの針を出す部分に、針がつかえている可能性があります。ステイプラ内部から、余分な針や用紙の切れ端を取り除きます（「スタッカ / ステイプラの針詰まりを解決するには」を参照）。
ジョブのフォントが正しくありません。	<ul style="list-style-type: none"> EPS ファイルを印刷する場合は、事前に .EPS ファイルに含まれているフォントをダウンロードします。HP LaserJet Utility を使用します（「Macintosh 対応ソフトウェア」を参照）。
ジョブが適切な製品に送信されません。	同名または類似した名前を持つ別の製品が、このプリントジョブを受信した可能性があります。MFP の名前が、セレクタで選択した名前と一致することを確認します（「HP Jetdirect プリントサーバ(オプション)を使用した通信」を参照）。

状況	解決法
ジョブで指定したフォントではなく、Courier (MFP のデフォルト フォント) で印刷されます。	<ul style="list-style-type: none"> 指定した書体は、MFP で使用できないか、ディスクに存在しません。フォント ダウンロード ユーティリティを使用して、必要なフォントをダウンロードしてください。 MFP の電源を切ると、メモリにダウンロードしたフォントは消去されます。また、リソース保存機能を使用していない場合、およびパーソナリティの設定を切り替えて PCL ジョブを印刷した場合にも、同様に消去されます。ディスク フォントは、PCL ジョブを印刷したり、MFP の電源を切ったりしても消去されません。 PS フォント ページを印刷して、目的のフォントが使用できることを確認します。ディスク フォントがなくなっている場合、考えられる理由として、ソフトウェア ユーティリティを使用してフォントを削除したため、ディスクを初期化し直したため、ディスク デバイスが正しくインストールされていないため、などが挙げられます。設定ページを印刷して、ディスク ドライブがインストールされていることと、ディスク ドライブが正常に機能していることを確認します。 ディスク ディレクトリ ページを印刷すると、使用可能なフォントの確認に便利です。
用紙の表裏が逆に印刷されます。	<ul style="list-style-type: none"> 用紙が正しくセットされていることを確認します (「給紙トレイへの用紙のセット」を参照)。 片面印刷の場合、トレイ 1 では、印刷する側を上に向けて用紙をセットします。トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 では、印刷する側を下に向けて用紙をセットします。 両面印刷の場合、トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 では、最初に印刷する側を上に向けて用紙をセットします。
ジョブが両面印刷されません。	<ul style="list-style-type: none"> 設定ページを印刷して、両面印刷アクセサリが正しく取り付けられていることを確認します (「設定ページ」を参照)。 ドライバで両面印刷アクセサリが設定されていることを確認します。 ソフトウェアの設定によって、ドライバの設定が無効になっていないことを確認します。
ジョブがステイプル留めされません。	<p>ステイプラに送信されたジョブがステイプル留めされなかった場合、以下の理由が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 ページだけのジョブはステイプル留めされません。 ステイプラの針がなくなっており、[AUTO CONTINUE] (自動継続) が [ON] (オン) に設定されています。 適切でないサイズまたはタイプの用紙が使用されました。 50 ページを超えるジョブがステイプラに送信されました。ステイプル留めできる範囲を超えていました。 ステイプラ先端部に、折れた針または破損した針があります。 最近、ステイプルの針詰まりを取り除きました (その作業の後では、最大 2 つのジョブがステイプル留めされない可能性があります)。 ジョブに適切でないサイズまたはタイプの用紙が使用されたため、ステイプラ ビン以外のビンにジョブが送信されました。 ステイプラ ユニットへのインタフェース ケーブルに問題があるか、正しく接続されていません。
ジョブが目的とは違う場所に送信されます。	適切でないサイズまたはタイプの用紙がそのジョブに使用されています (「 用紙の仕様 」を参照)。

状況	解決法
最後のページが印刷されませんでした。データランプは点灯しています。	<ul style="list-style-type: none"> 適切なドライバを使用していることを確認します。 プリントジョブが複雑なためにまだ処理中である可能性があります。 ジョブと一緒にファイル終端(EOF)が送信されなかつたため、待機状態になっている可能性があります。[Continue] (継続)を押すと送信されます。 MFPが一時停止していないことを確認します。コントロールパネルに、「PROCESSING JOB (ジョブの処理中)」というメッセージが表示されていないか確認します。 プリントカートリッジを引き出し、紙詰まりがないか確認します。プリントカートリッジを取り付け直します。 トレイ2および3を開き、適切な用紙がセットされていることを確認します(「用紙の仕様」を参照)。トレイを閉じます。
ネットワークまたは共有プリンタに問題があります。	コンピュータをMFPに直接接続し、正常に動作しているプログラムから印刷を実行して、ネットワークまたは共有プリンタの問題であるかどうかを確認します。ネットワークの問題と考えられる場合は、システム管理者に確認するか、ネットワークカードに付属するネットワークガイドを参照してください。
トレイ4が動作しません。	電源コードが、MFPと電源コンセントにしっかりと接続されていません。電源コードを一度抜いてから、差し込み直してください。
印刷されたページが適切な排紙ピンに出力されません。	<ul style="list-style-type: none"> ドライバで適切な排紙ピンが選択されていることを確認します。ドライバの設定変更の詳細については、オンラインヘルプを参照してください。 用紙が排紙ピンの仕様に合っていません(「用紙の仕様」を参照)。
紙詰まりや用紙送りの問題が発生します。	<ul style="list-style-type: none"> 「トレイ2とトレイ3の紙詰まりを解決するには」または「トレイ4の紙詰まりを解決するには」を参照してください。 用紙の仕様が推奨範囲内であることを確認します(「用紙の仕様」を参照)。 用紙ガイドが適切に調節され、用紙が歪んでいないことを確認します(「給紙トレイへの用紙のセット」を参照)。 MFPに保守作業を指示するメッセージが表示された場合は、保守作業を実行します。
両面印刷アクセサリが認識されません。	<ul style="list-style-type: none"> 設定ページを印刷して、両面印刷アクセサリが正しく取り付けられていることを確認します(「設定ページ」を参照)。 MFPの電源を切ります。ユニットを一度取り外し、取り付け直します。MFPの電源を入れます。 ドライバで両面印刷アクセサリが設定されていることを確認します。
ハードディスクが認識されません。	MFPの電源を切り、ハードディスクが正しく挿入され、しっかりと固定されていることを確認します。
トレイ4が認識されません。	<ul style="list-style-type: none"> ドライバで、トレイ4が選択されていることを確認します(「柔軟性を高めるために役立つソフトウェア」を参照)。 MFPの電源をいったん切り、入れ直します。 電源コードがトレイ4に接続されていることを確認します。 それでもトレイ4が認識されない場合は、販売店または正規HPサービス会社までご連絡ください。

状況	解決法
ステイプラが認識されません。	ステイプラに接続しているケーブルを確認します。両端が正しく接続されていることを確認します。
別のトレイの用紙が印刷に使用されます。	<ul style="list-style-type: none"> 使用しているプログラムで、適切なサイズまたはタイプの用紙を選択していることを確認します。 使用しているプログラム用のドライバについて、正しくインストールして設定していることと、必要なサイズとタイプの用紙を要求できることを確認します。 要求したサイズの用紙が、選択したトレイにセットされていません。適切なサイズの用紙がセットされている最寄りのデフォルトトレイの用紙が使用されます。トレイに正しく用紙をセットして、トレイの設定が正しく行われていることを確認します。プリントジョブをすべて印刷できる分量の用紙を、トレイにセットします。 トレイ 2、トレイ 3、またはトレイ 4 を選択し、選択したトレイを取り付けるときに MFP の電源を切らなかつた場合、そのトレイは認識されず、最寄りのデフォルトトレイから給紙が行われます。MFP の電源をいったん切って入れ直すと、トレイは認識されます。
MFP のインターフェースに問題があります。	コントロールパネルから設定ページを印刷し、表示されるインターフェース設定がホストコンピュータの設定と一致することを確認します（「 設定ページ 」を参照）。
MFP の電源が切れているか、有効な電源に接続されていません。	MFP と有効な電源の両方に、すべての電源ケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。MFP の電源が入っていることを確認します。
MFP は印刷可能状態になっていますが、データを受信しません（データランプが点滅しません）。	<ul style="list-style-type: none"> MFP、コンピュータのポート、ネットワークポートの I/O ケーブルの接続がゆるんでいないか確認します。 システムで正常に機能している別の I/O ケーブルに交換してみます。 正しいインターフェースケーブルが選択され、MFP とコンピュータの双方にしっかりと接続されていることを確認します。ケーブルが正しく構成されていない場合、『Start Guide (スタートガイド)』を参照して構成情報を確認してください。 ネットワークに接続されている場合は、Jetdirect 設定ページを印刷して、インターフェースまたはネットワークの問題について確認します（「設定ページ」を参照）。
いつも MFP がすぐに応答しません。	<ul style="list-style-type: none"> MFP の速度は、使用しているソフトウェア アプリケーションのセットアップ方法、使用しているプリンタ ドライバ、ネットワーク上のトラフィック量によって大きく左右されます。設定の詳細については、『Start Guide (スタートガイド)』を参照してください。 場合によっては、メモリを増設する必要があります（「メモリの取り付け」を参照）。
MFP のポートに問題があります。	使用しているコンピュータのポートが正しく設定され、正常に機能していることを確認します。これを確認する方法として、たとえばコンピュータのポートを別の MFP のポートに接続し、正常に機能しているプログラムから印刷を実行します。

状況	解決法
正しいフォントまたは書式で印刷されません。	<ul style="list-style-type: none"> フォントが MFP にないため、プログラムからダウンロードするか、適切なフォント DIMM をインストールする必要があります。使用しているプログラムで、適切なドライバがインストールされ、設定されていることを確認します。目的のフォントが使用できることを確認するには、PS または PCL フォントリストを印刷します（「[Information] (情報) メニュー」を参照）。 使用しているソフトウェアで、MFP では使用できない代替フォントが選択されています（フォント選択の詳細については、ご使用のソフトウェアプログラムのマニュアルを参照してください）。
ジョブの途中でプリンタが停止します。	<ul style="list-style-type: none"> コントロールパネルディスプレイにエラー メッセージが表示されていないか確認します。 ネットワーク経由でプリンタに接続している場合、コンピュータの設定が正しいことと、ネットワーク上の問題がないことを確認します（システム管理者に確認してください）。 ライン電圧が安定していて、MFP の仕様の範囲内であることを確認します（「所要電力」を参照）。MFP の電源をいったん切り、入れ直します。 使用しているネットワーク アプリケーションのタイムアウト設定を確認します。場合によっては、タイム アウト間隔を長くする必要があります。 DOS プロンプトから MFP にファイルを出力する場合は、copy コマンド「COPY [ファイル名] LPTn /B」を LPT1 などのプリンタ ポートに使用します（コマンドの n はポート番号を示します）。
<p>注記 ページを印刷するときに、コンピュータから用紙送りコマンドを送信することが必要になる場合もあります。</p>	
Macintosh コンピュータから PS プリント ジョブが印刷されません。	Windows の [PostScript] タブの設定を確認します。[プロトコル] が AppleTalk に設定され、[バイナリ データ] が選択されていないことを確認します。
ソフトウェアで正しいポートが選択されません。	オペレーティング システムのポート設定で、プリント ジョブが正しいポート（LPT1 など）に送信されていることを確認します。

状況	解決法
Macintosh コンピュータと MFP の間で通信が確立しません。	<ul style="list-style-type: none"> コントロール パネルに「READY (印刷可能)」と表示されていることを確認します。 [セレクタ] の左側で、適切なドライバが選択されていることを確認します。次に、[セレクタ] の右側で、必要な MFP 名が選択されている (ハイライトされている) ことを確認します。ドライバをセットアップして、PPD で構成すると、MFP 名の横にアイコンが表示されます。 複数のゾーンが存在するネットワーク上に MFP を配置している場合は、[セレクタ] の [AppleTalk ゾーン] で適切なゾーンが選択されていることを確認します。 設定ページを印刷して、[セレクタ] で適切な MFP が選択されていることを確認します (「設定ページ」を参照)。設定ページに表示されている MFP 名が、[セレクタ] の MFP 名と一致することを確認します。 AppleTalk が有効であることを確認します ([セレクタ] または AppleTalk コントロール パネルで AppleTalk を選択します。ご使用の OS バージョンに対して、どちらでも適用できます)。 コンピュータと MFP が同じネットワーク上にあることを確認します。Apple メニューの [コントロール パネル] で、[ネットワーク] (または AppleTalk) コントロール パネルを選択して、適切なネットワーク (LocalTalk、EtherTalk など) を選択します。
[セレクタ] にドライバのアイコンが表示されません。	<ul style="list-style-type: none"> Apple LaserWriter 8 の [セレクタ] 拡張が Extensions フォルダにあることを確認します。システムのどこにもドライバが見つからない場合は、Apple Computer, Inc. 社から提供される Macintosh の OS システム ソフトウェア CD からドライバ入手するか、HP サポートの小冊子を参照するか、www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp をご覧ください。

HP Jetdirect プリント サーバ(オプション)を使用した通信

オプションの HP Jetdirect 内蔵プリント サーバを使用しているのにネットワーク上の MFP との通信が確立できない場合は、プリント サーバの動作を確認してください。Jetdirect 設定ページで、「I/O CARD READY (I/O カードの準備ができました)」というメッセージが表示されていることを確認します。

設定ページを印刷するには

- 1 [Menu] (メニュー) を押します。
- 2 [Information] (情報) を押します。
- 3 [Configuration Page] (設定ページ) を押します。

トラブルシューティングに関する詳細については、プリント サーバに付属のマニュアルを参照してください。

HP Jetdirect 埋め込み型プリント サーバを使用した通信

HP LaserJet 9040mfp および HP LaserJet 9050mfp には、埋め込み型プリント サーバが搭載されています。ネットワーク上の MFP と通信が確立できない場合は、埋め込み型プリント サーバの動作を確認してください。埋め込み型 Jetdirect の設定ページで、「I/O CARD READY (I/O カードの準備ができました)」というメッセージが表示されていること、ネットワークが正しく設定されていることを確認します。手順の詳細については、「[設定ページを印刷するには](#)」を参照してください。

プリント サーバがネットワークに自動的にリンク可能かどうかは、次の手順に従って確認します。

- MFP の LAN (RJ-45) コネクタ上のリンク LED ランプが点灯しているかどうかを確認します。点灯していれば、リンクが確立していることを示します。リンクが確立していないときは、LED ランプは 2 つとも消灯しています。
- 埋め込み型 Jetdirect 設定ページに、エラー メッセージがあるかどうかを確認します。「LOSS OF CARRIER ERROR (キャリアの消失エラー)」というメッセージが表示されている場合、リンクは確立していません。

リンクが確立されていないときは、すべてのネットワーク ケーブルの接続を調べてください。また、MFP のコントロールパネルメニュー ([MENU] (メニュー)、[CONFIGURE DEVICE] (デバイスの設定)、[I/O]、[EMBEDDED JETDIRECT] (埋め込み型 JETDIRECT) メニュー、[LINK SPEED] (リンク速度) の順に選択) を使って、埋め込み型プリント サーバのリンク設定を手動で行うこともできます。

注記

HP Jetdirect プリント サーバは、ワイヤレス 802.11 ネットワークなど、さまざまなネットワーク接続に対応しています。

MFP の設定の確認

MFP のコントロール パネルから、MFP と現在の設定の詳細な内容を列挙したページを印刷することができます。このページに一覧表示される情報は、次のとおりです。

- メニュー マップ
- 設定ページ
- Jetdirect ページ
- サプライ品ステータス ページ
- 使用状況ページ
- PCL または PS フォントリスト
- ファイル ディレクトリ ページ
- イベント ログ

次に、これらの情報ページを印刷する手順について説明します。各ページの詳細については、該当するセクションを参照してください。

情報ページを印刷するには

- 1 [Menu] (メニュー) を押します。
- 2 [Information] (情報) を押します。
- 3 必要な情報ページまでスクロールして、該当するページを押します。

メニュー マップ

コントロール パネルで使用できるメニューと項目の現在の設定を確認するには、コントロール パネルのメニュー マップを印刷します。

- 1 [Menu] (メニュー) を押します。
- 2 [Information] (情報) を押します。
- 3 [Print Menu Map] (メニュー マップの印刷) を押します。

これらの値の多くは、ドライバまたはプログラムで設定した値の方が優先されます。参照用に、MFP の近くにメニュー マップを保管しておくと便利です。

メニュー マップの内容は、MFP にインストールされているオプションによって異なります。コントロール パネルのすべてのメニュー項目と指定可能な値については、「[コントロール パネルのメニュー](#)」を参照してください。コントロール パネルの設定を変更する場合は、「[コントロール パネルのメニュー](#)」を参照してください。

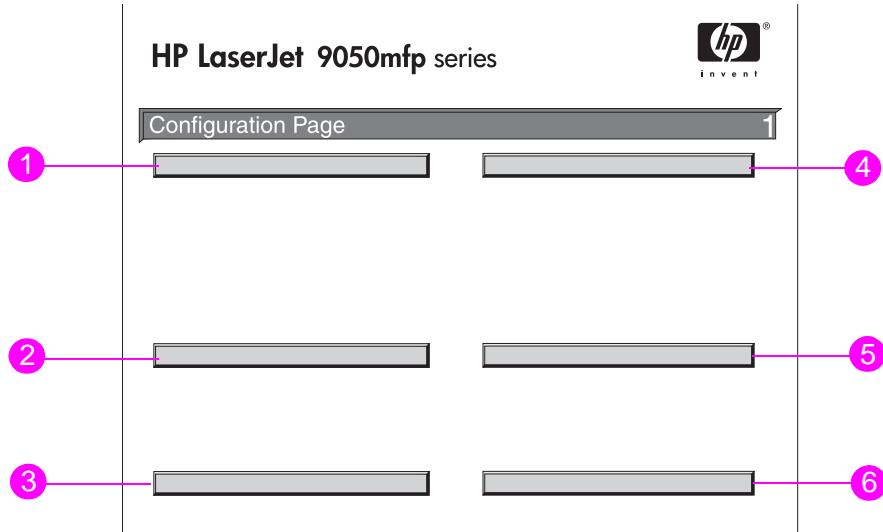
設定ページ

設定ページの情報は、現在の MFP の設定を確認する際や、MFP の問題を解決する際に役立ちます。また、メモリ (DIMM)、用紙トレイ、プリンタ言語など、インストールされているオプションのアクセサリを確認することもできます。

注記

HP Jetdirect プリント サーバをインストールしている場合は、HP Jetdirect 設定ページも印刷できます。

この設定ページに表示される情報は、次のとおりです。



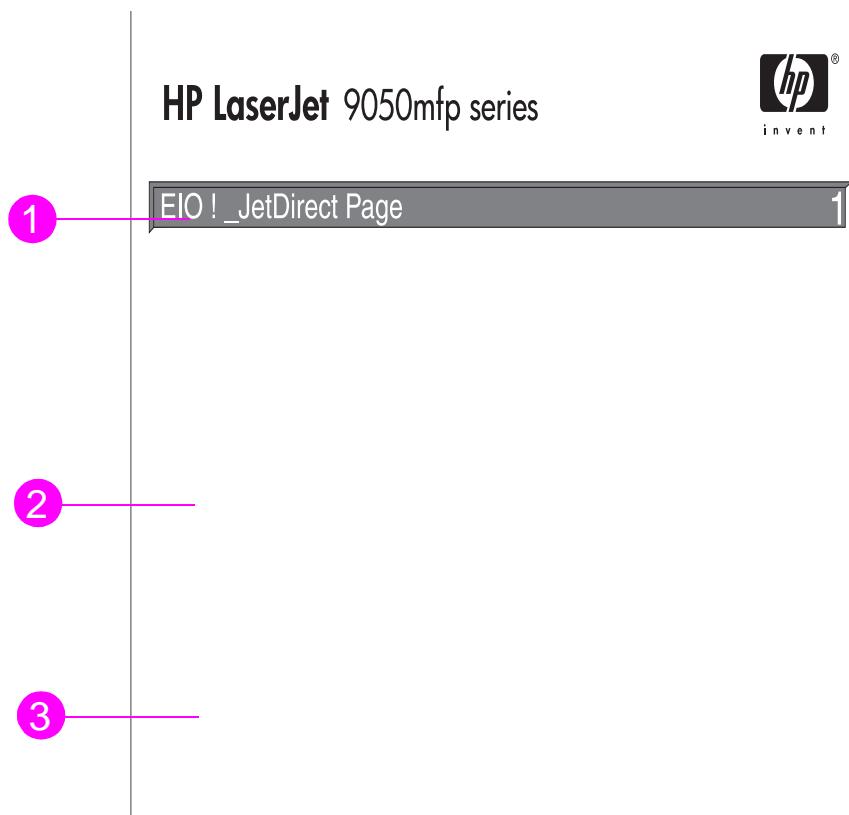
- 1 **Device Information (デバイス情報)** : シリアル番号やページ カウントなど、MFP に関する情報が記載されています。
- 2 **Event Log (イベント ログ)** : ログのエントリ数、表示可能な最大エントリ数、最新の 3 つのエントリのリストが記載されています。イベント ログの 2 ページ目は、製造元のページです。このページには、MFP の問題を解決するときに、HP カスタマ ケアの担当者をサポートする情報が記載されています。
- 3 **Installed Personalities and Options (インストール済みパーソナリティとオプション)** : インストールされているすべての MFP 言語 (PCL、PS など) と、DIMM スロットおよび EIO スロットにそれぞれ装着されているオプションのリストが記載されています。
- 4 **Memory (メモリ)** : MFP のメモリ情報、PCL Driver Work Space (DWS)、I/O バッファ情報、およびリソース保存情報が記載されています。
- 5 **Security (セキュリティ)** : コントロール パネルのロック ステータス、コントロール パネルのパスワード、およびディスク ドライブのリストが記載されています。
- 6 **Paper Trays and Options (用紙トレイとその他のオプション)** : すべてのトレイのサイズ設定と用紙処理アクセサリのリストが記載されています。

注記

サンプル印刷の番号は、MFP のメッセージの番号と一致しています (HP サポートの小冊子を参照するか、www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp をご覧ください)。設定ページの内容は、MFP にインストールされているオプションによって異なります。

Jetdirect ページ

設定ページの 2 番目のページは、Jetdirect ページです。このページには、以下の情報が記載されています。

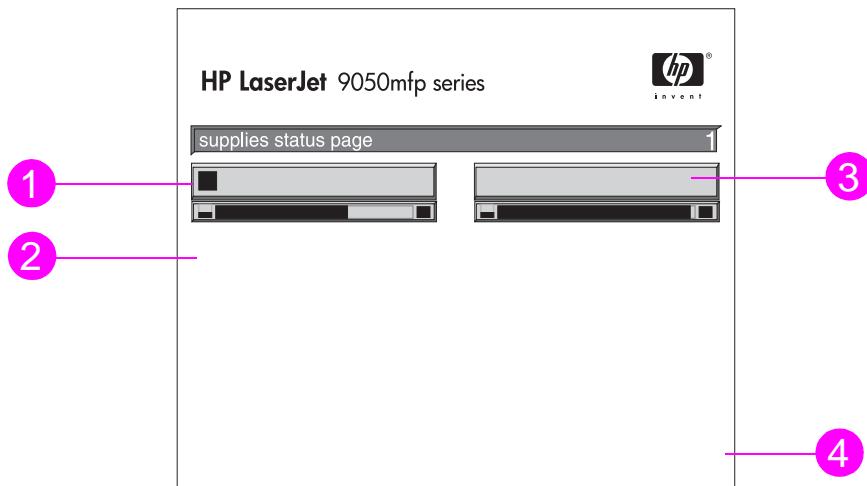


- 1 **HP Jetdirect Configuration (HP Jetdirect 設定)** : MFP のステータス、モデル番号、ハードウェアのファームウェアのバージョン、ポートの選択、ポート設定、自動ネゴシエーション、製造 ID、製造日が表示されます。
- 2 **Network Status (ネットワーク統計情報)** : 受信パケット総数、受信ユニキャスト パケット数、受信不良パケット数、受信フレーミング誤差、送信パケット総数、送信不能のパケット数、送信の衝突数、送信の最近の衝突が表示されます。
- 3 **Protocol Information (プロトコル情報)** : TCP/IP、IPX/SPX、Novell/NetWare、AppleTalk、および DLC/LLC のステータスが表示されます。

サプライ品ステータス ページ

サプライ品ステータス ページでは、MFP に装着されているトナー カートリッジ、そのカートリッジのトナー残量、処理済みのページ数とジョブ数に関する情報を確認できます。また、このページでは、次に保守作業が必要になる時期を確認できます。

サプライ品ステータス ページに表示される情報は、次のとおりです。

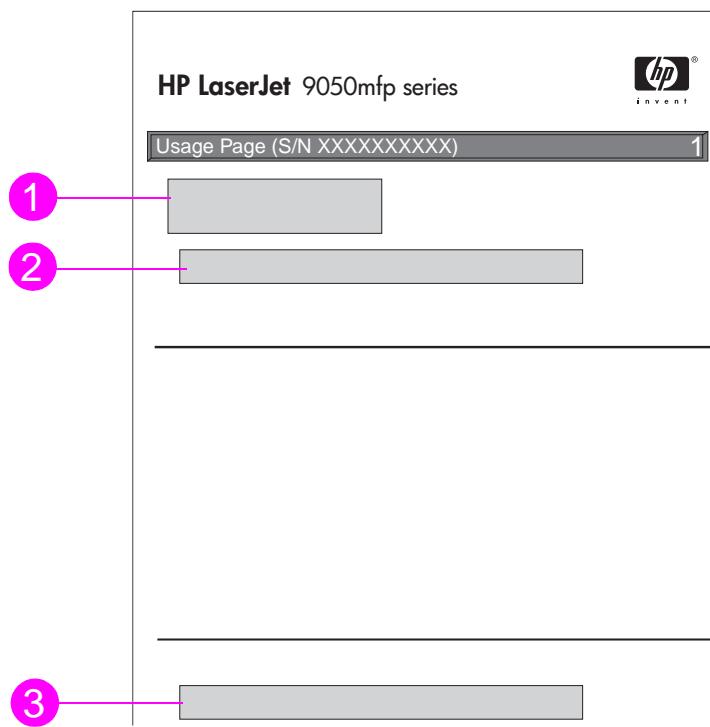


- 1 **Cartridge Information (カートリッジ情報)** : プリント カートリッジのトナー残量、カートリッジのトナー残量から推定される印刷可能ページ数、処理済みのページ数とジョブ数、プリント カートリッジの製造年月日とシリアル番号、HP 製プリント カートリッジのリサイクル方法が列挙されています。
- 2 **Device Information (デバイス情報)** : MFP のページ カウント数、次に保守作業が必要になるまでの期間、次に保守作業が必要になるまでに印刷可能なページ数、MFP のシリアル番号が列挙されています。
- 3 **Other Supplies Information (他のサプライ品情報)** : 保守キットの使用率と HP 製品番号が表示されます。
- 4 **Ordering Information (アクセサリおよびサプライ品の購入について)** : サプライ品の注文方法に関する情報が記載されています。

使用状況ページ

使用状況ページでは、ページ サイズと、印刷、コピー、および送信済みのページ数に関する情報を確認できます。

使用状況ページに表示される情報は、次のとおりです。



- 1 **Product Name and Device name (製品名とデバイス名)** : 使用中の HP LaserJet MFP シリーズが表示されます。
- 2 **Usage Totals (総使用状況)** : 印刷、コピー、およびスキャン済みジョブの用紙のタイプ、片面印刷でのページ数、両面印刷でのページ数、および総ページ数が表示されます。
- 3 **Coverage (カバー範囲)** : 印刷した全ページで使用されたトナーの平均量が表示されます。

PCL または PS フォントリスト

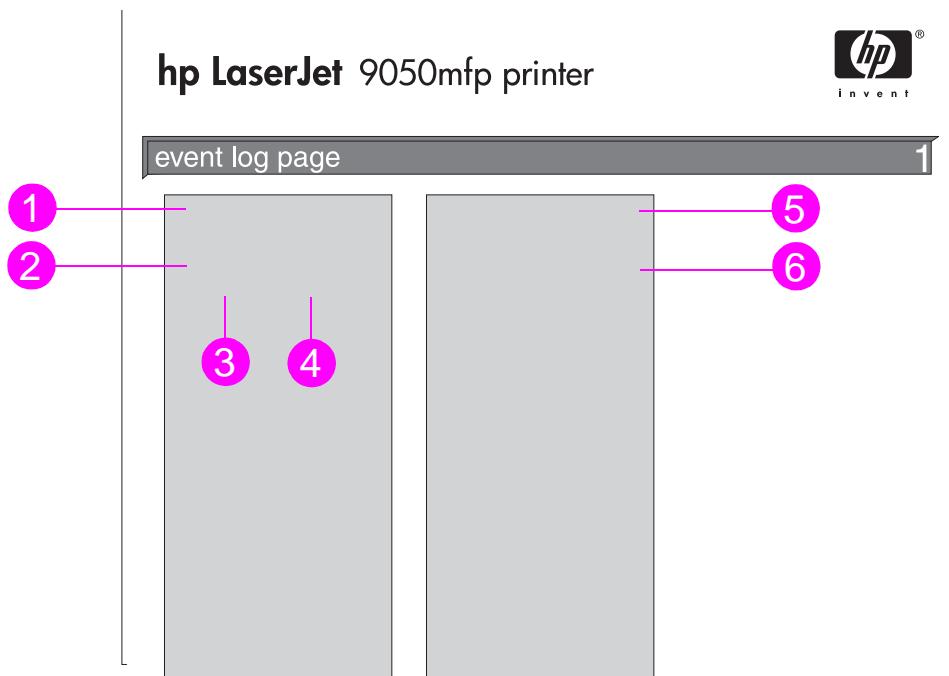
フォントリストを使用して、MFP に現在インストールされているフォントを確認できます (リストには、フォントの保存先 (ハードディスクまたはフラッシュ DIMM) も表示されます)。

PS フォントリストには、インストールされている PS フォントと、PS フォントのサンプルが表示されます。PCL フォントリストに表示される情報は、次のとおりです。

- **Font (フォント)** : フォント名とサンプルを確認できます。
- **Pitch/Point (ピッチ / ポイント)** : フォントのピッチ サイズとポイント サイズが表示されます。
- **Escape Sequence (エスケープ シーケンス) (PCL 5e プログラム コマンド)** : 指定のフォントを選択するために使用するコマンドです (フォントリスト ページの下部にある凡例を参照)。
- **Font # (フォント No)** : (ソフトウェア アプリケーションではなく) コントロール パネルからフォントを選択したときに使用される番号です。フォント # とフォント ID を混同しないでください (以下の情報を参照)。フォント ID は、フォントが保存されている DIMM スロットを指します。
 - **SOFT (ソフト)** : ダウンロード済みのフォントです。他のフォントがダウンロードされて置換されるまで、または MFP の電源を切るまで、MFP に保存されます。
 - **INTERNAL (内蔵)** : MFP に永続的に保存されるフォントです。
- **Font ID (フォント ID)** : ソフトウェアを使ってソフト フォントをダウンロードしたときに、そのフォントに割り当てた番号です。

イベント ログ ページ

イベント ログの 1 ページ目に記載されている情報は、次のとおりです。



- 1 **Current Page Count (現在のページ カウント)** : MFP から印刷されたページ数が表示されます。
 - 2 **Number (番号)** : イベントの発生順序を示します。最新のイベントに、最大の番号が付けられます。
 - 3 **Event (イベント)** : 各イベントの内部イベント コードが表示されます。
 - 4 **Page Count (ページ カウント)** : イベント発生の時点における、MFP からの印刷済みページ数を示します。
 - 5 **Serial Number (シリアル番号)** : MFP のシリアル番号を示します。
 - 6 **Description or Personality (説明またはパーソナリティ)** : イベントの発生原因 (MFP のパーソナリティ内の問題であるのか、MFP での紙詰まりの問題であるのか) を示します。
- イベント ログの 2 ページ目は、製造元のページです。このページには、MFP の問題を解決するときに、HP カスタマ ケアの担当者をサポートする情報が記載されています。

イベント ログを印刷するには

- 1 [Menu] (メニュー) を押します。
- 2 スクロールして、[Diagnostics] (診断) を押します。
- 3 スクロールして、[Print Event Log] (イベント ログの印刷) を押します。

用紙経路テストの印刷

用紙経路テストを実行すると、各種の用紙経路が正常に動作していることの確認や、トレイ設定のトラブルシューティングを行うことができます。

用紙経路テストを印刷するには

- 1 [Menu] (メニュー) を押します。
- 2 スクロールして、[Diagnostics] (診断) を押します。
- 3 スクロールして、[Paper Path Test] (用紙経路のテスト) を押します。
- 4 スクロールして、テストする給紙トレイ、排紙ビン、両面印刷アクセサリ (使用可能な場合)、部数を選択し、それぞれの値を設定したら [OK] を押します。すべてのオプションを選択すると、用紙経路テストが自動的に開始されます。

A 仕様

概要

ここでは、製品の仕様について説明します。

- 用紙の重量換算表
- 用紙の仕様
- 環境仕様

用紙の重量換算表

U.S. ボンド紙の重量が、ほかの仕様でどの程度の重量に相当するかを調べるときに、この表を参考にします。たとえば、20 ポンド（約 9kg）の U.S. ボンド紙の重量に相当する U.S. カバー紙の重量を確認するには、ボンド紙の重量（2 行目の最初の列）を見つけて、その行にあるカバー紙の重量（3 番目の列）を確認します。この場合、該当する重量は 75g/m^2 (28 ポンド) になります。

注記

網掛けされている部分は、その等級の標準の重量を示しています。

U.S. ボンド紙 の重量 (ポンド)	U.S. テキスト 紙/ブック 紙の 重量 (ポンド)	U.S. カバー紙 の重量 (ポンド)	U.S. ブリス トル紙の 重量 (ポンド)	U.S. インデッ クスカーブ ドの重量 (ポンド)	U.S. タグの 重量 (ポンド)	メート ル法での 重量 (g/m ²)
17	43	24	29	35	39	64
20	50	28	34	42	46	75
21	54	30	36	44	49	80
22	56	31	38	46	51	81
24	60	33	41	50	55	90
27	68	37	45	55	61	100
28	70	39	49	58	65	105
32	80	44	55	67	74	120
34	86	47	58	71	79	128
36	91	50	62	75	83	135
39	100	55	67	82	91	148
42	107	58	72	87	97	157
43	110	60	74	90	100	163
47	119	65	80	97	108	176
53	134	74	90	110	122	199
58	146	80	98	120	133	216

印刷サプライ品

製品	製品番号	説明または用途
プリント カートリッジ	C8543X	用紙の 5% 部分に印刷した場合、平均 30,000 ページの印刷が可能 最大容量の交換用高性能プリント カートリッジです。
HP LaserJet モノクロ OHP フィルム レター (8.5 x 11 インチ)、50 枚 / ボックス A4 (210 x 297mm)、50 枚 / ボックス	92296T 92296U	HP LaserJet モノクロ プリンタ用に特別に 設計されています。 仕様：厚さ 4.3mil (mil: 1/1000 インチ)。 両面コート。
HP LaserJet ソフト光沢紙 レター (8.5 x 11 インチ)、50 枚 / ボックス A4 (210 x 297mm)、50 枚 / ボックス	C4179A C4179B	HP Color LaserJet プリンタおよび HP LaserJet モノクロ プリンタ用です。パンフレット、販促資料、グラフィックスや写真を使用した文書など、視覚的効果の大きいビジネス文書に適したコート紙です。 仕様：32 ポンド。両面サテン光沢コーティング。
HP プレミアム チョイス LaserJet 用紙 レター (8.5 x 11 インチ)、 500 枚 / 連、10 連カートン A4 (210 x 297mm)、500 枚 / 連、 4 連カートン タブロイド (11 x 17 インチ)、 250 枚 / 連、6 連カートン A3 (420 x 297mm)、500 枚 / 連、 4 連カートン	HPU1132 CHP410 HPU1732 CHP420	HP Color LaserJet プリンタおよび HP LaserJet モノクロ プリンタ用です。レジュメ、パンフレット、レポート、プレゼンテーションなどの視覚的効果の高い文書に適した、厚みのある超光沢紙です。 仕様：白色度 98%、32 ポンド
HP LaserJet 用紙 レター (8.5 x 11 インチ)、 500 枚 / 連、10 連カートン レター (8.5 x 11 インチ)、穴あき (3 箇所)、500 枚 / 連、10 連カートン リーガル (8.5 x 14 インチ)、 500 枚 / 連、10 連カートン A4 (210 x 297mm)、500 枚 / 連、 5 連カートン タブロイド (11 x 17 インチ)、 500 枚 / 連、5 連カートン	HPJ1124 HPJ113H HPJ1424 CHP310 HPJ1724	コスト パフォーマンスが高く、すべての HP LaserJet プリンタに適しています。レターヘッド、重要な回覧物、法律文書、ダイレクトメール、通信文書に適した厚めの用紙です。 仕様：白色度 96%、24 ポンド
HP 印刷用紙 レター (8.5 x 11 インチ)、 500 枚 / 連、10 連カートン A4 (210 x 297mm)、500 枚 / 連、 5 連カートン A3 (420 x 297mm)、500 枚 / 連、 5 連カートン	HPP1122 CHP210 CHP220	レーザー プリンタおよびインクジェット プリンタ用です。特に SOHO での用途に適しています。コピー用紙よりも厚めで、白色度も高い用紙です。 仕様：白色度 92%、22 ポンド

印刷サプライ品

製品	製品番号	説明または用途
HP 多目的用紙 レター (8.5 x 11 インチ)、 500 枚 / 連、10 連カートン	HPM1120	すべてのオフィス機器 (レーザー プリンタ、 インクジェット プリンタ、コピー、ファックス) で使用できます。すべての印刷に 1 種類の用紙のみを使用したい場合に適して います。他のオフィス用紙よりも白色度が 高く、なめらかです。
レター (8.5 x 11 インチ)、 500 枚 / 連、5 連カートン	HPM115R	
レター (8.5 x 11 インチ)、穴あき (3 箇所)、500 枚 / 連、10 連カートン	HPM113H	仕様：白色度 90%、20 ポンド
リーガル (8.5 x 14 インチ)、 500 枚 / 連、10 連カートン	HPM1420	
タブロイド (11 x 17 インチ)、 500 枚 / 連、5 連カートン	HPM1720	
HP オフィス用紙 レター (8.5 x 11 インチ)、 500 枚 / 連、10 連カートン	HPC8511	すべてのオフィス機器 (レーザー プリンタ、 インクジェット プリンタ、コピー、ファックス) で使用できます。量が多い通常の印刷に 適しています。標準用紙よりも白色度が高 くなっています。
レター (8.5 x 11 インチ)、穴あき (3 箇所)、500 枚 / 連、10 連カートン	HPC3HP	
リーガル (8.5 x 14 インチ)、 500 枚 / 連、10 連カートン	HPC8514	仕様：白色度 87%、20 ポンド
A4 (210 x 297mm)、 500 枚 / 連、5 連カートン	CHP110	
タブロイド (11 x 17 インチ)、 500 枚 / 連、5 連カートン	HPC1117	
HP オフィス用再生紙 レター (8.5 x 11 インチ)、 500 枚 / 連、10 連カートン	HPE1120	すべてのオフィス機器 (レーザー プリンタ、 インクジェット プリンタ、コピー、ファックス) で使用できます。大量の印刷に適して います。
レター (8.5 x 11 インチ)、穴あき (3 箇所)、500 枚 / 連、10 連カートン	HPE113H	U.S. エグゼクティブ オーダー 13101 に準拠 した環境適合製品です。
リーガル (8.5 x 14 インチ)、 500 枚 / 連、10 連カートン	HPE1420	仕様：白色度 84%、20 ポンド、 再利用紙配合率 30%

用紙の仕様

HP LaserJet 製品は、印刷品質に優れています。カット紙（再生紙を含む）、封筒、ラベル紙、OHP フィルム、カスタムサイズ用紙など、さまざまな用紙に対応しています。重量、きめの細かさ、水分含有量などの性質は、製品の性能と出力品質に影響する重要な要因です。

MFP では、本書のガイドラインを満たすさまざまな用紙や印刷メディアを使用することができます。このガイドラインに準拠しない用紙は、以下のような問題の原因となることがあります。

- 印刷品質の低下
- 紙詰まりや複数の用紙が重なっての給紙
- MFP の耐久性が低下し、修理が必要になる

最適な結果を得るために、HP 製の用紙と印刷メディアのみを使用してください。他社製の用紙を使用することはお勧めできません。HP の製品ではないので、弊社がそのデザインや品質を管理できないためです。

本書のすべてのガイドラインに準拠している用紙でも、満足な結果が得られない場合があります。原因として、不適切な取り扱い、許容範囲外の温度レベルや湿度レベル、HP が関与できないその他の変動要素などが挙げられます。

用紙を大量に購入する前に、その用紙がこのガイドおよび『*Guidelines for Paper and Other Print Media* (用紙その他のプリントメディア用ガイドライン)

で指定されている要件を満たしていることを確認してください。また、大量に購入する前に、何枚かのサンプルを使ってテストするようにしてください。詳細については、HP の Web サイト (www.hp.com/go/ljpaper) を参照してください。

注意

HP の仕様に準拠しない用紙を使用すると、MFP で問題が発生する原因となり、修理が必要になることがあります。このような場合の修理は、HP の保証またはサービス契約の対象にはなりません。

給紙および排紙に対応する用紙サイズ

注記

HP 製排紙デバイスの詳細については、MFP または排紙デバイスに付属の『インストールガイド』を参照してください。

トレイまたは はBIN	容量	用紙	重量
トレイ 1	最大 100 枚	<ul style="list-style-type: none">自動認識が可能な標準サイズ：レター、リーガル、エグゼクティブ、ISO A3、ISO A4、ISO A5、11 x 17、JIS B5、JIS B4、JPostD、8K、16Kカスタム サイズ： 最小：98 x 191mm (3.9 x 7.5 インチ) 最大：312 x 470mm (12.3 x 18.5 インチ)封筒のサイズ： 商用 10 号、C5、DL、Monarch、B5	64 ~ 216g/m ² (17 ~ 58 ポンド のボンド紙) 両面印刷： 64 ~ 199g/m ² (17 ~ 53 ポンド のボンド紙)
	最大 10 枚の 封筒		
	OHP フィルム の束の最大の 高さ：10mm (0.4 インチ)		
トレイ 2 および トレイ 3	最大 500 枚	<ul style="list-style-type: none">自動認識が可能な標準サイズ：レター、レター（回転）、リーガル、エグゼクティブ、ISO A3、ISO A4-R、ISO A5、JIS B4、JIS B5、11 x 17自動認識が不可能な標準サイズ： 8K、16K、JIS エグゼクティブ、8.5 x 13 (215 x 330mm)カスタム サイズ： 最小：148 x 210mm (5.8 x 8.2 インチ) 最大：297 x 431mm (11.7 x 17 インチ)	64 ~ 199g/m ² (17 ~ 53 ポンド のボンド紙)
トレイ 4	最大 2000 枚	<ul style="list-style-type: none">標準サイズ： レター、リーガル、エグゼクティブ、ISO A3、ISO A4、11 x 17、JIS B4、JIS B5カスタム サイズ： 最小：182 x 210mm (7.2 x 8.3 インチ) 最大：297 x 431mm (11.7 x 17 インチ)	64 ~ 199g/m ² (17 ~ 53 ポンド のボンド紙)
自動原稿送 り装置	最大 100 枚	<ul style="list-style-type: none">標準サイズ： レター、リーガル、エグゼクティブ、ISO A3、ISO A4、ISO A5、11 x 17、JIS B5、JIS B4、JPostD、Monarch、8K、16Kカスタム サイズカスタム タイプ：OHP フィルム	64 ~ 199g/m ² (17 ~ 53 ポンド のボンド紙)

トレイまたは はBIN	容量	用紙	重量
上部BIN	最大 125 枚	<ul style="list-style-type: none"> 標準サイズ： レター、リーガル、エグゼクティブ、ISO A3、ISO A4、ISO A5、 11 x 17、JIS B5、JIS B4、JPostD、 Monarch、8K、16K カスタム サイズ カスタム タイプ：封筒、ラベル 	64 ~ 216g/m ² (17 ~ 58 ポンド のボンド紙)
両面印刷 アクセサリ		<ul style="list-style-type: none"> 標準サイズ： レター、レター(回転)、リーガル、 エグゼクティブ、ISO A3、ISO A4、 11 x 17、JIS B4、JIS B5 自動認識が不可能な標準サイズ： 8K、16K カスタム サイズ カスタム タイプ：封筒、ラベル紙、 OHP フィルムの両面印刷には対応 していません。 	64 ~ 199g/m ² (17 ~ 53 ポンド のボンド紙)
3000 枚収納 スタッカ	最大 3,000 枚 の A4 または レター サイズ の用紙 最大 1,500 枚の A3 または 11 x 17 の用紙	<ul style="list-style-type: none"> 下部BINの標準サイズ： レター、リーガル、エグゼクティブ、ISO A3、ISO A4、ISO A5、 11 x 17、JIS B5、JIS B4、8K、 16K 上部BINの標準サイズ： レター、リーガル、エグゼクティブ、ISO A3、ISO A4、ISO A5、 11 x 17、JIS B5、JIS B4、JPostD、 Monarch、8K、16K カスタム サイズ カスタム タイプ：封筒、ラベル紙、 OHP フィルム、厚紙 	<ul style="list-style-type: none"> 64 ~ 199g/m² (17 ~ 53 ポンド のボンド紙) (下部BIN) 64 ~ 216g/m² (17 ~ 58 ポンド のボンド紙) (上部BIN)
3000 枚収納 スタッカ / ステイプラー	最大 3,000 枚 の A4 または レター サイズ の用紙 最大 1,500 枚の A3 または 11 x 17 の用紙 最大 50 枚の ステイプル留め	<ul style="list-style-type: none"> 下部BINの標準サイズ： レター、リーガル、エグゼクティブ、ISO A3、ISO A4、ISO A5、 11 x 17、JIS B5、JIS B4、8K、 16K 上部BINの標準サイズ： レター、リーガル、エグゼクティブ、ISO A3、ISO A4、ISO A5、 11 x 17、JIS B5、JIS B4、JPostD、 Monarch、8K、16K カスタム サイズ カスタム タイプ：封筒、ラベル紙、 OHP フィルム、厚紙 	<ul style="list-style-type: none"> 64 ~ 199g/m² (17 ~ 53 ポンド のボンド紙) (下部BIN) 64 ~ 216g/m² (17 ~ 58 ポンド のボンド紙) (上部BIN)

トレイまたは はBIN	容量	用紙	重量
マルチファンクション フィニッシャ	A4 またはレターサイズ用紙 (75g/m ² (20 ポンドのボンド紙)) を最大 1,000 枚 (ステイプルで留める場合は最大 50 枚) まで、 A3 または 11 x 17 の用紙 (75g/m ² (20 ポンドのボンド紙)) を最大 500 枚 (ステイプル留めの場合は最大 25 枚) まで収納 最大でブックレット 40 冊 (5 枚構成) またはブックレット 20 冊 (10 枚構成)	<ul style="list-style-type: none"> 標準サイズ： レター、リーガル、エグゼクティブ、ISO A3、ISO A4、ISO A5、JIS B4、JIS B5、11 x 17 カスタム サイズ： 最小：98 x 191mm (3.9 x 7.5 インチ) 最大：312 x 470mm (12.3 x 18.5 インチ) カスタム タイプ：封筒、ラベル紙、OHP フィルム、厚紙 	<ul style="list-style-type: none"> 64 ~ 199g/m² (17 ~ 53 ポンドのボンド紙) (下部ブックレット BIN) 64 ~ 216g/m² (17 ~ 58 ポンドのボンド紙) (上部 BIN)
8 ビン メールボックス	排紙 BIN 1 つにつき最大 250 枚の A4 またはレターサイズ用紙を収納	<ul style="list-style-type: none"> 上部 BIN の標準サイズ レター、リーガル、エグゼクティブ、ISO A3、ISO A4、ISO A5、JIS B4、JIS B5、11 x 17 カスタム サイズ 最小：98 x 170mm (3.9 x 6.7 インチ) 最大：305 x 470mm (12 x 18.5 インチ) 8 メールボックス BIN の標準サイズ レター、リーガル、エグゼクティブ、ISO A3、ISO A4、ISO A5、JIS B4、JIS B5、11 x 17 カスタム サイズ 最小：148 x 210mm (5.8 x 8.3 インチ) 最大：297 x 432mm (11.7 x 17 インチ) 	<ul style="list-style-type: none"> 60 ~ 135g/m² (16 ~ 36 ポンドのボンド紙) (8 メールボックス BIN) 60 ~ 216g/m² (16 ~ 58 ポンドのボンド紙) (上部 BIN)

対応する用紙のタイプ

MFP のコントロールパネルの設定を使用すると、以下に挙げるタイプの用紙およびその他の印刷メディアを選択できます。

- 普通紙
- 印刷済み用紙
- レターヘッド
- OHP フィルム (「OHP フィルム」を参照)
- 穴あき用紙
- ラベル紙 (「ラベル紙」を参照)
- ボンド紙
- 再生紙
- カラー
- カード ストック ($> 163\text{g/m}^2$) (「カード ストックおよび厚紙」を参照)
- 粗め $90 \sim 105\text{g/m}^2$
- 封筒 (トレイ 1 のみ) (「封筒」を参照)

用紙の使用に関するガイドライン

最良の結果を得るには、通常の 75g/m^2 (20 ポンドのボンド紙) の用紙を使用してください。用紙は高品質なものを使い、切れ目や裂け目、斑点などがない、ほこりやしわなどがないこと、さらに用紙の端が反り返っていたり折れていないことを確認します。

ボンド紙、再生紙などを使う場合で、用紙のタイプが不明なときは、用紙の梱包に記載されている表示を確認してください。

使用する用紙によっては、印刷品質に問題が発生したり、紙詰まりや MFP の損傷の原因になります。盛上げ印刷などで使用される低温インクで印刷されたレターヘッド用紙は使用しないでください。また、浮き彫り加工が施されたレターヘッドは使用しないでください。コート紙と一部の OHP フィルムは、フューザ ローラーに巻きついて紙詰まりの原因となることがあります。

この MFP では、トナーを熱と圧力で用紙に溶着させます。カラー用紙または印刷済み用紙に使用されているインクが、この MFP の溶着温度 (200°C (392°F) で 0.1 秒間) に耐えられることを確認してください。

用紙や他の印刷用紙に関する問題の解決

ここでは、用紙や他の印刷用紙に関する一般的な問題の解決方法を説明します。

状態	問題	解決法
印刷品質が低い、または、トナーが固着するなどの給紙の問題が発生する	水分含有量が多すぎる、目が粗すぎる、またはエンボス加工されている不適切な用紙を使用している	平滑度 100 ~ 250 Sheffield で水分含有量 4 ~ 6% のタイプの異なる用紙で試してください。
欠落、紙詰まり、反り返りが発生する	正しくセットされていない	防湿包装の用紙を平らにセットします。
背景のグレーが濃く印刷される	用紙が厚すぎる	<ul style="list-style-type: none">● 軽量の用紙を使用します。● 上部ピンを使用します。

状態	問題	解決法
過度に反り返る 給紙の問題が発生する	水分含有量が多すぎる、 用紙の目の向きが違っている、または用紙が横目 である	<ul style="list-style-type: none"> 上部BINを使用します。 縦目の用紙を使用します。
紙詰まりが発生して MFP に損傷を与える	用紙に切り抜きやミシン目 がある	切り抜きやミシン目のない用紙を使用し ます。
給紙の問題が発生する	用紙の端が揃っていない	対応しているタイプの用紙を使用し ます。
用紙が数枚重なって給紙 される	用紙がくっついている	用紙を取り出し、ほぐしてからセットし 直します。

ラベル紙

MFP の損傷を防ぐため、モノクロ レーザー プリンタ用に推奨されているラベル紙のみを使用してください。同じラベル紙に 2 回以上印刷しないでください。

注意

ラベル紙、OHP フィルム、封筒、カスタム サイズの用紙、または 216g/m² (58 ポンドのボンド紙) を超える用紙には、両面印刷を行わないでください。MFP に損傷を与えたり、紙詰まりが発生することがあります。

ラベル紙の構造

ラベル紙を選択するときに考慮すべき事項は、次のとおりです。

- 粘着性：粘着剤は、MFP の最大溶着温度である 200°C (392°F) に耐えるものであることが必要です。
- 配置：ラベル間に隙間のない用紙を使用します。ラベル間に隙間があると、ラベルが用紙からはがれ、紙詰まりの原因となることがあります。
- 反り返り：印刷前に、ラベル紙の反り返りが 13mm (0.5 インチ) 未満で、平らに置かれていることを確認します。
- 状態：しわや気泡があったり、はがれているラベル紙は使用しないでください。

OHP フィルム

注意

MFP に使用する OHP フィルムは、MFP の最大溶着温度である 200°C (392°F) に耐えるものであることが必要です。MFP の損傷を防ぐため、モノクロ レーザー プリンタ用に推奨されている OHP フィルムのみを使用してください。

ラベル紙、OHP フィルム、封筒、カスタム サイズの用紙、または 216g/m² (58 ポンドのボンド紙) を超える用紙には、両面印刷を行わないでください。MFP に損傷を与えたり、紙詰まりが発生することがあります。

OHP フィルムへの印刷作業で問題が発生する場合は、トレイ 1 を使用し、上部BINに排紙するようにします。

封筒

注記

封筒に印刷する場合は、トレイ 1 を使用し、上部BINに排紙します。

封筒の構造

封筒の構造は重要です。封筒の折り目は、メーカー間で異なるだけでなく、同じメーカー製でも異なることがあります。封筒に正しく印刷できるかどうかは、封筒の品質によって異なります。封筒を選択するときに考慮すべき事項は、次のとおりです。

- 用紙重量：対応する封筒の用紙重量については、「[用紙の仕様](#)」を参照してください。
- 構造：印刷前の状態で、反り返りが 6mm (0.3 インチ) 未満で空気が入っていないことを確認してください（封筒に空気が入っていると、問題が起こる原因になることがあります）。
- 状態：封筒に、しわ、切れ目、損傷がないことを確認します。
- トレイ 1 で使用できるサイズ：「[給紙および排紙に対応する用紙サイズ](#)」を参照してください。

接着テープまたは折り返し片付きの封筒

はがして使用する接着テープ付きの封筒や、封をする折り返し片が 2 つ以上ある封筒は、MFP の熱と圧力に耐える接着剤を使用しているものを選ぶ必要があります。内側の折り返し片やテープは、しわや折り目、紙詰まりの原因となることがあります。

貼り合わせ部分が両脇にある封筒

この封筒には、縦と横ではなく、封筒の両端に貼り合わせ部分があります。この形式は、しわになることがあります。封筒の角に向かって貼り合わせてあることを確認してください。

封筒の保管

適切に保管された封筒では、良好な印刷品質が得られます。封筒は、平らに保管してください。封筒内に空気が入っていて、気泡がある場合は、印刷時に封筒にしわが寄ることがあります。

カード ストックおよび厚紙

製品を最適に使用するには、トレイ 1 では 216g/m² (58 ポンドのボンド紙) よりも厚い用紙を使用しないでください。その他のトレイでは、199g/m² (53 ポンドのボンド紙) よりも厚い用紙を使用しないでください。厚すぎる用紙は、不適切な給紙、用紙のセットの問題、紙詰まり、トナーの溶着不足、印刷品質の低下、または機械の過度の磨耗の原因となることがあります。

カード ストックの構造

- なめらかさ：135 ~ 216g/m² (36 ~ 58 ポンドのボンド紙) のカード ストックの平滑度は、100 ~ 180 Sheffield である必要があります。
- 構造：カード ストックの反り返りは、5mm (0.2 インチ) 未満であることが必要です。
- 状態：カード ストックに、しわ、切れ目、損傷がないことを確認します。
- サイズ：「[トレイ 1](#)」に記載されているサイズを参照してください。

注記

カード ストックをトレイ 1 にセットする前に、カード ストックの形状が正常で、損傷していないことを確認します。また、カードが貼り付いていないことを確認してください。

環境仕様

消費電力

消費電力 (平均、ワット単位)^a

製品モデル	印刷時 ^b	コピー時 ^b	印刷可能 状態 ^c	スリー ープ1 ^{d, e}	スリー ープ2	オフ時
HP LaserJet 9050mfp	1130 ワット (50 ページ / 分 (ppm))	1160 ワット (50 ページ / 分 (ppm))	305 ワット	221 ワット	59 ワット	0.9 ワット
HP LaserJet 9040mfp	1070 ワット (40 ページ / 分 (ppm))	1120 ワット (40 ページ / 分 (ppm))	305 ワット	221 ワット	59 ワット	0.9 ワット

a.2004 年 5 月 27 日現在の値です。値は変更されることがあります。最新情報については、www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp をご覧ください。

b.報告されている電力は、いずれも標準の電圧を適用して測定された、印刷時およびコピー時の最高値です。

c.印刷可能モードでの熱損失は、1045BTU/ 時 (HP LaserJet 9050mfp)、または 1045BTU/ 時 (HP LaserJet 9040mfp) です。

d.印刷可能モードからスリープ 1 に移行するデフォルト時間は 15 分、スリープ 2 に移行するデフォルト時間は、90 分 (HP LaserJet 9050mfp) または 60 分 (HP LaserJet 9040mfp) です。

e.スリープ 1 から印刷開始までの復帰時間は 20 秒、スリープ 2 から印刷開始までの復帰時間は 145 秒です。

所要電力

警告

所要電力は、プリンタが販売される国 / 地域によって異なります。動作電圧の変換は行わないようにしてください。電圧変換により、プリンタに損傷を与えることがあります。このような損傷は、保証の対象とはなりません。

	110 V モデル	230 V モデル
	100 ~ 127V (+/- 10%) 50/60Hz (+/- 2Hz)	220 ~ 240V (+/- 10%) 50/60Hz (+/- 2Hz)
瞬間定格電流	12A	5.3A

騒音の仕様

ISO 9296^a に準拠

HP LaserJet 9050mfp	音響パワー レベル	印刷時 / コピー時 (49 ページ / 分 (ppm))	$L_{WA_d} = 7.4\text{Bels (A)}$ [74dB (A)]
	印刷可能状態		$L_{WA_d} = 5.7\text{Bels (A)}$ [57dB(A)] または実質的に無音
	音圧レベル (至近位置)	印刷時 / コピー時 (49 ページ / 分 (ppm))	$L_{pAm} = 58\text{dB(A)}$
	印刷可能状態		$L_{pAm} = 39\text{dB(A)}$ または実質的に無音
HP LaserJet 9040mfp	音響パワー レベル	印刷時 / コピー時 (39 ページ / 分 (ppm))	$L_{WA_d} = 7.4\text{Bels (A)}$ [74dB(A)]
	印刷可能状態		$L_{WA_d} = 5.7\text{Bels (A)}$ [57dB(A)] または実質的に無音
	音圧レベル (至近位置)	印刷時 / コピー時 (39 ページ / 分 (ppm))	$L_{pAm} = 58\text{dB(A)}$
	印刷可能状態		$L_{pAm} = 39\text{dB(A)}$ または実質的に無音

a.2004 年 3 月 2 日現在の値です。値は変更されることがあります。最新情報については、
www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp をご覧ください。

注記

テスト済みの構成：排紙デバイスなしで、ADF を使用して A4 用紙の印刷とスキャンを連続で 49 ページ / 分 (ppm) (HP LaserJet 9050mfp) または 39 ページ / 分 (ppm) (HP LaserJet 9040mfp) の速度で行えるベース ユニット。

動作環境

動作温度	10 ~ 32.5°C (50 ~ 91°F)
相対湿度	10 ~ 80%
保管温度	-40 ~ 15.6°C (-40 ~ +60°F)
保管湿度	15 ~ 90%
印刷速度 (ページ / 分 : ppm)	50ppm (HP LaserJet 9050mfp) 40ppm (HP LaserJet 9040mfp)

B コントロール パネルのメニュー

概要

コントロール パネルのメニューは、あらゆるエンド ユーザーが使用するメニューを表示し、なおかつシステム管理者が使用するメニューを保護することを試みた配置になっています。エンド ユーザーは通常、リストの最初の 3 つのメニューを使用します。管理者とサービス担当技術者は、それ以外のメニュー項目を使用し、これらの項目は PIN (個人識別番号) で保護することができます。

コンピュータから行う通常の印刷作業のほとんどは、ドライバまたはソフトウェア アプリケーションを操作することで実行できます。これが MFP を制御する最も便利な方法であり、MFP のコントロール パネルの設定よりもこちらの方が優先されます。詳細についてはソフトウェアのヘルプ ファイルを参照してください。ドライバの画面にアクセスする方法については、「柔軟性を高めるために役立つソフトウェア」を参照してください。表示できないメニューまたは項目がある場合、それは MFP では使えないオプションか、またはネットワーク管理者がその機能をロックしています (後者の場合、コントロール パネルに「ACCESS DENIED MENUS LOCKED (メニューがロックされているためアクセスできません)」と表示されます)。このような場合は、システム管理者に問い合わせてください。

注記

ドライバやソフトウェアで設定した内容が、MFP のコントロール パネルで設定した内容よりも優先されます。

コントロール パネルでは、コントロール パネルのメニュー項目の構成と現在の設定を示すメニュー マップを印刷することができます (「メニュー マップ」を参照)。

現在 MFP にインストールされているオプションによっては、追加のメニュー項目がコントロール パネルに表示される場合があります。

この付録では、MFP のすべての項目および設定可能な値を列挙したリストを示します (デフォルト値は「項目」の項に記載されています)。

注記

HP 製排紙デバイスの詳細については、デバイスに付属のユーザー ガイドを参照してください。

この付録では、以下の項目について説明します。

- [Retrieve Job] (ジョブ取得) メニュー : MFP に保存されているジョブを表示します。ジョブは、ユーザーおよびジョブ名別に列挙されます。ジョブを保存する方法の詳細については、「ジョブ保存機能」を参照してください。
- [Information] (情報) メニュー : 印刷可能なメニュー マップおよびその他の情報が記載されたページのリストを示します。
- [Paper Handling] (用紙の取り扱い) メニュー : 各トレイにセットする用紙のタイプ (および、サイズが認識されない場合は、サイズ) を設定する場合に使用します。
- [Configure Device] (デバイスの設定) メニュー : 管理者が、デフォルト値の設定、I/O ポートの設定、診断の実行、MFP のリセットなどを行う場合に使用します。

[Configure Device] (デバイスの設定) メニューには、以下のサブメニューが用意されています。

- [Originals] (原稿) サブメニュー
- [Copying] (コピー) サブメニュー
- [Enhancement] (拡張機能) サブメニュー
- [Sending] (送信) サブメニュー
- [Printing] (印刷) サブメニュー
- [Print quality] (印刷品質) サブメニュー
- [System setup] (システム セットアップ) サブメニュー
- [I/O] サブメニュー
- [Resets] (リセット) サブメニュー
- [FAX] メニュー：FAX の送受信オプションを設定する場合に使用します。
- [Diagnostics] (診断) メニュー：管理者やサービス担当技術者が、設定の定義、使用状況の確認、問題のトラブルシューティングなどに使用できる、MFP に関する情報を入手できます。
- [Service] (サービス) メニュー：サービス担当技術者がこのメニューを使用して、MFP のステータスを監視したり、サービス作業時に適切に対処できるようになります。

[Retrieve Job] (ジョブ取得) メニュー

注記

MFP のハード ディスクや RAM にプライベート ジョブ、保存ジョブ、クイックコピー ジョブ、または試し刷り後に保留ジョブが保存されていない場合は、このメニューを選択すると「NO STORED JOBS (保存されているジョブはありません)」というメッセージが表示されます。

- 1 ユーザー名のリストが表示されます。
- 2 ユーザー名を選択すると、そのユーザー名で保存されたジョブのリストが表示されます。
- 3 ユーザーはジョブ名を選択して、印刷または削除することができます。ジョブを印刷するときに PIN が必須である場合は、 (ロック記号) が [PRINT] (印刷) コマンドの横に表示されます。この場合、PIN を入力する必要があります。ジョブを削除するときに PIN が必須である場合は、 (ロック記号) が [DELETE] (削除) コマンドの横に表示されます。この場合、PIN を入力する必要があります。
- 4 [PRINT] (印刷) を選択すると、部数 (1 ~ 32,000) の指定を求めるプロンプトが表示されます。

[Information] (情報) メニュー

情報ページを印刷するには、必要な情報ページまでスクロールして、[OK] を押します。

項目	説明
PRINT MENU MAP (メニュー マップ の印刷)	コントロール パネルのメニュー項目の構成と現在の設定を示すメニュー マップを作成します。 ページの作成が完了すると、MFP は [Ready] (印刷可能) の状態に戻ります。
PRINT CONFIGURATION (設定の印刷)	MFP の現在の設定が列挙されたページを作成します。 ページの作成が完了すると、MFP は [Ready] (印刷可能) の状態に戻ります。
PRINT SUPPLIES STATUS PAGE (サプライ品のス テータス ページ の印刷)	MFP の各サプライ品について、残りの印刷可能ページ数を示すページを作成します。 ページの作成が完了すると、MFP は [Ready] (印刷可能) の状態に戻ります。
PRINT USAGE PAGE (使用状況ページ の印刷)	費用計算に使用できる情報が含まれるページを作成します。この項目は、ハード ディスクが設置されている場合にのみ使用できます。 ページの作成が完了すると、MFP は [Ready] (印刷可能) の状態に戻ります。
PRINT FILE DIRECTORY (ファイル ディレ クトリの印刷)	装着されているすべてのマス ストレージ デバイスについての情報が含まれるディレクトリ ページを作成します。 ページの作成が完了すると、MFP は [Ready] (印刷可能) の状態に戻ります。

項目	説明
PRINT PCL FONT LIST (PCL フォント リストの印刷)	MFP に用意されている PCL フォントの書体リストを作成します。 ページの作成が完了すると、MFP は [Ready] (印刷可能) の状態に戻ります。
PRINT PS FONT LIST (PS フォントリス トの印刷)	MFP に用意されている PS フォントの書体リストを作成します。 ページの作成が完了すると、MFP は [Ready] (印刷可能) の状態に戻ります。

[Paper Handling] (用紙の取り扱い) メニュー

コントロール パネルで用紙の取り扱いの設定が正しく行われていれば、ドライバやソフトウェア アプリケーションから用紙のタイプとサイズを選択して印刷することができます。詳細については、「[印刷する用紙の指定](#)」を参照してください。

このメニューの項目の一部 (両面印刷や手差しなど) は、ソフトウェア プログラムやドライバ (適切なドライバがインストールされている場合) から操作することができます。プリンタ ドライバとソフトウェア アプリケーションの設定は、コントロール パネルの設定よりも優先されます。詳細については、「[プリンタ ドライバ機能の使用](#)」を参照してください。

項目	値	説明
TRAY < N > SIZE=LETTER (トレイ < N > サ イズ = レター)	ANY SIZE (任意のサイズ) LETTER (レター) LETTER ROTATED (レター (回転)) LEGAL (リーガル) A4 A4 ROTATED A4 (A4 (回転)) EXECUTIVE (エグゼクティブ) EXECUTIVE(JIS) (エグゼクティブ (JIS)) A3 A5 B4 (JIS) B5 (JIS) 8K 16K 8.5 X 13 11 X 17 CUSTOM (カスタム) ANY CUSTOM (任意カスタム)	CUSTOM/STANDARD スイッチが「CUSTOM」の位置に あるときは、トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 の用紙サイ ズを設定できます。スイッチが「STANDARD」の位置に ある場合、サイズは自動で認識されます。ここで、< N > はトレイ番号を示します。

項目	値	説明
TRAY <N>	ANY TYPE	
TYPE=PLAIN	<任意のタイプ>	
<トレイ <N> タイプ = 普通紙>	PLAIN <普通紙> PREPRINTED <印刷済用紙> LETTERHEAD <レター ヘッド> TRANSPARENCY <OHP フィルム> PREPUNCHED <穴あき用紙> LABELS <ラベル紙> BOND <ボンド紙> RECYCLED <再生紙> COLOR <カラー紙> CARDSTOCK>163	各トレイの用紙のタイプを指定できます。ここで、<N>はトレイ番号を示します。 * [ENVELOPE] (<封筒>) は、トレイ 1 に対してのみ表示されます。
	<カード ストック >163> ROUGH 90-105 G/M2 <粗め 90-105 G/M2> ENVELOPE <封筒>*	

[Configure Device] (デバイスの設定) メニュー

このメニューには、すべての管理機能が含まれています。

[Originals] (原稿) サブメニュー

タッチスクリーン式グラフィックディスプレイを使用して各項目にアクセスできますが、MFP のメニューからコピー / 送信メニュー項目を選択することもできます。

項目	値	説明
PAPER SIZE=LETTER/A4 (用紙サイズ = レター /A4)	LETTER (レター) 11 X 17 LEGAL (リーガル) EXECUTIVE (エグゼク ティブ) A3 A4 A5 B4 (JIS) B5 (JIS)	原稿の用紙サイズを設定します。 MFP では、用紙センサを使用して自動的に原稿のサイズが指定 されます。用紙が検出されない場合に、ユーザーはサポートさ れている用紙サイズのリストからサイズを選択することができます。
NUMBER OF SIDES=1 (片面 / 両面 = 1)	1 2	原稿の片面をスキャンするか、両面をスキャンするかを指定し ます。 2 を選択して原稿をガラスの上にセットすると、ページを裏返す ことを求めるプロンプトが表示されます。
ORIENTATION= PORTRAIT (印刷の向き = 縦)	PORTRAIT (縦) LANDSCAPE (横)	原稿の向きを縦 (短辺が上) にするか横 (長辺が上) にするかを 指定します。
CONTENT=MIXED (内容 = 混合)	MIXED (混合) PHOTO (写真) TEXT (テキスト)	原稿のイメージの種類を指定します。 原稿がグラフィックイメージで構成されている場合は [Photo] (写真) を選択し、テキストのみで構成されている場合は [Text] (テキスト) を選択します。原稿がグラフィックとテキストで構 成されている場合は、[Mixed] (混合) を選択します。
DENSITY=4 (濃度 = 4)	0-8	イメージのコントラストと明るさを指定します。9 段階の設定を 選択できます。 0= 最も濃い 8= 最も薄い
HEAVY PAPER=OFF (厚紙 = オフ)	ON (オン) OFF (オフ)	スキャンするのが厚紙かどうかを指定します。 [Heavy Paper] (厚紙) がオンにセットされている場合、スキャナ は用紙に対する張力を調整しながらスキャン領域を移動します。 この設定は、重さが 100g/m ² を超える用紙の出力品質に影響す る可能性があります。

[Copying] (コピー) サブメニュー

項目	値	説明
NUMBER OF SIDES=1 (片面 / 両面 = 1)	1 2	イメージをコピーの片面に印刷するか両面に印刷するかを指定します。
COLLATE=ON (丁合い = オン)	ON (オン) OFF (オフ)	コピーの丁合いをありにするかなしにするかを指定します。
COPIES=1 (部数 = 1)	1-999	数字キーパッドでコピー部数を選択せずに [スタート] ボタンを押したときに、コピーされる部数を指定します。
STAPLE=NONE (ステイプル = なし)	None (なし) 1-Edge (1 辺) Corner (角) 2-Edge (2 辺) 3-Edge (3 辺) 6-Edge (6 辺) Opposite (反対側) Saddle Stitch (中綴じ)	ステイプル留めが必要な場合に、ステイプルで留める場所と何個所留めるかを指定します。 MFP にスタッカが装着されている場合、ステイプル留めオプションはありません。 注記 用紙サイズ、印刷の向き、給紙方向によって位置が変わるため、希望どおりの結果になるかどうかステイプルオプションを試してみる必要があります。

[Enhancement] (拡張機能) サブメニュー

項目	値	説明
SHARPNESS=2 (鮮明度 = 2)	0-4	鮮明度を指定します。 0= 最小の鮮明度 4= 最大の鮮明度
BACKGROUND REMOVAL=2 (バックグラウンドの削除 = 2)	0-8	コピー原稿では消去する元の原稿のバックグラウンドの量を調整します。バックグラウンドの削除は、両面コピーを行うときに、片方の面の内容がもう一方の面に写りこまないようにする場合に便利です。 0= バックグラウンドの削除を最小にする (バックグラウンドの表示量を多めに) 8= バックグラウンドの削除を最大にする (バックグラウンドの表示量を少なめに)

[Sending] (送信) サブメニュー

項目	値	オプション	説明
E-MAIL (電子メール)	SCAN PREFERENCE=COLOR COLOR (スキャン設定 = カラー)	COLOR (カラー) BLACK AND WHITE (モノクロ)	ドキュメントをカラーでスキャンするかモノクロでスキャンするかを指定します。
	FILE TYPE=PDF (ファイルタイプ = PDF)	PDF TIFF M-TIFF JPEG	電子メールに添付するファイルのファイル形式を指定します。
	FILE SIZE=STANDARD (ファイルサイズ = 標準)	SMALL (小) STANDARD (標準) LARGE (大)	ファイルの圧縮を指定し、それによりファイルのサイズを決定します。
	RESOLUTION=150DPI (解像度 = 150DPI)	75 DPI 150 DPI 200 DPI 300 DPI	ドキュメントまたはイメージの解像度を指定します。dpi 値が低いと、ファイルサイズは小さくなりますが、イメージの品質に影響する場合があります。
	ADDRESS VALIDATION=ON (アドレス確認 = オン)	ON (オン) OFF (オフ)	MFP で電子メールの構文をチェックできるようにします。有効な電子メールアドレスには、「@」記号と「.」が必要です。
	FIND SEND GATEWAYS (送信ゲートウェイの検出)		電子メールの送信に使用できるネットワーク内の SMTP および LDAP ゲートウェイが MFP によって検索されます。
	SMTP GATEWAY (SMTP ゲートウェイ)		電子メールの送信に使用する SMTP サーバの IP アドレスです。
	LDAP GATEWAY (LDAP ゲートウェイ)		MFP で電子メール情報の参照に使用される LDAP ゲートウェイの IP アドレスです。
	TEST SEND GATEWAYS (送信ゲートウェイのテスト)		設定されたゲートウェイが機能するかどうかをテストします。
REPLICATE MFP (MFP の複製)			MFP の設定を別の MFP にコピーします。

[Printing] (印刷) サブメニュー

このメニューの一部の項目は、ソフトウェア アプリケーションやプリンタ ドライバ (適切なドライバがインストールされている場合) から使用することができます。ドライバとプログラムの設定は、コントロール パネルの設定よりも優先されます。詳細については、「[プリンタ ドライバ機能の使用](#)」を参照してください。

項目	値	説明
COPIES=1 (部数 = 1)	1 ~ 32,000	デフォルトの部数を設定するには、1 ~ 32,000 の中から任意の数値を選択します。部数の指定には、数字キー パッドを使用します。
		注記 部数の設定は、ドライバまたはソフトウェア プログラムから行うことをお勧めします (ドライバとソフトウェアの設定は、コントロール パネルの設定よりも優先されます)。
DEFAULT PAPER SIZE=LETTER (デフォルトの用紙サイズ = レター)	LETTER (レター) LEGAL (リーガル) A4 EXECUTIVE (エグゼクティブ) 11 X 17 A3 B4 (JIS) B5 (JIS) CUSTOM (カスタム) A5 LETTER ROTATED (レター (回転)) STATEMENT (ステートメント) 8.5 X 13 12 X 18 A4 ROTATED A4 (A4 (回転)) RA3 EXECUTIVE (JIS) (エグゼクティブ (JIS)) DPOSTCARDS (JIS) (はがき (JIS)) 8K 16K ENVELOPE #10 (封筒 #10) ENVELOPE MONARCH (封筒 MONARCH) ENVELOPE C5 (封筒 C5) ENVELOPE DL (封筒 DL) ENVELOPE B5 (封筒 B5)	用紙および封筒のデフォルトのイメージ サイズを設定します (項目名は、使用可能なサイズをスクロールしていくと用紙から封筒に変わります)。

項目	値	説明
DEFAULT CUSTOM PAPER SIZE (デフォルトのカスタム用紙サイズ)	UNIT OF MEASURE (計測単位) X DIMENSION (X の寸法) Y DIMENSION (Y の寸法)	設置されている任意のトレイについて、カスタムの用紙サイズを設定することができます。ここで、<N>はトレイ番号を示します。このメニューが表示されるのは、選択したトレイの CUSTOM/STANDARD スイッチが「CUSTOM」サイズの位置にあるときだけです。トレイの定規ラベルを使用して、カスタムの用紙サイズの X と Y の寸法を選択します。
PAPER DESTINATION (排紙先)	UPPER BIN (上部 bin) LOWER BIN (下部 bin) LOWER BOOKLET BIN (下部ブックレット bin) BINS 1-8 (bin 1 ~ 8)	用紙の排紙先の bin を設定できます。メニューには、装着されている bin のみが表示されます。デフォルトは、排紙デバイスの最初の下向き bin になります。
DUPLEX=OFF (両面印刷 = オフ)	OFF (オフ) ON (オン)	用紙の両面に印刷するときは値を [ON] (オン) に設定し、片面に印刷するときは値を [OFF] (オフ) に設定します。 詳細については、「 用紙の両面への印刷 (両面印刷) 」を参照してください。
DUPLEX BINDING=LONG EDGE (両面綴じ込み = 長辺)	LONG EDGE (長辺) SHORT EDGE (短辺)	両面印刷で綴じ込む辺を変更できます。このメニュー項目が表示されるのは、両面印刷アクセサリが MFP に装着されており、[DUPLEX=ON] (両面印刷 = オン) に設定されているときです。
OVERRIDE A4/ LETTER = YES (A4/レターの置き 換え = はい)	YES (はい) NO (いいえ)	このコマンドは、A4 のジョブを送信したのに A4 サイズの用紙が MFP にセットされていないとき、レター サイズの用紙に代わりに印刷する場合に使用します（または、レター サイズのジョブを送信したのにレター サイズの用紙が MFP にセットされていないとき、A4 サイズの用紙に代わりに印刷します）。
MANUAL FEED=OFF (手差し = オフ)	OFF (オフ) ON (オン)	トレイから自動で給紙するのではなく、トレイ 1 から手動で給紙します。[MANUAL FEED=ON] (手差し = オン) に設定されていてトレイ 1 が空の場合、プリントジョブを受け取ったときにプリンタはオフラインになります。このとき、プリンタに「MANUALLY FEED [PAPER SIZE] (手差し [用紙サイズ])」と表示されます。 詳細については、「 トレイ 1 からの手差し印刷 」を参照してください。
EDGE TO EDGE OVERRIDE=NO (全幅印刷に置き 換え = いいえ)	NO (いいえ) YES (はい)	すべてのプリントジョブの全幅印刷モードをオンまたはオフにします。このモードは、プリントジョブ内部で全幅印刷の PJL 変数によって上書きされることがあります。

項目	値	説明
COURIER FONT=REGULAR (COURIER フォント = 標準)	REGULAR (標準) DARK (濃い)	使用する Courier フォントのバージョンを以下のいずれかから選択します。 [REGULAR] (標準) : HP LaserJet 4 シリーズ プリンタに用意されている内部 Courier フォントです。 [DARK] (濃い) : HP LaserJet III シリーズ プリンタに用意されている内部 Courier フォントです。 両方のフォントを同時に使用することはできません。
WIDE A4=YES (ワイド A4 = いいえ)	YES (はい) NO (いいえ)	ワイド A4 の設定では、A4 の用紙の 1 行に印刷できる文字数を変更します。 [YES] (はい) : 10 ピッチの文字を 1 行に最大 80 文字印刷できます。 [NO] (いいえ) : 10 ピッチの文字を 1 行に最大 78 文字印刷できます。
PRINT PS ERRORS=OFF (PS エラーの印刷 = オフ)	ON (オン) OFF (オフ)	PS エラーの発生時に PS エラー ページを印刷するには、[ON] (オン) を選択します。
PRINT PDF ERRORS=OFF (PDF エラーの印刷 = オフ)	ON (オン) OFF (オフ)	PDF エラーの発生時に PDF エラー ページを印刷するには、[ON] (オン) を選択します。

PCL サブメニュー

項目	値	説明
FORM LENGTH=60 (用紙の長さ = 60)	5 ~ 128	デフォルトの用紙サイズの垂直方向の行間隔を、5 ~ 128 行の範囲で指定します。数字キーパッドを使用して値を入力します。
ORIENTATION=PORTRAIT (印刷の向き = 縦)	PORTRAIT (縦) LANDSCAPE (横)	ページのデフォルトの向きを選択することができます。 注記 ページの向きの設定は、プリンタ ドライバまたはソフトウェア アプリケーションから行うことをお勧めします (ドライバとソフトウェアの設定は、コントロール パネルの設定よりも優先されます)。
FONT SOURCE=INTERNAL (フォント ソース = 内部)	INTERNAL (内部) CARD SLOT X (カード スロット X)	【INTERNAL】(内部) : 内蔵されているフォントです。 【CARD SLOT 1, 2 または 3】(カード スロット 1, 2 または 3) : 3 つの DIMM スロットのいずれかに保存されているフォントです。
FONT NUMBER=0 (フォント 番号 = 0)	0-999	各フォントには番号が割り当てられ、PCL フォントリストに表示されます (「PCL または PS フォントリスト」を参照)。フォント番号は、印刷出力のフォント # 列に表示されます。
FONT PITCH=10.00 (フォント ピッチ = 10.00)	0.44-99.99	数字キーパッドを使用して値を入力します。選択したフォントによっては、この項目が表示されないことがあります。
SYMBOL SET=PC-8 (記号セット = PC-8)	使用可能な各種の記号セット	用意されているいくつかの記号セットを MFP のコントロール パネルから選択します。記号セットとは、フォントのすべての文字を独自にグループ化したものです。線描画文字には、PC-8 または PC-850 をお勧めします。
APPEND CR TO LF=NO (LF に CR を追加 = いいえ)	YES (はい) NO (いいえ)	下位互換の PCL ジョブ (純粋なテキスト、ジョブ コントロールなし) で検出された改行ごとにキャリッジ リターンを追加するには、【YES】(はい) を選択します。UNIXなどの一部の環境では、改行の制御コードのみを使用して新しい行を表します。このオプションを使用すると、必要なキャリッジ リターンを改行に追加することができます。
SUPPRESS BLANK PAGES=NO (白紙ページの 停止 = いいえ)	NO (いいえ) YES (はい)	【YES】(はい) に設定すると、ページが空白の場合に用紙送りが無視されます。

[Print quality] (印刷品質) サブメニュー

このメニューの一部の項目は、ソフトウェア アプリケーションまたはプリンタ ドライバ (適切なドライバがインストールされている場合) から使用することができます。ドライバとソフトウェアの設定は、コントロール パネルの設定よりも優先されます。詳細については、「[プリンタ ドライバ機能の使用](#)」を参照してください。

項目	値	説明
SET REGISTRATION (登録の設定)	PRINT TEST PAGE (テスト ページの印刷)	上下左右のマージンの位置合わせを移動し、イメージをページの中央に配置します。裏面に印刷されているイメージを使って、表面のイメージの位置調整することもできます。
	SOURCE=TRAY 2 (ソース = トレイ 2)	
	ADJUST TRAY <XX> (トレイ <XX> の調整)	
FUSER MODES (フューザ モード)	用紙タイプの リスト	用紙の各タイプに関連付けられているフューザ モードを設定します。 フューザ モードは、このコントロール パネルのメニュー オプションからのみ変更できます。 [AUTO] (自動) : その用紙のタイプに応じて適切なモードを利用します。 [NORMAL] (標準) : 標準の温度で、1 分間に 50 ページ (ppm) 印刷します (HP LaserJet 9040mfp の場合、40ppm)。 [LOW] (低) : 低温で、1 分間に 50 ページ (ppm) 印刷します (HP LaserJet 9040mfp の場合、40ppm)。 [HIGH1] (高 1) : 高温で、1 分間に 50 ページ (ppm) 印刷します (HP LaserJet 9040mfp の場合、40ppm)。 [HIGH2] (高 2) : 温度を上げ、32 ppm で印刷します。 [SPECIAL] (特殊) : 次のジョブの開始を 40 秒間遅らせて、標準速度で印刷するモードです。400 ページ印刷されるたびに、フューザをクリーニングするためにそのジョブの最初のページが低速で印刷されます。印刷されるページに特に不良な箇所はありません。これは推奨される設定ではありません。 用紙の各タイプのデフォルト値は [AUTO] (自動) です。 対応する用紙のタイプの一覧については、「 用紙の仕様 」を参照してください。

注意

フューザ モードを [HIGH1] (高 1) または [HIGH2] (高 2) に変更した場合は、印刷終了後にモードをデフォルトに戻してください。特定の用紙のタイプを [HIGH1] (高 1) または [HIGH2] (高 2) に設定していると、フューザなどの一部の消耗部品の寿命が短くなり、その他の故障や紙詰まりの原因となることがあります。

項目	値	説明
RESOLUTION=FASTRES 1200 (解像度 = 1200)	300 600 FASTRES 1200 1200)	以下の値から解像度を選択します。 [300]: MFP の最高速度で、ドラフト品質で印刷します。300 dpi は、一部のビットマップフォントやグラフィックスに適しています。また、HP LaserJet III ファミリーのプリンタとの互換性を確保する場合に推奨されます。 [600]: プリンタの最高速度で、高品質で印刷します。 FASTRES 1200: プリンタの最高速度で、最適な品質 (1200dpi 相当) で印刷します。 注記 解像度の変更は、プリンタ ドライバまたはソフトウェア アプリケーションから行うことをお勧めします (ドライバとソフトウェアの設定は、コントロール パネルの設定よりも優先されます)。
RET=MEDIUM (RET = 標準)	OFF (オフ) LIGHT (薄い) MEDIUM (標準) DARK (濃い)	角、曲線、輪郭をなめらかに印刷するには、MFP の RET (Resolution Enhancement technology) 設定を使用します。 FastRes 1200 を含め、プリンタの解像度には RET が効力を発揮します。 注記 RET の設定の変更は、プリンタ ドライバまたはソフトウェア アプリケーションから行うことをお勧めします (ドライバとソフトウェアの設定は、コントロール パネルの設定よりも優先されます)。
ECONOMODE	ON (オン) OFF (オフ)	[ON] (オン) に設定すると、1 ページ当たりのトナー量を少なめにして印刷されます。ただし、ページの印刷品質はかなり低くなります。
TONER DENSITY=3 (トナー濃度 = 3)	1-5	トナー濃度の設定を変更して、ページの印刷内容を薄くしたり、濃くしたりします。設定範囲は 1 (薄い) ~ 5 (濃い) ですが、ほとんどの場合、デフォルトの設定である 3 で最良の印刷結果が得られます。 注記 トナー濃度の変更は、プリンタ ドライバまたはソフトウェア アプリケーションから行うことをお勧めします (ドライバとソフトウェアの設定は、コントロール パネルの設定よりも優先されます)。
SMALL PAPER MODE=NORMAL (小型用紙モード = 標準)	NORMAL (標準) SLOW (遅い)	幅の狭い用紙に印刷すると、用紙と接触しないフューザ ローラー部分が膨張し、しわになることがあります。
CREATE CLEANING PAGE (クリーニング ページの作成)	値の選択なし	[OK] を押して、クリーニング ページを印刷します (これによって、用紙経路から余剰トナーが除去されます)。 クリーニング ページ機能を正常に動作させるため、ボンド紙や粗めの用紙ではなくコピー用紙を使用して印刷してください。 クリーニング ページの指示に従います。進捗バーにプロセスが終了するまでの時間が表示されます。

[System setup] (システム セットアップ) サブメニュー

このメニューの項目では、MFP の機能を変更します。印刷の目的に合わせて MFP を設定してください。

項目	値	説明
DATE/TIME (日付 / 時刻)	DATE (日付) DATE FORMAT (日付形式) TIME (時刻) TIME FORMAT (時刻形式)	MFP の日付と時刻を設定します。リアル タイム クロックは、グリニッジ標準時 (GMT) に設定されています。
JOB STORAGE LIMIT=32 (ジョブ保存 限度数 = 32)	1-100	MFP のハード ディスクに保存できるジョブの数を指定します。
JOB HELD TIMEOUT= OFF (ジョブ保留タイ ムアウト = オフ)	OFF (オフ) 1 HOUR (1 時間) 4 HOURS (4 時間) 1 DAY (1 日) 1 WEEK (1 週間)	クイックコピー ジョブ、試し刷り後に保留ジョブ、プライベート ジョブ、保存ジョブについて、キューから自動的に削除されるまでの時間を設定します。
SHOW ADDRESS=OFF (アドレス表示 = オフ)	AUTO (自動) OFF (オフ)	「Ready (印刷可能)」を知らせるメッセージと一緒に MFP の IP アドレスを表示するかどうかを指定します。この値を「オン」にすると、スロット 1 の EIO カードのアドレスが表示されます。
TRAY BEHAVIOR (トレイの設定)	USE REQUESTED TRAY (要求されたト レイを使用) MANUAL FEED PROMPT (手差しプロ ンプト) PS DEFER MEDIA (PS メディア 遅延)	MFP で使用するトレイを指定して、トレイの動作を指定します。 [USE REQUESTED TRAY] (要求されたトレイを使用)：指定したジョブに対して印刷時に使用するトレイを設定します。このメニュー項目の値は、[EXCLUSIVELY] (優先) (デフォルト) または [IFIRST] (最初) です。 [MANUAL FEED PROMPT] (手差しプロンプト)：要求された設定済みのトレイにジョブが適合しなかったときにプロンプトを表示するかどうかを指定します。このメニュー項目の値は、[ALWAYS] (常に表示) (デフォルト) または [UNLESS LOADED] (セットされていない場合に表示) です。 [PS DEFER MEDIA] (PS メディア遅延)：用紙の取り扱いを PostScript ルールに基づいて行うか、HP ルールに基づいて行うかを設定します。このメニュー項目の値は、[ENABLED] (有効) (デフォルト) または [DISABLED] (無効) です。

項目	値	説明
SLEEP DELAY=90 MINUTES (スリープ遅延 = 90 分)	1 MINUTE (1 分) 15 MINUTES (15 分) 30 MINUTES (30 分) 60 MINUTES (60 分) 90 MINUTES (90 分) 2 HOURS (2 時間) 4 HOURS (4 時間)	<p>スリープ モードになるまでの MFP のアイドル時間を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 未使用時の MFP の消費電力が最小限に抑えられます。 MFP の電子部品の寿命が伸びます (ディスプレイのバックライトが消灯します)。 プリント ジョブを送信したり、コントロール パネルのボタンを押したり、用紙トレイや最上部カバーを開けたりすると、スリープ モードは自動的に解除されます。 <p>注記 スリープ モードになるとディスプレイのバックライトが消灯しますが、ディスプレイの表示は消えません。</p>
WAKE TIME SUBMENU (スリープ復帰時 刻サブメニュー)	スリープ復帰 時刻の設定	スリープ モードを自動的に解除する時刻を設定します。この機能では、曜日ごとに別々の時刻を設定することができます。
PERSONALITY= AUTO (パーソナリ ティ = 自動)	AUTO (自動) PCL PS PDF XHTML MIME	デフォルトの製品言語 (パーソナリティ) を選択します。指定可能な値は、MFP にインストールされている有効な言語によって異なります。 通常は、製品言語を変更しないでください (デフォルトは [AUTO] (自動) です)。特定の製品言語に変更すると、特定のソフトウェア コマンドを MFP に送信しない限り、別の言語に自動的に切り替わることはできません。
CLEARABLE WARNINGS=JOB (解除可能な 警告 = ジョブ)	ON (オン) JOB (ジョブ)	<p>解除可能な警告がプリンタのコントロール パネルに表示される時間を設定します。</p> <p>[ON] (オン) : 警告メッセージは解除されるまでコントロール パネルに表示されます。</p> <p>[JOB] (ジョブ) : 警告メッセージは、ジョブが生成された時点からジョブが終了するまで、コントロール パネルに表示されます。</p>
AUTO CONTINUE=ON (自動継続 = オン)	ON (オン) OFF (オフ)	<p>エラー発生時の MFP の動作を指定します。</p> <p>[ON] (オン) : エラーが原因で印刷できなくなった場合、メッセージが表示され、10 秒間オフラインになってからオンラインに戻ります。</p> <p>[OFF] (オフ) : エラーが原因で印刷できなくなった場合、メッセージがディスプレイに表示されたままになり、[Continue] (継続) を押さないと印刷は続行されません。</p> <p>注記 ステイプラの針がなくなったときに印刷を停止するには (ステイプラ アクセサリが装着されている場合)、コントロール パネルの [System setup] (システム セットアップ) メニューで [AUTO CONTINUE=OFF] (自動継続 = オフ) に設定します。</p>

項目	値	説明
CARTRIDGE LOW= CONTINUE (カートリッジ 残量少 = 繼続)	CONTINUE (繼続) STOP (停止)	トナーの残量が少なくなったときの MFP の動作を指定します。「CARTRIDGE LOW (カートリッジ残量少)」のメッセージは、そのカートリッジであと 2 週間ほど通常の印刷ができる量になったときに初めて表示されます。この期間に、新品のプリント カートリッジを注文できます。 [CONTINUE] (繼続) : 「CARTRIDGE LOW (カートリッジ残量少)」というメッセージが表示されている間、印刷は続行されます。 [STOP] (停止) : MFP はオフラインになり、何らかの操作が行われるまで待機します。 詳細については、「 プリント カートリッジの管理 」を参照してください。
CARTRIDGE OUT=CONTINUE (カートリッジが 空になりました = 継続)	STOP (停止) CONTINUE (繼続)	トナーがなくなったときの MFP の動作を指定します。 [CONTINUE] (繼続) : カートリッジを交換するまで、「REPLACE CARTRIDGE (カートリッジを交換してください)」というメッセージが表示されます。印刷は継続されます。 [STOP] (停止) : MFP はオフラインになり、カートリッジが交換されるまで待機します。
JAM RECOVERY= AUTO (紙詰まりの 解除 = 自動)	AUTO (自動) ON (オン) OFF (オフ)	紙詰まりが発生したときの MFP の動作を指定します。 [AUTO] (自動) : MFP の紙詰まりの解除後、最適なモードが自動的に選択されます (通常は [ON] (オン) です)。これがデフォルトの設定です。 [ON] (オン) : 紙詰まりの解除後に、ページが自動的に再印刷されます。 [OFF] (オフ) : 紙詰まりを解除しても、ページは再印刷されません。この設定にすると、印刷パフォーマンスが向上することがあります。
LANGUAGE=ENGLISH (言語 = 英語)	使用可能な言 語のリスト	コントロール パネルの言語を設定します。

[I/O] サブメニュー

[I/O] (入出力) メニューの項目では、MFP とコンピュータの間の通信に関する設定を行います。

項目	値	説明
I/O TIMEOUT=15 (I/O タイムア ウト = 15)	5-300	秒単位の I/O タイムアウト時間を選択します (I/O タイムアウトとは、プリントジョブを終了する前に MFP が待機する時間のことであり、秒単位で計測されます)。この設定を使用すると、タイムアウトを調整して最高のパフォーマンスを発揮することができます。プリントジョブの途中で別のポートからのデータが現れる場合は、タイムアウト値を増加してください。

[Parallel input] (パラレル入力) サブメニュー

項目	値	説明
HIGH SPEED=YES (高速 = はい)	YES (はい) NO (いいえ)	新しいコンピュータとの接続に、高速なパラレル通信を使用することができます。
ADVANCED FUNCTIONS=ON (高度な機能 = オン)	ON (オン) OFF (オフ)	双方向パラレル通信をオンまたはオフにします。デフォルトでは、双方向パラレルポート (IEEE-1284) 用に設定されています。この設定を使用すると、ステータスのリードバックメッセージをコンピュータに送信することができます (このパラレル通信機能をオンにすると、言語の切り替えが遅くなることがあります)。

[EIO X Jetdirect] サブメニュー

EIO (拡張入出力) サブメニューが表示されるのは、EIO デバイス (HP Jetdirect プリントサーバなど) が MFP の EIO スロットに装着されているときだけです。このメニューの項目は、装着されているアクセサリによって異なります。HP Jetdirect プリントサーバの EIO カードが MFP に装着されている場合は、EIO メニューを使用して基本的なネットワーク関連のパラメータを設定することができます。これらを含め、パラメータは、HP Web Jetadmin またはその他のネットワーク設定ツールから (Telnet を使用する、埋め込み型 Web サーバを参照するなどして) 設定することもできます。

EIO サブメニューの詳細については、EIO Jetdirect カードに付属のマニュアルを参照してください。

[Embedded Jetdirect] (埋め込み型 Jetdirect) サブメニュー

項目	オプション	値	説明
TCP/IP	ENABLE (有効)	ON (オン)	TCP/IP プロトコルを有効にします。
		OFF (オフ)	TCP/IP プロトコルを無効にします。
HOST NAME (ホスト名)			最大 32 文字の英数字の文字列です。デバイスの識別に使用されます。この名前は、Jetdirect 設定ページに表示されます。デフォルトのホスト名は NPIxxxxxx です。xxxxxx は LAN ハードウェア (MAC) アドレスの最後の 6 枠の数字です。
CONFIG METHOD (設定方法)	BOOTP		BootP サーバからの自動設定に対応するように、BootP (ブートストラップ プロトコル) を使用します。
	DHCP		DHCP サーバからの自動設定に対応するように、DHCP (ダイナミック ホスト コンフィグレーション プロトコル) を使用します。
AUTO IP (自動 IP)			リンク ローカル IP アドレスの自動指定を使用します。169.254.x.x という形式のアドレスが自動的に割り当てられます。
	MANUAL (手動)		TCP/IP パラメータを設定するには、[MANUAL SETTINGS] (手動設定) メニューを使用します。
IP ADDRESS (IP アドレス)			MFP 固有の IP アドレスです。
MANUAL SETTINGS (手動設定)	SUBNET MASK (サブネット マスク)		MFP のサブネット マスクです。
SYSLOG SERVER (SYSLOG サーバ)			syslog サーバの IP アドレスです。syslog メッセージの受信とログへの記録に使用されます。
DEFAULT GATEWAY (デフォルトのゲートウェイ)			ゲートウェイまたはルーターの IP アドレスです。別のネットワークとの通信に使用されます。
IDLE TIMEOUT (アイドルタイムアウト)			秒単位の時間です。この時間が経過すると、アイドル状態の TCP プリント データ接続が終了します (デフォルト設定は 270 秒)。

項目	オプション	値	説明
TCP/IP	DEFAULT IP (デフォルト IP)	AUTO IP (自動 IP)	リンク ローカル IP アドレス 169.254.x.x が設定されます。
		LEGACY (レガシー)	アドレスとして 192.0.0.192 が設定されます。 以前の Jetdirect 製品との整合性があります。
	PRIMARY DNS (プライマリ DNS)		プライマリ DNS (Domain Name System) サーバの IP アドレス (n.n.n.n) を指定します。
	SECONDARY DNS (セカンダリ DNS)		セカンダリ DNS (Domain Name System) サーバの IP アドレス (n.n.n.n) を指定します。
	PROXY SERVER (プロキシサーバ)		MFP の埋め込み型アプリケーションによって使用されるプロキシ サーバを指定します。通常、プロキシ サーバは、インターネットにアクセスするためにネットワーク クライアントによって使用されます。プロキシ サーバは、ネットワーク クライアント用に Web ページをキャッシュに保存し、ある程度のインターネット セキュリティを確立します。 プロキシ サーバを指定するには、その IP アドレスまたは完全修飾されたドメイン名を入力します。ドメイン名は 64 文字以内です。 一部のネットワークでは、プロキシ サーバのアドレスを ISP に問い合わせなければならないことがあります。
	PROXY PORT (プロキシポート)		クライアントをサポートするためにプロキシ サーバによって使用されるポート番号を入力します。 ポート番号によって、ネットワークでのプロキシの動作に確保されているポートが識別されます。 0 ~ 65535 の値を指定できます。
IPX/SPX	ENABLE (有効)	ON (オン) OFF (オフ)	IPX/SPX プロトコルを有効にします。 IPX/SPX プロトコルを無効にします。
	FRAME TYPE (フレームタイプ)	AUTO (自動)	ネットワークのフレーム タイプの設定を選択します。 [AUTO] (自動) (デフォルト) : 最初に検出されたフレーム タイプを自動的に設定し、そのフレーム タイプに制限します。
		EN_8023 EN_LII EN_8022 EN_SNAP	Ethernet ネットワーク用のフレーム タイプの選択肢です。
APPLETALK	ENABLE (有効)	ON (オン) OFF (オフ)	AppleTalk プロトコルを有効または無効にします。

項目	オプション	値	説明
DLC/LLC	ENABLE (有効)	ON (オン) OFF (オフ)	DLC/LLC プロトコルを有効または無効にします。
LINK SPEED (リンク速度)	AUTO (自動)		ネットワークのリンク速度と通信モードに一致するように、プリントサーバの自己設定が自動的に行われます。失敗した場合は、[100TX HALF] に設定されます。
	10T HALF		10Mbps、半二重で動作します。
	10T FULL		10Mbps、全二重で動作します。
	100TX HALF		100Mbps、半二重で動作します。
	100TX FULL		100Mbps、全二重で動作します。

[Resets] (リセット) サブメニュー

注記

このメニューを使用する際は注意する必要があります。このメニュー項目を選択すると、バッファに保存されているページデータや MFP の設定内容が失われる場合があります。以下の状況に該当する場合にのみ、MFP のリセットを行ってください。

- MFP のデフォルトの設定値を復元する必要がある
- MFP とコンピュータとの通信が中断されている
- ポートの問題が発生している

[Resets] (リセット) サブメニューの項目は MFP のメモリをすべてクリアします。一方、[リセット] ボタンは現在のジョブのみをクリアします。

[FAX] メニュー

このメニューは、オプションの FAX アクセサリが装着されている場合にのみ表示されます。[FAX] メニューの詳細については、『ファックスガイド』を参照してください。

[Diagnostics] (診断) メニュー

項目	オプション	値	説明
PRINT EVENT LOG (イベントログの印刷)			エラー ログにある最新の 50 エントリをローカライズし、このエントリの LIFO (Last In, First Out) リストを作成します。印刷されるイベント ログには、エラー番号、ページ カウント、エラー コードのほか、説明やパーソナリティが示されています。
SHOW EVENT LOG (イベント ログの表示)			プリンタのコントロール パネルでイベント ログの内容をスクロールし、最新の 50 個のイベントを表示することができます。
PAPER PATH TEST (用紙経路のテスト)	PRINT TEST PAGE (テスト ページの印刷)		MFP の用紙の取り扱い機能をテストするときに役立つテスト ページを作成します。
	SOURCE (給紙元)	ALL TRAYS (すべてのトレイ) TRAY 1 (トレイ 1) TRAY 2 (トレイ 2) TRAY <N> (トレイ <N>)	テストを実行するときに、すべてのトレイからの用紙を使用するか、特定のトレイからの用紙を使用するかを指定します。
	DESTINATION (排紙先)	ALL BINS (すべての排紙 bin) STANDARD OUTPUT (標準の排紙 bin) UPPER LEFT BIN (左側の上部 bin)	テストする用紙経路を指定します。
DUPLEX (両面印刷)	ON (オン) OFF (オフ)		テストを実行するときに両面印刷ユニットを含めるかどうかを指定します。
COPIES (印刷部数)	1 10 50 100 500		テストを実行するときに、指定した給紙元から何枚の用紙を送るかを指定します。
SENSORS (センサ)	ON (オン) OFF (オフ)		用紙が経路を通過するときにセンサの情報を表示するか、用紙経路テスト中にデバイスのステータスのみを表示するかを指定します。

項目	オプション	値	説明
SCANNER TESTS (スキャナ テスト)	LOWER LAMP (下部ランプ) UPPER LAMP (上部ランプ) SHUTTER SOLENOID (シャッター ソレノイド) WEIGHT SOLENOID (重量ソレノイド) SENSORS (センサ)		このメニュー項目は、サービス技術者がプリ ンタの問題を診断するために使用します。
ADF OUTPUT MOTOR (ADF 出力モー ター)			
ADF INPUT MOTOR (ADF 入力モー ター)			
ADF INPUT REVERSE (ADF リバース モーター)			
FLATBED MOTOR (平面モーター)			
CONTROL PANEL (コントロール パネル)	LED DISPLAY (ディスプレイ) BUTTONS (ボタン) TOUCHSCREEN (タッチ スクリ ーン)		このメニュー項目は、サービス技術者がプリ ンタの問題を診断するために使用します。

[Service] (サービス) メニュー

[Service] (サービス) メニューはロックされています。メニューを開くには、サービス担当
技術者が PIN を入力する必要があります。

C MFP のメモリとメモリ拡張

概要

ここでは、以下の項目について説明します。

- メモリ要件の判定
- メモリの取り付け
- メモリが取り付けられたことの確認
- リソースの保存 (永久リソース)
- Web アクセス機能

この MFP には、DDR メモリの増設用 DIMM スロットが 2 つ装備されています。16MB、32MB、64MB、128MB、256MB の DDR DIMM メモリを使用できます (合計 512MB まで)。

この MFP にはコンパクト フラッシュ スロットが 2 つ装備されており、以下のことに使用できます。

- 16MB、32MB、64MB のフラッシュ メモリ カードを使用できます。MFP の標準のメモリ とは異なり、フラッシュ メモリ カードを使用すると、MFP の電源がオフのときでもダウンロードされた項目を永続的に MFP に保存することができます。この MFP は、タイプ 1 およびタイプ 2 のフラッシュ メモリに対応しています。
- フラッシュベース メモリのアクセサリ フォント、マクロ、パターンを追加するために、該当する DDR DIMM を使用できます。
- フラッシュベースのその他のプリンタ言語や MFP のオプションを追加するために、該当する DDR DIMM を使用できます。

注記

以前の HP LaserJet 製品に使用されている SIMM は、この MFP と互換性がありません。

注文方法については、「[パーツとアクセサリ](#)」か、または www.hp.com/support を参照してください。

メモリ要件の判定

必要なメモリの量は、印刷するドキュメントのタイプによって異なります。この MFP では、メモリを増設しなくても、ほとんどのテキストとグラフィックスを 1,200dpi FastRes で印刷することができます。

ただし、複雑なグラフィックスや PS ドキュメントの印刷、両面印刷、多数のダウンロード フォントの使用、サイズの大きい用紙 (A3、B4、11 x 17 など) の印刷などを行う機会が多い場合は、メモリの増設が必要になることがあります。

メモリの取り付け

DDR DIMM メモリを取り付けるには

追加のメモリを取り付けるには、以下の手順に従います。メモリの増設を開始する前に、設定ページを印刷 ([Menu] < メニュー >、 [Information] < 情報 >、 [Print Configuration] < 設定の印刷 > の順に選択) して、MFP に現在装着されているメモリの量を確認してください。以下に、各 DIMM スロットに取り付け可能な最大メモリ量の一覧表を示します。

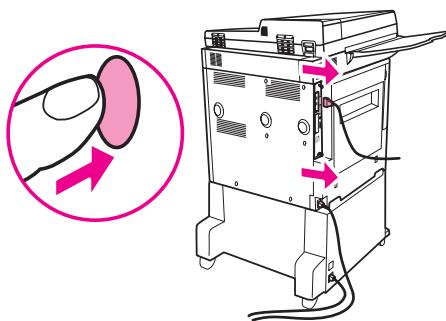
設定ページ のスロット ラベル	フォーマッタ ボード のスロット ラベル	説明
スロット 1	J1	256MB
スロット 2	J2	空
合計		256MB

注意

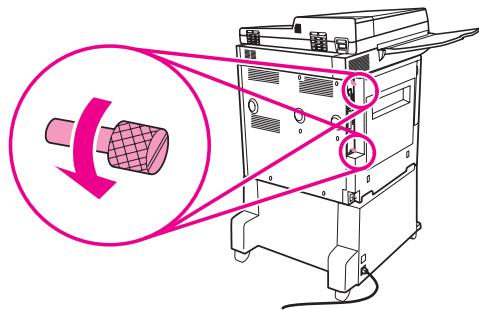
静電気によって DDR DIMM が損傷することがあります。DDR DIMM を取り扱うときは、静電気防止リストバンドを着用するか、DIMM の静電気防止パッケージの表面に何度も触れてから、MFP の金属部分に触れてください。

メモリを取り付けるには

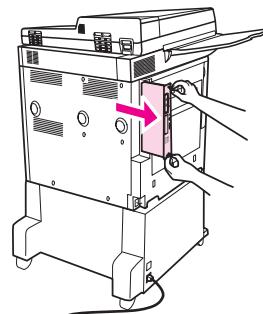
- 1 MFP に現在装着されているメモリの量をまだ確認していない場合は、メモリを増設する前に設定ページを印刷して確認してください。
- 2 MFP の電源を切ります。電源コードとケーブルをすべて取り外します。



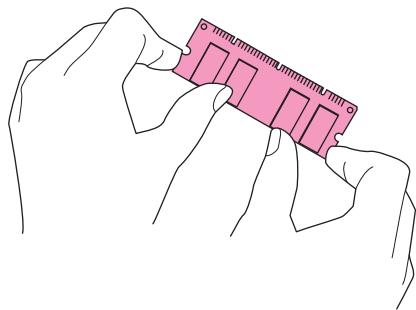
3 MFP 背面のつまみねじ(2箇所)を緩めます。



4 ねじをつまんで、フォーマッタ ボードを MFP から引き出します。電気を通さない平らな面にフォーマッタ ボードを置きます。



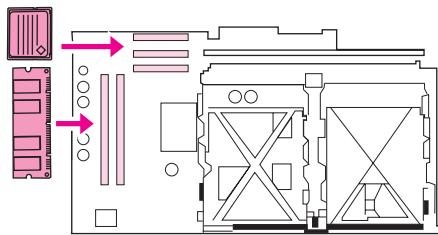
5 DIMM を静電気防止パッケージから取り出します。両方の人差し指で両端を支え、親指で後端を支えるようにして DIMM を持ちます。DIMM のノッチを DIMM スロットの位置に合わせます(DIMM スロットの両端のロックが開いていることを確認します。開いていれば、ロックは外側に広がっています)。



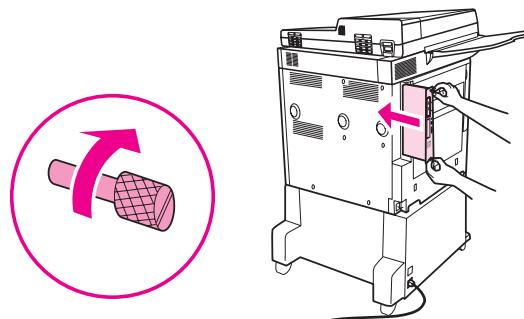
注記

各 DIMM スロットの最大メモリ量については、「[メモリの取り付け](#)」を参照してください。

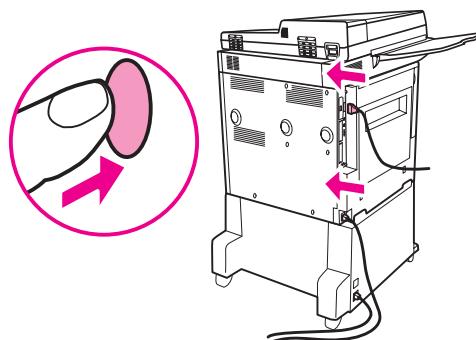
- 6 DIMM をスロットにまっすぐ、しっかり押し込みます。DIMM の両端のロックが内側に動き、カチリと音がして固定されることを確認してください (DIMM を取り外すには、ロックを解除する必要があります)。



- 7 フォーマッタ ボードを MFP に差し込み、2 つのねじを締めます。



- 8 電源コードとすべてのケーブルを取り付けます。MFP の電源を入れます。

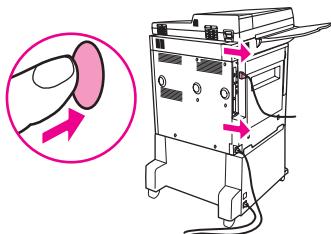


コンパクト フラッシュ メモリ カードを取り付けるには

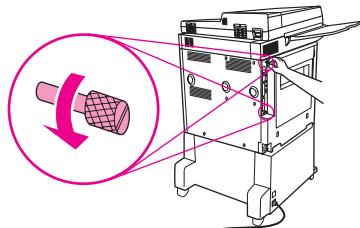
注意

デジタル カメラ用のフラッシュ メモリ カードは、MFP に挿入しないでください。この MFP では、フラッシュ メモリ カードから写真を直接印刷することはできません。カメラ用のフラッシュ メモリ カードを取り付けると、フラッシュ メモリ カードを再フォーマットするかどうかを確認するメッセージがコントロール パネル ディスプレイに表示されます。カードの再フォーマットを選択すると、カードに記録されているすべてのデータが失われます。

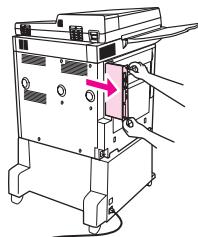
- 1 MFP の電源を切り、電源コードとインターフェース ケーブルをすべて取り外します。



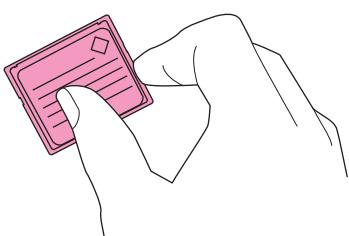
- 2 MFP 背面のつまみねじ (2箇所) を緩めます。



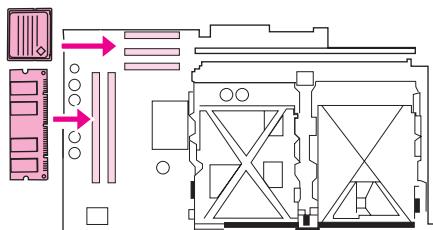
- 3 ねじをつまんで、フォーマッタ ボードを MFP から引き出します。電気を通さない平らな面にフォーマッタ ボードを置きます。



- 4 コンパクト フラッシュを静電気防止パッケージから取り出します。コンパクト フラッシュの端を持ちます。コンパクト フラッシュのノッチを、コンパクト フラッシュのスロットの位置に合わせます。



5 コンパクト フラッシュをスロットにまっすぐ押し込みます。



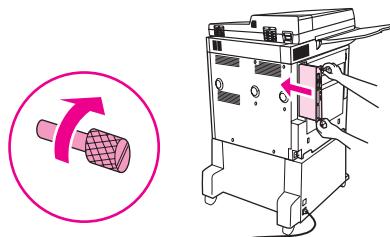
注意

フラッシュ メモリ カードを斜めに挿入しないでください。

注記

「Firmware Slot」と表記されている 1 番目のメモリ スロットは、ファームウェア用にのみ確保されています。その他の用途で使用する場合は、スロット 2 および 3 を使用します。

6 フォーマッタ ボードを MFP に差し込み、2 つのねじを締めます。



7 電源コードとすべてのケーブルを取り付けます。MFP の電源を入れます。

メモリが取り付けられたことの確認

DDR DIMM とフラッシュ メモリ カードが正しく取り付けられているかどうかを確認するには、以下の手順に従います。

- 1 MFP の電源を入れたときに、コントロール パネルに「READY (印刷可能)」と表示されることを確認します。エラー メッセージが表示される場合は、DIMM またはフラッシュ メモリ カードは正しく取り付けられていません。
- 2 設定ページを印刷します。
- 3 設定ページのメモリに関するセクションを見て、DIMM を取り付ける前の設定と比較します。メモリ量が増加していない場合は、以下のいずれかの状況になっている可能性があります。
 - DIMM が正しく取り付けられていない (取り付け手順をもう一度行ってください)
 - DIMM に欠陥がある (別の DIMM を使用するか、DIMM を別のスロットに取り付けます)

注記

プリンタ言語 (パーソナリティ) を取り付けた場合は、設定ページの「インストール済みパーソナリティとオプション」のセクションを確認してください。ここには、新しいプリンタ言語が記載されています。

リソースの保存 (永久リソース)

MFP にダウンロードしたユーティリティやジョブに、リソース (フォント、マクロ、パターンなど) が含まれていることがあります。MFP で内部的に永久リソースとされているリソースは、MFP の電源を切るまでメモリに残っています。

ダウンロードしたリソースを格納するためのフラッシュ DIMM を取り付けていない場合は、著しく大量のフォントをダウンロードするときや、MFP が共有環境で使用されているときに、各言語に割り当てるメモリ量を変更する必要が発生する可能性があります。

リソースの保存用に割り当てることが可能な最小メモリ量は、PCL および PS でそれぞれ 400KB です。

Web アクセス機能

Web アクセス機能の使用

MFP には Web アクセス機能が備わっています。Web アクセス機能を使用すると、MFP に関する以下の情報を取得することができます。

- コントロール パネル メッセージ
- サプライ品の残量レベルと注文状況
- トレイの設定
- MFP のコントロール パネルのメニュー構造
- MFP の設定ページ
- 製品のイベント ログ
- MFP の使用状況 (プリント ジョブの種類)
- ネットワーク設定および管理
- 電子メール警告

また、通常は MFP のコントロール パネルで行う以下のプリント ジョブ管理機能を、Web アクセス機能で実行することもできます。

- MFP の設定の変更
- MFP の構成の変更
- プリント ジョブのキャンセル

Web アクセス機能を利用するには

注記

Web アクセス機能を使用するには、IP ベース ネットワークと Web ブラウザが必要です。

ご使用の Web ブラウザで、MFP に割り当てられている IP アドレスを入力します。たとえば、MFP の IP アドレスが 192.1.2.3 であるときは、次のように入力します。

`http://192.1.2.3`

Web アクセス機能の詳細については、オンラインで『*HP Embedded Web Server User Guide (埋め込み型 Web サーバ ユーザー ガイド)*』を参照してください。このガイドは、www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp から入手可能です。

D 規制に関する情報

環境製品管理プログラム

環境保護

弊社は、環境に配慮した方法で高品質な製品を提供することに取り組んでいます。本製品は、環境への影響を最小限に留めるいくつかの特性を組み込んで設計されています。

オゾンの生成

この製品は、検出可能なレベルのオゾン ガス (O_3) を生成しません。

消費電力

スリープ モードの間は、電力の使用量が大きく低下します。このモードでは、天然資源やコストを節約できますが、製品の性能を低下させることはできません。HP LaserJet 9050mfp は、エネルギー効率のよいオフィス製品の開発を促進する自主的プログラムである ENERGY STAR® (バージョン 1.0) の認可を受けています。



ENERGY STAR® は、米国の登録商標です。弊社は、国際エネルギー スター プログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギー スター プログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。詳細については、国際エネルギー スター プログラム Web サイト (www.energystar.gov) を参照してください。

トナー消費量

ドラフト モードでは、使用されるトナー量が極めて少なく、プリント カートリッジの寿命が長くなります。

用紙の使用量

この製品の自動両面印刷機能と N アップ印刷機能 (複数のページが 1 ページに印刷されます) を使用すると、用紙の使用量が少なくなり、天然資源の需要が減少します。

プラスチック

製品の寿命の終了時にリサイクルするため、プラスチックを簡単に識別できるようにする国際的な規格に従って、25g を超えるプラスチック部品にはマークが付けられています。

HP LaserJet のサプライ品

多くの国 / 地域では、HP プリンタ サプライ品の回収およびリサイクルプログラムを通じて、本製品のプリンタ サプライ品（プリント カートリッジなど）を HP に返却することができます。簡単に利用できる無料の回収プログラムは、30 を超える国 / 地域で用意されています。新しい HP LaserJet のプリント カートリッジとサプライ品のパッケージには、多言語で記述された、プログラムに関する情報と手順を記載した資料が付属しています。

HP プリンタ サプライ品の回収およびリサイクル プログラムに関する情報

弊社は 1992 年以来、HP LaserJet のサプライ品が販売されている世界の市場の 86% で、HP LaserJet のサプライ品の回収およびリサイクルを無料で行ってきました。ほとんどの HP LaserJet プリンタ カートリッジの取扱説明書には、切手が貼られ、住所が印刷されたラベルが同梱されています。ラベルと梱包用の箱は、HP の Web サイト (www.hp.com/recycle) から入手することもできます。

2002 年には、HP Planet Partners のサプライ品リサイクル プログラムを通じて、1 千万個を超える HP LaserJet プリンタ カートリッジが世界中でリサイクルされました。この記録的な数字は、11 万 8 千トンのプリント カートリッジを資源として回収したことを表しています。HP は、主にプラスチックと金属で構成されているプリント カートリッジの平均 80%（重量に換算した場合）を世界中でリサイクルしています。このプラスチックや金属は、HP 製品などの新しい製品、プラスチック製のトレイ、スプールの製造に使用されます。残りの材料は、環境に配慮した方法で廃棄されます。

米国での回収

使用済みのカートリッジやサプライ品を、さらに環境に配慮した方法で回収するため、HP は梱包回収の利用を促進しています。2 つ以上のカートリッジを束ねて、パッケージに同梱されている、あらかじめ住所が印刷された支払済みの宅急便用紙を使用してください。米国での回収の詳細については、800-340-2445 まで電話で問い合わせるか、HP の Web サイト (www.hp.com/recycle) をご覧ください。

米国以外での回収

米国以外のお客様は、最寄りの Hewlett-Packard 販売 / サービス事業所に問い合わせるか、HP の Web サイト (www.hp.com/recycle) にアクセスして、HP サプライ品の回収およびリサイクル プログラムの利用についての詳細をご覧ください。

用紙

本製品は再生紙の使用に適しています。ただし、使用する再生紙は『Print Media Guide (プリント メディア ガイド)』に記載されているガイドラインに適合している必要があります。注文の詳細については、www.hp.com/support をご覧ください。この製品は、EN12281 (2002 年) に準拠した再生紙の使用に適しています。

化学物質に関する制限

この HP 製品では、コントロール パネルの液晶画面の蛍光ランプに水銀が使用されています。水銀の廃棄時には特別な処理が必要になります。

この HP 製品では、フォーマッタ ボードにリチウム バッテリが搭載されています。リチウム バッテリの廃棄時には特別な処理が必要になります。

リサイクルに関する情報については、HP の Web サイト (www.hp.com/recycle) をご覧になるか、最寄りの関係機関または米国電子工業会 (www.eiae.org) にお問い合わせください。

化学物質等安全性データ シート

化学物質等安全性データシート (MSDS) を入手するには、HP の Web サイト (www.hp.com/go/msds または www.hp.com/hpinfo/community/environment/productinfo/safety) をご覧ください。

保証延長サービス

HP サポート パックは、HP ハードウェア製品およびあらゆる HP 製内蔵コンポーネントを保証対象としています。ハードウェアのメンテナンスは、HP 製品をお買い上げいただいた日から 3 年間適用されます。このサービスを受けるには、HP 製品をお買い上げいただいた日から 90 日以内に、HP サポート パックの契約をしていただく必要があります。詳細については、HP カスタマ ケア サービスまたは HP カスタマ サポート グループにお問い合わせください。HP サポートの小冊子を参照しても、詳細を確認いただけます。

その他の情報

環境に関する以下の項目の詳細については、下記 Web サイトをご覧ください。

- この製品および関連する多くの HP 製品の環境プロファイル シート
- HP の環境への取り組み
- HP の環境管理システム
- HP の製品回収およびリサイクル プログラム
- MSDS

参照先 Web サイト：www.hp.com/go/environment または www.hp.com/hpinfo/community/environment/productinfo/safety

電源コード規格 (日本)

製品には、同梱された電源コードをお使い下さい。
同梱された電源コードは、他の製品では使用出来ません。

E 管理タスク

概要

ここでは、システム管理者が行う作業について説明します。

- 埋め込み型 Web サーバ
- IP アドレスの設定と確認
- デジタル送信設定アプレット
- コントロールパネル メニューの使用
- デバイスストレージマネージャ
- ネットワーク対応ソフトウェア
- 診断メニュー

埋め込み型 Web サーバ

埋め込み型 Web サーバを使用すると、ステータス情報の表示、設定の変更、製品の管理をコンピュータ上で行うことができます。

埋め込み型 Web サーバを使用するには、HP Jetdirect ネットワーク カード製品によるネットワーク接続が必要です。埋め込み型 Web サーバを使用するには、以下の要件を満たしている必要があります。

- TCP/IP ベースのネットワーク
- コンピュータに Web ブラウザがインストールされている (Netscape Navigator 4.7x または Microsoft Internet Explorer 5.0x 以降を推奨)

注記

埋め込み型 Web サーバには、TCP/IP プロトコルと Web ブラウザがサポートされているすべてのオペレーティング システムからアクセスできます。パラレル ケーブル接続や、IPX ベースのネットワーク製品での接続には対応していません。ファイアウォールの外側から埋め込み型 Web サーバ ページを表示することはできません。

埋め込み型 Web サーバで製品の IP アドレスを入力するか、HP Web Jetadmin を使用すると、製品のホーム ページにアクセスできます。

HP Web Jetadmin は、この製品のインストール ソフトウェアには含まれていませんが、HP の Web サイト (www.hp.com/go/webjetadmin) からダウンロードできます。

埋め込み型 Web サーバでは、以下の作業を実行できます。

- サポートの連絡先と URL を設定する
- パスワードを設定して、ネットワーク ページにリモート アクセスできるメンバを管理する
- 一般的なネットワーク ステータス情報 (プリント サーバに保存されているネットワーク 統計など) を表示する

詳細については、オンラインで『HP Embedded Web Server Users Guide (埋め込み型 Web サーバ ユーザー ガイド)』を参照してください。このガイドは、www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp から入手可能です。

埋め込み型 Web サーバを使用したトナー レベルの確認

- 1 Web ブラウザで、この製品のホーム ページの IP アドレスを入力します。この製品のステータス ページが表示されます。
- 2 画面の左側にある [Supplies Status] (サプライ品のステータス) をクリックします。サプライ品のステータス ページが表示されます。このページに、トナー レベルの情報があります。サプライ品のステータス ページの詳細については、「[サプライ品ステータス ページ](#)」を参照してください。

IP アドレスの設定と確認

TCP/IP アドレスの割り当てと設定は、HP Jetdirect プリント サーバ上で、いくつかのオプションを使用して行います。

- HP Web Jetadmin
- 埋め込み型 Web サーバ

TCP/IP の割り当て

特定のプリント サーバの TCP/IP アドレスは、システム管理者またはユーザーの責任者が決定します。設定する TCP/IP アドレスや、ネットワークでの TCP/IP の使用方法がよくわからない場合は、HP Web サイト (www.hp.com) を参照してください。Web ページの左上にある [Search] をクリックして、「TCP/IP Overview」を検索してください。

自動検知機能

この製品には、HP Jetdirect 埋め込み型プリント サーバが搭載されています。製品のインストール時に BootP サーバまたは DHCP サーバが使用可能な場合は、ネットワーク上で使用する IP アドレスがプリント サーバによって自動的に割り当てられます。このような処理が行われるのは、プリント サーバが BootP サーバまたは DHCP サーバからネットワーク経由で IP アドレスを取得できない場合、プリント サーバによって 192.0.0.192 (レガシーのデフォルト) または 159.254.x.x (自動 IP) がデフォルトで設定されるためです。認識アルゴリズムが使用されているため、ネットワーク (小規模 / プライベートまたはエンタープライズ) によって異なるデフォルトが割り当てられます。

新しい IP アドレスを調べるには、設定ページを印刷して、TCP/IP のステータスとアドレスを確認してください。

DHCP (ダイナミック ホスト コンフィグレーション プロトコル)

製品の電源を入れると、HP Jetdirect プリント サーバによって DHCP 要求が送信されます。DHCP によって、ネットワーク サーバから自動的に IP アドレスがダウンロードされます。DHCP サーバは固定された一連の IP アドレスを保持しており、その IP アドレスを使用できるのはプリント サーバのみです。ネットワーク上で DHCP サービスを設定する方法については、オペレーティング システムのマニュアルを参照してください。

TCP/IP の設定の確認

コントロール パネルから設定ページを印刷し、TCP/IP ステータスと TCP/IP アドレスを確認します。その情報が正しくない場合は、ハードウェアの接続 (ケーブル、ハブ、ルーター、スイッチ) を確認するか、TCP/IP アドレスが有効であることをもう一度確認してください。

IP アドレスの変更

この製品の TCP/IP アドレスを変更する必要がある場合は、以下の手順に従います。

HP Web Jetadmin

HP Web Jetadmin を開きます。[クイック デバイス検索] フィールドに TCP/IP アドレスを入力して、[Go] をクリックします。上部にあるメニュー バーから、以下の手順に従って検知オプションを操作します。

- 1 ドロップダウン メニューの [デバイス] をクリックします。
- 2 ドロップダウン メニューの [新しいデバイス] をクリックします。[Go] をクリックします。

- 3 列のヘッダー ([IP アドレス] や [デバイス モデル] など) をクリックし、使用可能なデバイスを昇順または降順で並べ替えます。
- 4 設定する製品をハイライト表示させ、[デバイスを開く] をクリックします。
- 5 HP Web Jetadmin 画面の上部にあるサブメニューで、[設定] をクリックします。
- 6 設定画面の左側にあるネットワーク リンクをクリックします。
- 7 必要に応じてスクロールし、新しい IP 情報を入力します。
- 8 [適用] をクリックして、設定内容を保存します。
- 9 画面の右側にある疑問符の横の [リフレッシュ] ボタンをクリックします。
- 10 [ステータスの診断] をクリックするか、設定ページを印刷して、IP 情報を確認します。

埋め込み型 Web サーバ

この製品に搭載されている埋め込み型 Web サーバを使用して、TCP/IP パラメータを変更することができます。埋め込み型 Web サーバを使用するには、あらかじめ HP Jetdirect プリントサーバに IP アドレスが設定されている必要があります。ネットワーク環境では、製品を最初にインストールしたときに自動的に IP アドレスが設定されます。

- 1 サポートされている Web ブラウザで、HP Jetdirect プリント サーバの現在の IP アドレスを URL として入力します。埋め込み型 Web サーバの [Device Status] (デバイスのステータス) ページが表示されます。
- 2 [Networking] (ネットワーク) をクリックします。このページから、MFP のネットワーク設定を変更できます。

デジタル送信設定アプレット

埋め込み型 Web サーバのデジタル送信設定アプレットを使用するには、以下の手順に従います。

- 1 埋め込み型 Web サーバを開きます。
- 2 [Settings] (設定) タブをクリックします。
- 3 [Digital Sending] (デジタル送信) をクリックします。

注記

Web ブラウザ用プラグインのインストールを求めるプロンプトが表示されます (アプレットを実行するにはプラグインが必要です)。

埋め込み型 Web サーバのデジタル送信設定アプレットを使用して、メール送受信の電子メール設定を行います。これで、「送受信」機能を使用して以下の操作を行えるようになります。

- デジタル送信サービスの有効 / 無効を切り替え、ファイルの最大サイズを設定する。
- デジタル送信の SMTP アドレスを設定する。
- 完全な電子メール アドレスの代わりに [From] (差出人) フィールドに表示される通称名を設定する。
- [Subject] (件名) フィールドのデフォルトを設定する。
- 以下の高度な機能を使用する。
 - 固定されたデフォルトのメッセージ テキストを設定する。
 - デフォルトのドキュメント設定を行う。
- 画面の [Test] (テスト) ボタンを使用して、デジタル送信の設定をテストする。
- デジタル送信用の LDAP アドレスの割り当てを設定する。

LDAP アドレスの割り当ての設定

LDAP アドレス割り当て設定を使用すると、以下の作業を実行できます。

- LDAP パラメータを設定して、集中管理されているネットワーク アドレス帳にアクセスできるようにする。
- [Test] (テスト) ボタンを有効にして、設定を確認する。

[Preferences] (初期設定) の設定

[Preferences] (初期設定) の設定を使用すると、以下の作業を実行できます。

- スキャナについて、以下のデフォルトを設定する。
 - デフォルトのドキュメント サイズ
 - デフォルトのドキュメント タイプ (テキスト、グラフィック、または両方)
 - 両面印刷
- 管理者の注意を要するエラーについて通知を受け取れるよう、管理者の連絡先情報を設定する。

注記

詳細については、www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp を参照してください。

SMTP および LDAP サーバの IP アドレスの検索

電子メールへの送信機能を使用するには、MFP が IP ネットワークに接続され、SMTP (Simple Mail Transfer Protocol) サーバの IP アドレスまたはホスト名が設定されている必要があります。オプションで、LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) アドレス帳の V2 または V3 を使用するように MFP を設定することもできます。LDAP アドレス帳を使用するように設定すると、受信者の完全な SMTP 電子メール アドレスの代わりに受信者の名前で代用入力できるようになるため、電子メールへの送信ジョブを簡単に処理できます。受信者の名前を入力すると、一致する名前が LDAP アドレス帳から検索され、最も一致するものがアドレス フィールドに自動的に入力されます。特定の受信者を選択すると、MFP は LDAP を使用して受信者の完全な SMTP 電子メール アドレスを取得します。

SMTP および LDAP サーバの IP アドレスを検索するには、以下の手順に従います。

[Find Send Gateways] (送信ゲートウェイの検出) を使用する

タッチスクリーン式グラフィック ディスプレイで、以下の操作を行います。

- 1 [Menu] (メニュー) を押します。
- 2 [Configure Device] (デバイスの設定) を押します。
- 3 [Sending] (送信) を押します。
- 4 [E-mail] (電子メール) を押します。
- 5 [Find Send Gateways] (送信ゲートウェイの検出) を押します。SMTP ゲートウェイの IP アドレスと LDAP サーバの IP アドレスを特定するために、ローカルネットワークが検索されます。コントロールパネルディスプレイに数字が表示されて消えます。SMTP サーバまたは LDAP サーバがローカルネットワークの外にある場合、通常は送信ゲートウェイの検出機能を実行しても成功しません。その場合、ゲートウェイアドレスはすべてゼロとして表示されるため、手動でゲートウェイアドレスを探して入力する必要があります。

ゲートウェイ アドレスを手動で確認または入力するには

- 1 [Menu] (メニュー) を押します。
- 2 [Configure Device] (デバイスの設定) を押します。
- 3 [Sending] (送信) を押します。
- 4 [E-mail] (電子メール) を押します。
- 5 [SMTP Gateway] (SMTP ゲートウェイ) を押します。
- 6 SMTP ゲートウェイを入力します。ゲートウェイ アドレスは、3 桁までのグループが 4 つ並んだ 12 桁の数字で表現されます (たとえば「123.123.123.123」)。アドレスを指定するには、最初のグループを入力します。[START] (スタート) を押します。次に 2 ~ 4 番目のグループを入力し、そのつど [START] (スタート) を押します。[OK] を押します。
- 7 スクロールして、[LDAP Gateway] (LDAP ゲートウェイ) を押します。
- 8 SMTP ゲートウェイと同じ手順で、LDAP ゲートウェイを入力します。SMTP および LDAP ゲートウェイを入力したら、送信ゲートウェイのセルフテストを実行し、次に電子メールを送信します。

送信ゲートウェイの設定をテストするには

- 1 [Menu] (メニュー) を押します。
- 2 [Configure Device] (デバイスの設定) を押します。
- 3 [Sending] (送信) を押します。
- 4 [E-mail] (電子メール) を押します。

[Test Send Gateways] (送信ゲートウェイのテスト) を押します。設定が正しい場合は、コントロールパネルディスプレイに「Gateways OK (ゲートウェイ OK)」と表示されます。

最初のテストが成功したら、自分宛に電子メールを送信してください。その電子メールを受信できたら、デジタル送信スイートの設定は正常に完了しています。電子メールを受信できない場合は、以下の対応を行ってデジタル送信ソフトウェアの問題を解決してください。

- SMTP および LDAP のゲートウェイ アドレスが正しく入力されていることを確認します。
- ネットワークが正しく動作していることを確認します。自分のコンピュータから自分宛に電子メールを送信します。電子メールを受信できたら、ネットワークは動作しています。電子メールを受信できない場合は、ネットワーク管理者または ISP (インターネットサービス プロバイダ) に問い合わせてください。
- DISCOVER.EXE ファイルを実行します。このプログラムによって、ゲートウェイの検索が試行されます。このファイルは、HP の Web サイト (www.hp.com) からダウンロードできます。

その他の製品サポートについては、Hewlett-Packard までお問い合わせください。製品に付属のサポート小冊子に電話番号が記載されています。www.hp.com/support/lj9040mfp または www.hp.com/support/lj9050mfp でも詳細を確認できます。

電子メール クライアントを使用する

ほとんどの電子メール クライアントでも、SMTP を使用して電子メールを送信し、LDAP を使用して電子メール メッセージのアドレスを割り当てます。そのため、電子メール クライアントの設定を確認すると、SMTP ゲートウェイと LDAP サーバのホスト名を見つけることができます。たとえば、Microsoft Outlook では、[ツール] をクリックして [サービス] を選択し、サーバを選択して [プロパティ] をクリックすると、ホスト名が表示されます。多くの場合、SMTP サーバと LDAP サーバは 1 つのホスト名の下にあります。ホスト名がわかれれば、以下の手順で IP アドレスを見つけることができます。

- 1 ご使用のコンピュータで コマンド プロンプト (MS-DOS プロンプト) を開きます。
- 2 「nslookup」と入力し、その後にホスト名を入力します (たとえば「nslookup hostname」)。
- 3 **ENTER** キーを押します。

SMTP サーバと LDAP サーバの IP アドレスが見つかったら、それらを使用してデジタル送信を設定します。設定作業は、埋め込み型 Web サーバ、HP Web Jetadmin、またはコントロールパネルから行うことができます。

コントロール パネル メニューの使用

コントロール パネルのすべてのメニュー項目と指定可能な値については、「[コントロール パネルのメニュー](#)」を参照してください。追加のアクセサリを装着すると、新しいメニュー項目が自動的に表示されます。

コントロール パネルのメニュー マップを印刷するには

- 1 [Menu] (メニュー) を押します。
- 2 [Information] (情報) を押します。
- 3 [Print Menu Map] (メニュー マップの印刷) を押します。
- 4 [OK] を押して、メニューを終了します。

コントロール パネルの設定を変更するには

- 1 [Menu] (メニュー) を押します。
- 2 スクロールして、目的のメニューを選択します。メニュー構成に応じて、サブメニューを選択するために手順を繰り返す必要になる場合があります。
- 3 スクロールして、目的の項目を選択します。
- 4 スクロールして、目的の値を選択します。選択した値の横にアスタリスク (*) が表示され、新たなデフォルト値に設定されたことを示します。
- 5 [OK] を押して、メニューを終了します。

コントロール パネルで設定した内容よりも、ドライバやソフトウェアで設定した内容の方が優先されますので注意してください（ドライバとソフトウェアでは、ソフトウェアの設定が優先されます）。

デバイス ストレージ マネージャ

デバイス ストレージ マネージャは、システム管理者のコンピュータにのみインストールしてください。HP ディスク管理ユーティリティを使用して、ドライバで検出されないハード ディスクとフラッシュ メモリの機能を制御することができます。双方向通信が必要です。

注記

HP ディスク管理ユーティリティは、Macintosh では使用できません。Macintosh のユーザーは、HP LaserJet Utility (バージョン 3.5.1 以降) でこれらの機能を利用できます。

HP ディスク管理ユーティリティを使用すると、以下の作業を実行できます。

- ディスクとフラッシュ メモリを初期化する
- ネットワーク経由で、ディスクおよびフラッシュ メモリにフォントをダウンロードしたり削除する、およびそれらのフォントの管理を行う
- PostScript Type 1、PostScript Type 42 (PostScript 形式に変換された TrueType フォント)、TrueType、および PCL ビットマップ フォントをダウンロードする (Type 1 フォントをダウンロードするには、Adobe Type Manager をロードして実行する必要があります)

ネットワーク対応ソフトウェア

HP Web Jetadmin ソフトウェア

HP Web Jetadmin はブラウザベースの管理ツールです。システム管理者のコンピュータにのみインストールしてください。HP Web Jetadmin は、インターネット (www.hp.com/go/webjetadmin) からダウンロードできます。

注記

サポート対象ホスト システムの最新のリストについては、HP カスタマ ケア オンライン (www.hp.com/go/webjetadmin) をご覧ください。

HP Web Jetadmin は、ホスト サーバ上にインストールされている場合、サポートされている Web ブラウザ (Microsoft Internet Explorer 4.x、Netscape Navigator 4.x 以降など) を使用するか、HP Web Jetadmin ホストを表示すれば、すべてのクライアントから開くことができます。

HP Web Jetadmin を使用すると、以下の作業を実行できます。

- HP Jetdirect プリント サーバを使用して、ネットワークに接続されている製品のインストールと設定を行う。
- 任意の場所から、ネットワーク製品の管理やトラブルシューティングを行う。

HP Web Jetadmin を使用したトナー レベルの確認

HP Web Jetadmin で MFP を選択します。デバイス ステータス ページに、トナー レベル情報が表示されます。

HP Jetdirect Printer Installer for UNIX®

HP Jetdirect Printer Installer for UNIX は、HP-UX および Sun Solaris ネットワーク向けの簡単なプリンタ インストール ユーティリティです。このユーティリティは、www.hp.com/support/net_printing からダウンロードできます。

診断メニュー

システム管理者は、このメニューを使用して、パートを分離したり紙詰まりや印刷品質の問題のトラブルシューティングを行うことができます。

項目	値	説明
PRINT EVENT LOG (イベントログの印刷)		エラー ログにある最新の 50 エントリをローカライズし、このエントリの LIFO (Last In, First Out) リストを作成します。印刷されるイベント ログには、エラー番号、ページ カウント、エラー コードのほか、説明やパーソナリティが示されています。
SHOW EVENT LOG (イベントログの表示)		コントロール パネルでイベント ログの内容をスクロールし、最新の 50 個のイベントを表示することができます。
PAPER PATH TEST (用紙経路のテスト)		この製品の用紙の取り扱い機能をテストするときに役立つテスト ページを作成します。
SCANNER TESTS (スキャナ テスト)		問題が発生した場合に、さまざまなスキャナ テストを実行することができます。スキャナ テストは、サービス担当技術者と連携して行ってください。
CONTROL PANEL (コントロール パネル)		問題が発生した場合に、コントロール パネル ディスプレイの テストを実行することができます。コントロール パネル ディスプレイのテストは、サービス担当技術者と連携して行ってください。

F HTML ヘルプ ビューアの使い方

以下のトピックでは、この HTML ヘルプ形式のユーザー ガイドの操作方法および使用方法について説明します。詳細については、それぞれのトピックをクリックしてください。

- ヘルプの利用
- ヘルプ トピックの検索
- お気に入りのヘルプ トピックのリストの作成
- ヘルプ トピックのコピー
- 現在のヘルプ トピックの印刷
- ツールバー ボタンでのトピックの検索
- ショートカット メニュー コマンドの使用

ヘルプの利用

HTML ヘルプ ビューアを使用するときに、詳しい情報を見つけるためのヒントを以下に示します。

- 別のトピック、Web ページ、その他のトピックの一覧、またはプログラムに移動するには、下線が引かれた色付きの語句をクリックします。
- 関連情報が含まれるトピックを表示するには、下線付きの語句、トピックの最後にある [関連項目]、トピックのタイトルの順にクリックします。
- トピックに含まれる語句が索引にあるかどうかを調べるには、単語を選択し、F1 キーを押します。
- [トピック] ウィンドウで Web 上のコンテンツを表示している場合は、ツールバーの [中止] または [更新] をクリックすると、Web ページのダウンロードを停止したり、更新したりすることができます。
- 特定のヘルプ トピックを参照することが多い場合は、トピックをお気に入りリストに追加することができます。
- ショートカット メニュー コマンドについては、[目次] タブまたは [トピック] ウィンドウを右クリックします。

ヘルプ トピックの検索

[ナビゲーション] ウィンドウで、以下のいずれかのタブをクリックします。

- 目次を参照するには、[目次] タブをクリックします。目次は、重要なトピックの展開可能なリストになっています。
- 索引項目のリストを参照するには、[キーワード] タブをクリックし、語句を入力するか、リストをスクロールします。多くの場合、トピックの索引項目は複数あります。
- ヘルプ ファイルに含まれる語句を探すには、[検索] タブをクリックし、語句を入力します。

注記

目次の項目、索引項目、または検索結果の項目をクリックすると、対応するトピックが表示されます。

お気に入りのヘルプ トピックのリストの作成

- 1 お気に入りに追加するヘルプ トピックを表示します。
- 2 [お気に入り] タブをクリックし、[追加] をクリックします。

注記

- お気に入りのトピックに戻るには、[お気に入り] タブをクリックしてトピックを選択し、[表示] をクリックします。
- トピックの名前を変更する場合は、トピックを選択し、[現在のトピック] ボックスに新しい名前を入力します。
- お気に入りのトピックを削除するには、トピックを選択し、[削除] をクリックします。

ヘルプ トピックのコピー

- 1 [トピック] ウィンドウで、コピーするトピックを右クリックし、[すべて選択] をクリックします。
- 2 もう一度右クリックし、[コピー] をクリックします。これで、トピックがクリップボードにコピーされます。
- 3 トピックのコピー先のドキュメントを開きます。
- 4 コピー内容を貼り付ける場所にカーソルを置きます。
- 5 [編集] メニューの [貼り付け] をクリックします。

注記

トピックの一部だけをコピーする場合は、コピーするテキストを選択して右クリックし、[コピー] をクリックします。

現在のヘルプ トピックの印刷

トピックを右クリックし、[印刷] をクリックします。

注記

[目次] タブから印刷する場合 (項目を右クリックし、[印刷] をクリックします)、現在のトピックのみを印刷するか、現在のトピックとすべてのサブトピックを印刷するかを選択するオプションが表示されます。

ツールバー ボタンでのトピックの検索

ヘルプ ビューアのツールバー ボタンには、5つの操作ボタンがあります。ヘルプ トピックを検索するには、以下のボタンをクリックします。

- [戻る]：1つ前のトピックを表示します。
- [進む]：前に表示していた次のトピックを表示します。
- [次へ]：目次の次のトピックを表示します。
- [前へ]：目次の前のトピックを表示します。
- [ホーム]：表示しているヘルプ ファイルの最初のページを表示します。
- [更新]：[トピック] ウィンドウに現在表示されている Web コンテンツを更新します。
- [中止]：ファイルの情報のダウンロードを中止します。このボタンをクリックすると、Web ページのダウンロードが中止されます。

注記

ヘルプ ビューアのツールバーには、上記の一部の操作ボタンが存在しないことがあります。

ショートカット メニュー コマンドの使用

ショートカット メニューにはいくつかのコマンドがあり、情報の表示やカスタマイズに使用することができます。

コマンド	説明
目次を右クリックし、[すべて開く]をクリックします。	目次にあるすべてのブックまたはフォルダが開きます。このコマンドは、[目次] タブが表示されている場合にのみ有効です。
目次を右クリックし、[すべて閉じる]をクリックします。	すべてのブックまたはフォルダが閉じます。このコマンドは、[目次] タブが表示されている場合にのみ有効です。
右クリックし、[印刷] をクリックします。	トピックが印刷されます。
目次を右クリックし、[カスタマイズ] をクリックします。	情報をカスタマイズできるウィザードが開きます。ここでは、ドキュメントをカスタマイズすることができます。ヘルプ ファイルの情報がタイプ別に分類されている場合は、このウィザードを使用して、表示するトピックのサブセットを選択することができます。たとえば、概要のトピックだけを表示することを選択できます。

注記

上記のコマンドには、キーボードからアクセスすることもできます。SHIFT+F10 を押してショートカット メニューを表示し、適切なショートカット キーをクリックします。または、マウスキー機能を有効にすることもできます。マウスキーの組み合わせを使用してショートカット メニューを表示し、適切なショートカット キーをクリックします。

G ヘルプ ビューアでのショートカット キーの使い方

以下のトピックでは、このユーザー ガイドの操作方法を説明します。

- F6 キーの使用による [ナビゲーション] ウィンドウと [トピック] ウィンドウの切り替え
- ヘルプ ビューアのショートカット キー
- [目次] タブのショートカット キー
- [キーワード] タブのショートカット キー
- [検索] タブのショートカット キー
- [お気に入り] タブのショートカット キー

注記

- キーボードからアクセス可能なショートカット メニュー コマンドも使用できます。
- ショートカット キーは、サブ ウィンドウやポップアップ ウィンドウでも使用できます。
- [ナビゲーション] ウィンドウでショートカット キーを使用すると、そのたびに [トピック] ウィンドウに表示される項目が変わります。[トピック] ウィンドウに戻るには、F6 キーを押します。
- 前回の検索で [検索] タブの [類義語と一致する] チェック ボックスを使用した場合は、このボックスはオンになります。

F6 キーの使用による [ナビゲーション] ウィンドウと [トピック] ウィンドウの切り替え

キーボードの F6 キーを押すと、[ナビゲーション] ウィンドウと [トピック] ウィンドウをすばやく切り替えることができます。

ヘルプ ビューアのショートカット キー

- | | |
|---|----------------------|
| ヘルプ ビューアを閉じる。 | ALT+F4 |
| ヘルプ ビューアと開いているその他のウィンドウとを切り替える。 | ALT+TAB |
| [オプション] メニューを表示する。 | ALT+O |
| Microsoft Internet Explorer の設定を変更する。[インターネット オプション] ダイアログ ボックスには、ユーザー補助の設定が用意されています。この設定を変更するには、[全般] タブをクリックし、[ユーザー補助] をクリックします。 | ALT+O の次に I キーを押します。 |

[ナビゲーション] ウィンドウを表示または非表示にする。 トピックを印刷する。	ALT+O の次に T キーを押します。 ALT+O の次に P キーを押すか、トピックを右クリックして [印刷] をクリックします。
前のトピックに戻る。	ALT+← または ALT+O の次に B キーを押します。
次のトピックに移動する (そのトピックを直前に表示している場合)。	ALT+→ または ALT+O の次に F キーを押します。
検索一致箇所のハイライト機能をオンまたはオフにする。	ALT+O の次に O キーを押します。
[トピック] ウィンドウに表示されているトピックを更新する (Web ページにリンクしている場合に便利です)。	F5 または ALT+O の次に R キーを押します。
最初のページに戻る (ヘルプの作成者は、ヘルプ システムの最初のページを指定することができます)。	ALT+O の次に H キーを押します。
ビューアでのページの読み込みを停止する (Web にリンクしているときにページのダウンロードを停止する場合に便利です)。	ALT+O の次に S キーを押します。
所定のトピックまたは Web ページに移動する。コンパイルされたヘルプ (.chm) ファイルを構築するヘルプ作成者は、重要なトピックまたは Web ページへの 2 つのリンクを [オプション] メニューに追加することができます。[ジャンプ] コマンドを選択すると、トピックまたは Web ページに移動します。	ALT+O の次に 1 キーまたは 2 キーを押します。
[ナビゲーション] ウィンドウと [トピック] ウィンドウを切り替える。	F6
トピックをスクロールする。	↑ キーと ↓ キー、または PAGE UP キーと PAGE DOWN キー
トピック内の次のリンクまたは [ナビゲーション] ウィンドウのタブにある次のオプションをアクティブにする。	TAB

[目次] タブのショートカット キー

[目次] タブを表示する。	ALT+C
ブックまたはフォルダを開く、または閉じる。	プラス記号 (+) と マイナス記号 (-) 、または ← と →
トピックを選択する。	↑ と ↓
選択したトピックを表示する。	ENTER

[キーワード] タブのショートカット キー

[キーワード] タブを表示する。	ALT+N
検索するキーワードを入力する。	ALT+W を押してからキーワードを入力します。
リストのキーワードを選択する。	↑ と ↓
トピックを表示する。	ALT+D

[検索] タブのショートカットキー

[検索] タブを表示する。	ALT+S
検索するキーワードを入力する。	ALT+W を押してからキーワードを入力します。
検索を開始する。	ALT+L
検索結果リストのトピックを選択する。	ALT+T を押してから ↑ と ↓ を使用します。
選択したトピックを表示する。	ALT+D
以下のオプションは、フルテキスト検索が有効になっている場合にのみ使用できます。	ALT+U
前回の検索結果リスト内のキーワードを検索する。	ALT+M
キーワードの類義語を検索する。たとえば、キーワードが「run」であれば、「running」や「runs」などの単語を検索します。	ALT+R

[お気に入り] タブのショートカットキー

[お気に入り] タブを表示する。	ALT+I
現在表示されているトピックを [お気に入り] リストに追加する。	ALT+A
[お気に入り] リストのトピックを選択する。	ALT+P を押してから ↑ と ↓ を使用します。
選択したトピックを表示する。	ALT+D
選択したトピックをリストから削除する。	ALT+R

索引

数字

- 1 インチあたりのドット数 (dpi) 8, 216
- 1 枚あたりのページ数 67
- 1 枚に複数ページを印刷 67
- 2000 枚収納給紙トレイ、「トレイ 4」を参照
- 3000 枚収納スタッカ
 機能 94
 対応する用紙サイズ 195
 注文 11
 詰まり、解決 131
 排紙場所の指定 57
 針詰まり、解決 137
 ピン 56
 容量 9
- 3000 枚収納スタッカ / ステイプラー
 - エラー メッセージ 158
 - ステイプル カートリッジ、注文 11
 - ステイプルのセット 95
 - 対応する用紙サイズ 195
 - 注文 11
 詰まり、解決 131
 トラブルシューティング 175
 ドキュメントのステイプル留め 94
 認識されない 177
 排紙場所の指定 57
 針詰まり、解決 137
 ピン 56
 容量 9
- 8 ピンメールボックス
 機能 101
 対応する用紙サイズ 196
 注文 11
 詰まり、解決 144
 ピン 56
 容量 9

A

- A4 の用紙
 置き換えの設定 212
 ワイド A4 の設定 213
- A4/ レターの置き換え 212
- ADF (自動原稿送り装置)
 位置の確認 13
 エラー メッセージ 147
 給紙ミス 116
 出力システムのクリーニング 113
 上部のガラス ストリップのクリーニング 114
 対応する用紙サイズ 194
 デジタル送信 86
 ドキュメントのコピー 79, 80
 容量 9
 ローラーのクリーニング 116
 ADF で複数の用紙を給紙 116
- AppleTalk の設定 222

C

- [Cancel] (キャンセル) ボタン、コピー画面 76
- [Configure Device] (デバイスの設定) メニュー 208
- Copitrak 104
- [Copying] (コピー) サブメニュー 209
- Courier フォント
 設定 213
 トラブルシューティング 175

D

- DC コントローラ エラー メッセージ 163
- DHCP の設定 241
- [Diagnostics] (診断) メニュー 224
- DIMM
 エラー メッセージ 163
 拡張オプション 8
 スロット 227
 注文 12
 取り付け 228
 取り付けの確認 233
- DLC/LLC の設定 223
- dpi (1 インチあたりのドット数) 8, 216

E

- EconoMode 216
- [EIO Jetdirect] メニュー 220
- EIO カード
 エラー メッセージ 161, 165
 スロット、位置の確認 13
 注文 12
 内蔵 9
 バッファ オーバーフローのエラー メッセージ 160
- EIO ディスク
 機能 10
 消去 105
 ジョブ保留 217
 注文 12
 デバイスストレージマネージャ 245
 認識されない 176
 ファイル ディレクトリ、印刷 205
 ロック 107
- [Embedded Jetdirect] (埋め込み型 Jetdirect) サブメニュー 221
- [Enhancement] (拡張機能) サブメニュー 209
- EPS ファイル、トラブルシューティング 174
- Equitrac 104
- Ethernet サポート 9

F

- Fast Ethernet 10/100TX 9
- FastRes 8, 216
- FAX カード、注文 12, 91
- [FAX] メニュー 223
- FIH (外部インターフェース ハーネス) 104
- [From] (差出人) フィールド、電子メール メッセージ 84

H

- HP Digital Sending Software、注文 12
- HP Jetdirect Printer Installer for UNIX 25
- HP FastRes 8
- HP Jetdirect プリント サーバ
 設定 220, 221
 注文 12
 トラブルシューティング 26, 180
- HP Jetdirect ページ 183
- HP LaserJet Utility 10, 19
- HP OpenVMS ドライバ 16
- HP Toolbox
 機能 25, 27
 警報、セットアップ 121
 [警報] タブ 29
 サプライ品ステータス 119

システム要件 28
[ステータス] タブ 29
[デバイスの設定] ボタン 29
開く 28
リンク 29
HP Web Jetadmin
IP アドレス 241
機能 24, 246
警報、設定 121
サプライ品ステータス、確認 119
HP サポートパック 237
HP 製以外のプリントカートリッジ 118
HP ドライバ事前設定 15
HP プリンタサプライ品の回収およびリサイクル プログラム 236
HP 用紙、製品番号 191

I
IBM OS/2 サポート 14, 16
[Information] (情報) メニュー 205
I/O バッファ オーバーフロー メッセージ 161
I/O メニュー 220
IPX/SPX の設定 222
IP アドレス
検索 243
設定 241
表示 217

J
Jetadmin
IP アドレス 241
機能 24, 246
警報、設定 121
サプライ品ステータス、確認 119
Jetdirect Printer Installer for UNIX 25
Jetdirect プリントサーバ
設定 220, 221
注文 12
トラブルシューティング 26, 180
Jetdirect ページ 183

L
LAN コネクタ 9
LaserJet Utility 10, 19
LDAP
アドレス割り当ての設定 243
エラー メッセージ 154
サーバ、検索 243
Linux サポート 14, 16
LocalTalk 接続 9

M
Macintosh
HP LaserJet Utility 10, 19
PPD 15, 19
サポートされるオペレーティングシステム 14
ソフトウェアのアンインストール 24
ソフトウェアのインストール 22
通信のトラブルシューティング 179
ドライバ設定 17
内蔵ドライバ 15
付属ソフトウェア 19
Memory Enhancement technology (MEt) 8
Mopy (multiple original prints) 64
multiple original prints (Mopy) 64

N
NVRAM エラー メッセージ 164
n アップ印刷 67

O
OHP フィルム
HP、製品番号 191
印刷 61
仕様 198
セット 54
フューザ モード 215
[OK] ボタン、コピー画面 76
OpenVMS ドライバ 16
[Originals] (原稿) サブメニュー 208
OS/2 サポート 14, 16

P
[Paper Handling] (用紙の取り扱い) メニュー 206
[Parallel input] (パラレル入力) メニュー 220
PCL サブメニュー 214
PCL ドライバ 15, 16
PCL フォントリスト、印刷 185, 206
PDE、Macintosh 19
PDF エラー ページ 213
PIN
エラー メッセージ 153
外部インターフェース ハーネス (FIH) 104
プライベート ジョブの解除 70
PostScript エミュレーション ドライバ 15, 16
PostScript エラー ページ 172, 213
PostScript ジョブ、トラブルシューティング 178
PostScript フォントリスト、印刷 185, 206
PPD、Macintosh 15, 19
[Printing] (印刷) メニュー 211
[Print quality] (印刷品質) メニュー 215
PS エラー ページ 172, 213
PS ジョブ、トラブルシューティング 178
PS ドライバ 15, 16
PS フォントリスト、印刷 185, 206

R
Resolution Enhancement Technology (REt) 設定 216
REt (Resolution Enhancement Technology) 設定 216
[Retrieve Job] (ジョブ取得) メニュー 205

S
[Sending] (送信) サブメニュー 210
[Service] (サービス) メニュー 225
「Show me how (操作のヒント)」ヘルプ 47
SMTP サーバ 152, 243
[System setup] (システム セットアップ) メニュー 217

T
TCP/IP の設定 221, 241
Toolbox、HP
機能 25, 27
警報、セットアップ 121
[警報] タブ 29
サプライ品ステータス 119
システム要件 28
[ステータス] タブ 29
[デバイスの設定] ボタン 29
開く 28
リンク 29

U
UNIX
HP Jetdirect Printer Installer ユーティリティ 25
キャリッジ リターンの設定 214
サポート 14
モデルスクリプト 16
USB ポート、対応 9

W

Web Jetadmin

- IP アドレス 241
- 機能 24, 246
- 警報、設定 121
- サプライ品ステータス、確認 119

Web アクセス機能 234

Web サイト

- HP OpenVMS ドライバ 16
 - UNIX と Linux のサポート 16
 - 化学物質等安全性データ シート 237
 - サプライ品のリサイクル 236
 - ソフトウェア、ダウンロード 14
 - ファームウェアの更新 10
 - 米国電子工業会 236
 - 模造品対策 118
 - 用紙ガイドライン 193
- 「What is this? (機能説明)」ヘルプ 45, 47
- Windows
- サポートされるバージョン 14
 - ソフトウェアのアンインストール 24
 - ソフトウェアのインストール 20
 - ドライバ設定 17
 - 内蔵ドライバ 15
 - ネットワーク、ソフトウェアのインストール 21

あ

明るさ、コピー設定 81

アクセサリ

- 位置の確認 13

注文 11

アップグレード

- ファームウェア 10
- フラッシュメモリ、インストール 231
- メモリ 227, 228

厚紙

- 印刷 62
- 仕様 199

アドレス帳、デジタル送信用 88, 89

穴あき用紙

- 印刷 61
 - セット 53
 - ファーザ モード 215
- 位置合わせ、トラブルシューティング 169
- 位置合わせ、トレイ 65
- 位置合わせ不良、トラブルシューティング 169
- 一部のページ、トラブルシューティング 174
- 衣服、トナーの洗い落とし 111

イベント ログ

- 印刷 186
 - 情報 182, 186
 - 表示 224
- [今すぐ更新] ボタン、ドライバ 15
- イメージ サイズ、デフォルト値の設定 211
- イメージ品質
- クリーニング ページ、印刷 120
 - 設定 215
 - トラブルシューティング 166

印刷

- イベント ログ 186
 - 基本手順 55
 - クリックコピー ジョブ 73
 - クリーニング ページ 120
 - 試し刷り後に保留ジョブ 74
 - トラブルシューティング 172
 - 封筒 57
 - プライベート ジョブ 71
 - 保存ジョブ 72
- 印刷、部数 211

印刷済み用紙

- 印刷 61
 - 仕様 197
 - ファーザ モード 215
- 印刷の停止 45
- 印刷品質

- クリーニング ページ、印刷 120
 - 設定 215
 - トラブルシューティング 166
- インジケータ ランプ、コントロール パネル 44
- インストール

- Macintosh ソフトウェア 22
- Windows ソフトウェア 20
- ネットワーク ソフトウェア 21
- フラッシュ メモリ 231

インストール済みパーソナリティとオプション 182

インターフェースの問題、トラブルシューティング 177

薄い印刷

- 設定、トナー濃度 216
 - トラブルシューティング 167
- 埋め込み型 Web サーバ 240
- TCP/IP の設定 242
- アクセス 27
 - 機能 25, 27
 - 警告 121

- サプライ品ステータス、確認 119, 240

デジタル送信設定アプレット 242

埋め込み型プリント サーバ 26, 180

裏表紙なし 67

裏表紙の設定 67

永久リソース 233

エネルギーの仕様 200

エラー メッセージ

- アルファベット順リスト 147
- 数値リスト 160

設定 218

トラブルシューティング 146

保守、リセット 122

延長サービス、保証 237

オートコンプリート機能 87

遅い印刷、トラブルシューティング 174, 177

オゾンに関する仕様 235

音の仕様 201

表裏逆、ページ印刷 175

折れ目、トラブルシューティング 169

温度

- 動作環境仕様 202
- 溶着への適合性、用紙 197

オンライン ヘルプ

- お気に入り 250, 255
- [キーワード] タブ 254
- コントロール パネル 45, 47
- ショートカット 251, 253
- 電子メール画面 84
- トピックの印刷 250
- トピックの検索 249, 251
- トピックのコピー 250
- ドライバ 16

[目次] タブ 254

か

カートリッジ、ステイプル

スタッカ / ステイプラーにセット 95

注文 11

針詰まり、スタッカ / ステイプラーから取り除く 137

針詰まり、マルチファンクション フィニッシャ

ヤから取り除く 140

マルチファンクション フィニッシャにセット 98

カートリッジ、プリント
HP 製以外 118
エラー メッセージ 148, 154
交換 120
サプライ品ステータス ページ 184
残量少 219
使用情報 185
製品番号 191
注文 11
トナー レベル、確認 119
認証 118
振る 121
保管 118
リサイクル 236
カートリッジの交換を勧めるメッセージ 120
カートリッジの注文を勧めるメッセージ 120
カード、EIO
エラー メッセージ 161, 165
スロット、位置の確認 13
注文 12
内蔵 9
バッファ オーバーフローのエラー メッセージ 160
カード ストック
印刷 62
仕様 199
カール、トラブルシューティング 169, 197
改行の設定 214
回収、リサイクル 236
解除可能な警告、設定 218
解像度 8
解像度の設定 216
化学物質等安全性データ シート 237
拡張スロット
DIMM に対応 227
DIMM の取り付け 228
位置の確認 13
インストール済みパーソナリティとオプション 182
カスタム用紙
印刷 62
セット 52
対応するサイズ 194
トレイの指定 69
トレイの設定 42, 212
トレイのセット 51
用紙のセット 39
かすんだ印刷、トラブルシューティング 167
紙詰まりから復旧したときの設定 219
カラー用紙、コピー 81
環境管理 235
環境仕様 202
外部インターフェース ハーネス (FIH) 104
ガラス
クリーニング 112
コピーに使用 79
キー、「ボタン」を参照
記号セット 214
機能
コピー 8, 75
製品 7
ソフトウェア 14
ドライバ 16
キャリッジリターン、設定 214
給紙ミス、ADF 116
給紙モード、トレイ 68, 69
共有、Windows 22
共有プリンタ、トラブルシューティング 176
切り取られたマージン、トラブルシューティング 172
行間隔の設定 214

クイックコピー ジョブ
印刷 73
オプション 70
コントロール パネルの設定 205
削除 73
作成 73
タイムアウトの設定 217
クイック セット 64
クリーニング
ADF 出力システム 113
ADF のガラス ストリップ 114
ADF のローラー 116
MFP 110, 112
ガラス 112
タッチスクリーン 112
用紙経路 110
クリーニング ページ、印刷 120
繰り返しの問題、トラブルシューティング 168
黒い点、トラブルシューティング 120, 167
クロック、設定 217
グループ ボタン 88
グレーの背景、トラブルシューティング 168, 197
警報、セットアップ 121
警報タブ、HP Toolbox 29
ケーブル、トラブルシューティング 149, 177
欠落、トラブルシューティング 167
ゲートウェイ
LDAP エラー メッセージ 154
SMTP エラー メッセージ 152
検索 243
設定 243
電子メールのエラー メッセージ 151
言語、コントロール パネル 170, 219
言語、プリンタ
インストール内容のリスト、印刷 182
エラー メッセージ 149
自動切り替え 16
デフォルト、設定 218
トラブルシューティング 172
内蔵 8
濃い設定、トナー濃度 216
小型用紙モード 216
国際エネルギー スターへの準拠 235
コピー
ADF の使用 79
[Originals] (原稿) サブメニュー 208
拡張機能画面 81
カラー用紙、バックグラウンドの削除 81
ガラスの使用 79
機能 8, 75
コントラスト、調整 81
コントロール パネル画面 76
書籍 80
ジョブの保存 82
ジョブ モード 80
鮮明度のコントロール 81
デフォルト設定の使用 77
排紙場所の指定 82
ユーザー定義設定の使用 77
コピー接続カードのエラー メッセージ 149, 161
コピーの拡大 81
コピーの拡張機能の使用 81
コピーの確認、印刷 74
コピーのサイズ変更 81
コピーの縮小 81
コピーの倍率設定 81
こぼれたトナー、トラブルシューティング 168
コントラスト、コピー設定 81

コントロール パネル
[Configure Device] (デバイスの設定) メニュー 208
[Copying] (コピー) サブメニュー 209
[Diagnostics] (診断) メニュー 224
[EIO Jetdirect] メニュー 220
[Embedded Jetdirect] (埋め込み型 Jetdirect) サブメニュー 221
[Enhancement] (拡張機能) サブメニュー 209
[FAX] メニュー 223
[Information] (情報) メニュー 205
I/O メニュー 220
[Originals] (原稿) サブメニュー 208
[Paper Handling] (用紙の取り扱い) メニュー 206
[Parallel input] (パラレル入力) メニュー 220
PCL サブメニュー 214
[Printing] (印刷) メニュー 211
[Print quality] (印刷品質) メニュー 215
[Retrieve Job] (ジョブ取得) メニュー 205
[Sending] (送信) サブメニュー 210
[Service] (サービス) メニュー 225
[System setup] (システム セットアップ) メニュー 217
Web アクセス機能 234
位置の確認 13
画面 46
機能 43
クリーニング 112
言語 170, 219
コピー画面 76
診断メニュー 247
情報ページ 181
設定 203, 245
点検 225
ディスプレイ表示なし、トラブルシューティング 170
電子メール画面 84
ヘルプ 45, 47
ページの向き、設定 63
保守メッセージ、リセット 122
ボタン 44
メッセージ 146
メニュー マップ、印刷 181, 205
リセット メニュー 223
コントロール パネルの LED 44
コントロール パネルの印刷可能ランプ 44
コントロール パネルのキーパッド 44, 45
コントロール パネルの数字キーパッド 44, 45
コントロール パネルの [スタート] ボタン 44, 45
コントロール パネルの [ストップ] ボタン 44, 45
コントロール パネルの注意ランプ 44
コントロール パネルのデータ ランプ
位置の確認 44
点灯、トラブルシューティング 176
点滅、トラブルシューティング 173
点滅しない、トラブルシューティング 177
コントロール パネルのランプ 44
コントロール パネルの [リセット] ボタン 44, 45
梱包回収、リサイクル 236

さ
サービス契約 237
最後のページ、印刷されない 176
最初のページ
 速度、仕様 7
 速度、トラブルシューティング 174
 別の用紙を使用 66
最初のページに別の用紙を使用 66
サイズ、用紙
 対応するサイズ 194
 トレイの指定 69
 トレイの設定 42
再生紙 236

サプライ品
 ステータス、HP Toolbox で表示 29
 ステータス ページ 184, 205
 製品番号 191
 注文 11
 プリンタ保守キット、取り付け 122
 リサイクル 236
サプライ品のリサイクル 236
サポートされるオペレーティング システム
 HP Toolbox 28
 印刷システム ソフトウェア 14
 ドライバ 15
サポートパック、HP 237
 残量少のプリント カートリッジ 219
システム要件
 HP Toolbox 28
 印刷ソフトウェア 14
 外部インターフェース ハーネス (FIH) 104
湿度の仕様 202
出荷時のデフォルト設定 45, 223
出力品質
 クリーニング ページ、印刷 120
 設定 215
 トラブルシューティング 166
消去、ハードディスク 105
消失するデータ、トラブルシューティング 173
正面扉
 位置の確認 13
 紙詰まりの場所 124
 開いていることを知らせるメッセージ 150
ショートカット、ヘルプ 251
書籍、コピー 80
仕様
 OHP フィルム 198
 オゾン 235
 カード ストック 199
 騒音 201
 電力 200
 トレイと bin 9
 封筒 198
 用紙 193, 197
 ラベル紙 198
使用状況ページ
 印刷 205
 情報 185
シリアル番号
 カートリッジ 184
 プリンタ 182
シリアル ポート 9
しわ、トラブルシューティング
 封筒 169
 ページ 169, 197
診断メニュー 247
時刻、設定 217
事前設定、ドライバ 15
自動継続、設定 218
自動原稿送り装置 (ADF)
 位置の確認 13
 エラー メッセージ 147
 給紙ミス 116
 出力システムのクリーニング 113
 上部のガラス ストリップのクリーニング 114
 対応する用紙サイズ 194
 デジタル送信 86
 ドキュメントのコピー 79, 80
 容量 9
 ローラーのクリーニング 116
自動設定、ドライバ 14
自動セットアップ、トラブルシューティング 172

重量、用紙
 厚み 199
 サポート対象 194
 重量換算表、用紙 190
 受信者リスト 88
 情報ページ
 Jetdirect 183
 イベントログ 186
 印刷 181, 205
 サプライ品ステータス 184
 使用状況 185
 設定 182
 フォントリスト 185
 メニュー マップ 181
 上方用紙送り扉
 位置の確認 13
 紙詰まりの場所 124
 詰まり、解決 127
 ジョブの解除
 試し刷りと保留 74
 プライベート 71
 保存 72
 ジョブのキャンセル 45
 ジョブの削除
 クイックコピー 73
 試し刷りと保留 74
 プライベート 71
 保存 72
 ジョブの保存、「ジョブ保留」を参照
 ジョブ保留
 [Retrieve Job] (ジョブ取得) メニュー 205
 エラー メッセージ 158
 機能、アクセス 70
 クイックコピー 73
 限度、設定 217
 コピー 82
 タイムアウトの設定 217
 試し刷りと保留 74
 プライベート ジョブ 70
 保存ジョブ 71
 ジョブ名、プライベート ジョブ 70
 ジョブ モード、使用 80
 水銀の処分 236
 垂直方向の行間隔の設定 214
 透かし、印刷 64
 スキャンバッファ エラー 164
 少ないページ、トラブルシューティング 174
 スタッカ
 機能 94
 対応する用紙サイズ 195
 注文 11
 詰まり、解決 131
 排紙場所の指定 57
 鈑詰まり、解決 137
 ピン 56
 容量 9
 スタッカ / ステイプラ
 エラー メッセージ 158
 ステイブル カートリッジ、注文 11
 ステイブルのセット 95
 対応する用紙サイズ 195
 注文 11
 詰まり、解決 131
 トラブルシューティング 175
 ドキュメントのステイブル留め 94
 認識されない 177
 排紙場所の指定 57
 鈑詰まり、解決 137
 ピン 56
 容量 9
 ステイブル カートリッジ
 スタッカ / ステイプラにセット 95
 注文 11
 鈑詰まり、スタッカ / ステイプラから取り除く 137
 鈑詰まり、マルチファンクション フィニッシャから取り除く 140
 マルチファンクション フィニッシャにセット 98
 ステータス、サプライ品
 HP Toolbox で表示 29
 情報ページ 184, 205
 ステータス タブ、HP Toolbox 29
 ステータス ランプ、コントロール パネル 44
 スリープ復帰時刻、設定 218
 スリープ モード
 消費電力 200
 設定 218
 スロット
 DIMM に対応 227
 DIMM の取り付け 228
 インストール済みパーソナリティとオプション 182
 製造元ページ 186
 製品番号
 アクセサリ 11
 サプライ品 191
 セキュリティ
 外部インターフェース ハーネス (FIH) 104
 情報、設定ページ 182
 デジタル送信 107
 ハード ディスク消去 105
 ロック用のパート 107
 設定
 Web アクセス機能 234
 コピー 77
 コントロール パネル 245
 設定ページ 182
 デフォルト値の復元 45, 223
 ドライバ 17
 保存 64
 優先 203
 用紙サイズ 42
 設定の保存 64
 設定ページ
 Jetdirect 27, 180
 印刷 205
 情報 182
 セット
 穴あき用紙 53
 スタッカ / ステイプラのステイブル 95
 デジタル送信するドキュメント 86
 トレイ 1 31
 封筒 54, 58
 マルチファンクション フィニッシャのステイブル 98
 用紙、向き 50
 ラベル紙 54
 レターヘッド 54
 セレクタ、Macintosh 179
 線、トラブルシューティング 167
 鮮明度、コピー 81
 全幅印刷モード 212
 全幅モード 65
 騒音の仕様 201
 送信、「デジタル送信」を参照
 送信先、トラブルシューティング 174, 175
 双方向通信の設定 220
 速度
 解像度の設定 216
 仕様 7
 データ転送の設定 220
 トラブルシューティング 174, 177
 ネットワーク 223
 プロセッサ 7

ソフトウェア
FIH (外部インターフェース ハーネス) 104
HP Digital Sending、注文 12
Macintosh 19
Macintosh でのアンインストール 24
Macintosh にインストール 22
Windows でのアンインストール 24
Windows にインストール 20
機能 14
サポートされるオペレーティング システム 14
トラブルシューティング 173
ネットワーク 24, 246
ソフトウェアのアンインストール
Macintosh 24
Windows 24
ソフトウェアの削除
Macintosh 24
Windows 24

た

タイプ、用紙
サポート対象 197
トレイの指定 69
トレイの設定 206
タイムアウトの設定
I/O 220
スリープ モード 218
保留ジョブ 217
タッチスクリーン、クリーニング 112
縦方向
デフォルトとして設定 214
両面印刷オプション 63
試し刷り後に保留ジョブ
印刷 74
オプション 70
コントロール パネルの設定 205
削除 74
作成 74
タイムアウトの設定 217
多目的トレイ、「トレイ 1」を参照
代替レターヘッド モード 54
注文
アクセサリ 11
サプライ品 191
丁合い機能 64
詰まり、ステイプル針
繰り返し発生、トラブルシューティング 174
スタッカ / スティプラ 137
マルチファンクション フィニッシャ 140
詰まり、用紙
8 ピン メールボックス 144
エラー メッセージ 160
解除後の設定 219
繰り返しのトラブルシューティング 145
スタッカまたはスタッカ / スティプラ 131
トレイ 1 125
トレイ 2 またはトレイ 3 126
トレイ 4 127
場所 124
左扉 136
フューザ領域 136
防止 31
マルチファンクション フィニッシャ 133
右扉 125
両面印刷アクセサリ 129
停止される印刷 178
テキスト、トラブルシューティング
欠落 167
変形 169

手差し

コントロール パネルの設定 212
最初のページ 66
指定 68
テスト
コントロール パネル 225
スキヤナ 225
用紙経路 187, 224
点、トラブルシューティング 120, 167
ディスク アクセサリ
機能 10
消去 105
ジョブ保留 217
注文 12
デバイス ストレージ マネージャ 245
認識されない 176
ファイル ディレクトリ、印刷 205
ロック 107
ディレクトリ、ファイル 205
データ転送の設定 220
データの消失、トラブルシューティング 173
デジタル送信
[Originals] (原稿) サブメニュー 208
[Sending] (送信) サブメニュー 210
アドレス帳 88, 89
ガラスまたはADF の使用 86
機能 86
初期設定 243
セキュリティ 107
設定アプレット 242
その他の情報 90
ソフトウェア、注文 12
ネットワーク要件 83
デジタル送信用配信リスト 88
デバイス ストレージ マネージャ 245
デバイスのステータス、HP Toolbox で表示 29
[デバイスの設定] ボタン、HP Toolbox 29
デフォルト設定
コピー 77
ドライバ、変更 17
復元 45, 223
部数 211
保存 64
デフォルト設定の復元 45, 223
電圧
仕様 200
トラブルシューティング 170
電源
トラブルシューティング 177
電子メール
[From] (差出人) フィールド 84
LDAP エラー メッセージ 154
SMTP エラー メッセージ 152, 157
アドレス帳 88, 89
アドレス入力をオートコンプリート機能で行う 87
画面 84
警告 121
ゲートウェイのエラー メッセージ 151
設定 244
その他の情報 90
デジタル送信機能 86
本文テキスト 90
電力
国際エネルギー スターレベルへの準拠 235
仕様 200
トラブルシューティング 170
登録、トレイ 65
登録の設定 65

トナー

衣服の洗濯 111
固着する問題 197
こぼれ、トラブルシューティング 168
使用情報 185
にじみ、トラブルシューティング 168
濃度の設定 216
斑点、トラブルシューティング 120, 167
レベルの確認 119
トナーの洗い落とし 111
トナーの均一化 121
トナーの再均一化 121
トナーのにじみ、トラブルシューティング 168
扉

位置の確認 13
紙詰まりの場所 124
上方用紙送り、紙詰まりの解決 127
左、紙詰まりの解決 136
右、紙詰まりの解決 125
メッセージ 150

トラブルシューティング
ADF での給紙ミス 116
[Diagnostics] (診断) メニュー 224
HP Jetdirect プリントサーバ 26, 180
Macintosh の問題 179
PS エラー ページ 172
イメージの品質不良 166
印刷 172
薄い印刷 167
遅い印刷 177
表裏逆、印刷 175
カールしたページ 169
繰り返しの問題 168
グレーの背景 168, 197
欠落 167
こぼれたトナー 168
コントロールパネル、表示されない 170
コントロールパネル メッセージ 146
しわの寄った封筒 169
しわの寄ったページ 169
情報ページ 181
線 167

ソフトウェア 173
チェックリスト 170
詰まり、解決 124
詰まり、繰り返し発生 145
テキスト、文字の変形 169
データ転送 173

電源 177
電力 170
トナーのにじみ 168
トレイ 173, 177
トレイ 4 176
ネットワーク 176, 180
ハードディスク 176
白紙 172
斑点 120, 167
品質 166
ピン 176

フォント 172, 174, 178
ポート 177, 178
歪んだページ 169
用紙 197
用紙経路テスト 187, 224
取り付け
プリンタ保守キット 122
プリントカートリッジ 121
メモリ 228
トリミングマーク、印刷 62

トレイ

厚紙、印刷 62
位置の確認 13
カスタム用紙、セット 51, 52
紙詰まりの場所 124
指定 69
設定ページ 182
セット 50
セット エラー メッセージ 155
選択のトラブルシューティング 173, 177
対応する用紙サイズ 194
詰まり、解決 125
登録 65
内蔵 9
未設定のサイズに関するエラー メッセージ 162
用紙経路テスト 187, 224
用紙サイズの設定 42
用紙のセット 31
容量 9, 194

トレイ 1
厚紙、印刷 62
穴あき用紙、セット 53
位置の確認 13
エラー メッセージ 155
カスタム用紙、セット 51
紙詰まりの場所 124
給紙モード、設定 68
最初のページ、別の用紙を使用 66
設定ページ 182
対応する用紙サイズ 194
詰まり、解決 125
手差しモード 68
登録 65
はみ出したイメージ 62
封筒、セット 54
封筒のセット 58
フューザ レバー 59, 60
用紙サイズの設定 42
用紙タイプの設定 69
用紙のセット 31, 50
容量 9, 194
ラベル、セット 54, 61

トレイ 2 またはトレイ 3
厚紙、印刷 62
穴あき用紙、セット 53
位置の確認 13
カスタム用紙、セット 39, 52
紙詰まりの場所 124
自動認識が可能な標準サイズの用紙のセット 34
自動認識が不可能な標準サイズの用紙のセット 37
設定ページ 182
選択のトラブルシューティング 173, 177
対応する用紙サイズ 194
詰まり、解決 126
登録 65
用紙サイズの設定 42
用紙タイプの設定 69, 206
用紙のセット、向き 51
容量 9, 194

トレイ 4
厚紙、印刷 62
穴あき用紙、セット 53
位置の確認 13
カスタム用紙
用紙のセット 39
カスタム用紙、セット 52
紙詰まりの場所 124
自動認識が可能な標準サイズの用紙のセット 34
自動認識が不可能な標準サイズの用紙のセット 37

設定ページ 182
選択のトラブルシューティング 173, 177
対応する用紙サイズ 194
詰まり、解決 127
登録 65
トラブルシューティング 176
認識されない 176
用紙サイズの設定 42
用紙タイプの設定 69, 206
用紙のセット、向き 51
容量 9, 194
トレイのセットを指示するメッセージ 155
動作環境、仕様 202
ドキュメントのステイプル留め
 スタッカ / ステイプラー 94
 トラブルシューティング 175
 ブックレット 101
 マルチファンクション フィニッシャ 97
ドキュメントの送信 86
ドキュメントをスキャンして送信 86
ドライバ
 HP OpenVMS 16
 Macintosh にインストール 22
 Windows にインストール 20
 今すぐ更新 15
 機能 16
 コントロール パネルの設定より優先 203
 サポートされるオペレーティング システム 15
事前設定 15
自動設定 14
設定 17
設定の保存 64
セレクタ、トラブルシューティング 179
トラブルシューティング 173
内蔵 15
ヘルプ 16
ドラフト印刷 216

な

内蔵 TrueType フォント 8
中綴じ 101
波打ち、トラブルシューティング 169
認証、プリント カートリッジ 118
ネットワーク
 HP Jetdirect プリント サーバ 26, 180
 HP ドライバ事前設定 15
 IP アドレス 241
 カード、注文 12
 カード、内蔵 9
 設定 220, 221
 速度 223
 ソフトウェアのインストール 21
 対応ソフトウェア 24, 246
 デジタル送信の要件 83
 トラブルシューティング 176
粘着タイプ ラベル紙
 印刷 31, 61
 仕様 198
 セット 54
 フューザ モード 215
濃度の設定 216

は

ハード ディスク
 機能 10
 消去 105
 ジョブ保留 217
 注文 12
 デバイス ストレージ マネージャ 245
 認識されない 176

ファイル ディレクトリ、印刷 205
 ロック 107
背景、グレー 168, 197
はがき
 印刷 62
 仕様 199
白紙
 設定 214
 追加 67
 トラブルシューティング 172
端が印刷されない、トラブルシューティング 172
幅の狭い用紙の設定 216
はみ出したイメージ 62
はみ出した部分、印刷 62
針詰まり、解決
 繰り返し発生、トラブルシューティング 174
 スタッカ / ステイプラー 137
 マルチファンクション フィニッシャ 140
斑点、トラブルシューティング 120, 167
バックグラウンドの削除 81
バッテリの処分 236
バッファ
 EIO オーバーフロー メッセージ 160
 スキャン オーバーフロー メッセージ 164
 データの残存、トラブルシューティング 173
パーソナリティ
 インストール 内容のリスト、印刷 182
 エラー メッセージ 149
 自動切り替え 16
 デフォルト、設定 218
 トラブルシューティング 172
 内蔵 8
パラレル接続のエラー メッセージ 161
パラレル通信の設定 220
左扉
 位置の確認 13
 紙詰まりの場所 124
 詰まり、解決 136
 開いていることを知らせるメッセージ 150
日付、設定 217
品質
 クリーニング ページ、印刷 120
 設定 215
 トラブルシューティング 166
ピン
 位置の確認 56
 一杯であることを知らせるメッセージ 148
 紙詰まりの場所 124
 指定 57
 スタッカまたはスタッカ / ステイプラー 56
 対応する用紙サイズ 195
 トラブルシューティング 176
 内蔵 9
 マルチファンクション フィニッシャ 56
 メールボックス 56
 用紙経路テスト 187
 容量 9, 194
ファームウェア
 エラー メッセージ 162
 更新 10
ファイル ディレクトリ、印刷 205
ファン、トラブルシューティング 170
フィニッシャ、「マルチファンクション フィニッシャ」を参照
封筒
 印刷 31, 57
 仕様 198
 しわ、トラブルシューティング 169
 セット 54, 58
 対応するサイズ 194
 デフォルトのイメージ サイズ設定 211

保管 199
マージン 60
フォトコピー、「コピー」を参照
フォント
EIO ハード ディスクに保存 10
設定 214
トラブルシューティング 172, 174, 178
内蔵 8
リスト、印刷 185, 206
フォント DIMM、注文 12
負荷サイクル 7
複雑なページ、トラブルシューティング 160
不足、メモリ 154, 160
フューザ エラー メッセージ 162
フューザ モード 215
フューザ領域での紙詰まり、解決 136
フューザ レバー 59, 60
フラッシュ DIMM、注文 12
フラッシュ メモリ
アップグレード 227
取り付け 228, 231
振る、プリント カートリッジ 121
部数、デフォルト設定 211
部数が多い、トラブルシューティング 174
ブックレット、作成 101
ブックレット ビン、マルチファンクション フィニッシャ 56
プラウザ、HP Toolbox 要件 28
プライベート ジョブ
印刷 70
オプション 70
コントロール パネルの設定 205
削除 71
タイムアウトの設定 217
プリンタ言語
インストール内容のリスト 182
エラー メッセージ 149
自動切り替え 16
デフォルト、設定 218
トラブルシューティング 172
内蔵 8
プリンタの保守の実行を勧めるメッセージ 122
プリンタ保守キット
ステータス 184
注文 12
取り付け 122
プリント カートリッジ
HP 製以外 118
エラー メッセージ 148, 154
交換 120
サプライ品ステータス ページ 184
残量少 219
使用情報 185
製品番号 191
注文 11
トナー レベル、確認 119
認証 118
振る 121
保管 118
リサイクル 236
プロセッサ速度 7
プロトコルの設定 221, 241
ヘルプ
お気に入り 250, 255
[キーワード] タブ 254
コントロール パネル 45, 47
ショートカット 251, 253
電子メール画面 84
トピックの印刷 250
トピックの検索 249, 251
トピックのコピー 250
ドライバ 16
[目次] タブ 254
米国電子工業会 236
ベース メモリ 8
別の用紙を最初のページに使用 66
ページ カウント
表示 182, 186
リセット 122
ページの向き
デフォルト 214
用紙のセット 50
両面印刷オプション 63
ページの歪み、トラブルシューティング 169
保管
製品、仕様 202
封筒 199
プリント カートリッジ 118
保守キット
インストール 122
ステータス 184
注文 12
保証延長サービス 237
保存ジョブ
印刷 72
エラー メッセージ 158
オプション 70
コピー 82
コントロール パネルの設定 205
削除 72
作成 71
タイムアウトの設定 217
保留、ジョブ、「ジョブ保留」を参照
ボタン
コピー画面 76
コントロール パネル 44
電子メール画面 84
ポート
対応するタイプ 9
トラブルシューティング 177, 178
パラレル バッファ オーバーフロー 161

ま

マージン
全幅補正設定 215
なし、トラブルシューティング 172
封筒 60
マイクロプロセッサ速度 7
毎分の印刷ページ数 7
マルチファンクション フィニッシャ
使用 97
ステイブル、セット 98
ステイブル カートリッジ、注文 11
対応する用紙サイズ 196
注文 11
詰まり、解決 133
針詰まり、解決 140
ビン 56
ブックレット、作成 101
容量 9
右扉
位置の確認 13
エラー メッセージ 150
紙詰まりの場所 124
詰まり、解決 125
開いていることを知らせるメッセージ 150
向き、ページ
デフォルト 214
用紙のセット 50
両面印刷オプション 63

メールボックス
機能 101
対応する用紙サイズ 196
注文 11
詰まり、解決 144
ピン 56
容量 9
メッセージ
アルファベット順リスト 147
数値リスト 160
設定 218
トラブルシューティング 146
保守、リセット 122
メディア
HP、製品番号 191
OHP フィルム 54
穴あき用紙、セット 53
表裏逆、印刷 175
カール、トラブルシューティング 169
カスタム、セット 39
小型、モード 216
最初のページ、別の用紙を使用 66
再生 236
仕様 193, 197
重量換算表 190
セット 50
対応するサイズ 194
対応するタイプ 197
デフォルトのイメージ サイズ設定 211
トラブルシューティング 197
トレイ 1 の設定 68
フューザ モード 215
用紙のセット 31
レターへッド モード 54
メニュー
EIO Jetdirect 220
Fax 223
I/O 220
PCL 214
印刷 211
印刷品質 215
埋め込み型 Jetdirect 221
拡張機能 209
原稿 208
コピー 209
サービス 225
システム セットアップ 217
診断 224, 247
情報 205
ジョブの取得 205
設定 203, 245
送信 210
デバイスの設定 208
パラレル入力 220
マップ、印刷 181, 205
用紙の取り扱い 206
リセット 223
メニュー マップ、印刷 181, 205
メモリ
DIMM エラー メッセージ 163
NVRAM エラー メッセージ 164
アップグレード 227, 228
設定ページ 182
注文 12
取り付け 228
取り付けの確認 233
不足 154, 160
フラッシュ カード、インストール 231
ベース 8
割り当て 233
メモリの割り当て 233
メンテナンス契約 237
モード
ジョブ、コピー 80
代替レターへッド 54
トレイ 68, 69
フューザ 215
文字
記号セット 214
欠落、トラブルシューティング 167
変形、トラブルシューティング 169
文字の変形、トラブルシューティング 169
文字化けページ、トラブルシューティング 174
模造品対策 Web サイト 118

や
ユーザー名、プライベート ジョブ 70
歪んだページ、トラブルシューティング 169
用紙
HP、製品番号 191
穴あき用紙、セット 53
表裏逆、印刷 175
カール、トラブルシューティング 169
カスタム、セット 39
小型、モード 216
最初のページ、別の用紙を使用 66
再生 236
仕様 193, 197
重量換算表 190
セット 50
対応するサイズ 194
対応するタイプ 197
デフォルトのイメージ サイズ設定 211
トラブルシューティング 197
トレイ 1 の設定 68
フューザ モード 215
用紙のセット 31
レターへッド モード 54
用紙が印刷されない
一部 174
最後 176
ジョブの途中で停止 178
すべて 172
用紙経路
クリーニング 110
テスト 187, 224
用紙詰まり、「詰まり、用紙」を参照
用紙の換算表 190
用紙の行数、設定 214
用紙のセット
カスタム用紙 39
トレイ 2, 3、または 4 34, 37
用紙の両面、印刷
穴あき用紙 53
オプション 63
設定 212
代替レターへッド 54
用紙のセット 50, 51
溶着への適合性 197
容量
アクセス 195
トレイ 9, 194
ピン 9, 194
横方向
デフォルトとして設定 214
両面印刷オプション 63

ら

- ラベル紙
 - 印刷 31, 61
 - 仕様 198
 - セット 54
 - フューザ モード 215
- リセット、ページ カウント 122
- リセット メニュー 223
- リソースの保存 233
- 両面、印刷
 - トラブルシューティング 174, 175
- 両面印刷
 - 穴あき用紙 53
 - オプション 63
 - 設定 212
 - 代替レターへッド モード 54
 - トラブルシューティング 174, 175
 - 用紙のセット 50, 51
- 両面印刷アクセサリ
 - 位置の確認 13
 - エラー メッセージ 148, 151, 156
 - 紙詰まりの場所 124
 - 対応する用紙サイズ 195
 - 詰まり、解決 129
 - トラブルシューティング 174, 175
 - 認識されない 176
- リンク、HP Toolbox 29
- リンク速度 223
- レイアウト、1枚に複数ページを印刷 67
- レターへッド
 - 印刷 61
 - 仕様 197
 - 代替レターへッド モード 54
 - フューザ モード 215
- レター用紙、A4 設定の置き換え 212
- レポート
 - Jetdirect ページ 183
 - イベント ログ 186
 - 印刷 181, 205
 - サプライ品ステータス ページ 184
 - 使用状況ページ 185
 - 設定ページ 182
 - フォント リスト 185
 - メニュー マップ 181
- ローカル アドレス帳 89
- ローラー
 - ADF、クリーニング 116
 - プリント保守キット 12, 122
- ロック用のパーツ 107

わ

- ワイド A4 の設定 213
- ワイヤレス ネットワーク カード 9



© 2006 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

www.hp.com



Q3726-90960